brother

刺(ッ)PRG

<u>PC刺</u>しゅうデータ作成機

ES913シリーズ

取扱説明書

●ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。 ●取扱説明書はなくさないように大切に保管してください。

はじめに

このたびは、刺しゅうPRO Ver.6.0 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機はパソコンに接続しご使用いただくことにより、オリジナル刺しゅうを作成できる刺しゅうデータ作成 機です。お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、この取扱説明書をご覧に なり、各機能や正しい使い方を十分にご理解のうえ末永くご愛用ください。(また Readme ファイル、各ソ フトのヘルプもご参照ください。)

また、お読みになった後は保証書とともに、お使いになられる方がいつでも見られるところに必ず保管して ください。

注意:この取扱説明書では、お使いのパソコンの Windows および周辺機器の使用方法については説明して いません。お使いのパソコンの Windows および周辺機器の使用方法については、それぞれの取扱説 明書を参照してください。

この装置は、住宅地域での電波障害阻止を目的とした、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)の基準に基づく、第2種情報処理装置です。この装置は、住宅地域またはその隣接した地域で使 用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受 信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 重要: 営業目的で、別売の「刺しゅうカード」や新聞・雑誌等から無断で複製し、本機にて使用するこ とは「著作権法」に触れることになり、法により処罰されることがあります。 本製品に含まれるソフトウエアは、「著作権法」により保護されています。著作権法に従う場合 に限り、本ソフトウエアをご使用・複製いただくことができます。 本製品は、一般家庭用のみのご使用を対象としています。
- 本製品は日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。 This machine can not be used in foreign country at designed for Japan.
- 什様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容を許可なく無断で複製することは、禁じられておりますのでご了承ください。
- 本書の内容を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容について万一不審な点や誤りなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

安全にお使いになるために

この取扱説明書に使われている表示や絵文字は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになられる方 や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

その表示や意味は次のとおりです。



この表示を無視して誤った使い方をすると、人が障害を負う危険が想定される内容および物的 損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。



特定しない 禁止事項

いけません





義務行為 火災の危険が

あります

特定しない



感電の危険が あります



水に濡らしては いけません

	▲ 注意
$\bigcirc \mathbb{A}$	濡れた手で USB ケーブルのプラグを抜き差しないでください。感電の原因となります。
Â	USBケーブルを抜くときは、必ずプラグの部分を持って抜いてください。USBケーブル を引っ張って抜くとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。
$\otimes \mathbb{A}$	USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりするとUSBケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。USBケーブルまたはプラグが破損したときは使用をやめてお買い上げの販売店または「ミシン 119番」フリーダイヤル 0120-340-233 にご連絡ください。
\bigotimes	直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用 しないでください。使用温度は 10 ~ 35 ℃です。本体内部の温度が上がったり、本体や 電源コードの皮膜が溶けて火災・感電の原因となります。
\bigcirc \land	スプレー製品などをご使用の部屋では使用しないでください。スプレーへの引火による やけどや火災の原因となります。
	本体の上に花瓶や水の入った容器を置くなどして、本体に水をこぼさないでください。 万一、内部に水が入った場合は、USB ケーブルのプラグをパソコンから抜いて、お買い 上げの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
$\otimes \mathbb{A}$	本体のカードスロットや内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでくだ さい。高圧部に触れて感電の恐れがあります。万一、内部に異物が入った場合は、USB ケーブルのプラグをパソコンから抜いてお買い上げの販売店または「ミシン 119 番」フ リーダイヤル 0120-340-233 にご連絡ください。
	お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電およびケガ の原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お買い上げの販売店 または「ミシン 119 番」フリーダイヤル 0120-340-233 にご連絡ください。
Â	万一、本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめて お買い上げの販売店または「ミシン119番」フリーダイヤル0120-340-233 にご連絡くだ さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
A	万一、煙が出ている、異臭がする、異常音がするなどの状態のときはすぐに USB ケーブ ルのプラグをパソコンから抜いてお買い上げの販売店または「ミシン 119 番」フリーダ イヤル0120-340-233 にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となりま す。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。
\bigcirc 0	お子様の玩具として使用しないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近 くでご使用になるときは、お子様がケガをしないよう十分ご注意ください。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 IBM は米国 International Business Machine Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Pentium は米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

オリジナル刺しゅうを美しく作成していただくために

この「刺しゅうPRO Ver.6.0」では、多様な刺しゅうデータの作成が可能となるように、縫い方の様々な設定 (糸密度、縫いピッチ等)がサポートされています。

ただし、最終的な仕上がりは、ご使用のミシンの性能や、縫う条件(布、糸など)によって変わるところも ございますので必ず実際にご使用になるミシン、縫う条件で、試し縫いを行ってください。

刺しゅう文字について

刺しゅう文字は書体によってあまり小さいサイズを設定すると、きれいに縫製できない場合があります。

1 文字のサイズは、日本語書体は 15 mm 以上、欧文書体(アルファベット等)は 10 mm 以上での設定を おすすめします。

また、True Type フォントを使用する場合は、フォントのデザインによってきれいに刺しゅうデータに変換されない場合があります。均一な太めのラインでデザインされた True Type フォントをお選びください。

バージョン 6.0 の新機能

縫い方の設定について

·	サテン縫い、タタミ縫いの縫い方の設定がさらに機能充実	168	16 9)	
·	グラデーション機能	90、	174		
·	スタンプ機能とプログラムタタミ/スタンプパターン	88、	92、	160、	171
·	走り縫いの自動縫いピッチ調整	85、	167		
·	サテン縫い、マニュアルパンチングデータなどのハーフステッチ機能	85、	86、87	'、167、	169、170
·	内部走り経路設定	86、	87、	169、	170
·	タタミ縫いの折り返し種類設定	86、	88、	169、	171
·	面縫いの縫い方の種類追加:				
	パイピング縫い、同心円縫い、放射縫い、渦巻き縫い	89、	173、	173	
·	線縫いの縫い方の種類追加:				
	E ステッチ、V ステッチ	168	i.		

編集機能

レイアウトセンター

•	糸密度と針落ちパターンの品質を保持したままの拡大・縮小が簡単に	126
·	縫い順/糸色ダイアログボックスにデータ編集機能追加	178
·	モノグラム機能	157
·	フォトステッチ・クロスステッチに背景抽出機能追加	110、114、116、117、119
·	オートパンチ機能の充実	109
·	針落ち点の編集(各色の始終点選択、渡り糸の挿入/削除)充実	135
24	ち羊さわた ポイント 炉住 ・	
پا ر	X音C11/こ小1 ノト柵未・	
با •	*音~11んパインド禰未・ 線データの直線化 / 曲線化	131
بن	×音~11~小1~~禰未 ・ 線データの直線化 / 曲線化 矢印キーでポイントの簡単選択	131 129
نې	*====================================	131 129 175
ني • •	*#これんかイント編集・ 線データの直線化/曲線化 矢印キーでポイントの簡単選択 ドーナツ縫いを解除せずにポイント編集が可能に グループ化を解除せずに編集が可能に	131 129 175 128
- - - -	※当これにホイント編集・ 線データの直線化/曲線化 矢印キーでポイントの簡単選択 ドーナツ縫いを解除せずにポイント編集が可能に グループ化を解除せずに編集が可能に ステッチデータの分割機能	131 129 175 128 137

ソフトウェアの設定

 グリッド間隔の範囲(1~10 mm→0.1~25.4 mm)を変更 右クリックで表示される編集ツールの充実 リファレンスウィンドウ追加 縫い方の設定ダイアログボックスを、 簡易モードと詳細モードに切り替え可能に 	99、 230、 97、 83、	195 236、 187 166	243、	247
 デザインセンター ・ ステッチシミュレーターを追加 ・ 縫い順ダイアログボックスで縫い順の変更が可能に 	95 94			
 レイアウトセンター ・ アップリケウイザードでアップリケの簡単自動作成 ・ 縫い順 / 糸色ダイアログボックスの機能充実 ・ ステッチシミュレーターの機能充実 	176 178 182			
その他				

·	.phc ファイル形式を取り込み可能に	121
·	刺しゅうファイル管理ソフト、デザインデータベース搭載	216

・ 画像、刺しゅうデータ、ステッチデータ用のサンプルファイルがさらに充実

目次

お使いになる前に	1
「刺しゅう PRO」でできること	1
画像を自動的に刺しゅうデータにできます	1
写真を自動的に刺しゅうデータにできます	1
マニュアルで刺しゅうデータを	
作成・編集できます	2
3 フのアプリクーションソフト ご作成 ござより	2
本書の読み万	3
本書の構成 四語 2013	3
用	3
	4
アノリケーンヨンソノト	4 5
同悃品の唯認 別高品について	5 6
各部の説明	6
プログラムのインストール	7
インストールの手順	7
インストールの手順 動作環境の確認	7 7 8
インストールの手順 動作環境の確認 [ステップ 1] ソフトウェアを	7 7 8
インストールの手順動作環境の確認 「ステップ1」ソフトウェアを インストールする	7 7 8
インストールの手順 動作環境の確認 [ステップ 1] ソフトウェアを インストールする [ステップ 2] カードライター本体用の	7 8 8
インストールの手順 動作環境の確認 [ステップ1] ソフトウェアを インストールする [ステップ2] カードライター本体用の ドライバをインストールする	7 8 8 8
インストールの手順 動作環境の確認 [ステップ1] ソフトウェアを インストールする [ステップ2] カードライター本体用の ドライバをインストールする [ステップ3] カードライター本体を マップグレードする	7 8 8 10
インストールの手順 動作環境の確認 [ステップ1] ソフトウェアを インストールする [ステップ2] カードライター本体用の ドライバをインストールする [ステップ3] カードライター本体を アップグレードする オンライン登録	7 8 8 10 12 14
インストールの手順 動作環境の確認 [ステップ1] ソフトウェアを インストールする [ステップ2] カードライター本体用の ドライバをインストールする [ステップ3] カードライター本体を アップグレードする オンライン登録 プログラムのアンインストール	7 8 10 12 14 14
インストールの手順 動作環境の確認 [ステップ1] ソフトウェアを インストールする [ステップ2] カードライター本体用の ドライバをインストールする [ステップ3] カードライター本体を アップグレードする オンライン登録 プログラムのアンインストール ユーザーインフォメーション	7 7 8 10 12 14 14 14
インストールの手順 動作環境の確認 [ステップ1] ソフトウェアを インストールする [ステップ2] カードライター本体用の ドライバをインストールする [ステップ3] カードライター本体を アップグレードする オンライン登録 プログラムのアンインストール ユーザーインフォメーション 刺しゅうデータを作成するための	7 7 8 10 12 14 14 14
インストールの手順 動作環境の確認 [ステップ1] ソフトウェアを インストールする [ステップ2] カードライター本体用の ドライバをインストールする [ステップ3] カードライター本体を アップグレードする オンライン登録 プログラムのアンインストール ユーザーインフォメーション 刺しゅうデータを作成するための ヒントとテクニック	7 7
インストールの手順 動作環境の確認 [ステップ1] ソフトウェアを インストールする [ステップ2] カードライター本体用の ドライバをインストールする [ステップ3] カードライター本体を アップグレードする オンライン登録 プログラムのアンインストール	7 7 8 10 12 14 14 14 15 15

第1章

操作の	D流れ	<u> 19</u>
使ってみる	ましょう	20
本章のあ	ららまし	20
自動で刺し	_ノ ゅうデータを作成する	21
オートバ	ペンチ機能を使う	
Step 1	レイアウトセンターを起動する	21
Step 2	画像データを取り込む	22
Step 3	画像のサイズや位置を調整する	23
Step 4	原画を刺しゅうデータに	
	自動変換する	23
Step 5	刺しゅうデータをプレビューする	24
Step 6	刺しゅうデータを保存する	25
Step 7	オリジナルカードへ	
	刺しゅうデータを書き込む	26
Step 8	レイアウトセンターを終了する	26

	テッチ機能を使う	27
Step 1	レイアウトセンターを起動する	27
Step 2	画像データを取り込む	28
Step 3	画像のサイズや位置を調整する	29
Step 4	原画を刺しゅうデータに	
	自動変換する	29
刺しゅうテ	- ータを作成・編集する	32
デザイン	センターを使う	32
Step 1	デザインセンターを起動する	32
Step 2	原画(画像ファイル)を開く	33
Step 3	ステージ2(輪郭線画ステージ)	33
Step 4	輪郭線画を編集する	34
Step 5	ステージ3 (輪郭データステージ)	35
Step 6	ステージ4 (縫い方設定ステージ)	36
Step 7	縫い方を設定する	36
Step 8	刺しゅうデータをプレビューする	39
Step 9	刺しゅうデータを保存する	40
レイアウ	トセンターを使う	11
Stop 1	デビノタ とぼう	41
Step 1	リッイノビノターから	44
Stop 2	取し込んだ剤しゅうデータの	41
Step 2	取り込んに利しゆうノークのサイズの位果を調整する	10
Stop 2	リイスや位置を調整する	40
Step 3	対しゆフノータを追加する	43
Step 4	スナで加える 四の用しに立つた配列する	43
Step 5		47
Step 0	ストリームの口を加える	47 10
Step 7	リログノムダダミ種いを医抗する 問じたたわぬた世いア	40
Stepo	オレルがで油いて、	
0. 0	病 / / / / / 人 つ	50
	十個と個米の悠い順も亦更する	50
Step 9	太陽と陽光の縫い順を変更する	50 51
Step 9 Step 10	太陽と陽光の縫い順を変更する	50 51 52
Step 9 Step 10 Step 11	太陽と陽光の縫い順を変更する 陽光の調整をする ドーナツ縫いを設定する	50 51 52 52
Step 9 Step 10 Step 11 Step 12	太陽と陽光の縫い順を変更する 陽光の調整をする ドーナツ縫いを設定する 刺しゅうデーキャー	50 51 52 52 53
Step 9 Step 10 Step 11 Step 12 Step 13	太陽と陽光の縫い順を変更する 陽光の調整をする ドーナツ縫いを設定する 刺しゅうデータをプレビューする オリジナルカードへ	50 51 52 52 53
Step 9 Step 10 Step 11 Step 12 Step 13	太陽と陽光の縫い順を変更する 陽光の調整をする	50 51 52 52 53 54
Step 9 Step 10 Step 11 Step 12 Step 13 Step 14	太陽と陽光の縫い順を変更する 陽光の調整をする ドーナツ縫いを設定する 刺しゅうデータをプレビューする オリジナルカードへ 刺しゅうデータを書き込む 刺しゅうデータを書き込む	50 51 52 52 53 54 55
Step 9 Step 10 Step 11 Step 12 Step 13 Step 14 Step 15	太陽と陽光の縫い順を変更する 陽光の調整をする ドーナツ縫いを設定する 刺しゅうデータをプレビューする オリジナルカードへ 刺しゅうデータを書き込む レイアウトセンターを終了する	50 51 52 52 53 54 55 55
Step 9 Step 10 Step 11 Step 12 Step 13 Step 14 Step 15 ステッチ	は 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	50 51 52 53 53 54 55 55 55
Step 9 Step 10 Step 11 Step 12 Step 13 Step 14 Step 15 ステッチ Step 1	太陽と陽光の縫い順を変更する 陽光の調整をする ドーナツ縫いを設定する オリジナルカードへ 刺しゅうデータを書き込む レイアウトセンターを終了する クリエイターを使う ステッチクリエイターを起動する	50 51 52 52 53 54 55 55 55 56 56
Step 9 Step 10 Step 11 Step 12 Step 13 Step 14 Step 15 ステッチ Step 1 Step 2	はため、 太陽と陽光の縫い順を変更する 陽光の調整をする ボーナツ縫いを設定する 刺しゅうデータをプレビューする オリジナルカードへ 刺しゅうデータを書き込む レイアウトセンターを終了する クリエイターを使う ステッチクリエイターを起動する プログラムタタミの	50 51 52 52 53 54 55 55 55 56
Step 9 Step 10 Step 11 Step 12 Step 13 Step 14 Step 15 ステッチ Step 1 Step 2	は 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	50 51 52 53 54 55 55 56 56 56 57
Step 9 Step 10 Step 11 Step 12 Step 13 Step 14 Step 15 ステッチ Step 1 Step 2 Step 3	は 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	50 51 52 52 53 54 55 55 56 56 56 57 58
Step 9 Step 10 Step 11 Step 12 Step 13 Step 14 Step 15 ステッチ Step 1 Step 2 Step 3 Step 4	(1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	50 51 52 53 54 55 55 56 56 56 56 57 58 59
Step 9 Step 10 Step 11 Step 12 Step 13 Step 14 Step 15 ステッチ Step 1 Step 2 Step 3 Step 4 Step 5	(1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	50 51 52 53 54 55 55 55 56 56 56 57 58 59 59
Step 9 Step 10 Step 11 Step 12 Step 13 Step 14 Step 15 ステッチ Step 1 Step 2 Step 3 Step 4 Step 5 Step 6	(1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	50 51 52 52 53 54 55 55 56 56 57 58 59 59 60

i

リファレンス リファレンス リファレンス リファレンス リファレンス あ能詳蓄 繊能詳蓄 繊能詳蓄 繊能詳 **デザインデータベース ステッチクリエイター ノイアウトセンター デザインセンター デザインデータベース ステッチクリエイター アイアウトセンター デザインセンター**

第2章 機能詳細

機能詳細	61
機能詳細 本章のあらまし	. 62 62
デザインセンター 画面	. <mark>63</mark> 64
ステージ1(原画ステージ)	. 65
画像データを取り込む ウィザードを使用する TWAIN 機器から画像データを取り込む	65 65 66
ステージ2(輪郭線画ステージ)	. 67
ステージ2で 新規デザインページを作成する 輪郭線の描画と消去のしかた	68 68
ステージ3(輪郭データステージ)	. 70
テサインページのサイスを設定する ステージ3で	71
新規デザインページを作成する	72
輪郭标を編集9る	72 72
輪郭データを移動する	73
輪乳データを拡大・縮小する	73
輪郭データを回転させる	74
輪郭データを削除する	74
輪郭データのポイントを編集する	75
小1 ノトを移動する ポイントを挿入する	75 75
ポイントを削除する	75
直線を描く	76
ステージ4(縫い方設定ステージ)	. 77
	/ /
緑と山に未巴と継い力を設定する	78 78
- にに 線縫い	79
縫い方バーの使い方	81
縺い刀の計和設定をするグラデーションを作成する	90
同心円縫いと放射縫いの中心点を移動する ドーナツ縫いを設定する	91 91
スタンプを設定・編集する	92
∧ 𝒴 𝒴 𝒴 𝔅 𝔅 𝔅 𝔅 𝔅 𝔅 𝔅 𝔅 𝔅 𝔅 𝔅 𝔅 𝔅	92 93
縫い順を確認・変更する	94
ステッチを確認する	95
縫製イメージをプレビューする	96
リナルノレヒューの設定を変更する	96

刺しゅうデータを
リファレンスウィンドウで見る
表示方法を切り替える97
表示領域枠を移動する97
表示領域枠を書き直す
表示領域枠を拡大・縮小する
保存する
上書き保存する98
新しい名前を付けて保存する
ソフトウェア設定を変更する
グリッドの設定を変更する
長さの単位を変更する
レイアウトセンター 100
画面101
■ 価値や刺しゅうデータを取り込む 102
二味(1)0,0,0,0 (cm, 10) ニザノンページを作用する 100
チリイノベージを作成 9 る
新焼ノッインページを計成する
レイアウトヤンターファイルを開く103
画 <u>後データた取り込む</u> 104
画像デークを取り込む
画家アークを取り込む104 TWAIN 機器から画像データを取り込む 105
山間絵を作る
クリップボードから画像データを取り込む…107
画像の表示設定を変更する107
画像のサイズと位置を調整する107
画像のサイズと位置を調整する107 画像データを保存する108
画像のサイズと位置を調整する107 画像データを保存する108 画像データを
画像のサイズと位置を調整する107 画像データを保存する108 画像データを 自動的に刺しゅうデータに変換する109
画像のサイズと位置を調整する107 画像データを保存する108 画像データを 自動的に刺しゅうデータに変換する109 刺しゅうデータを取り込む121
画像のサイズと位置を調整する
画像のサイズと位置を調整する
画像のサイズと位置を調整する
画像のサイズと位置を調整する
画像のサイズと位置を調整する107 画像データを保存する108 画像データを 自動的に刺しゅうデータに変換する109 刺しゅうデータを取り込む121 ファイルから刺しゅうデータを取り込む121 デザインセンターから 刺しゅうデータを取り込む122 刺しゅうデータを取り込む123
画像のサイズと位置を調整する

ステッチデータを編集する	134
刺しゅうデータを	
ステッチデータに変換する	134
ステッチデータの針落ち点を編集する	134
ステッチデータの糸色を変更する	136
ステッチデータを	
ブロックに変換する (STB 変換)	136
ステッチデータの一部を切り取る	137
円と弧を描く	. 139
円または楕円を描く	139
円弧を描く	139
扇形を描く	140
円弧と弦を描く	141
円・円弧の種類を設定する	141
長方形を描く	142
角の丸みを設定する	142
直線と曲線を描く	1/3
直線と曲線と描く 両端の処理を指定する	144
マニュアルハンテンクテータを作成する…	. 145
又字を入力する	. 147
又子属性を指定する	149
人子を編集する	150
人子を選択する	151
人子庽性を設定りる 立字配列た乳字オス	152
人子能列を改た9 る 立 つ た 亦 形 オ ス	153
又于を変形する TruoTvpoの居性を設定する	150
The type の周にを改たする 立 ウ デ ー カ た 図 形 デ ー カ に 亦 協 才 ろ	156
又子) ータを因ル) ータに変換する	150
文子) ニッセ因ル) ニッに変換する モノグラムを作成する エ / ガラム屋供た地中する エ / ガラム屋供た地中する エ / ガラム 屋供た地中する エ / ガラム ■ エ / エ / ガラム ■ エ / ガラム ■ エ / エ / ガラム ■ エ / -	150
 スチリーラを図ボリーラに変換する モノグラムを作成する モノグラム属性を指定する エノグラム素性を指定する 	150
 スチノータを図ボノータに変換する モノグラムを作成する モノグラム属性を指定する モノグラムを編集する エノグラムの 	150 157 158 158
 	150 157 158 158
 マチノーラを図ボノーラに変換する モノグラムを作成する モノグラム属性を指定する モノグラムを編集する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する 	150 157 158 158 159
 スチノーラを図ボノーラに変換する モノグラムを作成する モノグラム属性を指定する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定・編集する 	157 158 158 159 159
 スチノータを図ボノータに変換する モノグラムを作成する モノグラム属性を指定する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定・編集する スタンプを設定する 	150 157 158 158 159 160 160
 スチノータを図ボノータに変換する モノグラムを作成する モノグラム属性を指定する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定・編集する スタンプを設定する スタンプを編集する 	150 157 158 158 160 160 161
 スキノータを図応ノータに変換する モノグラムを作成する モノグラム属性を指定する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定・編集する スタンプを設定する スタンプを編集する 線と面に縫い方を設定する 	150 157 158 158 159 160 160 161 162
 マチノータを図応ノータに変換する モノグラムを作成する… モノグラム属性を指定する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定・編集する スタンプを設定する スタンプを編集する 線と面に縫い方を設定する 糸色と縫い方を設定する 	150 157 158 158 159 160 160 161 162 163
 スキノータを図応ノータに変換する モノグラムを作成する モノグラム属性を指定する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定・編集する スタンプを設定する スタンプを編集する 線と面に縫い方を設定する 糸色と縫い方を設定する 縫い方の詳細設定をする 	150 157 158 158 159 160 161 161 163 163
 スキノータを図応ノータに変換する	150 157 158 158 159 160 160 161 163 166 174
 スキノータを図応ノータに変換する モノグラムを作成する モノグラム属性を指定する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定する スタンプを編集する ネタンプを編集する ネタンプを設定する ネタンプを編集する ネタンプを設定する ネタンプを編集する ホーナツ縫いを設定する エーブツ縫いを設定する エーブツ縫いを設定する 	157 158 158 159 160 160 161 163 166 174 175
 スキノータを図ボノータに変換する モノグラムを作成する モノグラムを編集する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定・編集する スタンプを設定する スタンプを編集する 線と面に縫い方を設定する 糸色と縫い方を設定する 縦い方の詳細設定をする グラデーションを作成する ドーナツ縫いを設定する アップリケウィザードを使う 	150 157 158 158 160 160 161 163 163 166 174 175 176
 スキノータを図ボノータに変換する モノグラムを作成する… モノグラム属性を指定する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定・編集する スタンプを設定する スタンプを編集する 線と面に縫い方を設定する 糸色と縫い方を設定する 糸色と縫い方を設定する がうデーションを作成する ドーナツ縫いを設定する アップリケウィザードを使う 刺しゅうデータを確認する 	130 157 158 158 159 160 161 162 163 166 174 175 176 177
 スキノータを図応ノータに変換する モノグラムを作成する モノグラム属性を指定する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定・編集する スタンプを設定する スタンプを設定する スタンプを編集する 線と面に縫い方を設定する 線と面に縫い方を設定する メ色と縫い方を設定する ダラデーションを作成する	130 157 158 158 159 160 160 161 162 163 166 177 177
 マナノータを図応ノータに変換する モノグラムを作成する モノグラム属性を指定する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定・編集する スタンプを設定する スタンプを設定する ネタンプを設定する ネタンプを設定する ネ色と縫い方を設定する 糸色と縫い方を設定する ゲーナツ縫いを設定する デーナンを作成する アップリケウィザードを使う 刺しゆうデータを確認する 2 点間の距離を測る 縫製範囲を設定する 	130 157 158 158 159 160 160 161 162 163 164 177 177 177
 スキノータを図応ノータに変換する モノグラムを作成する モノグラム属性を指定する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定・編集する スタンプを設定する スタンプを設定する 線と面に縫い方を設定する 糸色と縫い方を設定する ゲラデーションを作成する デップリケウィザードを使う 刺しゅうデータを確認する 2 点間の距離を測る 縫製範囲を設定する 繰り順と糸色を確認・変更する 	130 157 158 158 159 160 160 161 162 163 166 174 177 177 177
 マークを図応りータに変換する モノグラムを作成する… モノグラム属性を指定する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定・編集する スタンプを設定する 線と面に縫い方を設定する 線と面に縫い方を設定する	130 157 158 158 159 160 161 161 162 163 166 174 177 177 177
 マナノータを図応ノータに変換する モノグラムを作成する… モノグラム属性を指定する… モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定・編集する スタンプを設定する スタンプを設定する 線と面に縫い方を設定する	130 157 158 158 159 160 161 161 162 163 166 174 177 177 177 178
 スチノータを図応ノータに変換する	130 157 158 158 159 160 160 161 161 162 163 166 174 177 177 177 177 180
 スキノータを図応ノータに変換する	130 157 158 158 159 160 160 161 162 163 164 177 177 177 177 178 180 180
 マナノータを図応ノータに変換する モノグラムを作成する… モノグラム属性を指定する… モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する… スタンプを設定する スタンプを設定する ネタンプを設定する 線と面に縫い方を設定する	130 157 158 158 159 160 160 161 162 163 163 166 174 177 177 177 177 178 180 180 180
 マナノータを図応ノータに変換する モノグラムを作成する… モノグラムを構集する… モノグラムを編集する モノグラムの 文字と飾り模様を別々に編集する スタンプを設定する スタンプを設定する	

縫製イメージをフレヒューする	181
リナルノレヒューの設定を変更する	100
人丁ツナを唯認りる	182
料しゆりナーツ 旧牧を唯認りる	103
ユーザーポリストを作成・編集りる 刺しゅうデータを	184
料しゅうテーダを リファレンスウィンドウで見る	187
表示方法を切り替える	187
表示領域枠を移動する	187
表示領域枠を書き直す	187
表示視ッ件を拡大・縮小する	187
保存・印刷する	188
保存する	188
上書き保存する	188
新しい名刖を竹けて休存する	188 188
オリジナルカードへ	100
刺しゅうデータを書き込む	189
オリジナルカードへ	
複数の刺しゆうデータを書き込む	190
	192
印刷りる 印刷の乳空た亦再する	192
印刷の設定を変更する 縫製イメージを確認する	192
印刷する	194
ソフトウェアの設定を変更する	195
各設定を変更する	
各設定を変更する	195 195
各設定を変更する グリッド設定を変更する 長さの単位を変更する	195 195 195
各設定を変更する グリッド設定を変更する 長さの単位を変更する 大型刺しゅう枠をお使いの方へ	195 195 195 195
各設定を変更する グリッド設定を変更する 長さの単位を変更する 大型刺しゅう枠をお使いの方へ 大型刺しゅう枠用のデータを作成する	195 195 195 196
各設定を変更する	195 195 195 196 196
各設定を変更する グリッド設定を変更する 長さの単位を変更する 大型刺しゅう枠をお使いの方へ 大型刺しゅう枠用のデータを作成する デザインページのサイズを設定する 刺しゅうデータを作成する	195 195 195 195 196 196 197 197
各設定を変更する グリッド設定を変更する 長さの単位を変更する 大型刺しゅう枠をお使いの方へ 大型刺しゅう枠用のデータを作成する デザインページのサイズを設定する 刺しゅうデータを作成する 刺しゅうデータを作成する 刺しゅうデータをチェックする	195 195 195 196 196 196 197 197 197
各設定を変更する	195 195 195 196 196 196 197 197 197 198 199
各設定を変更する	195 195 195 196 196 196 197 197 197 198 199
各設定を変更する	195 195 195 196 196 196 197 197 197 198 199 199
各設定を変更する グリッド設定を変更する 長さの単位を変更する 大型刺しゅう枠をお使いの方へ 大型刺しゅう枠用のデータを作成する デザインページのサイズを設定する 刺しゅうデータを作成する	195 195 195 196 196 196 196 197 197 197 199 199 199 200
各設定を変更する	

リファランス リファランズ リファランズ リファランズ シファランズ 無能詳描 繊能詳描 (新能詳者)

東部にする、 スア・シチクリエイター アメアウトセンター ドサインドーのミース スア・シチクリエイター アメアウトセンター ドサイン・センター

プログラムタタミ / スタンプモードで

パターンを編集する	206
パターンを選択する	
パターンを移動する	
パターンを拡大・縮小する	207
パターンを削除する	207
パターンを切り取る	
パターンをコピーする	
パターンを複製する	
パターンを貼り付ける	
パターンを上下に反転させる	
パターンを左右に反転させる	
パターンを回転させる	
プログラムタタミ / スタンプモードで	
ポイントを編集する	209
ポイントを移動する	

ポイントを挿入する	210
ポイントを削除する	210
面の縫い方を設定する	210
モチーフモードでパターンを作成する	212
モチーフモードでパターンを編集する	213
複数のポイントを一度に移動・削除する。	213
パターンを拡大・縮小する	213
パターンを上下または左右に反転させる。	213
保存する	214
上書き保存する	214
新しい名前を付けて保存する	214
各設定を変更する	215
下絵の表示設定を変更する	215

グリッド設定を変更する......215 デザインデータベース.......216

ッコンナーダベース	210
画面	216
デザインデータベースを起動する	217
刺しゅうファイルを整理する	217
新規フォルダを作成する	217
刺しゅうファイルを	
別のフォルダに移動・コピーする	217
刺しゅうファイルの名前を変更する	218
刺しゅうファイルを削除する	218
コンテンツビューの	
表示のしかたを変更する	219
刺しゅうファイルを開く	219
レイアウトセンターで	
刺しゅうファイルを開く	219
レイアウトセンターで	
刺しゅうファイルを取り込む	220
刺しゅうファイルを確認する	220
刺しゅうファイルをプレビューする	220
刺しゅうファイルの情報を確認する	221
刺しゅうファイルを検索する	222
刺しゅうファイルを別の形式に変換する	223
一覧(刺しゅう見本)を出力する	224
印刷する	224
HTML ファイルを出力する	224
CSV ファイルを出力する	225

ツールホックスホタン一覧	228
ステージ2(輪郭線画ステージ)	228
ステージ3(輪郭データステージ)	228
ステージ 4 (縫い方設定ステージ)	229
メニュー一覧	230
ファイルメニュー	
編集メニュー	
縫い方メニュー	
表示メニュー	
オプションメニュー	
ステージメニュー	
ヘルプメニュー	
レイアウトセンター	235
ツールボックスボタン一覧	235
メニューー覧	236
ファイルメニュー	
編集メニュー	
画像メニュー	
文字メニュー	
縫い方メニュー	
表示メニュー	
オプションメニュー	
ヘルプメニュー	
ステッチクリエイター	243
ツールボックスボタン一覧	243
メニュー一覧	243
ファイルメニュー	
モードメニュー	
編集メニュー	244
表示メニュー	
ヘルプメニュー	
デザインデータベース	247
メニューー覧	247
ファイルメニュー	
編集メニュー	
表示メニュー	
オプションメニュー	
ヘルプメニュー	
索引	250

お使いになる前に

「刺しゅう PRO」でできること

「刺しゅう PRO」の多彩な編集機能により、自由にあなただけの刺しゅうデータを作成できます。イラストや 写真、文字も、簡単にオリジナル刺しゅうに変えることができます。

画像を自動的に刺しゅうデータにできます



○ 詳しくは、P.21の「オートパンチ機能を使う」を参照してください。

写真を自動的に刺しゅうデータにできます





○ 詳しくは、P.27の「フォトステッチ機能を使う」を参照してください。

マニュアルで刺しゅうデータを作成・編集できます

パソコン上で描いた絵や文字に縫い方を設定したり、刺しゅうデータを組み合わせたりすることができます。 さらに、いろいろな縫い方を使って、様々な刺しゅうデータをデザインできます。



○ 詳しくは、P.32の「刺しゅうデータを作成・編集する」を参照してください。

3つのアプリケーションソフトで作成できます

■デザインセンター

- ▶ P.32 の「デザインセンターを使う」を参照してください。
- さらに詳しい説明は、P.63 から P.99 を参照してください。

レイアウトセンター

- P.21の「自動で刺しゅうデータを作成する」を参照してください。
- ▶ P.41の「レイアウトセンターを使う」を参照してください。
- さらに詳しい説明は、P.100から P.200を参照してください。

■ ステッチクリエイター

▶ P.56 の「ステッチクリエイターを使う」を参照してください。

○ さらに詳しい説明は、P.201 から P.215 を参照してください。

本書の読み方

本書の構成

本取扱説明書は操作の流れ、機能詳細、およびリファレンスの3つの章で構成されています。

■操作の流れ

本章のステップに従って順に操作をしながら、刺しゅうデータを作成してみましょう。初めてお使いになる 方を対象に、基本的な操作方法や機能を説明しています。

■機能詳細

本章では、各アプリケーションソフトごとに機能と操作方法を詳しく説明しています。操作の流れで作成し た刺しゅうデータより、より高度で装飾的な刺しゅうデータを作成できます。

リファレンス

本章では、各アプリケーションソフトのツールボックスとメニューを一覧で説明しています。 アイコンやメ ニューコマンドの用途や使用方法、ショートカットキー、ツールバーのボタンを確認できます。

用語解説

本書では、以下の用語を、次のような意味で使用しています。

刺しゅうデータ:デザインページ上に配置できる各種データの総称です。刺しゅうデータとして、図形データ (円、長方形、曲線、直線など)、文字データ、モノグラムデータ、マニュアルパンチングデータ、ステッチ データがあります。

大型刺しゅう枠:大きな刺しゅうデータを縫製するために、ミシンへの取り付け部が3箇所ある刺しゅう枠。 縫い方:刺しゅうデータに設定する縫製種類です。線に対してはサテン縫い、走り縫いなどがあります。面に 対してはタタミ縫い、サテン縫いなどがあります。

はじめに

アプリケーションソフト

本製品には、3つの刺しゅうデザイン作成ソフトと刺しゅうデータ管理ソフトが含まれています。

デザインセンター

デザインセンターは、原画から刺しゅうデータを作成するときに使います。原画は、お手持ちのスキャナで読み込んだ画像ファイルや、ペイント[®]のようなアプリケーションを使用して作成された画像ファイルを使うことができます。ただし、使用できるファイルの拡張子は、.bmp、.tif、.jpg、j2k、.pcx、.wmf、.png、.eps、.pcd、.fpx のいずれかです。デザインセンターでは、原画の輪郭線を検出し、編集可能な刺しゅうデータを作成します。 手順は 4 つのステージに分かれます。

- □ **ステージ1 (原画ステージ)**: 原画の画像ファイルを開き、刺しゅうデータの輪郭線にしたい色を選択するステージです。
- □ ステージ2 (輪郭線画ステージ):

ステージ1(原画ステージ)の原画を、白黒のイメージに置き換えるステージです(ステージ1で輪郭線として選択した色は黒に、他の色はすべて白に変わります)。このイメージを、太さの異なるペンツールを使って修正することができます。(また、ステージ2から作業を開始し、ペンツールを使ってイメージをフリーハンドで描くことをできます。)

- イメージが準備できたら、自動トレーシング処理を開始します。
- □ ステージ3 (輪郭データステージ):

ステージ2の白黒のイメージを、輪郭データに置き換えるステージです。ポイントを移動、挿入、削除 し、輪郭データを編集することができます。

□ ステージ4 (縫い方設定ステージ):

刺しゅうデータの線と面の糸色と縫い方を設定するステージです。

どのステージでも、作業を保存し後で呼び出すことができます。ステージ2(輪郭線画ステージ)では、拡張 子.pelのファイルとして保存されます。ステージ3(輪郭データステージ)とステージ4(縫い方設定ステー ジ)では、拡張子.pemのファイルとして保存されます。さらに、取り込んだイメージが保存されていない場 合は、拡張子.bmpのファイルとして保存されます。

ステージを移動するときに保存しておくと、もう一度元のデータを使用したいときに便利です。

ステージ 4(縫い方設定ステージ)に達した刺しゅうデータは、レイアウトセンターにステッチデータとして 取り込むことができます。レイアウトセンターでは、取り込んだデータを移動や拡大・縮小することができま す。

■ レイアウトセンター

レイアウトセンターは、原画から刺しゅうデータを自動的に作成したり、図形データや文字データを作成、編集 しそれらを組み合わせて刺しゅうデータを作成したり、オリジナルカードに書き込むときに使います。原画は、 お手持ちのスキャナで読み込んだ画像ファイルや、ペイント[®]のようなアプリケーションを使用して作成された 画像ファイルを使うことができます。使用できる画像ファイルは、拡張子が .bmp、.tif、.jpg、.j2k、.pcx、.wmf、 .png、.eps、.pcd、.fpx のいずれかです。それ以外に組み合わせができる刺しゅうデータは以下のデータです。

- □ デザインセンターで作成された刺しゅうデータ
- □ 別売の刺しゅうカード内の刺しゅうデータ (刺しゅう PRO では、キャラクターもの、漢字カード等、読み込めない刺しゅうカードもあるのでご注意ください。)
- □ Tajima (.dst)、Melco (.exp)、Pfaff (.pcs)、Husqvarna (.hus)、ブラザー刺しゅうミシン (.phc) 形 式の刺しゅうデータ
- □ レイアウトセンターで作成された刺しゅうデータ(文字、モノグラム、円・円弧、長方形、曲線、直線、マニュアルパンチングで作成されたデータ)

刺しゅうデータを構成する様々なデータを集めたら、レイアウト機能を使用して、その位置、角度、大きさを 調整します。

刺しゅうデータが完成したら、データを保存(拡張子 .pes)し、オリジナルカードに書き込みます。そのオリ ジナルカードをお使いのミシンに差し込めば、刺しゅうすることができます。

■ ステッチクリエイター

ステッチクリエイターは、プログラムタタミ縫いやモチーフ縫いのパターンの作成、編集、保存ができます。 そのパターンは、デザインセンターやレイアウトセンターで、プログラムタタミ縫いやモチーフ縫いの他に、 縫い方が設定された面に設定するスタンプとして利用できます。プログラムタタミ/スタンプパターンは.pas ファイルとして、モチーフパターンは .pmf ファイルとして保存されます。本アプリケーションには、数多く の.pas ファイルが用意されています。パターンはそのまま使用できますが、編集することもできます。

デザインデータベース

デザインデータベースは、パソコン上の刺しゅうファイルの検索やプレビューができます。ファイルの整理や、 使用したいファイルを見つけレイアウトセンターを使って開いたり取り込むことが簡単にできます。その他、 ファイルを他の形式 (.pes、.dst、.exp、.pcs、.hus) に変換したり、選択したフォルダ内の刺しゅうファイル を印刷したり、HTML ファイル画像として出力することもできます。選択したフォルダ内の刺しゅうファイル の縫い方情報を CSV(カテゴリがカンマで区切られているデータ)ファイルとして出力し、他のアプリケー ションで使用することもできます。

同梱品の確認

次の同梱品が全部そろっていること、それぞれに損傷のないことをお確かめください。同梱品が足りないとき や破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



バージョン 5.0 以降からのアップグレードキットには、カードライター本体とオリジナルカードは含まれていません。

お使いになる前に



- カードライターは、パソコンの USB コネクタから電源を得るので、電源ケーブル、電源スイッチなどは ありません
- •オリジナルカードを、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所、静電気や衝撃が加わる場所で、使用、保 管しないでください。また、カードを曲げないでください。

プログラムのインストール

インストールの手順

インストール手順は、ソフトウェアがフルバージョンかアップグレードバージョンかによって異なります。必 ず、次の手順でインストールを行ってください。

インストールバージョン 6.0(フルバージョン)	
[ステップ 1] ソフトウェアをインストールする	I© ₽.8
[ステップ 2] カードライター本体用のドライバをインストールする	😰 P.10

バージョン 5.0 ~ 5.01 からのアップグレード	
[ステップ 1] ソフトウェアをインストールする	I© P.8
[ステップ 2] カードライター本体用のドライバをインストールする	I© P.10
[ステップ 3] カードライター本体をアップグレードする	I [©] ₽.12

バージョン 5.02 以降からのアップグレード

[ステップ1] ソフトウェアをインストールする

() メモ:

A 注意:

バージョン 5.02 以降からのアップグレードをする場合は、ステップ 2 は不要です。

[ステップ 3] カードライター本体をアップグレードする

I[™] P.12

🚱 P.8

ん。 ・パソコンの電源を入れる前に、必ずパソコンからカードライターの USB コネクタを抜いておいてください。 カードライターが接続されている状態でパソコンの電源を入れると、バージョン 5.0 ~ 5.01 からのアップグ レードを行う際、インストールが正しく完了しない場合があります。

インストールの途中でキャンセルを行ったり、手順と違う操作を行うとインストールが正しくできませ

 カードライター本体をアップグレードするには、インターネットに接続する必要があります。インター ネットに接続できない場合は、お近くの販売店にお問い合わせください。

動作環境の確認

プログラムのインストール前に、ご使用になられるパソコンが以下の動作環境を満たしているかどうかご確認 ください。

パソコン	USB ポート標準装備の IBM-PC またはその互換機
OS	日本語 Microsoft Windows 98/98SE/ME/XP/2000
CPU 速度	Pentium 500 MHz 以上推奨
メモリ	64 MB 以上(推奨 256 MB 以上)
ハードディスクの空き容量	100 MB 以上
ディスプレイ	SVGA(800 × 600)の解像度で、High Color(16 ビット)表示以上が必要(True Color 推奨)
インターフェース	USB バージョン 1.1 以上
プリンタ	ご使用のシステムでサポートされているプリンタ(画像を印刷したい場合)
CD-ROM ドライブ	



カードライターは、電源を USB コネクタから得ていますので、電源を充分供給することが可能なパソコンの USB コネクタ、もしくは自己電源タイプ(セルフパワータイブ)の USB ハブに接続してください。その他のコネクタに接続された場合、正しく動作しないことがあります。
 自作のパソコン、拡張 USB ボードでは、正しく動作しないことがあります。

[ステップ1] ソフトウェアをインストールする

付属の CD-ROM を使って、プログラムをインストールします。



() メモ:

インストールの手順は、Windows XP の場合で説明しています。他の OS の場合、画面や手順が若干異なる場合があります。

 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに セットします。



→ セットアップウィザードが起動し、最初の ダイアログボックスが表示されます。



お使いになる前に

(*) 例:D:¥setup.exe (CD-ROM が D ド ライブのとき)

次へをクリックして、インストールを続行 します。

→ダイアログボックスが表示され、ソフト ウェアのインストール先のフォルダを選 択できます。



) メモ :

他のフォルダにインストールしたいとき:

- 1) 参照をクリックします。
- 2) フォルダの選択ダイアログボックスが表示されたら、ドライブとフォルダを選択します。(必要な場合はフォルダ名を入力します。)
- 3) **OK** をクリックします。
- → セットアップウィザードの**インストー ル先の選択**ダイアログボックスに、選 択したフォルダが表示されます。
- 次へをクリックすると、選択したフォルダ にインストールされます。
- 前の設定に戻るには、戻るをクリックします。
- インストールを中止する場合は、キャンセルをクリックします。
- 次へをクリックすると、標準設定(または 選択した)のフォルダにインストールされ ます。

	InstallShould Wicondの定て RLayPRO VedGetンドアング度にてはよ。 だめイアンジンを見かえてお見た。 コ ロに、まずで、REARE フィイルを起かます。 DEで7月29ンクしてヒッドアンではWTUC(ただい。	
--	--	--

4. 完了をクリックして、セットアップを終了します。



[→] インストールが完了すると、次のダイアロ グボックスが表示されます。

[ステップ2] カードライター本体用のドライバをインストールする

カードライター本体用のドライバをインストールする方法について説明します。

Q 注意:

バージョン 5.02 以降からアップグレードする場合は、本ページ [ステップ 2] は飛ばし、P.12 の「[ステップ 3] カードライター本体をアップグレードする」の手順に進んでください。

 カードライターの USB コネクタをパソコ ンの USB コネクタに接続します。 コネクタが奥まで挿入されているか確認 してください。



<u>インターネットに接続した Windows XP</u> で、Service Pack 2 をインストール済みで ないお客様の場合:

→ ドライバのインストールは自動的に完了 します。

その他のお客様の場合:

→ しばらくすると、新しいハードウェアの検 出ウィザード(または、新しいハードウェ アの追加ウィザード)ダイアログボックス が表示されます。 <u>インターネットに接続したWindows XPで</u> Service Pack 2 をインストール済みの場 合:はい、今回のみ接続しますを選択して から、次へをクリックします。



(注) お客様の環境によっては、この画面が表示されない場合があります。その場合には、そのまま下記の手順に進んでください。

ソフトウェアを自動的にインストールす る(推奨)を選択してから、次へをクリッ クします。

新しいハードウェアの検出ウィザード	
	このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします: USB-WRITER
	< 戻る(B) 次へ(M) > キャンセル

<u>インターネットに接続されていない</u> Windows XP の場合: いいえ、今回は接続 しませんを選択してから、次へをクリック します。



(注) お客様の環境によっては、この画面が表示されない場合があります。その場合には、そのまま下記の手順に進んでください。

ー覧または特定の場所からインストール する(詳細)を選択してから、次へをク リックします。



USB カードリーダー/ ライターのための 新しいデバイスドライバをインストール するために、**リムーバブルメディア(フ** ロッピー、CD-ROM など)を検索を選択 してから、次へをクリックします。



<u>Windows 98 の場合:</u>使用中のデバイスに 最適なドライバを検索する(推奨)を選択 し、次へをクリックします。



CD-ROM ドライブを選択し、次へをクリックします。



<u>Windows Me の場合:</u>ドライバの場所を 指定する(詳しい知識のある方向け)を 選択し、次へをクリックします。



リムーバブルメディア (フロッピー、CD-ROM など)を選択してから、次へをクリッ クします。

KUAVI-ドウムアの活動かんサード

 KUAVI-ドウムアの活動かんサード

 MALINFALUXALIN-ドドライブのドライバスータン・次の速度

 た場所の珍愛来されます。検索を留聴するには、こよべしをクリックに

 ペクシック

 ・ 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する。(確認)

 ・ リムーバブル メディア つロッピー、CD-ROM など)(M)

 ・ 検索場所の指定(L)

 ・ 使用(G)

 ・ 特定の場所にあるすべてのドライバター覧を表示し、インストール

 く 戻る(G)

 次へ

 キャンセル



CD-ROM ドライブを選択し、次へをクリックします。



- 新しいハードウェアの検出ウィザード(または、新しいハードウェアの追加ウィザード)の手順に従って、ドライバのインストールを完了します。
- CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出 します。

[ステップ 3] カードライター本体をアップグレードする

カードライター本体をバージョン 6.0 ヘアップグレードする方法について説明します。バージョン 5.0 以降か らアップグレードする場合は、カードライター本体のアップグレードも必要です。ソフトウェアをインストー ルしたら、次の手順に従ってカードライター本体をバージョン 6.0 ヘアップグレードしてください。

Q 注意:

- カードライター本体がアップグレードされていない場合は、お試し版として使用できる回数に達した後
- は、バージョン 6.0 のデザインセンターとレイアウトセンターは使用できなくなります。
- カードライター本体をアップグレードするには、インターネットに接続する必要があります。インターネットに接続できない場合は、お近くの販売店にお問い合わせください。
- 1. レイアウトセンターを起動します。

→次のダイアログボックスが表示されます。



- 2. 今すぐアップグレードをクリックします。
 - → アップグレードウィザードが起動し、最初のダイアログボックスが表示されます。



3. 次へをクリックします。



- CD-ROMケースに付いているラベルの15桁 の製品 ID を入力し、次へをクリックしま す。
 - →入力した製品 ID とカードライター本体から自動的に取り込まれたシリアル番号が 表示されます。



- 次へをクリックします。インターネット経 由で当社のサーバにアクセスしアップグ レードキーを取得します。
 - → アップグレードキーを正常に取得できた
 ら、次のダイアログボックスが表示されます。

カードライター ア	ップグレード ウィザード			
-	正常に取得できました			
	TT HIGHNIG C GROVES			
じたへ	」を押すと、カードライターのアッ	プグレードを開始し	ます。	
		〈 戻る(旦)	<u> </u>	キャンセル

次へをクリックし、カードライター本体の アップグレードを開始します。

→ アップグレードが正常に完了すると、次の ダイアログボックスが表示されます。





オンライン登録

アップグレード等のご連絡や、今後の製品開発・改良の貴重な資料とさせていただくため、本製品は登録手続 きを短時間で行えるようにオンラインでユーザー登録できるようになっております。

レイアウトセンターの**ヘルプ**メニューのオンライン登録をクリックすると、インストールされているブラウザ が起動し、当社のホームページ「オンライン登録」のページが開きます。

注意:
 インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続する環境が整っていないと、
 この機能は使用できません。

プログラムのアンインストール

- 1. パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。
- タスクバーのスタートボタンをクリックし、コントロールパネルを選択します。
- 表示されたコントロールパネルダイアログボックスでプログラムの追加と削除アイコンをダ ブルクリックします。

)注意:

Windows XP 以外の OS では、スタートメニューの設定を選択してから、コントロールパネルをクリック します。表示されたコントロールパネルダイアログボックスでアプリケーションの追加と削除アイコンを ダブルクリックします。

4. 表示されたダイアログボックスで、本ソフトウェアを選択して、変更と削除をクリックします。

ユーザーインフォメーション

本製品についてのご質問・ご意見は、「刺しゅう PRO ユーザーインフォメーション」までお気軽にお申し付け ください。

刺しゅう PRO ユーザーインフォメーション

TEL	(052) 824 - 2611
受付時間	10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
営業日	月曜日~金曜日(祝祭日、当社休日はお休みとさせていただきます。)

1 注意:

ユーザーインフォメーションにお問い合わせいただく前に、次の情報をお手元にご用意ください。 • 使用しているパソコンのメーカーとモデルおよび Windows のバージョン(P.8 を参照し、本製品の動作

- 環境を再度確認してください。)
- •表示されるエラーメッセージに関する情報

刺しゅうデータを作成するためのヒントとテクニック

■広い範囲を縫うときは

広い範囲でサテン縫いを使うと、布や糸の種類により、縫製後に縫った部分が縮んでしまうことがあります。 このような場合にはタタミ縫いを試すかあるいは、布地に接着芯等で裏打をして補強してみてください。



注意:

広い範囲でサテン縫いを使うと、ミシンによっては、針の位置が **10**mm 位ずれてしまうことがあります。 これを防ぐには、上記の方法を試してみてください。

■縫い方向について

縫い縮みを抑えるためには、縫う方向を、長い辺に直角になるように設定します。





■縫い順について

(デザインセンターやレイアウトセンターにより)複数の刺しゅうデータを組み合わせた刺しゅうデータを作成したら、縫い順を確認し、必要に応じてデータを修正してください。

デザインセンターでは、縫い方を設定した順序が標準の縫い順となります。

レイアウトセンターでは、データを描画した順序が標準の縫い順となります。

刺しゅうデータの拡大・縮小について

取り込んだ刺しゅうデータ(ステッチデータ)をレイアウトセンターで拡大・縮小する方法として、カーソル でデータをそのまま拡大・縮小する方法や、データを STB 機能(Stitch to block 機能)(P.136 参照)でマニュ アルパンチングデータに変換してから拡大・縮小する方法があります。

通常、そのまま拡大・縮小すると、縫製される針数は変わらず、縫い目が粗くまたは細かくなるので、データのサイズを大きく変えると、刺しゅう品質が変わってしまいます。ただし、Ctrl キーを押しながら拡大・縮小すると、糸密度や針落ちパターンが自動的に新しいサイズに合わせて変更されるので、元の刺しゅう品質を 維持することができます。

STB機能(Stitch to Block機能)により変換されたマニュアルパンチングデータは、拡大・縮小しても、元の刺しゅう品質を維持することができます。また、縫い方や形状を編集することもできます。データを少しだけ拡大・縮小する場合は、STB機能を操作する必要はありません。

この「刺しゅう PRO」では、オリジナルの刺しゅうデータが作成できるように、様々な縫い方(糸密度、 縫いピッチ等)がサポートされています。しかし、最終的な仕上がりは、ご使用のミシンの性能や実際の 縫製条件(布、糸など)によって異なる場合がありますので、実際にご使用になるミシン、縫う条件で、 必ず試し縫いを行ってください。試し縫いには、最終的に使用するものと同じ布、針、ミシン刺しゅう糸 を使用してください。

縫い方の種類

各縫い方の設定は、初期設定では標準値が設定されていますが、設定を変更して独自のステッチを作成できます。(詳しくは、P.85から P.89 および P.167から P.173を参照してください。)

■線の縫い方の種類

サテン縫い



走り縫い



モチーフ縫い



E/V ステッチ



() メモ:

モチーフ縫いは、選択するパターンによって模様が変わります。詳しくは、**P.88** と **P.167** の「モチーフ縫い」を参照してください。

■面の縫い方の種類

サテン縫い



プログラムタタミ縫い



モチーフ縫い

タタミ縫い





) メモ:

プログラムタタミ縫いとモチーフ縫いは、選択するパターンによって模様が変わります。詳しくは、P.87 と P.170 の「プログラムタタミ縫い」および P.88 と P.167 の「モチーフ縫い」を参照してください。

クロスステッチ



放射縫い



パイピング縫い



同心円縫い



渦巻き縫い



第1章 操作の流れ

使ってみましょう

本章のあらまし

本章は、実際の操作を通して各アプリケーションの基本的な機能を理解していただけるように構成されていま す。

1. 自動で刺しゅうデータを作成する

1-1. オートパンチ機能を使う

レイアウトセンターのオートパンチ機能を使って、画像から自動的に刺しゅうデータを作成する方 法を説明します。

1-2. フォトステッチ機能を使う

フォトステッチ機能を使って、写真からよりリアルな刺しゅうデータを作成する方法を説明します。

2. 刺しゅうデータを作成・編集する

2-1. デザインセンターを使う

デザインセンターを使って、4 つのステージを踏むことにより画像から刺しゅうデータをマニュア ルで作成する方法を説明します。

2-2. レイアウトセンターを使う

デザインセンターで作成した刺しゅうデータをレイアウトセンターに取り込みます。レイアウトセンターで新たに刺しゅうデータを作成しそれらを組み合わせたり、レイアウトをし直したり、刺しゅ うデータの編集方法を説明します。

2-3. ステッチクリエイターを使う

ステッチクリエイターを使って、既存のパターンを編集する方法を説明します。

I® P.21

P.27

P.32

P.41

P.56

オートパンチ機能を使う

自動的に原画から刺しゅうデータを作ってみましょう。

下記のステップに従って、順に進んでください。作業を中断する場合は、ファイルを保存しましょう(P.25の ステップ6「刺しゅうデータを保存する」を参照)。保存したファイルを後で呼び出して作業を再開できます。 オートパンチ機能を使った基本操作の手順を一通り練習します。

ステップ1	レイアウトセンターを起動する	P.21
ステップ 2	画像データを取り込む	P.22
ステップ3	画像のサイズや位置を 調整する	P.23
ステップ4	原画を刺しゅうデータに 自動変換する	P.23
ステップ 5	刺しゅうデータをプレビューする	P.24
ステップ6	刺しゅうデータを保存する	P.25
ステップ7	オリジナルカードへ 刺しゅうデータを書き込む	P.26
ステップ8	レイアウトセンターを 終了する	P.26

ステップ 1 レイアウトセンターを起動する

1. *1. 1. 7.7*

↓ メモ:

レイアウトセンターへのショートカットがデ スクトップ上などに作成されている場合は、 そのアイコンをダブルクリックしても起動で きます。



→ レイアウトセンター画面が表示されます。

メモ:

- ディスプレイ画面全体にレイアウトセン ター画面を表示するには、タイトルバーの 右端の最大化ボタンをクリックします。
- ・ここで、メニューバーのオプション→デザ インページの設定をクリックすると、デザ インページの設定を変更できます(詳しく は、P.102 を参照)。ここでは、デザイン ページの設定は変更しません。

自動で刺しゅうデータを作成する



ステップ2 画像データを取り込む まず、刺しゅうデータに変換する原画(画像ファ イル)を取り込みます。 1. メニューバーの画像→入力→ファイルか らをクリックします。

→ 画像を開くダイアログボックスが表示されます。

画像を開く		? 🛛
ファイルの場所の:	🔁 Data 💽 🔶 🖬 🖬 🕇	
ClipArt Photo Angelbmp Fishbmp Flower.bmp Rudolph.bmp		
ファイル名心: ファイル名心:	■検コッ(1).(1).hwo.kood&forcktifk.ingtoreckup = ないっけり.	☞ ブレビュー
11111111111111	The second strategy and the second strategy and the second strategy and the second strategy and second str	11

ClipArt フォルダをダブルクリックして開きます。

 ClipArt フォルダのサンプルファイル tulip.bmp を選択します。

> ↓ メモ: プレビューチェックボックスがチェックされ ていると、選択したファイルの内容がプレ ビュー領域に表示されます。

開くをクリックして原画(画像ファイル) を開き、ダイアログボックスを閉じます。

> メモ: ファイル名をダブルクリックしても、原画 (画像ファイル)が開き、ダイアログボック スが閉じます。

→ 原画 (画像ファイル) が作業領域に表示されます。





5. 原画をドラッグして、移動します。



ステップ4 原画を刺しゅうデータに 自動変換する

 メニューバーの画像→ステッチウィザー ドの起動をクリックします。



または、次のツールバーボタンをクリック します。



→ **画像の変換方法の選択**ダイアログボック スが表示されます。



オートパンチを選択し、次へをクリックします。
 →原画が解析され、変換結果のイメージがオートパンチの設定ダイアログボックス

に表示されます。

|___| メモ:

- オートパンチの他に、以下の方法も選択できます。
- フォトステッチ1 (カラー/モノクロ)
 詳しくは、カラー設定については P.110、
 モノクロ設定については P.114 を参照してください。
- フォトステッチ2(カラー/モノクロ)
 詳しくは、カラー設定については P.116、
 モノクロ設定については P.117 を参照してください。
- •クロスステッチ 詳しくは、P.119を参照してください。
- デザインセンター
 詳しくは、P.32の「デザインセンターを使う」を参照してください。



() メモ:

- 画像変換のパラメーターの設定ができます (詳しくは、P.109 を参照)。設定を変更し たら、再変換をクリックして新しい設定で 画像を解析し直します。
- 面縫いが縫われない(刺しゅうデータに変換されない)領域は、Xマークで埋められて表示されています。刺しゅうデータに変換する/しないの設定は、各領域をクリックすると変更できます。

- 3. 完了をクリックします。
 - → 原画が刺しゅうデータに変換され、デザインページに表示されます。





実際にどのような縫い目になっているかプレ ビューを表示して、どのように縫製されるかリア ルプレビューを表示して確認できます。

 プレビュー画面を表示します。メニュー バーの表示→プレビューをクリックしま す。 または、次のツールバーボタンをクリック

します。

💱 🛱 💟 🤍 迹 뿣 🞯 🔛 📰 🖼 📃 🕌 プレビューーー

→ 作成した刺しゅうデータの縫製イメージ が表示されます。



自動で刺しゅうデータを作成する



3. 保存をクリックして、保存します。

自動で刺しゅうデータを作成する



フォトステッチ機能を使う

自動的に写真から写実的な刺しゅうデータを作ってみましょう。

下記のステップに従って、順に進んでください。作業を中断する場合は、ファイルを保存しましょう(P.25の ステップ6「刺しゅうデータを保存する」を参照)。保存したファイルを後で呼び出して作業を再開できます。 フォトステッチ機能を使った基本操作の手順を一通り練習します。

ステップ1	レイアウトセンターを起動する	P.27
ステップ2	画像データを取り込む	P.28
ステップ3	画像のサイズや位置を 調整する	P.29
ステップ4	原画を刺しゅうデータに 自動変換する	P.29



1. *1. 34 28*→
 ト たクリックし、すべてのプログ **ラム→刺しゅう** PRO Ver.6 → レイアウト **センター**と選択します。

> メモ: レイアウトセンターへのショートカットがデ スクトップ上などに作成されている場合は、 そのアイコンをダブルクリックしても起動で きます。



→ レイアウトセンター画面が表示されます。

() メモ:

- ディスプレイ画面全体にレイアウトセン ター画面を表示するには、タイトルバーの 右端の最大化ボタンをクリックします。
- ・ここで、メニューバーのオプション→デザ インページの設定をクリックすると、デザ インページの設定を変更できます(詳しく は、P.102 を参照)。ここでは、デザイン ページの設定は変更しません。




→ 画像を開くダイアログボックスが表示されます。

画像を開く		? 🛛
ファイルの場所の:	🔁 Data 💽 🔶 🖬 👘 📰 🕶	
ClipArt Photo Angelbmp Fishbmp Flowerbmp Rudolphbmp		
ファイル名(11):	I BK (Q)	▶ ブレビュー
ファイルの種類①	画像ファイル(*.bmpx*pcd*fpc*.tif/*jpc.*pcc/*.www ・ キャンセル	

Photo フォルダをダブルクリックして開きます。

 Photo フォルダのサンプルファイル girl.bmp を選択します。

> ↓ メモ: プレビューチェックボックスがチェックされ ていると、選択したファイルの内容がプレ ビュー領域に表示されます。

開くをクリックして原画(画像ファイル) を開き、ダイアログボックスを閉じます。

> メモ: ファイル名をダブルクリックしても、原画 (画像ファイル)が開き、ダイアログボック スが閉じます。

→ 原画 (画像ファイル) が作業領域に表示されます。





- 2. フォトステッチ1を選択し、カラーを選択してから、次へをクリックします。
 - →範囲の設定ダイアログボックスが表示されます。



() メモ:

フォトステッチ 1 (カラー) の他に、以下の 方法も選択ができます。

- •オートパンチ 詳しくは、P.109を参照してください。
- フォトステッチ1 (モノクロ)
 詳しくは、P.114 を参照してください。
- フォトステッチ2(カラー/モノクロ)
 詳しくは、カラー設定については P.116、
 モノクロ設定については P.117 を参照してください。
- クロスステッチ
 詳しくは、P.119 を参照してください。
 デザインセンター
- 詳しくは、P.32の「デザインセンターを使う」を参照してください。
- ダイアログボックスの下のマスクリストから、画像をトリミングする形状を選択し クリックします。

4. 画像プレビュー領域で、マスクの形状と位置を調整します。マスクのハンドルを移動して、刺しゅうデータに変換する画像部分を囲みます。



() メモ:

マスクの外側の画像は刺しゅうデータに変換 されません。

次へをクリックします。

→ 画像が解析され、範囲の確認ダイアログ ボックスが表示されます。



- 6. マスクの形状と位置の設定ができたら、次 へをクリックします。
 - → **フォトステッチ1の設定**ダイアログボック スが表示されます。

フォトステッチ1の設定				
- 縫い方 糸密度 粗い 細かい - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	自動選択の設定 <u> </u>			
3.0 • mm		Í	動選択	
- 優先項目	使用する	5色—		
◎ 縫い品質		色	糸番号	ブラン 🔼
○ 渡り糸削減	1 2 3		001 124 307	ブラザ ブラザ ブラザ
「原画の種類」	4		079	ブラザ
 写真 	6		085 804	ブラサー
0 152F	7		810	ブラザ 👦
デザインページの色一	<	1111	917	-ÿ=+f 🛀
🔽 ページの色も縫う		色	の変更	
〈 戻る キャンセル 次へ 〉				

- **7. 次へ**をクリックします。
 - →原画が刺しゅうデータに変換され、プレ ビューダイアログボックスに表示されます。



- 8. 完了をクリックします。
 - →刺しゅうデータがデザインページに表示 されます。



- ▶ 刺しゅうデータの保存については、P.25のステップ6「刺しゅうデータを保存する」を参照してください。
- 刺しゅうデータのオリジナルカードへの書き込みについては、P.26のステップ7「オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む」を参照してください。

デザインセンターを使う

4 つのステージを踏むことにより画像から刺しゅうデータをマニュアルで作成する方法を説明します。この刺 しゅうデータは、後でレイアウトセンターに取り込み、組み合わせて刺しゅうデータを作るときにも使います。 下記のステップに従って、順に進んでください。作業を中断する場合は、ファイルを保存しましょう(P.25の ステップ6「刺しゅうデータを保存する」を参照)。保存したファイルを後で呼び出して作業を再開できます。 デザインセンターの基本操作の手順を一通り練習しながら、その主な機能について紹介します。

ステップ1	デザインセンターを起動する	P.32
ステップ2	原画(画像ファイル)を開く	P.33
ステップ3	ステージ 2(輪郭線画ステージ)	P.33
ステップ4	輪郭線画を編集する	P.34
ステップ 5	ステージ3(輪郭データステージ)	P.35
ステップ6	ステージ 4 (縫い方設定ステージ)	P.36
ステップ7	縫い方を設定する	P.36
ステップ8	刺しゅうデータをプレビューする	P.39
ステップ 9	刺しゅうデータを保存する	P.40

ステップ1 デザインセンターを起動する

1. 3 30→→

 うム→刺しゅう PRO Ver.6 →

 デザインセ ンターと選択します。

デザインセンターへのショートカットがデス クトップ上などに作成されている場合は、そ のアイコンをダブルクリックしても起動でき ます。



→ どのように刺しゅうを作りますかダイア ログボックスとデザインセンター画面が 表示されます。





まず、刺しゅうデータを作成する原画(画像ファ

ます、利しゆうアータを作成する原画(画像クァ イル)を開きます。

どのように刺しゅうを作りますかダイア

ログボックスの 🦜 をクリックしま

す。

→原画からダイアログボックスが表示されます。





をクリックします。

→ 開くダイアログボックスが表示されます。



山 メモ:

デザインセンターのメニューバーの**ファイル** →**開く**をクリックしても、**開く**ダイアログ ボックスが表示されます。

 Data フォルダのサンプルファイル Flower.bmp を選択します。

() メモ:

プレビューチェックボックスがチェックされ ていると、選択したファイルの内容がプレ ビュー領域に表示されます。 **開く**をクリックして画像ファイルを開く と、ダイアログボックスが閉じます。

() メモ:

ファイル名をダブルクリックしても、原画 (画像ファイル) が開き、ダイアログボック スが閉じます。

→ 原画(画像ファイル)が、デザインページ と輪郭線の選択ダイアログボックスに表 示されます。



ステップ 3 ステージ 2(輪郭線画ステージ)

原画(画像ファイル)を開いたら、輪郭線画(刺 しゅうの輪郭線)に使用する色を選択し、ステー ジ2(輪郭線画ステージ)に移動します。



カーソルを輪郭線の選択ダイアログボックスの画像上に移動します。

→ カーソルの形が 🎢 に変わります。

↓ **メモ:** 画像を拡大(または縮小)して表示するには、 ズームスライダを上下に移動します。画像を 拡大表示している場合は、スクロールして隠 れた部分を表示してください。

2. 輪郭線をクリックします。

→ クリックした部分の色が右側のボックスに 表示されます。チェックボックスに が表 示されてその色が選択されたことを示しま す。



↓↓ メモ:

- 複数の色を輪郭線として使用する場合は、 ステップ 2. を繰り返して5色まで選択で きます。6 色以上選択すると、最後に選択 した5色がリストに表示されます。
- 色の選択を取り消すときは、チェックボックスをクリックしてチェックを外します。
- 原画の調整をクリックすると、色調調整や、 画像ノイズ(歪み)除去ができます。(詳し くは、P.68を参照してください。)
- プレビューをクリックして、輪郭線画のプレビューを確認します。

↓ メモ:

操作を中止しステージ 1(原画ステージ)に 戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。

 プレビューが思い通りの輪郭線画で表示 されたら、OKをクリックします。

→輪郭線画がデザインページに表示されます。



() メモ:

この段階で、データを.pelファイルで保存でき ます。詳しくは、P.40のステップ9「刺しゅ うデータを保存する」を参照してください。

ステップ 4 輪郭線画を編集する

面を形成するには、輪郭線が完全につながってい る必要があります。輪郭線がつながっていない場 合は修正します。輪郭線画を編集するときや細か いところの追加や消去をするときは、ツールボッ クスのペンや消しゴムを使って修正します。

ここでは、作業をしやすくするためにズームイン表示にしてから、消しゴムを使って輪郭線の一部を消去してみます。

1. 🔍 をクリックします。

→ カーソルを作業領域上に移動すると、カー

ソルの形が 🕀 に変わります。

2. 輪郭線画をクリックします。

|___ メモ:

- 輪郭線画をさらにズームインするには、ス テップ 2. を繰り返します。
- 特定部分をズームインするには、その領域 を囲むようにカーソルをドラッグします。
 ドラッグすると点線の四角が表示されて、
 マウスを離すと選択された領域がズームインされます。
 ツールボックスのズーム用ツールについては、P.228 を参照してください。

3. ツールボックスの 👢 をクリックします。

 カーソルを消去する線上に置いて、マウス の右ボタンを押します。

→ カーソルの形が へ に変わります。

- カーソルを慎重にドラッグして線を消去 します。
- ステップ4.と5.を繰り返して、数枚の葉 を消去します。



└── メモ:

- 輪郭線の一部を間違って消去したときは、 線を描き直すこともできます。その場合は、 マウスの左ボタンを押しながら線を描きま す。
- ・思い通りに編集ができないときは、メニューバーのステージ→原画ステージを選択してステージ1(原画ステージ)に戻り、輪郭線画に再変換し、編集をやり直すこともできます。
- 7. 輪郭線画の編集が終わったら、ツールボッ
 - クスの 💽 をクリックして、輪郭線画全体 を表示します。



🋄 メモ:

輪郭線画をズームアウト表示にするには

- ソールボックスの ♀ をクリックします。
 → カーソルを作業領域上に移動すると、 カーソルの形が⊖ に変わります。
- デザインページをクリックします。
 輪郭線画をさらにズームアウトするには、 ステップ2)を繰り返します。

ステップ 5 ステージ3 (輪郭データステージ)

ステージ 2 (輪郭線画ステージ) では、輪郭線画 は画像ビットマップ(単なる点とピクセルの集合) にすぎません。この段階での編集は、黒点を移動 または消去しているだけです。ステージ 3 (輪郭 データステージ) に進む段階で、輪郭データに変 換され、様々な編集が可能になります。

→輪郭線変換の設定ダイアログボックスが 表示されます。

66794支鉄の設定	解後度: ○ 細かい ○ 通常 ○ 粗い ✓ 細線化処理:5 少ない
デザインページの設定	<u> </u>

) メモ:

変換のための設定を選択できます(詳しくは、 P.70 を参照)。また、このダイアログボック スで、選択したデザインページの枠内(縫製 範囲)に、画像がどのように入るかをプレ ビュー領域で確認できます。

- **2. OK** をクリックします。
 - →輪郭線画が輪郭データに変換され、デザイ ンページに表示されます。



() メモ:

- ステージ3(輪郭データステージ)のツー ルボックスには、選択ツール、ポイント編 集ツール、直線描画ツールといった編集 ツールとズーム用ツールが用意されていま す。ツールについては、P.228を参照して ください。
- ・このステージでも、デザインページの設定を変更できます。メニューバーのオプション→デザインページの設定クリックします。(詳しくは、P.71を参照してください。)



 メニューバーのステージ→縫い方設定ス テージをクリックします。 または、次のツールバーボタンをクリック します。

💷 🔳 🎥 🏔 🎘 🦀

— 縫い方設定ステージ

→ ステージ 4 (縫い方設定ステージ)のツー ルボックスが表示されます。



このステージの各ツールで、刺しゅうデータの 各部の縫い方を設定し、それを確認できます。 ズーム用ツールもあります。

/ メモ:

ズームインやズームアウトを行うには、ステージ3(輪郭データステージ)で行った
 方法と同様に、ツールボックスの Qと

🭳 を使います。

デザインページを画面いっぱいに表示する
 には、ツールボックスの 登をクリックします。

ステップ 7 縫い方を設定する

刺しゅうデータの各部分に縫い方を設定します。

■輪郭線の縫い方を設定する

<u></u>∎h

للح

1. ツールボックスの 냋 をクリックします。

36



∼ ■ サテン縫い・ 🛲

2. 線の色を変更します。縫い方バーの線の色

ボタン(**三**)をクリックして表示され た**線の糸色**ダイアログボックスで設定す る色をクリックし、**閉じる**をクリックしま す。

ここでは、クロのままにしておきます。



|_| メモ:

タイトルバーにカーソルを置き、ダイアログ ボックスをドラッグして、ダイアログボック スを使いやすい位置に移動できます。

→ 縫い方バーの**線の色**ボタン(**■**)が選 択した色で表示されます。

3. サテン縫いを設定します。縫い方バーの線

の縫い方セレクタ(走り継い) をクリッサテン縫い 世テン縫い

クし、**サテン縫い**をクリックします。

4. サテン縫いの縫い方を設定します。メ ニューバーの縫い方→縫い方の設定をク リックします。 または、次のツールバーボタンをクリック します。

🐰 🖻 🖺 🐉 👰 U 🔜 😤 📟 🔜 🏭 🏔 🏔 🏔 - 縫い方の設定

→輪郭線の縫い方の設定ダイアログボック スが表示されます。各設定は、標準値が設 定されています。



 サテン幅を 2.0 mm から 1.0 mm に変更し ます。サテン幅の数値が 1.0 になるまでス ライダを左に移動します。

メモ:
 縫い方の設定ダイアログボックスを閉じるときは、閉じるボタンをクリックします。

- 6. 輪郭線をクリックし、縫い方(糸色、縫い 方の種類、サテン幅)を設定します。
 - → 次のように、輪郭線が赤い破線で表示され ます。



() メモ:

輪郭線幅が太すぎるときは、再設定します。 ステップ 5. の手順でサテン幅を変更し、輪 郭線をクリックして新しい設定を適用しま す。(縫い方の設定ダイアログボックスが表示 されていない場合は、変更する輪郭線上で右 クリックします。)



 タタミ縫いの縫い角度を変更します。縫い 角度の一定をクリックします。カーソルを 一定の下の赤い矢印上に移動し、その矢印 をドラッグして角度を設定します。

• カーソルを赤い矢印上に移動すると、形が

• それぞれの面を異なる縫い角度にすると、

↓ メモ:

ひ に変わります。



'F1'キーでヘルプを表



葉の面に縫い方を設定すると、次のようなイ メージが表示されます。



<花びらの一部の設定>

葉の設定と同様の手順で、ピンクを選択し、縫い角度をいろいろな角度に設定してから、設定する面をクリックします。



<残りの花びらの設定>

 アカを選択し、縫い角度を設定してから、 設定する面をクリックします。



実際にどのような縫い目になっているかプレ ビューを表示して、どのように縫製されるかリア ルプレビューを表示して確認できます。 (デザインセンターでは、プレビュー/リアルプレ ビュー機能はステージ4(縫い方設定ステージ)で のみ使用できます。)

 プレビューを表示します。メニューバーの 表示→プレビューをクリックします。 または、次のツールバーボタンをクリック します。

i 🗠 🛪 🐰 🗅 🗳 🐉 👧 V 🔜 🏭 📟 🏭 プレビュー -

→ 作成した刺しゅうデータの縫製イメージ が表示されます。



12. 注意:

デザインセンターでは、プレビューが表示されている間は、刺しゅうデータを編集できません。

([]) メモ:

 通常表示に戻るには、ステップ 1. を繰り 返すか、(Esc) キーを押します。



D 注意:

- リアルプレビュー画面では、刺しゅうデータの編集はできません
- モニタの設定が256 色以下の場合、正確な 色を表示できません。16ビットハイカラー (65536 色)以上の設定で使用してください。

[]] メモ:

 通常表示に戻すには、ステップ 3. を繰り 返すか、Esc キーを押します。

_{ステップ 9} 刺しゅうデータを保存する

この刺しゅうデータは、次に説明するレイアウト センターで、刺しゅうデータの一部として使いま す。そのため、この刺しゅうデータを保存する必 要があります。

- メニューバーのファイル→名前を付けて 保存をクリックします。
 - → 名前を付けて保存ダイアログボックスが 表示されます。

名前を付けて保存			? 🛛
保存する場所(1):	🚞 Data	1	💣 🎟 •
ClipArt Photo Angelpem			
ファイル名(<u>い</u>): ファイルの種類(①):	Flower.PEM デザインセンター Ver.6.0 ファイル(*,PEM)	-	保存(<u>©</u>) キャンセル

↓ メモ: 既存ファイルを現在のファイル名で同じフォ ルダに保存する場合(データを更新する場合) は、メニューバーのファイル→上書き保存を 使用します。

- 現在のファイル名 Flower.pem が表示され ますので新しいファイル名を入力します。
- 必要に応じて、ドライブとフォルダを変更 してください。
- 4. 保存をクリックして、保存します。

[__] メモ:

.pemファイルはオリジナルカードに書き込む ことはできません。レイアウトセンターに取 り込むと、書き込み可能なデータに変換され ます。(詳しくは、P.122 の「デザインセン ターから刺しゅうデータを取り込む」を参照 してください。)

レイアウトセンターを使う

デザインセンターで作成した刺しゅうデータを取り込み、レイアウトセンターで新たに刺しゅうデータを作成し、それらを組み合わせて刺しゅうデータを作成します。

下記のステップに従って、順に進んでください。作業を中断する場合は、ファイルを保存しましょう(P.55の ステップ14「刺しゅうデータを保存する」を参照)。保存したファイルを後で呼び出して作業を再開できます。 レイアウトセンターの基本操作の手順を一通り練習しながら、その主な機能について紹介します。

ステップ1	デザインセンターから 刺しゅうデータを取り込む	P.41
ステップ2	取り込んだ刺しゅうデータのサイズや位置を調整する	P.43
ステップ3	刺しゅうデータを追加する	P.43
ステップ4	文字を加える	P.45
ステップ 5	円の周りに文字を配列する	P.47
ステップ6	太陽の中心の円を加える	P.47
ステップ7	プログラムタタミ縫いを 選択する	P.48
ステップ8	閉じた折れ線を描いて、陽光を加える	P.50
ステップ 9	太陽と陽光の縫い順を変更する	P.51
ステップ 10	陽光の調整をする	P.52
ステップ 11	ドーナツ縫いを設定する	P.52
ステップ 12	刺しゅうデータをプレビューする	P.53
ステップ 13	オリジナルカードへ 刺しゅうデータを書き込む	P.54
ステップ 14	刺しゅうデータを保存する	P.55
ステップ 15	レイアウトセンターを終了する	P.55

最終的には次のような刺しゅうデータができあがります。



ステップ1 デザインセンターから 刺しゅうデータを取り込む

1つめの刺しゅうデータとして、P.32~P.40「デ ザインセンターを使う」で作成した .pem ファイ ルを取り込みます。 刺しゅうデータをデザインセンターからレイアウ トセンターのデザインページに取り込むときは、 まず取り込む .pem ファイルをデザインセンター で開いておいてください。

> ↓ ↓ **メモ:** デザインセンターを起動していない場合は、 P.32 の「デザインセンターを起動する」を参 照してください。

 デザインセンターで、メニューバーのファ イル→開くをクリックします。

→ **開く**ダイアログボックスが表示されます。

IRK		? 🛛
ファイルの場所の	🔁 Data 💽 🔶 🖆 🗊 -	
ClipArt Photo Angelbmp Angelpem Fishbmp Flower.bmp	ଗୁଣ୍ଟି Flower pam ଅନୁମଧ୍ୟର୍ବ bhano କ୍ରିଲ୍ଲ SmpleFlower PEM	
ファイル名(10)	NK Q	☞ ブレビュー
ファイルの種類(工):	デザインファイル(*pem;*pel*bmp;*pod*fpx;*tif;*, ・ キャンセル	1

 ファイルの種類ボックスのデザインセン ター PEM ファイル (*.PEM) を選択しま す。P.40の「刺しゅうデータを保存する」 で保存したファイルを選択し、開くをク リックします。

[]] メモ:

プレビューチェックボックスがチェックされ ていると、選択したファイルの内容がプレ ビュー領域に表示されます。



→刺しゅうデータがデザインセンターのデ ザインページに表示されます。



- メニューバーのオプション→レイアウト センターの起動をクリックして、レイアウ トセンター画面を表示します。
- レイアウトセンターで、メニューバーの ファイル→データ取り込み→デザインセ ンターからをクリックします。

または、次のツールバーボタンをクリック します。

- → **取り込みサイズ**ダイアログボックスが表示されます。



- 5. 取り込み倍率ボックスで、70%と入力また は選択し、取り込みをクリックします。
 - →刺しゅうデータがレイアウトセンターの デザインページに取り込まれます。



() メモ:

- 取り込まれた刺しゅうデータを囲む点線 は、その刺しゅうデータが取り込まれたもの(ステッチデータ)であることを意味し ます。またハンドルは、その刺しゅうデー タが選択されていることを意味します。
- ステータスバーに選択されている刺しゅう データのサイズ(幅と高さ)が表示されま す。



刺しゅうデータをドラッグして、移動します。



ステップ 3 刺しゅうデータを追加する

次に円を描き加えます。この円は、後で付け加え る文字を配列するガイドとして使用するため、あ えて縫製しないように設定します。

■円を追加する

- - → カーソルの形が + に変わり、縫い方の 設定バーが次のように表示されます。



縫い方バーのボタンまたはセレクタ上にカー ソルを置くと、そのボタンやセレクタの機能を 示すラベルが表示されます。

() メモ:

- 円弧の種類セレクタで、これから描く刺しゅうデータの形状を選択します。例えば、 真円や楕円を描く場合は、円をクリックします。円弧など他の図形を描画する場合は別の選択項目を選択します。詳しくは、 P.141の「円・円弧の種類を設定する」を 参照してください。
- 線や線の色ボタンや縫い方セレクタは、線 と面に対するそれぞれの糸色と縫い方の種 類を設定するときに使います。



 形状を選択します。円弧の種類セレクタを クリックして、形状を選択します。

> ここでは、標準設定の**円**を使用するので、**円弧** の種類セレクタは変更しません。



- 輪郭線を縫わないよう(線縫いオフ)に設定します。線の設定ボタンをクリックします。
 - → 線の色ボタンと線の縫い方セレクタが非 表示になります。

 \sim

[__] メモ:

線の設定ボタンをクリックして、線の色ボタ ンと線の縫い方セレクタが非表示になると、 輪郭線は縫わない設定(線縫いオフ)になり ます。輪郭線を縫う設定に戻すには、線の設 定ボタンを再度クリックして、線の色ボタン と線の縫い方セレクタを表示します。

- 4. 面縫いを縫わないよう (面縫いオフ) に設定します。面の設定ボタンをクリックします。
 - → 面の色ボタンと面の縫い方セレクタが非 表示になります。

- 5. 円を描きます。カーソルをデザインページ でドラッグします。
 - →マウスボタンを離すと、円(輪郭線と内 部)が描画されます。



|___| メモ:

・円を消去する場合は、ツールボックスの
 ◆ をクリックし円をクリックして選択してから、(Delete) キーを押すか、メニューバーの編集→削除を選択します。
 ・円を描いた後で色や縫い方の種類を変更す

る場合は、ツールボックスの をクリッ クし円をクリックして選択してから、**線の** 設定または面の設定ボタンをクリックしま す。円の縫い方バーに現在の設定内容が表 示されるので、それを変更します。

■円の大きさを変更する

花全体が入る楕円になるように、円の大きさと縦横 比を調整します。

- **リールボックスの** ▶ をクリックします。
 → カーソルの形が
 ☆ に変わります。
- 2. 円をクリックして選択します。
- カーソルを円の周りにあるハンドルに移 動します。
 - →接しているハンドルによって、カーソルの 形が ↔、 ↓、 、 または √ に変 わります。

/////





↓ メモ:
設定値は、文字の高さを示します。



4. 文字の色を設定します。縫い方バーの面の

色ボタン()) をクリックして表示された面の糸色ダイアログボックスで設定する色をクリックし、閉じるをクリックします。
ここでは、標準設定のクロにするので、文字の色を設定は変更しません。

文字の縫い方を設定します。面の縫い方セレクタをクリックして、縫い方の種類を選択します。

ここでは、標準設定のサテン縫いにするので、 文字の縫い方セレクタは変更しません。



() メモ:

文字設定については、P.152 の「文字属性を 設定する」を参照してください。

> 文字は作成後に移動できますので、ここではデ ザインページのどこをクリックしてもかまい ません。

→ 文字の編集ダイアログボックスが表示されます。



 7. 作成する文字(ここでは「ROSE」)を入 力します。

____ メモ:

- •01 ~ 35 のアルファベット書体は、英数半 角で入力してください。
- ・文字の編集ダイアログボックスの選択できる文字の一字をクリックし選択をクリックするか、文字をダブルクリックしても入力できます。キーボードで入力できないアクセント付き文字も簡単に入力できます。
- •楷書、行書、日本語フォントは、選択でき る文字が表示されません。キーボードから 直接入力してください。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

8. OK をクリックします。

→ 文字がデザインページに表示されます。



() メモ:

- 入力した文字を編集する場合は、ツールボックスの をクリックし文字をクリックして選択してから、メニューバーの文字→文字の編集を選択します。表示される文字の編集ダイアログボックスで文字を編集します。
- 文字を消去する場合は、ツールボックスの
 - ▶ をクリックし文字をクリックして選

択してから、 **Delete** キーを押します。

 文字を入力した後で文字の色、書体、その 他の設定を変更する場合は、ツールボック

スの スの をクリックし文字をクリックして選択してから、縫い方バーの設定を変更します。



文字の配列 —

→ 文字の配列の設定ダイアログボックスが 表示されます。



ここでは、設定を変更しないでOKをクリックします。

- この設定については、P.153の「文字配列を 設定する」を参照してください。
- → これで、文字が円に沿って配列されます。



メモ: 文字と円を移動する

文字が円に沿って配列されると、同じグルー プとなり1つの刺しゅうデータとして扱われ ますので、別々に移動することはできません。 ただし、円に沿って文字の位置を移動するこ とはできます。

文字と円をグループとして移動する

- ツールボックスの をクリックし、円を クリックして選択します。
 - → カーソルの形が 🛞 に変わります。
- 2) 円をドラッグします。
 → 文字と円が一緒に移動します。

円に沿って文字を移動する

- ツールボックスの をクリックして選択します。
 - → カーソルの形が 🚯 に変わります。
- 2) 文字をドラッグします。
 - → 文字は円に沿ってのみ移動することが できます。

ステップ 6 太陽の中心の円を加える

次に太陽を加えます。まず真円を描き、その輪郭 線の色、縫い方、サテン幅と内側の色と縫い方を 設定します。

 真円を描きます。Shift キーを押しなが ら、P.43の「円を追加する」と同様に円 を描きます。

ツールボックスの
をクリックし、円
 をクリックして選択します。

ノーメモ: 円のサイズを変更したいときは、円を選択してから角にあるハンドルの1つをドラッグします。

 輪郭線の色と縫い方を設定します。線の設 定ボタン(べ)をクリックして、線の 色ボタン(三)と線の縫い方セレクタ (サデン縫い・)を表示させ、線の色と縫い方 の種類を選択します。 ここでは、色は黒、縫い方はサテン縫いを選択 します。
 輪郭線の縫い方の設定を変更します。メ ニューバーの縫い方→縫い方の設定をク リックします。

> または、次のツールバーボタンをクリック します。

> 2 🚯 ♥ | ≪ | 画 🎪 聖 國 🗟 🔳 🕄 📟 團 🛃 縫い方の設定 ────

→縫い方の設定ダイアログボックスが表示 されます。



- サテン幅を変更します。サテン幅を 1.0 に 設定し、設定をクリックします。

→次のように刺しゅうデータが表示されます。



ステップ7 プログラムタタミ縫いを 選択する

円の内側に、プログラムタタミ縫いを選択し、その設定を変更してみます。プログラムタタミ縫い は、パターンがタイル状に並べられてできる面縫 いで、非常に装飾的な模様を作ることができます。 パターンは、ステッチクリエイターで編集、作成 (P.56の「ステッチクリエイターを使う」を参照) できます。

ノモ:円が選択されていることを確認してくだい。

面の縫い方セレクタ(▷<
 プログラムタタミ縫いを選択します。

- メニューバーの縫い方→縫い方の設定を クリックします。 または、次のツールバーボタンをクリック します。 🕌 💻 🛒 🔜 🔬 🛒 👰 🔜 👘 😺 縫い方の設定 -→ 縫い方の設定ダイアログボックスが表示 されます。 縫い方の設定 ▼線の縫い方 サテン幅 1.0 mm ~~ I--- IW 冬麥度 4.0 本/mm ▽雨の縫い方 治密度 4.0 本/mm î 縫い角度 1 45 度 $\widehat{\mathbb{D}}$ ○ 可変 ▽ブログラムタタミ 2 Þ 詳細モードへ 設定 閉じる ガイドを隠す サテン幅
- プログラムタタミの下の

 をクリック
 します。

→ 一覧ダイアログボックスが表示されます。 既存のプログラムタタミ用パターンのプレビューを一覧で見ることができます。





- パターン一覧の pat07 をクリックして選 択し、OK をクリックします。
 - →ダイアログボックスが閉じ、選択したパ ターンのプレビューが縫い方の設定ダイ アログボックスの下部に表示されます。

メモ: アイコンをダブルクリックしても、パターン が選択され、ダイアログボックスが閉じます。

 パターンの大きさを変更します。スライダ を右に移動して、サイズを 10.0 × 10.0 mm に設定します。



→縫い方の設定ダイアログボックスは、次の ように表示されます。



() メモ:

- 設定を変更すると、それにともなってダイ アログボックス下部のガイド画面のパター ンのプレビューも変わります。変更後の実際の変化をここで確認できます。
- パターンの幅と高さを別々に変更したい場合は、詳細モードへをクリックしてから、 プログラムタタミの下の該当するボックス

に数値を入力するか 🛁 で選択します。

- タタミ縫いの縫い角度を変更します。縫い 角度の一定をクリックします。カーソルを 一定の下の赤い矢印に移動し、設定値が 340度になるまでその矢印をドラッグしま す。
 - → 縫い方の設定ダイアログボックスは、次の ように表示されます。



- 縫い方の設定については、P.166の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。
- 7. 設定をクリックします。
 - → 設定を変更したプログラムタタミ縫いが、 選択されている円の内部に設定されます。

1 注意:

縫い方の設定は、設定を変更しないかぎり、 これから新しく描かれるすべての面に適用 されます。

ステップ 8 閉じた折れ線を描いて、 陽光を加える

折れ線で太陽の周りに陽光を描きます。折れ線に は色々な描き方があります。例えば、直線を何本 か組み合わせて描くこともできます。ここでは、 線描画ツールを使って、1 個の星形模様として作 成してみましょう。

- 1. ツールボックスの 💪 をクリックし、
 - 💪 をクリックします。

→ カーソルの形が + に変わり、縫い方の
 設定バーが次のように表示されます。
 閉じた線・ ○ ■ サテン縫い・ ○ □ プロプラムタ交縫い・

両端の処理 線の縫い方

面の縫い方

 必ず、両端の処理セレクタで閉じた線を選 択します。

> メモ: 閉じた線を選択すると、最初の点と最後の点 は自動的に結合します。そのため作成された 刺しゅうデータは、輪郭線と面を持つことに なります。 開いた線を選択すると、最初の点と最後の点 は自動的に結合せず、直線は開いたままとな ります。そのため、描かれた刺しゅうデータ には面がなく、面の縫い方は設定できません。

3. 輪郭線の色と縫い方の種類を変更します。

線の設定ボタンを((→)をクリックして、線の色ボタン(●)と線の縫い方セレクタ(サラン縫い •)を表示させ、線の色と縫い方の種類を選択します。
ここでは、色はアカ、縫い方はサテン縫いを設定します。

 4. 面の色を設定します。面の設定ボタン(<u></u>)
 をクリックして、面の色ボタン(<u></u>)と 面の縫い方セレクタ(^b反凝い ·) と 表示させ、面の色を選択します。
 ここでは、アカを選択します。

 円を目安に太陽の周りに陽光を描きます。 始点(①)でクリックし、各角(② ~ ②) でクリックします。最後の点(②)でダブ ルクリックします。



ハート・
 ハー・
 ハー・

マウスを右クリックすると、直前に入力した ポイントを削除できます。

→次のように刺しゅうデータが表示されます。



✓

- ・刺しゅうデータを消去する場合は、ツールボックスの
 データをクリックして選択してから、
 (Delete) キーを押すか、メニュバーの編集
 →削除を選択します。
- 刺しゅうデータを描いた後でその両端処理
 や色、縫い方などを変更する場合は、ツー

ルボックスの 刺しゅうデータをクリックして選択してか ら、縫い方バーまたは**縫い方の設定**ダイア ログボックスで設定を変更します。



太陽を描いた後に陽光を描いたため、陽光は円の 上に表示され、陽光が太陽をかくしてしまってい ます。上にある刺しゅうデータの方が後に縫われ ますので、太陽(円)が陽光の上に縫われるよう に、縫い順を変更します。

- メニューバーの縫い方→縫い順/糸色をク リックします。 または、次のツールバーボタンをクリック します。

 - →縫い順/糸色ダイアログボックスが表示されます。



陽光の面のコマをクリックして選択し、太陽の円の面の左にドラッグします。(陽光の面を先に縫います。)



|__| メモ:

縫い順 / 糸色ダイアログボックスでコマが選択されると、ダイアログボックスの下部のボタンが使用可能になります。ボタンを使って縫い順を変更することもできます。詳しくは、 P.178の「縫い順と糸色を確認・変更する」を参照してください。

 陽光の線のコマをクリックして選択し、陽 光の面と太陽の円の間にドラッグします。



- OK をクリックします。
 - → 太陽(円)より先に陽光が縫われるよう に、縫い順が変更されました。



必要に応じて、太陽の円が陽光の中央に見える ように、円を選択しドラッグして移動してくだ さい。

ステップ 10 陽光の調整をする

ここでは、陽光を修正してみましょう。輪郭線上の ポイントを移動、削除、追加することで、形を調整 できます。

ツールボックスの <u>「</u>をクリックし、
 をクリックします。

→ カーソルの形が └ に変わります。

- 2. 陽光をクリックして選択します。
 - →刺しゅうデータの既存ポイントが小さな 白い四角で表示されます。
- 3. 移動するポイントをクリックします。
 - → 選択されたポイントは黒い四角で表示さ れます。

4. ポイントを新しい位置ヘドラッグします。



ポイントの追加と削除については、P.130の
 「ポイントを挿入する」と P.131の「ポイントを削除する」を参照してください。

ステップ 11 ドーナツ縫いを設定する

現在の設定に従って縫製が行われると、最初に陽 光模様全体が縫われ、その上に太陽(円)の模様 が縫われます。このような二重縫いを防ぐために、 一対の小さい面とその面を完全に囲む大きな面に ドーナツ縫いの設定ができます。ドーナツ縫いを 設定すると、太陽の背後に隠れている陽光の部分 は縫製されません。

 ツールボックスの をクリックし、太陽の円をクリックして選択します。



ステップ 12 刺しゅうデータをプレビュー する

実際にどのような縫い目になっているかプレ ビューを表示して、どのように縫製されるかリア ルプレビューを表示して確認できます。例えば、 ドーナツ縫いが設定されていると、太陽の後ろに ある陽光部分が縫製されないことをはっきりと確 認できます。

 プレビューを表示します。メニューバーの 表示→プレビューをクリックします。 または、次のツールバーボタンをクリック します。

→ 作成した刺しゅうデータの縫製イメージ が表示されます。



 リアルプレビューを表示します。デザイン ページの空白部分をクリックして、すべて のデータの選択を解除します。

> 1 つまたは複数の見たいデータだけのリアルプ レビューを表示する場合は、見たいデータを選 択します。

 メニューバーの表示→リアルプレビュー ステップ 13 をクリックします。 オリジナルカードへ または、次のツールバーボタンをクリック 刺しゅうデータを書き込む します。 刺しゅうデータをミシンへ転送して、はじめて刺 U 💎 🔤 🎪 🏋 📴 🔝 🚍 👯 💻 🐉 🗔 しゅうデータを実際に縫うことができます。ミシ リアルプレビュー ンヘ転送するには、オリジナルカード、フロッピー →作成した刺しゅうデータの仕上がりイ ディスク、コンパクトフラッシュ、USB メディア など、お使いのミシンで使用できるメディアを使 メージが表示されます。 います。ここでは、オリジナルカードへ書き込ん <mark>無拠 - レイアウトセンター</mark> イル(F) 編集(E) 画後の 文字(E) 続い方(S) 表示(D) オブション(D) でみましょう。 X ◎ ◎ 即 品 O 啰 回 奏 笑 碑 屈 ■ 聲 回 ■ 凝 I 1. オリジナルカードをカードライターに挿 入します。 **1** 注意: オリジナルカードを正しく挿入すると、カ チッという音がします。 メニューバーのファイル→カード書き込 み→デザインページのデータをクリック します。 | | メモ: または、次のツールバーボタンをクリック ズームツールで画面の表示倍率を変更できま します。 す。ズームインを行う場合はツールボックス の 🔍 を、ズームアウトを行う場合は 🔍 を U 😂 🔁 🔂 🖬 😡 🗠 🖉 🖁 🔂 🖏 Ŭ クリックしてから、刺しゅうデータの見たい 部分をクリックします。 → 次のメッセージが表示されます。 レイアウトセンター i) カードのデータは全て消去されます。 ÕΚ 注意: すでにオリジナルカードに刺しゅうデータ が書き込まれている場合は、その刺しゅう データが消去されてもよいか確認してくだ さい。 12. 注意: リアルプレビュー画面では、刺しゅうデー |メモ: タの編集はできません 操作を中止してメッセージを閉じる場合は、 • モニタの設定が256 色以下の場合、正確な **キャンセル**をクリックします。 色を表示できません。16ビットハイカラー (65536 色) 以上の設定で使用してくださ 610 4. 通常表示に戻すには、ステップ 3. を繰り

_ カード書き込み

キャンセル

返すか、(Esc) キーを押します。



彙作の流水

ステッチクリエイターを使う

ステッチクリエイターでは、デザインセンターとレイアウトセンターの両方で設定可能なプログラムタタミ縫 いやモチーフ縫いに使用するパターンを作成、編集、保存ができます。これらのパターンを使用すると、刺 しゅうデータはより装飾的になります。

面にプログラムタタミ縫いやモチーフ縫いを設定すると、タタミパターンやモチーフパターンがタイル状に面 全体に並べられます。線にモチーフ縫いを設定する場合は、モチーフパターンが線に沿って繰り返されます。 さらに、タタミパターンは特定のスタンプ(P.92、P.160参照)として面に設定できます。タタミパターンや モチーフパターンは、本アプリケーション付属の多数のパターンをそのまま、または編集して使用できます。 また、最初からパターンを作成することもできます。

ここでは、下記のステップに従って既存のパターンを編集し、縫い沈め/浮き上がり効果を与えてみます。 ステッチクリエイターの基本操作の手順を一通り練習しながら、その主な機能について紹介します。

下記のステップに従って、順に進んでください。作業を中断する場合は、ファイルを保存しましょう(P.59の ステップ5「編集したパターンを保存する」を参照)。保存したファイルを後で呼び出して作業を再開できます。

ステップ1	ステッチクリエイターを 起動する	P.56
ステップ 2	プログラムタタミの パターンファイルを開く	P.57
ステップ3	直線を描いて、パターンを編集する	P.58
ステップ4	縫い沈め / 浮き上がり効果を設定する	P.59
ステップ5	編集したパターンを保存する	P.59
ステップ6	ステッチクリエイターを 終了する	P.60

ステップ 1 ステッチクリエイターを 記動する

1 *1 3 3 4 3 3 4 3 4 3 4 4 5 4 4 4 5 4 4 5 4*

<u>)</u>メモ:

ステッチクリエイターへのショートカットが デスクトップ上などに作成されている場合 は、そのアイコンをダブルクリックしても起 動できます。



→ ステッチクリエイター画面が表示されます。

____ メモ:

ディスプレイ画面全体にステッチクリエイ ター画面を表示するには、タイトルバーの右 端の最大化ボタンをクリックします。



<u>____</u> メモ:

- ファイル名をダブルクリックしても、パ ターンファイルが開き、ダイアログボッ クスが閉じます。
- 一覧をクリックすると、選択したフォルダのすべての.pasファイルをプレビューできます。



- 一覧ダイアログボックスのパターンをクリックし、開くをクリックするか、パターンをダブルクリックしてファイルを開きます。ファイルを開くダイアログボックスと
 一覧ダイアログボックスは、両方とも閉じます。
- .pas ファイル (プログラムタタミ/スタン プパターン)を開くと、プログラムタタミ /スタンプモードが自動的に選択されます。
 .pmf ファイル (モチーフパターン)を開く と、モチーフモードが自動的に選択されま す。作成するパターンの種類を変更するに は、モードメニューを使用します。
- → パターンが、ステッチクリエイターの作業 領域に表示されます。



メモ: プレビュー画面で、どんな模様になるか、パ ターンをいくつか並べた模様イメージを確認 できます。

^{ステップ 3} 直線を描いて、パターンを 編集する

ツールボックスの直線描画ツールを使用して、表 示された模様の間に線を引いてみましょう。

() メモ:

ここでは、グリッド設定は、パターンに設定 されている**普通**で作業します。グリッド設定 は、描きたい細かさによって選択します。細 かいパターンを描く場合は狭いを、単純なパ ターンを描く場合は広いを設定します。グ リッド設定については、P.215 の「グリッド 設定を変更する」を参照してください。

ツールボックスの
 をクリックし、作業領域にカーソルを移動します。

→ カーソルの形が 十< に変わります。

 左から1本目の波線の始点(線の最上部) から右方向に2つ目のグリッドをクリッ クします。

|_| メモ:

グリッドが表示されている場合は、どこでク リックしても、必ず最も近くのグリッド線の 交点(グリッドの垂直線と水平線の交差する 点)にポイントが作成されます。水平線や垂 直線はグリッド線と重なって引かれます。ま た、対角線を引くこともできます。

 左から1本目の波線と並行にカーソルを 移動し、角でクリックします。

> メモ:
> マウスを右クリックすると、直前に入力した ポイントを削除できます。

- ステップ 3. を繰り返し、波線の終点(線の最下部)に到達したらダブルクリックします。
- ステップ 2.から4.と同様の手順で、右から1本目と2本目の波線の間に線を追加します。

→ 画面は、次のように表示されます。



[_] メモ:

パターンの線上のポイントは、ツールバーの をクリックして使うポイント編集ツー ルで編集できます。(ポイントの移動、挿入、 削除については、P.209 の「プログラムタタ ミ / スタンプモードで ポイントを編集する」 を参照してください。)

ステップ 4 縫い沈め / 浮き上がり効果 を設定する

縫い沈め / 浮き上がり効果のあるパターンを作成 します。プログラムタタミ / スタンプパターンの 面部に、凹、凸の設定を加えることで、刺しゅう データに縫い沈め / 浮き上がり効果を与えます。 この操作を行うには、閉じたステッチ線で囲まれ た面が必要です。例のパターンは線で囲まれた面 がありませんので、線を完全に閉じ面部を作りま す。

1. ツールボックスの \leq をクリックしま

す。

→ カーソルの形が + に変わります。

- 2. 作業領域の左上隅をクリックします。
- 作業領域の上端に沿ってカーソルを移動 し、右上隅でダブルクリックして、作業領 域の上端に沿って線を描きます。
- 4. 作業領域の左下隅をクリックします。

 6. 作業領域の下端に沿ってカーソルを移動 し、右下隅でダブルクリックして、作業領 域の下端に沿って線を描きます。



- ツールボックスの (面設定(凹)) を クリックし、左から1つ目と4つ目の波 線面をクリックします。
 - → 設定された面は赤色で表示され、縫い沈め 効果を出すために短いステッチで縫われ ます。
- 7. ツールボックスの 剥 (面設定(凸))を

クリックし、左から 2 つ目と 5 つ目の波 線面をクリックします。

→ 設定された面は青色で表示され、浮き上が り効果を出すためにサテン縫い(針落ちし ない面縫い)で縫われます。





編集したパターンは、プログラムタタミ / スタン プパターン (.pas ファイル) として保存します。 レイアウトセンターやデザインセンターで使用可 能になります。

- メニューバーのファイル→名前を付けて 保存をクリックします。
 - → 名前を付けて保存ダイアログボックスが 表示されます。



メモ: 既存ファイルを現在のファイル名で同じフォ ルダに保存する場合(データを更新する場合) は、メニューバーのファイル→上書き保存を 使用します。

- ドライブとフォルダを選択し、ファイル名 を入力します。
- 3. 保存をクリックして、保存します。

∐ メモ∶

- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- 名前を付けて保存ダイアログボックスで入 力した名前のファイルがすでに存在する場 合は、次のメッセージが表示されます。



- ファイルを上書きするときは、はいを クリックします。ステッチクリエイ ターのタイトルバーにファイル名が表 示されます。
- 上書きしたくないときは、いいえをク リックします。別のファイル名で保存 してください。

ステップ 6 ステッチクリエイターを 終了する

作業が完了したら、アプリケーションを終了しま す。

- メニューバーのファイル→終了をクリックします。
 - → ステップ5「編集したパターンを保存する」 で説明した通りデータが保存されている 場合は、ステッチクリエイター画面は直ち に閉じます。
 - →前回保存してからデータに変更を加えている場合は、変更を保存するかどうかのメッセージが表示されます。はいをクリックして、ステップ5「編集したパターンを保存する」で説明した手順に従って保存します。

【___ メモ:

タイトルバーの右端の閉じるボタンをクリッ クしても、ステッチクリエイターを終了でき ます。

第 2 章 機能詳細

デザインセンター	63
レイアウトセンター	100
画像や刺しゅうデータを取り込む	102
刺しゅうデータを編集する	124
刺しゅうデータを確認する	177
保存・印刷する	188
ソフトウェアの設定を変更する	195
大型刺しゅう枠をお使いの方へ	196
ステッチクリエイター	201
デザインデータベース	216

機能詳細

本章のあらまし

本章では各アプリケーションのさまざまな機能や操作方法について詳しく説明します。

デザインセンター

デザインセンターでは、4つのステージを踏むことにより原画から刺しゅうデータを作成できます。ステージ1 (原画ステージ)ステージ2 (輪郭線画ステージ)ステージ3 (輪郭データステージ)ステージ4 (縫い方設定ステージ)

レイアウトセンター

レイアウトセンターでは、原画から刺しゅうデータを自動的に作成したり、図形データや文字データを作 成、編集し、それらを組み合わせて刺しゅうデータを作成したりできます。

画像や刺しゅうデータを取り込む
 図 102 ページ
 刺しゅうデータを編集する
 図 124 ページ
 図 127 ページ
 図 177 ページ
 (図 188 ページ
 ソフトウェアの設定を変更する
 (図 195 ページ
 (図 195 ページ
 (図 196 ページ

ステッチクリエイター

ステッチクリエイターでは、プログラムタタミ縫いとモチーフ縫いのパターンの作成、編集、保存ができま す。そのパターンは、プログラムタタミ縫いまたはモチーフ縫いの他、縫い方が設定された面につけるスタ ンプに利用できます。

1201 ページ

デザインデータベース

デザインデータベースでは、パソコン上の刺しゅうファイルの検索やプレビューが簡単にでき、ファイルを 容易に整理したり、見つけ出したりすることができます。

1276 ページ

デザインセンター

デザインセンターで、他のアプリケーションで作成した画像から刺しゅうデータを作成できます。また、ス テッチクリエイターで作成したパターンを使って、その刺しゅうデータの縫い方を設定できます。作成した刺 しゅうデータは、レイアウトセンターのデザインページに取り込んで、他の刺しゅうデータと組み合わせるこ とができます。

刺しゅうデータは、次の4つのステージで作成します。

■ ステージ1(原画ステージ)

ステージ1では、ペイント[®]等のアプリケーションで作成された画像データや、スキャナ等で取り込んだ画像、 クリップアートなど様々な画像を開くことができます。

使用できる画像データは、拡張子が.bmp、.tif、.jpg、.j2k、.pcx、.wmf、.eps、.pcd、.fpx のいずれかです。その他のファイル形式の画像データは、お手持ちの変換ソフトウェアで上記のファイル形式のいずれかに変換して使用してください。

ステージ1では、画像は本来の色で表示され、色を変更することはできません。

■ステージ2(輪郭線画ステージ)

ステージ1からステージ2に進むときに、刺しゅうデータの黒い輪郭線に変換させたい1色または複数の色を 選択します。選択されない色は白に変換されます。白黒の輪郭線画は、5種類の太さのペンツールを使用して、 描画、修正することができます。

(ステージ2で輪郭線画ファイルを保存する場合、ファイルの拡張子は.pelとなります。)

■ ステージ3(輪郭データステージ)

ステージ3に進むと、輪郭線画は自動的に輪郭データに置き換えられます。この輪郭データは、編集(ポイントの移動、削除や新規ポイントの挿入)することができます。

(ステージ3で輪郭線画ファイルを保存する場合、ファイルの拡張子は.pemとなります。)

ステージ4(縫い方設定ステージ)

輪郭線と面に、縫い方、糸色などの設定を行い、刺しゅうデータを完成します。

(ステージ4で輪郭線画ファイルを保存する場合、ファイルの拡張子は.pemとなります。)

ステージ2、3、4で作業を中断しても、ファイルを保存しておけば、後で作業を再開できます。

機能詳細




- ① タイトルバー
- メニューバー 各機能を実行します。
- ③ ツールバー 各メニュー機能へのショートカットです。
- ④ 縫い方バー

刺しゅうデータの縫い方(糸色、縫い方)を設定 します。 (ステージ 4 (縫い方設定ステージ)のみで表示 されます。)

⑤ ツールボックス 輪頭データ 刺しゅう

輪郭データ、刺しゅうデータの選択と編集に使用 します。ステージ1にはありません。他のステー ジでは、それぞれ異なったツールボックスが表示 されます。 ⑥ ステータスバー

選択されているデータのサイズ等の情報が表示 されます。

- ⑦ リファレンスウィンドウ リファレンスウィンドウには、常にデザインページ全体または刺しゅうデータ全体が表示され、デ ザインページをズームイン表示にしても、全体の どの部分が表示されているかを確認できます。 (詳しくは、P.97の「刺しゅうデータをリファレ ンスウィンドウで見る」を参照してください。)
- ⑦ デザインページ
 作業領域です。
- 最小化ボタン
- ⑩ 最大化ボタン
- ⑪ 閉じるボタン



画像データを取り込む

ウィザードを使用する

どのように刺しゅうデータを作成するか、選択しま す。ウィザード画面で、既存の原画から作成する、 輪郭線画を描画する等、作成方法を選択すると、次 の操作画面に進みます。

 メニューバーのファイル→ウィザードを クリックします。

> → **どのように刺しゅうを作りますか**ダイア ログボックスが表示されます。



カーソルを各ボタン上に置くと、各ボタンの動作名称を示すラベルが表示されます。

各ボタンの機能は、次の通りです。

原画から

原画から刺しゅうデータを作成する場合にク リックします。

クリックすると、**原画から**ダイアログボックスが 表示され、どのデータを取り込むか尋ねてきま す。引き続きウィザード形式で次の操作を選びま す。

本ページの「原画からボタンをクリックする場合」

② 新規作成(輪郭線画)

クリックすると、ステージ 2 (輪郭線画ステー ジ) で新規デザインページが開きます。 黒のペンと消しゴムツールを使って原画を描き、 その原画から刺しゅうデータを作成する場合に 選択します。

P.68 の「ステージ2 で新規デザインページを 作成する」

③ 新規作成 (輪郭データ)

クリックすると、ステージ3(輪郭データステージ) で新規デザインページが開きます。 輪郭データを初めから描画する場合や既存の .pem ファイルから輪郭データを取り込んでデー タを作成する場合に選択します。

P.72 の「ステージ 3 で新規デザインページを 作成する」

④ PEM ファイルを開く

以前、ステージ 3 (輪郭データステージ) または ステージ 4 (縫い方設定ステージ) で保存した .pem ファイルを編集する場合に選択します。 クリックすると、開くダイアログボックスが表示 され、.pem ファイルを選択できます。

⑤ 最近使ったファイル

最近作業をしたファイルを開きます。 ファイルリストの編集したいファイル名をク リックし、**開く**をクリックします。

⑥ 起動時にこのウィザードを表示する

デザインセンターの起動時にウィザードを常に 表示する/しないの設定をします。しない場合は、 チェックボックスをクリックしてチェックを外 します。

⑦ キャンセル

このダイアログボックスを閉じる場合にクリッ クします。

原画からボタンをクリックする場合

どのように刺しゅうを作りますかダイアログボック スで**原画から**ボタンをクリックすると、**原画から**ダ イアログボックスが表示されます。



カーソルを各ボタン上に置くと、各ボタンの動作名称を示すラベルが表示されます。

各ボタンの機能は、次の通りです。

▶ P.22 の「画像データを取り込む」

② クリップボードから

クリップボードの画像をデザインページに貼り 付ける場合にクリックします。クリップボードに 画像データがコピーされているときにのみ使用 できます。

③ TWAIN 機器から

パソコンに接続された **TWAIN** 機器 (スキャナやデ ジタルカメラなど) から画像を取り込み、デザイン ページに貼り付ける場合にクリックします。

▶ 本ページの「TWAIN 機器から画像データを取り込む」

④ 現在のイメージ

ステージ1(原画ステージ)で開いている画像を使 用する場合にクリックします。この機能は、ステー ジ1で原画を開いているときにのみ使用できます。

⑤ 戻る

クリックすると、現在のダイアログボックスを閉 じ、**どのように刺しゅうを作りますか**ダイアログ ボックスに戻ります。

⑥ キャンセル

このダイアログボックスを閉じる場合にクリッ クします。

- → 戻るまたはキャンセル以外のボタンをク リックした場合、画像の取り込みが開始さ れ、取り込まれた原画(画像ファイル)が ステージ1(原画ステージ)のデザイン ページに貼り付けられます。輪郭線の選択 ダイアログボックスが表示され、輪郭線の 色を選択をします。
- ステージについて、
 P.67の「ステージ 2 (輪郭線画ステージ)」、
 P.70の「ステージ 3 (輪郭データステージ)」、
 P.77の「ステージ 4 (縫い方設定ステージ)」

TWAIN 機器から画像データ を取り込む

TWAIN とは、スキャナ等を制御するソフトウェアのためのアプリケーションインターフェイス(API)の標準 規格です。デザインセンターでは TWAIN 規格準拠の機 器をサポートしているので、スキャナ等の機器を直接 制御し、画像をそのまま取り込むことができます。

 スキャナ等の TWAIN 機器が、パソコンに 正しく接続されているかを確認します。

- メニューバーのファイル→TWAIN機器の 選択をクリックします。
 - →次のようなソースの選択ダイアログボックスが表示されます。

ソースの選択	×
ソース: BROTHER MFC-5840CN	
	選択
	(キャンセル)

ソースリストから、使用する機器を選択してクリックします。



 デバイスをクリックし反転表示させ、選択 をクリックします。

メモ:
 操作を中止してダイアログボックスを閉じる
 場合は、キャンセルをクリックします。

- 5. メニューバーのファイル→TWAIN機器か ら入力をクリックします。
 - → **ソースの選択**ダイアログボックスで選択 した機器のドライバインターフェイスが 表示されます。
- 画像の取り込みに必要な設定を指定し、画像を取り込みます。

注意:
 ドライバインターフェイスの使い方については、インターフェイスのヘルプマニュアルをご覧になるか、インターフェイスのメーカーにお問い合わせください。

→ スキャナやその他の機器とドライバとの 間の画像転送が完了すると、取り込んだ画 像がステージ1(原画ステージ)のデザイ ンページに貼り付けられます。

メモ: デザインページに作業中の画像があり、その 画像が保存されていない場合は、画像を保存 するかどうかを尋ねてきます。

デザインセンター ステージ2(輪郭線画ステージ)

ステージ2(輪郭線画ステージ)

画像を開いたら、輪郭線(刺しゅうの輪郭線)にする色を選択して、ステージ2(輪郭線画ステージ)に進み ます。ステージ2(輪郭線画ステージ)では、ペンと消しゴムツールを使用して画像を編集できます。このツー ルで、フリーハンドで簡単な輪郭線を描くこともできます。また、ズーム用ツールで画像をズームインまたは ズームアウト表示できます。

ツールバーボタン: 🙈

1. 🙈 をクリックするか、メニューバーの

ステージ→輪郭線画ステージをクリック します。

→ 輪郭線の選択ダイアログボックスが表示 されます。



→ ステージ3(輪郭データステージ)で作業 している場合は、ステージ3での輪郭デー タを削除するかどうかの確認メッセージ が表示されてから、ステージ2に戻ります。

↓ メモ:

画像をズームイン(またはズームアウト)して 表示するには、ズームスライダを上下に移動し ます。画像をズームイン表示している場合は、ス クロールして隠れた部分を表示してください。



- 輪郭線に変換したい線の色をクリックします。

→ クリックした部分の色が右側のボックスに 表示されます。チェックボックスにいが表 示されてその色が選択されたことを示しま す。

() メモ:

- ・複数の色を輪郭線として使用する場合は、 ステップ 2. を繰り返して5色まで選択で きます。6 色以上選択すると、最後に選択 した5色がリストに表示されます。
- 色の選択を取り消すときは、チェックボックスをクリックしてチェックを外します。
- 原画の調整をクリックすると、色調調整や、 画像ノイズ(歪み)除去ができます。(詳し くは、P.68の「原画の調整」を参照してく ださい。)
- プレビューをクリックして、輪郭線画のプレビューを確認します。

↓ **メモ:** 必要に応じて、設定を変更できます。設定を 変更したら、**プレビュー**をクリックして新た に適用した設定で線をプレビューします。

OK をクリックします。

→ 選択したすべての色が黒の輪郭線(輪郭線 画)に変換され、ステージ 2(輪郭線画ス テージ)のデザインページに表示されます。



() メモ:

- 操作を中止しステージ1(原画ステージ)に 戻る場合は、キャンセルをクリックします。
- きれいな輪郭線を作るためには、必要最小限の色だけを選択することをお勧めします。前述の例では、選択した色は1つだけです。
- ・思い通りの輪郭線にならなかったときは、 メニューバーのステージ→原画ステージを 選択してステージ1(原画ステージ)に戻 り、色を選択し直して輪郭線画に再変換す ることもできます。

原画の調整

輪郭線の選択ダイアログボックスの原画の調整ボタ ンをクリックすると、次のような原画の調整ダイア ログボックスが表示されます。



このダイアログボックスで、画像データの色数を減 らしたり (ポスタライズ処理)、ノイズを除去したり できます。スキャナ等その他の機器で取り込んだ画 像データで、輪郭が鮮明ではない原画からも、簡単 に色を選択できるようになります。

- 1) 画像表示領域に画像処理結果が表示されま す。
- 2) 色数スライダを移動して、減色量(ポスタラ イズの程度)を設定します。スライダを右端 (多い)へ移動するとオリジナルの画像のま まの色数となります。より左端(少ない)に 設定するほど、より多くの色数を減らすこと ができます。
- Jイズ除去スライダを右端(最大)へ移動するほど、より小さな領域(微小領域)のノイズが除去されます。
- 4) OK をクリックして確定します。輪郭線の選 択ダイアログボックスに処理結果画像を反映 させ、ダイアログボックスを閉じます。

() メモ:

- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- OK をクリックすると、輪郭線の選択ダイア ログボックスの色の選択リストはリセット されます。



原画の調整ダイアログボックスで選択した 画像調整は、輪郭線の選択ダイアログボック スで表示された画像のみに適用されます。調 整した画像は保存できません。

ステージ2で新規デザイン ページを作成する

- ツールバーボタン: 🗋
- 1. 🗋 をクリックするか、メニューバーの

ファイル→新規作成 (輪郭線画)をクリッ クします。

- → デザインページが保存済みまたは作業中 のデータがない場合は、直ちにステージ2 (輪郭線画ステージ)の空白の新規デザイ ンページが表示されます。
- → 作業中のデザインページが保存されてい ない場合は、変更を保存するかどうかを尋 ねてきます。

() メモ:

ステージ2 (輪郭線画ステージ) では、画像デー タは.pel ファイルとして保存されます。

P.66の「TWAIN機器から画像データを取り込む」、P.98の「保存する」、P.72の「ステージ3で新規デザインページを作成する」

輪郭線の描画と消去のしかた

輪郭線を描く

 ツールボックスの希望する太さのペンを クリックします。

→ カーソルの形が 🔪 に変わります。

点を追加するときは、一度クリックします。線を描くときは、カーソルをドラッグします。

ステージ2(輪郭線画ステージ)

() メモ:

Shift キーを押しながらドラッグすると、水 平方向または垂直方向に線が引けます。

線を消去する

 ツールボックスの希望する太さのペンを クリックします。

→ カーソルの形が く に変わります。

 カーソルを消去する線上に置いて、マウス の右ボタンを押します。

→ カーソルの形が 🔧 に変わります。

3. カーソルをドラッグして線を消去します。

デザインセンター ステージ3 (輪郭データステージ)

ステージ3(輪郭データステージ)

輪郭線ができたら、ステージ3(輪郭データステージ)に進みます。ステージ2(輪郭線画ステージ)では、輪 郭線画は画像ビットマップ(単なる点の集合)にすぎません。この段階での編集は、黒点を描画または消去し ているだけです。ステージ3(輪郭データステージ)に進む段階で、輪郭データに変換されます。さらに、ス テージ3(輪郭データステージ)では、ポイント編集ツールで輪郭データのポイントの移動、削除、挿入をし たり、直線描画ツールで線を加えたりできます。

ツールバーボタン: 🏦

1. 🏨 をクリックするか、メニューバーの

ステージ→輪郭データステージをクリッ クします。

→ ステージ2(輪郭線画ステージ)で作業していた場合は、輪郭線変換の設定ダイアログボックスが表示されます。

輪穿線支換の設定 	解像度: ○ 細かい ○ 通常 ○ 和い ▽ 細線化処理:5 少ない
デザインページの設定	OK キャンセル

2. 解像度を選択します。

輪郭データの細かさを設定します。基本的に、 原画はポイントとそれらをむすぶ線として輪 郭データに変換されます。より細かなデータを 作成するには多くのポイントが必要となり、ま た、データファイル容量もより大きくなりま す。

通常の画像データの場合は、「**通常**」を選択してください。ファイル容量をあまり大きくすることなく、適度な解像度になります。

「**粗い**」を選択してみて、原画のイメージを損 なわず輪郭データに変換された場合は、ファイ ル容量をできるだけ小さくするために「**粗い**」 を選択してください。

原画が非常に細かく、「**通常**」では満足できる 結果が得られない場合にのみ「**細かい**」を選択 してください。 細線化処理を設定します。処理を行う場合は、細線化処理チェックボックスをチェックし、スライダで細線化処理の回数を設定します。

細線化処理チェックボックスをチェックする と、原画の中心を辿り、輪郭データに変換され ます。



[]] メモ:

細線化処理の回数を**多い**にするほど、太い線 は中心線が輪郭データになります。**少ない**に すると、太い線は処理を設定しないと同じ処 理がされます。

細線化処理チェックボックスのチェックを外 すと、原画の周囲をたどり、輪郭データが作成 されます。



4. サイズスライダで、変換後の輪郭データの サイズを設定します。

1 注意:

デザインページよりも大きなサイズに拡大 することはできません。必要に応じて、デザ インページの設定をクリックし、表示された ダイアログボックスでデザインページのサ イズを変更してください。

5. 原画の一部だけを選択して輪郭データに できます。その場合は、範囲の指定をク リックします。原画の選択したい範囲を

カーソル (十) でドラッグします。

カーソルをドラッグすると、点線の長方形が表示されます。その長方形で選択したい範囲を囲みます。

[__] メモ:

マウスの左ボタンを離すと、輪郭線変換の設 定ダイアログボックスに戻ります。

6. OK をクリックします。

→輪郭データがステージ3(輪郭データステージ)のデザインページに表示されます。



]] メモ:

変更を取り消してダイアログボックスを閉じ る場合は、**キャンセル**をクリックします。

1 注意:

ステージ2(輪郭線画ステージ)からステー ジ3(輪郭データステージ)に進むとき、輪 郭変換の設定で様々な設定を試してみても 思い通りの輪郭データにならない場合は、ス テージ2に戻り、輪郭線画の輪郭線を修正す るか、または原画から修正を行ってみてくだ さい。 ▶68の「ステージ2で新規デザインページを 作成する」、P.77の「ステージ4(縫い方設 定ステージ)」、P.99の「グリッドの設定を変 更する」、本ページの「デザインページのサ イズを設定する」

デザインページのサイズを 設定する

ステージ 3 (輪郭データステージ) では、デザイン ページを、ご使用のミシンで使用する刺しゅう枠の サイズに設定できます。

- 繊続詳緒 ドサインセンタ-
- メニューバーのオプション→デザイン ページの設定をクリックします。
 - → **デザインページの設定**ダイアログボック スが表示されます。

デザインページの設定	
<u>í</u>	デザインページサイズ: 100 × 100 mm ▼ 向き: ご 積 管 積 デザインページ: 事景: ▼
標準	キャンセル

2. デザインページのサイズを指定します。

デザインページサイズセレクタでご使用のミ シンの枠サイズを選択します。

必要に応じて、向き(縦/横)を選択します。

🋄 メモ:

- プレビュー領域で設定内容を確認できます。
- ミシンの絵が、ミシン上のデザインページ
 (枠)の方向を示します。



OK をクリックします。

() メモ:

- 標準設定(100 × 100 mm)に戻すには、
 標準をクリックします。
- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

1 注意:

 選択したサイズは設定が変更されるまで、新 規デザインページに適用されます。

ステージ3で新規デザイン ページを作成する

輪郭データを描画する場合や既存の輪郭データ (.pem ファイル)を開いてデータを作成する場合に、 ステージ 3 (輪郭データステージ)の新規デザイン ページを作成します。

輪郭線を編集する

1. ツールボックスの 📐 をクリックします。

→ カーソルの形が 📿 に変わります。

選択したい輪郭データの輪郭線をクリックします。

- メニューバーのファイル→新規作成(輪郭 データ) をクリックします。
 - →デザインページが保存済みまたは作業中 のデータがない場合は、直ちにステージ3 (輪郭データステージ)の空白の新規デザ インページがが表示されます。

() メモ:

- デザインページのサイズは現在の設定となります。
- ・既存の.pem ファイルを取り込むには、メニューバーのファイル→輪郭データ取り込みを使用します。
- → 作業中のデザインページが保存されてい ない場合は、変更を保存するかどうかを尋 ねてきます。

<u>____</u>メモ:

ステージ3 (輪郭データステージ) では、輪郭 データは .pem ファイルとして保存されます。

P.66の「TWAIN機器から画像データを取り込む」、P.98の「保存する」、P.68の「ステージ2で新規デザインページを作成する」

) メモ:

•輪郭データが選択されると、ハンドルが表示され、輪郭線が青くなります。



- ・細邦チータは細邦線以外の部方をクリック すると、選択できません。
 ・輪郭データの選択を解除するには、別の輪
- ・細邦ケータの選びを解除するには、別の細 郭データを選択するか、デザインページの 空白部分(輪郭線以外の部分)をクリック します。
- 複数の輪郭データを選択するときは、
 Ctrl キーを押しながら、輪郭データの輪 郭線をクリックします。

ステージ3(輪郭データステージ)

デザインセンター

() メモ:

選択したい輪郭データ全体をを囲むように カーソルをドラッグしても選択できます。 カーソルをドラッグすると、点線の長方形が 表示されます。マウスボタンを離すと、その 長方形で完全に囲まれたすべての輪郭線が選 択されます。

輪郭データを移動する

- 1. 移動したい輪郭データを選択します。
 - → カーソルを輪郭データ上に移動すると、形 が ♣ に変わります。
- 2. 輪郭データをドラッグします。

[]] メモ:

- (Shift) キーを押しながらドラッグすると、
 輪郭データを水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、選択した輪郭データを
 矢印キーの方向に 0.5 mm ずつに移動できます。

輪郭データを拡大・縮小する

マニュアルで拡大・縮小する

- サイズを変更したい輪郭データを選択します。
- 選択した輪郭データのハンドル上にカー ソルを移動します。

→ 接しているハンドルによって、カーソルの 形が、 ◆ 、 ↓、 、 ↓ または ♪ に変 わります。

メモ:

- ←→ は幅を拡大・縮小します。
- ↓ は高さを拡大・縮小します。
- くとくは、幅と高さを同時に拡大・ 縮小します。(幅と高さの比率は保たれま す。)
- ハンドルをドラッグし、選択した輪郭デー タのサイズを調整します。

サイズを指定して拡大・縮小する

- サイズを変更したい輪郭データを選択します。
- メニューバーの編集→数値設定→サイズ をクリックします。

→ **サイズ**ダイアログボックスが表示されます。



- 縦横比を固定して幅と高さを変更する場合は、縦横比を保持チェックボックスを チェックします。
- 指定のしかたを選びます。比率(%)また はサイズ(mm またはインチ)のどちら かのラジオボタンをクリックします。
- 幅と高さの数値を入力するか、スピンボタン で値を変更します。

| | メモ:

- 100%を選択すると、サイズは変更されません。
- 縦横比を保持チェックボックスを選択する と、幅と高さの比が固定され、一方の数値 を変更するともう一方も自動的に変更され ます。
- OK をクリックします。

↓↓ メモ:

- プレビューをクリックすると、変更後の輪 郭データのサイズをデザインページ上で確 認できます。
- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

Q 注意:

- 入力可能な最大値は、輪郭データがデザインページのサイズを超えない数値です。
- 入力可能な最小値は、1 mm です。

▶ P.99 の「長さの単位を変更する」

輪郭データを上下または 左右に反転させる

ツールバーボタン: 🔂

- 上下または左右に反転させたい輪郭デー タを選択します。
- 上下に反転させる場合は、メニューバーの 編集→反転→上下をクリックするか、ツー ルバーの
 をクリックします。
 左右に反転させる場合は、メニューバーの 編集→反転→左右をクリックするか、ツー
 ルバーの
 をクリックします。

輪郭データを回転させる

■回転させる

ツールバーボタン: Ŭ

- 1. 回転させたい輪郭データを選択します。
- メニューバーの編集→回転をクリックするか、ツールバーの
 をクリックします。

→ 選択した輪郭データの四隅のハンドルが、 白い四角に変わります。

3. カーソルをハンドルの1つに移動します。

→ カーソルの形が ひ に変わります。

 ハンドルをドラッグすると、右または左に 1度単位で回転します。

|__| メモ:

Shift キーを押しながらドラッグすると、15 度単位で回転します。

回転させる(数値を指定する)

- 1. 回転させたい輪郭データを選択します。
- メニューバーの編集→数値設定→回転を クリックします。

→ **回転**ダイアログボックスが表示されます。



回転角度の数値を入力するか、スピンボタンで値を変更します。

└── メモ:

- 赤い矢印をドラッグしても指定できます。
 カーソルを赤い矢印上に移動すると、形が
- ひ に変わります。
- •0度を選択すると、回転されません。
- **4. OK** をクリックします。

【 】 メモ:

- プレビューをクリックすると、変更後の輪 郭データの角度をデザインページ上で確認 できます。
- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

注意:
 入力可能な数値の範囲は、0~359度までで、
 1度単位で入力できます。

輪郭データを削除する

- 1. 削除したい輪郭データを選択します。
- 2. Delete) キーを押すか、メニューバーの 編集→削除をクリックします。

74



ポイントを移動する

1. ツールボックスの 🌾 をクリックします。

→ カーソルの形が に変わります。

- 編集したい輪郭データをクリックします。
 - →線がピンクで表示され、線の既存ポイント が小さな四角で表示されます。線の始点と 終点は大きめの四角で表示されます。



- 3. 移動したいポイントをクリックします。
 - → 選択されたポイントは黒い四角で表示さ れます。

() メモ:

複数のポイントを選択するには、 Ctrl キー を押しながらポイントをクリックするか、ポ イントを囲むようにドラッグします。

 注意:
 輪郭データの線上でクリックすると、新しい ポイントが挿入されます。

- ポイントを移動したい場所にドラッグします。
 - → 選択されたすべてのポイントが同じ方向 に移動します。

() メモ:

- Shift キーを押しながらドラッグすると、 水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、選択したポイントを矢 印キーの方向に 0.1 mm ずつ移動できます。

ポイントを挿入する

1. ツールボックスの 🌾 をクリックします。

→ カーソルの形が └ に変わります。

2. 編集したい輪郭データをクリックします。

- → 線がピンクで表示され、線の既存ポイント が小さな四角で表示されます。線の始点と 終点は大きめの四角で表示されます。
- ポイントを挿入したい輪郭データの線上 でクリックします。
 - → 新しいポイントが追加されます。追加され たポイントは選択された状態 (小さい黒い 四角) で表示されます。挿入されたポイン トは、すぐに編集できます。

ポイントを削除する

1. ツールボックスの 🌾 をクリックします。

→ カーソルの形が に変わります。

 編集したいポイントがある輪郭データを クリックします。

> →線がピンクで表示され、線の既存ポイント が小さな四角で表示されます。

3. 削除したいポイントをクリックします。

→ 選択されたポイントは黒い四角で表示さ れます。

人人 メモ: 複数のポイントを選択するには、Ctrl キー を押しながらポイントをクリックするか、ポ イントを囲むようにドラッグします。

 Delete) キーを押すか、メニューバーの 編集→削除をクリックして、ポイントを削 除します。

> 注意:
> 赤い四角で表示されているポイントは削除 できません。

直線を描く

直線描画ツールにより、線を追加することができます。線は一本の直線または折線で描くことができます。または、複数本の直線をつなげて描くことができます。一本の直線の終点は次の直線の始点になります。

このツールで描いた線には、ステージ4(縫い方設定ステージ)で縫い方と糸色を設定できます。また、この ツールで描いた線で囲まれた面にもステージ4で縫い方と糸色を設定できます。

すでにある面にこのツールで線を追加し、面を分割すると、分割されたそれぞれの面に個別の縫い方・糸色を 設定できます。



分割線として用いる場合

1. ツールボックスの < をクリックします。

→ カーソルを作業領域に移動すると、形が 十< に変わります。</p>

- 始点を指定します。カーソルを始点に移動
 し、クリックします。
- カーソルを次の点に移動し、再度クリック します。

メモ:

→2つのポイントを結ぶが直線が引かれます。

- マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。
- グリッドを入力の補助線にすると便利です。縦線と横線のグリッド線を表示できます。グリッドについては P.99 の「グリッドの設定を変更する」を参照してください。
- Shift キーを押しながらカーソルを移動 すると、水平方向または垂直方向に線を引 けます。
- 終点の1つ前の点まで、ステップ3を繰り 返します。
- 終点を指定します。終点でダブルクリック します。



ステージ4(縫い方設定ステージ)

ステージ3(輪郭データステージ)の輪郭データが編集できたら、ステージ4(縫い方設定ステージ)に進み、 縫い方の設定を行います。必要に応じて、ズーム用ツールでデータをズームインまたはズームアウト表示でき ます。

ツールバーボタン: 🏔

1. 🙈 をクリックするか、メニューバーの

ステージ→縫い方設定ステージをクリッ クします。

→ データがステージ4(縫い方設定ステージ) のデザインページに表示されます。



▶ P.68の「ステージ2で新規デザインページを 作成する」、P.70の「ステージ3(輪郭デー タステージ)」

表示色を設定する

ステージ 4 (縫い方設定ステージ) では、デザイン ページの色を布の色に設定し、その背景を別の色を 設定しコントラストを出すことができます。

 メニューバーのオプション→デザイン ページの設定をクリックします。

> → デザインページの設定ダイアログボック スが表示されます。

向唐: 6 縦 6 椎
き: デザインページ:

- デザインページセレクタでデザインページの色を選択します。
- 3. 背景セレクタで背景の色を選択します。

メモ:
 プレビュー領域で設定された色を確認できます。

4. OK をクリックします。



線と面に糸色と縫い方を設定する



れます。縫い方の設定は、いつでも変更で

きます。

- 糸色と縫い方の種類を設定したい面をク リックします。
 - → 選択した面が囲む線が赤い破線で表示され、縫い方バーの糸色と縫い方の種類が面 に設定されます。



〕注意:

縫い方を面に設定できないときは、ステージ 3 (輪郭データステージ) に戻り、輪郭線の ポイントをポイント編集ツールで編集し、面 を閉じて(線で完全に囲んで)ください。詳 しくは、P.75の「輪郭データのポイントを編 集する」を参照してください。

■ 面の縫い方を確認する

1. ツールボックスの 🗾 をクリックしま

す。

→ カーソルの形が [△]□ に変わります。





() メモ:

- 輪郭線に縫い方を設定した後でも、糸色や 縫い方を変更できます。設定の変更につい ては、P.83の「糸色」、P.83の「縫い方の 種類」を参照してください。
- ・走りピッチなどその他の縫い方の設定は、
 縫い方の設定ダイアログボックスで行います(詳しくは、P.83の「縫い方の詳細設定をする」を参照)。縫い方の設定は変更しないかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定は、いつでも変更できます。

1 注意:

1 つの輪郭線に複数の色を設定することはで きません。輪郭線の一部に、すでに輪郭線に 設定されている色と異なる色を設定すると、 輪郭線全体の色が変更されます。

 糸色、縫い方の種類を設定したい輪郭線の 一部をクリックします。 → 設定された輪郭線の一部が赤い破線で表 示され、縫い方バーの糸色と縫い方の種類 が輪郭線の一部に設定されます。





輪郭線の縫い方を確認する

1. 輪郭線全体を確認するときは、ツールボッ

クスの <u>メ</u>をクリックします。

→ カーソルの形が km に変わります。

輪郭線の一部を確認するときは、ツール ボックスの 👤 をクリックします。

→ カーソルの形が^Q に変わります。

 輪郭線または輪郭線の一部を右クリック します。 → 選択された輪郭線または一部の輪郭線の 縫い方が**縫い方の設定**ダイアログボック スに表示されます。

縫い方の設定		×
▼線の縫い	五	
走りビッ	F 2.0 mm ····· ··+ _ [⊡]	
走り回募	2 🛛 2 📙 6 💼	
■#¥目	モードへ	
[閉じるガイドを隠す	
走りビッチ		
	× 2	

<u>)</u>メモ:

・メニューバーの縫い方→縫い方の設定を選択するか、次のツールバーボタンをクリックしても、縫い方の設定ダイアログボックスを表示できます。

- 縫い方バーに糸色と縫い方の種類が表示されます。輪郭線全体または輪郭線の一部の糸色と縫い方の種類を確認、変更できます。詳しくは、P.83の「糸色」、P.83の「縫い方の種類」を参照してください。
- 必要に応じて、縫い方の設定ダイアログ ボックスの設定を変更します。

∭ メモ:

各設定の右側の 💼 をクリックすると、標準 設定に戻すことができます。

▶ P.83 の「縫い方の詳細設定をする」

- 4. 新しい縫い方を輪郭線または輪郭線の一 部に設定する場合は、設定したい輪郭線を クリックします。
- 閉じるをクリックして、ダイアログボック スを閉じます。

縫い方バーの使い方

ステージ 4 (縫い方設定ステージ) で使用できる縫い方バーによって、面と輪郭線の糸色と縫い方の種類を設定できます。

使用できる縫い方の種類は、ツールボックスで選択 したツールによって異なります。

例1: 🗾 が選択されている場合



例2: 👤 または 👤 が選択されている場合

~ ■ サテン縫い • 🗰

カーソルを縫い方バーのボタンまたはセレクタ上に 置くと、そのボタンやセレクタの機能を示すラベル が表示されます。

<u></u>	面の設定ボタン:面縫い のオン/オフを切り替え ます。	P.81
~	線の設定 ボタン:線縫い のオン/オフを切り替え ます。	P.82
	面の色ボタン、線の色ボ タン:線または面の糸色 を設定します。	P.83
タを縫い ・ 走り縫い ・	面の縫い方セレクタ、線 の縫い方セレクタ:線ま たは面の縫い方の種類 を設定します。	P.83

■ 面の設定 👑

面縫いのオン/オフを切り替えます。

Xモ:

- 面の設定ボタンはツールボックスの
 が選択されている場合にのみ使用できます。
- 面縫いがオフのときは、面の縫製は行われません。(糸色または縫い方の設定はできません。)



オフ:面の色ボタンと面の縫い方セレクタは表示されません。



- 2. 面をクリックして面に縫い方を設定します。
 - → 面の設定ボタンがオンになっている場合は、面の色ボタンに表示された糸色と面の 縫い方セレクタに表示された縫い方の種類が面に設定されます。
 - → 面の設定ボタンがオフになっている場合 は、面は白く表示され、縫わない設定にな ります。



▶ P.83 の「糸色」、P.83 の「縫い方の種類」

■線の設定 ~/

線縫いのオン/オフを切り替えます。

── メモ:

線の設定ボタンはツールボックスの
 または ジョが選択されている場合に

のみ使用できます。

線縫いがオフのときは、線の縫製は行われません。(糸色または縫い方の設定はできません。)

線の設定ボタンを(N)をクリックします。

オン/オフにより、表示が変わります。

オン:線の色ボタンと線の縫い方セレクタが表示されます。

オフ:線の色ボタンと線の縫い方セレクタは表 示されません。



- 2. 線をクリックして線に縫い方を適用します。
 - →線の設定ボタンがオンになっている場合 は、線の色ボタンに表示された糸色と線の 縫い方セレクタに表示された縫い方の種 類が線に設定されます。
 - → 線の設定ボタンがオフになっている場合 は、線は点線で表示され、縫わない設定に なります。



1 つの輪郭線に複数の色を設定することはで きません。輪郭線の一部に、すでに輪郭線に 設定されている色と異なる色を設定すると、 輪郭線全体の色が変更されます。

▶ P.83 の「糸色」、P.83 の「縫い方の種類」



- 糸色リストから、希望する色をクリックします。
 - → 選択された糸色が面の色ボタンまたは線の色ボタンに表示されます。

() メモ:

- 糸色をダブルクリックしても選択できます。
- 選択された色は、ダイアログボックスの下 方に表示されます。
- 糸色一覧の下の4つのボタンには特別な機能があります。詳しくは、P.165の「特別 色」を参照してください。

- 閉じるをクリックし、色を設定してダイア ログボックスを閉じます。
- 糸色を設定したい面または輪郭線をク リックします。

■縫い方の種類

線の縫い方の種類	面の縫い方の種類	
走り縫い 🕒	夕気縫い	•

このセレクタをクリックして、線または面の縫い方 の種類を設定します。

() メモ:

面の設定ボタン(<u></u>) または**線の設定**ボタ

ン(<mark>~/</mark>)がオンになっている場合に、**縫い 方**セレクタは縫い方バーに表示されます。

1. 縫い方の種類セレクタをクリックします。

→ 使用できる縫い方の種類が表示されます。

泉の縫い方の種類	面の縫い方の種類
走り縫い 💌	タタミ縫い 🔹
サテン縫い	サテン縫い
走り縫い	タタミ縫い
	プログラムタタミ縫い
	モチーフ縫い
	クロスステッチ
	回心円縫い
	放射縫い
)冶萃き縫(.)

2. 希望する縫い方の種類をクリックします。

→ 選択された縫い方の種類がセレクタに表 示されます。

 縫い方の種類を設定したい面または輪郭 線をクリックします。

[27] P.81 の「面の設定」、P.82 の「線の設定」

縫い方の詳細設定をする

線と面に対する様々な縫い方の設定は、**縫い方の設** 定ダイアログボックスで行います。

ツールバーボタン: 🔜

1. ツールバーの 🔜 をクリックします。

→縫い方の設定ダイアログボックスが表示 されます。

P.81の「面の設定」、P.82の「線の設定」、P.165 の「特別色」



■線の縫い方

指定できる縫い方の設定は、選択した縫い方によって異なります。簡易モードでは、表示されない縫い方の設 定があります。

サテン縫い

サテン幅	サテン幅を設定します。 範囲:1.0 ~ 10.0 mm 標準:2.0 mm
糸密度	1 mm 当たりの糸数を設定します。 範囲:1.0 ~ 7.0 本 / mm 標準:4.0 本 / mm
ハーフステッチ	ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。 サテン縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、一定糸 オン: 密度になるように自動的に調整されます。 標準:オフ オフ:

走り縫い

走りピッチ	輪郭線縫いのピッチを設定します。 範囲:1.0 ~ 10.0 mm 標準:2.0 mm
走り回数	輪郭として縫われる回数を設定します。 範囲:2、4、6回 標準:2回

■面の縫い方

指定できる縫い方の設定は、選択した縫い方によって異なります。簡易モードでは、表示されない縫い方の設 定があります。

サテン縫い

下打ち	下打ちをする/しないを切り替えます。広い面積を縫う場合、縫い縮みを防ぐために下打ち をしてみてください。面の形状により、この設定が使用できない場合もあります。 オン:下打ちを行う オフ:下打ちを行わない	
糸密度	1 mm 当たりの糸数を設定します。 範囲:1.0 ~ 7.0 本 / mm 標準:4.0 本 / mm	
グラデーション	糸密度のグラデーションのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが 一定 に設定されている場合に設定できます。 パターン をクリックして、グラデーションのパターンを設定します。 標準:オフ この設定について詳しくは、 P90 の「グラデーションを作成する」を参照してください。	
縫い角度	[タイプ] 縫い方向の種類を設定します。 一定:一定の角度で縫います。下記で角度を設定します。 可変:データの形状に合わせて縫い方向を可変します。 [角度] 縫い方向の角度を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 範囲:0~359度 標準:45度	
ハーフステッチ	ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが 可変 に設定されている場合に設定できます。オン: サテン縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、一定糸密度 になるように自動的に調整されます。オフ: 標準:オフ	

内部走り経路	 面内部の走り縫いの経路を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 指定できる設定: 面の内部(図形内部の最短経路) 輪郭線沿い(図形の輪郭線の内側の線上の最短経路) 輪郭線上(図形の輪郭線上の最短経路) グラデーションがオフに設定されている場合にのみ、面の内部を設定できます。 標準:面の内部 	面の内部: 輸郭線沿い:
縮み補正	縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 範囲:0.0 ~ 2.0 mm 標準:0.0 mm	

タタミ縫い

下打ち	下打ちをする/しないを切り替えます。広い面積を縫う場合、縫い線 をしてみてください。面の形状により、この設定が使用できない場 オン:下打ちを行う オフ:下打ちを行わない	宿みを防ぐために下打ち 合もあります。
糸密度	1 mm 当たりの糸数を設定します。 範囲:1.0 ~ 7.0 本 / mm 標準:4.0 本 / mm	
グラデーション	糸密度のグラデーションのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが 一定 に設定されている場合に設定できます。 パターンをクリックして、グラデーションのパターンを設定します 標準:オフ この設定について詳しくは、 P.90 の「グラデーションを作成する」	。 を参照してください。
縫い角度	 [タイプ] 縫い方向の種類を設定します。 一定:一定の角度で縫います。下記で角度を設定します。 可変:データの形状に合わせて縫い方向を可変します。 [角度] 縫い方向の角度を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 範囲:0~359度 標準:45度 	$135^{\circ} \xrightarrow{90^{\circ}} 45^{\circ} \\180^{\circ} \xrightarrow{225^{\circ}} 270^{\circ} 315^{\circ}$
折り返し	ステッチの折り返しパターンの形を指定します。 指定できる設定:〇〇、国 標準:〇〇	
ハーフステッチ	ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが 可変 に設定されている場合に設定できます。 タタミ縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、一定糸密度 になるように自動的に調整されます。 標準:オフ	オン:
内部走り経路	 面内部の走り縫いの経路を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 指定できる設定: 面の内部(図形内部の最短経路) 輪郭線沿い(図形の輪郭線の内側の線上の最短経路) 輪郭線上(図形の輪郭線上の最短経路) グラデーションがオフに設定されている場合にのみ、面の内部を設定できます。 標準:面の内部 	面の内部: 輪郭線沿い:
縫いピッチ	縫いピッチを設定します。 範囲:1.0 ~ 10.0 mm 標準:4.0 mm	縫いピッチ ー

ステージ4(縫い方設定ステージ)

偏差	縫い目のずらし具合を設定します。 範囲:0 ~ 99% 標準:30%	30%	0% ₩₩₩
縮み補正	縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 範囲:0.0~2.0mm 煙準:0.0mm		

プログラムタタミ縫い

下打ち	下打ちをする/しないを切り替えます。広い面積を縫う場合、縫い縮みを防ぐために下打ち をしてみてください。面の形状により、この設定が使用できない場合もあります。 オン:下打ちを行う オフ:下打ちを行わない
糸密度	1 mm 当たりの糸数を設定します。 範囲:1.0 ~ 7.0 本/mm 標準:4.0 本/mm
グラデーション	糸密度のグラデーションのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが 一定 に設定されている場合に設定できます。 パターン をクリックして、グラデーションのパターンを設定します。 標準:オフ この設定について詳しくは、 P.90 の「グラデーションを作成する」を参照してください。
縫い角度	[タイプ]縫い方向の種類を設定します。 一定:一定の角度で縫います。下記で角度を設定します。 可変:データの形状に合わせて縫い方向を可変します。 [角度]縫い方向の角度を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 範囲:0~359度 標準:45度
ハーフステッチ	ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが 可変 に設定されている場合に設定できます。 プログラムタタミ縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、 一定糸密度になるように自動的に調整されます。 標準:オフ
内部走り経路	面内部の走り縫いの経路を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 指定できる設定: ・面の内部(図形内部の最短経路) ・輪郭線沿い(図形の輪郭線の内側の線上の最短経路) ・輪郭線上(図形の輪郭線上の最短経路) グラデーションがオフに設定されている場合にのみ、面の内部を 設定できます。 標準:面の内部
縮み補正	縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 範囲:0.0~2.0mm 標準:0.0mm

			ノロクラムタタミのハターンを選択します。 をクリックすると、一覧ダイアログボックスが表示されます。使用する .pas ファイルがあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のバターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示させてから OK をクリックしてパターンを選択します。
	幅(横の長さ)		縫いパターン幅を設定します。 範囲:5.0 ~ 10.0 mm 標準:7.5 mm
	高さ(縦の長	(5)	縫いパターン高さを設定します。 範囲:5.0 ~ 10.0 mm 標準:7.5 mm
	角度		パターン配列の角度を変更します。 範囲:0~359度 標準:0度 135 ^{°90°45°} 180°225 ^{°270°315°}
プログラム	オフセット	オフセット 方向	パターン配列の横 / 縦のオフセット方向を設定しま 横 会会 す。 縦 ^会 会
992		オフセット 値	パターン配列のオフセット(ずらし)量を設定します。 範囲:0 ~ 99% 標準:0%
		折り返し	ステッチの折り返しパターンの形を指定します。 ベースの縫い方がオンに設定されている場合に設定 できます。 指定できる設定: 😑 🔎 標準: 🗐
	ベースの縫 い方 ベースの縫 い方を指定 します(詳 しくは、下	縫いピッチ	プログラムタタミ縫いのベースの縫い方用に縫いピッチを設定します。 ベースの縫い方がオンに設定されている場合に設定 をます。 範囲: 1.0 ~ 10.0 mm 標準: 4.0 mm
	図参照)。	偏差	プログラムタタミ縫いのベースの縫い方用に、縫い目のずらし具合を設定します。 ベースの縫い方がオンに設定されている場合に設定 30% 0% できます。 範囲:0~99% 標準:30%







プログラムタタミ縫いのベース の縫い方 (斜線で示したパターン 以外の領域) で設定された縫い方 で縫われます。

パターンファイルで設定された 縫い方で縫われます。

モチーフ縫い

		<u>M</u>	モチーフ縫いのパターンを選択します。 をクリックすると、一覧ダイアログボックス る .pmf があるフォルダを選択します。使用可能な 希望のパターンをダブルクリックするか、クリック OK をクリックしてパターンを選択します。	が表示され 縫いパター して反転者	れます。使用す −ンの一覧から 表示させてから
		幅 (横の長さ)	パターンの幅(線に沿った方向)を設定します。 範囲:2.0 ~ 10.0 mm 標準:5.0 mm		
	パターン 1 パターン 2	高さ (縦の長さ)	パターンの高さ(線と垂直の方向)を設定します。 範囲:2.0 ~ 10.0 mm 標準:5.0 mm		
		アレンジ 1 (横配列)	パターンの横配列を設定します。⊙のような パターンでは、右図のように線に沿って配列 されます。	標準 反転 交互	$\frac{2}{2}$
モチーフ		アレンジ 2 (縦配列)	パターンの縦配列を設定します。▶のような パターンでは、右図のように線に沿って配列 されます。	標準 反転 交互	
	角度		モチーフ縫いの縫い角度を設定します。 範囲:0 ~ 359 度 標準:0 度	13 180 [°] 22	$5^{\circ} - 90^{\circ} 45^{\circ} - 0^{\circ} - 0^{\circ} - 0^{\circ} - 0^{\circ} - 315^{\circ}$
	オフセット量		パターン配列の各列のオフセット(ずらし) 量を設定します。 範囲:0.0 ~ 10.0 mm 標準:0.0 mm		
	走りピッチ		走りピッチを設定します。 範囲:1.0 ~ 10.0 mm 標準:10.0 mm		

クロスステッチ

サイズ	格子の縦横のサイズを設定します。 詳細モードでは、単位として mm またはカウントで設定します。どちらの単位で設定しても、 もう一方の単位も連動して設定されます。 範囲:1.5 ~ 5.0 mm または 5 ~ 17 カウント 標準:2.5 mm または 10 カウント
縫い方	縫い回数を設定します。 範囲:2重縫い、4重縫い、6重縫い 標準:2重縫い

同心円縫い、放射縫い、渦巻き縫い

同心円縫いと放射縫いの中心点の移動について詳しくは、P.91 の「同心円縫いと放射縫いの中心点を移動する」を参照してください。

糸密度	1 mm 当たりの糸数を設定します。 範囲:0.5 ~ 7.0 本 / mm 標準:2.0 本 / mm
走りピッチ	走りピッチを設定します。 範囲:1.0 ~ 10.0 mm 標準:2.0 mm

プログラムタタミ縫いとスタンプに関する注意

プログラムタタミ縫いやスタンプを設定する場合、 縫い方とパターン角度によっては、パターンの効果 が十分に現れない場合があります。これは、パター ンのデータと縫い角度が交わる所に針落ちデータを 作成するためです。

したがって、プログラムタタミ縫いやスタンプを設 定する場合は、必ずプレビュー機能を使って縫い角 度、パターン角度が正しいか確認してください。効 果的な角度の値を得るため、別の縫い角度を試して 比較してみてください。

プログラムタタミ縫いの例:

例 **1** 縫い角度:45 度(標準)

28 単面 - デザイン	1559-				
71150 8880	出い方容 表示の	350a2400 29-			0.0
	1 47 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14	U BI RA VI		nd" 401 Alla (44)	PF3 200
V	A NOV			15/17/11/10	
	<u>*</u> + +			mmm	(1) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /
<u>y</u>	<u>*+</u>				li de la dela dela dela dela dela dela del
	Maria .		V/1444	XXIII.	
	//////	11	VVV	AAA	ANN M
	1111111			1	NY N
		∕ <u>}</u> -			
		XX			111
<u>×</u> 10	///////////////////////////////////////				
12		111		<u>†</u> T-	
	hinni	<u></u>	i }		
N.	///////////////////////////////////////	[]]////////////////////////////////////	V/N/////	1 1 1	1/1// <u>1</u>
アパターでヘルフを表示					NUM

例 2

縫い角度:90度

通加日 - 7	15854- ED
7时後回 編	1日 離い方容 義示型 オブシム型 ステークロ へいけん
13 100 1423	
2	
mh	
77	*****
1	
mile	
_	
Q	
[0]	
-	
<u> </u>	
9	******
ha	
- 220	
S	

例3 縫い角度:0度



P.96 の「縫製イメージをプレビューする」、
 P.201 の「ステッチクリエイター」

グラデーションを作成する

サテン縫い、タタミ縫い、またはプログラムタタミ 縫いでは、糸密度を様々な位置で調整し、グラデー ションパターンを作成できます。

- 縫い方の設定ダイアログボックスの詳細 モードで、グラデーションチェックボック スをチェックします。
- 2. パターンをクリックします。

→ **グラデーションパターンの設定**ダイアロ グボックスが表示されます。



- グラデーションのパターンを選びます。パ ターン選択から希望するボタンをクリッ クします。
- グラデーションの糸密度を調節します。ス ライダを動かします。

ジモ:変更結果がプレビュー領域に表示されます。

5. OK をクリックします。

↓ **メモ:** 設定を取り消してダイアログボックスを閉じ る場合は、**キャンセル**をクリックします。

同心円縫いと放射縫いの 中心点を移動する

装飾的な効果を高めるには、同心円縫いまたは放射 状縫いに設定された縫いの中心点を移動します。

1. ツールボックスの 🗾 をクリックします。

→ カーソルの形が[□] に変わります。

- 希望する色と縫い方の種類(同心円縫いま たは放射縫い)を選択します。
- 3. 面をクリックします。

 中心点をドラッグして、プレビュー画面で 確認しながら模様を調整します。





☐ メモ:

中心点を再移動する場合は、 をクリックしてから、同心円縫いまたは放射縫いを設定した面をクリックします。中心点が表示され移動が可能になります。

ドーナツ縫いを設定する

ドーナツ縫いを設定すると、重なった面の二重縫い を防ぐことができます。ドーナツ縫いは、1 つの面 が他の面を完全に囲む場合にのみ設定できます。

1. ツールボックスの 📩 をクリックします。

→ カーソルの形が ○ に変わります。

2. 別の面を完全に含む面をクリックします。



→次のようなドーナツ縫いの設定ダイアロ グボックスが表示されます。



() メモ:

ドーナツ縫いを解除するには、白の内面をク リックします。内面は外面と同じ色で表示さ れると、二重に縫われます。



3. OK をクリックして、設定を確定します。

メモ: ドーナツ縫いの適用を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

[→] 中心点 (📕) が表示されます。

スタンプを設定・編集する

ステッチクリエイターで作成したプログラムタタミ/スタンプパターンを、デザインセンターのステージ4(縫い方設定ステージ)でスタンプとして面に設定できます。プログラムタタミ/スタンプパターンは本アプリケーションに用意されていますが、ステッチクリエイターで、編集したり、新しく独自のパターンを作成したりできます。



() メモ:

- スタンプ全体が表示されます。スタンプの 方が設定された面よりも大きい場合があり ますが、面と重なっている部分のみが縫わ れます。
- スタンプはサテン縫い、タタミ縫い、また はプログラムタタミ縫いが設定された面の みに設定きます。
- 同じ面に複数のスタンプを設定するとき は、必要な回数分面をクリックし続けます。
- スタンプの設定ダイアログボックスは、ス タンプツールを選択中のみ表示されます。
- スタンプは設定された面内でのみ縫われます。
- デザインセンターでスタンプを設定した刺しゅうデータをレイアウトセンターに取り込む際、取り込みサイズダイアログボックスの取り込み倍率設定でデザインのサイズを変更したときは、プログラムタタミ/スタンプパターンのサイズが変更されることがあります。

スタンプを編集する

- 1. ツールボックスの 👥 をクリックします。
 - → カーソルの形が^し 上に変わり、スタンプの設定ダイアログボックスが表示され、面に設定されているスタンプが点線で表示されます。



() メモ:

面が選択されている場合は、面の輪郭線が赤 い破線で表示され、スタンプは点線で表示さ れます。

- 編集するスタンプを設定した面をクリックします。
 - → 選択した面の輪郭線が、赤い破線で表示さ れます。

3. 編集するスタンプをクリックします。

→ 丸いハンドルがスタンプの周囲に表示され、回転ハンドルがスタンプの上部に表示されます。



〕注意:

複数個のスタンプを一緒に選択することは できません。別のスタンプを選択すると、前 に選択していたスタンプの選択は解除され ます。

 スタンプの形状を変更する場合は、スタン プの設定ダイアログボックスで別のパ ターンを選択して、設定をクリックしま す。

> スタンプのサイズと角度を変更する場合は、ス タンプの設定ダイアログボックスのサイズと 角度で設定値を指定するか、ハンドルまたは回 転ハンドルをドラッグして調整します。

> スタンプを移動する場合は、ドラッグします。 面内にパターン全体または一部を配置します。

> スタンプを削除する場合は、メニューバーの**編** 集→削除を選択するか、 **Delete** キーを押し ます。

)) メモ:

- スタンプの形状はスタンプツールを選択中 にのみ表示されます。
- スタンプは設定された面内でのみ縫われます。
- スタンプの設定ダイアログボックスを閉じるときは、閉じるをクリックします。

▶ P.72 の「輪郭線を編集する」

縫い順を確認・変更する

刺しゅうデータの各糸色の縫い順を確認・変更したり、さらに各糸色を構成する各部分の縫い順を確認・変更 します。(この機能はステージ4(縫い方設定ステージ)でのみ使用できます。)

ツールバーボタン: 强

1. 🔛 をクリックするか、メニューバーの

縫い方→縫い順をクリックします。

→次のような縫い順ダイアログボックスが 開き、色タブ画面が表示されます。



]] メモ:

- 面縫いのコマと輪郭線縫いのコマは太い縦 線で分けられています。この縦線を飛び越 えて縫い順を変更することはできません。
- パターンは左から右に向かって順に縫われ ます。必ず、すべての面が縫われてから輪 郭線が縫われます。
- 2. 色の縫い順を変更するときは、移動する色 部分のコマをクリックし、コマを希望する 位置までドラッグします。
 - → ドラッグしている間は、新しい縫い順の移 動先が縦の赤い太線で表示され、停止する と、その位置に移動します。



) メモ:

- 複数のコマを選択するときは、Shift キー または Ctrl キーを押しながら、各コマを クリックします。
- コマを選択すると、デザインページのその コマの面の輪郭線、またはそのコマの輪郭 線が赤い破線で表示されます。
- 各色を構成する部分の縫い順を確認、変更 するときは、色タブで目的の色を選択し、 部分タブをクリックします。
 - → 選択された色の部分の縫い順が表示され ます。



- 部分の縫い順を変更するときは、移動する 部分のコマをクリックし、コマを希望する 位置までドラッグします。
 - → ドラッグしている間は、新しい縫い順の移 動先が縦の赤い太線で表示され、停止する と、その位置に移動します。

() メモ:

- 複数のコマを選択したいときは、Shift または (Ctrl) キーを押したまま、各コマを選択します。
- コマを選択すると、デザインページのその コマの面の輪郭線、またはそのコマの輪郭 線が赤い破線で表示されます。
- OK をクリックし、変更を確定してダイア ログボックスを閉じます。

↓ **メモ:** 縫い順の変更を取り消してダイアログボック スを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックし ます。



95

縫製イメージをプレビューする

刺しゅうデータを作成中や完成後に、そのデータの縫製イメージや仕上がりイメージをプレビューできます。 実際にどのように縫製されているかを確認できます。(この機能はステージ4(縫い方設定ステージ)でのみ使 用できます。)

 プレビューを表示するには、メニューバーの表示→プレビューをクリックします。 または、次のツールバーボタンをクリックします。

 ○ ひ ○ 回 亟 型 図 圖 電 電 回 2 2 5

プレビュー -----

→刺しゅうデータの縫製イメージが表示されます。



メモ:

 通常表示に戻すには、ステップ1.を繰り 返すか、(Esc)キーを押します。

注意:
 プレビュー画面では、刺しゅうデータの編集はできません。

→刺しゅうデータの仕上がりイメージが表示されます。



() メモ:

1 注意:

- リアルプレビュー画面では、刺しゅうデータの編集はできません。
- モニタの設定が256 色以下の場合、鮮明な 色を表示できません。16 ビットハイカラー (65536 色)以上の設定で使用してください。
- 通常表示に戻すには、ステップ3を繰り返すか、 Esc キーを押します。

リアルプレビューの設定を 変更する

リアルプレビューの設定を変更して、刺しゅうデー タを見やすくできます。(この機能はステージ4(縫 い方設定ステージ)でのみ使用できます。)

 メニューバーの表示→リアルプレビュー の設定をクリックします。 →次のリアルプレビューの設定ダイアログ ボックスが表示されます。

リアルブ	レビューの設定
糸の太	ð:
細い	xu
コントラ	スト
ड्रेड्री, १	
明るさ	
暗い	เมือบ
0	K キャンセル

- 2. 糸の太さスライダで、糸の太さを設定します。
- コントラストスライダで、コントラストを 設定します。
- 4. 明るさスライダで、明るさを設定します。

 リアルプレビューが表示されているとき は、設定をクリックし、新たな設定でリア ルプレビューを表示させます。

リアルプレビューが表示されていないときは、 OK をクリックして、次回以降の表示のために その設定を保存します。

── メモ:

変更を取り消してダイアログボックスを閉じ る場合は、**閉じる**または**キャンセル**をクリッ クします。 繊続評省 ドサインセンタ・

▶ P.96 の「縫製イメージをプレビューする」

刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで見る

リファレンスウィンドウには、常にデザインページ全体、もしくは刺しゅうデータ全体が表示されます。デザ インページをズームイン表示すると、現在表示されている部分が赤い枠(表示領域枠)で表示され、全体のど の部分を作業しているかを確認できます。リファレンスウィンドウの表示/非表示は、メニューバーの表示→リ ファレンスウィンドウ、またはツールバーの □ で切り替えます。

表示方法を切り替える

リファレンスウィンドウは、デザインページ全体を 表示するか、刺しゅうデータ全体を表示領域サイズ 合わせて表示するか、切り替えることができます。

1. 🔣 をクリックします。

→ リファレンスウィンドウの表示方法が切 り替わります。



表示領域枠を移動する

表示領域枠を移動して、デザインページに表示する 部分を、リファレンスウィンドウで指定できます。

カーソルを表示領域枠の上に移動します。

→ カーソルの形が 🛟 に変わります。

表示領域枠をドラックして、デザインページで表示したい部分を囲む位置に移動します。

→表示領域枠で囲まれたデータ部分がデザ インページに表示されます。

表示領域枠を書き直す

枠を書き直してデザインページに表示する部分を、 リファレンスウィンドウで指定できます。

- リファレンスウィンドウの表示したい部 分をクリックまたはドラッグします。
 - → クリックした位置を中心とした表示領域枠 が書き直され、表示領域枠で囲まれたデー タ部分がデザインページに表示されます。 特定の部分を表示するには、目的の場所を囲 むようにドラッグします。



カーソルを表示領域枠の角に移動します。
 → 接している角によって、カーソルの形が
 、または 、 に変わります。

保存する

上書き保存する

刺しゅうデータや画像は1度保存すれば、次回から のデータの更新時は簡単に上書き保存できます。

ツールバーボタン: 🔚

1. 🔚 をクリックするか、メニューバーの

ファイル→上書き保存をクリックします。

- → 作業中の刺しゅうデータや画像を以前に1 度以上保存したことがある場合は、ファイ ルは直ちに上書き保存されます。
- → ファイル名が無題のときや、ディスク上に ファイルが見つからないときは、名前を付 けて保存ダイアログボックスが表示され ます。

新しい名前を付けて保存する

現在のファイルを別のファイル名で保存すると、元の ファイルに変更を加えず、様々なバージョンの同一画 像やデータを保存できます。

ステージ1 (原画ステージ) ではビットマップファイル (.bmp)、ステージ2 (輪郭線画ステージ) では.pel ファ イル、ステージ3 (輪郭データステージ) と4 (縫い方 設定ステージ) では.pem ファイルで保存されます。

 メニューバーのファイル→名前を付けて 保存をクリックします。

> →次のような名前を付けて保存ダイアログ ボックスが表示されます。

名前を付けて保存	? 🛛
保存する場所 ①	🔁 Data 💽 🔶 🛅 📰 🕇
ClipArt Photo Angelpem	
ファイル:名(<u>N</u>):	Flower.PEM 保存(S)
ファイルの種類(団):	デザインセンター Ver.6.0 ファイル(*.PEM) ・ キャンセル

── メモ: 🔨 と 🎤 で、高さと幅を拡大・縮小しま す。

- 角をドラッグし、表示領域枠のサイズを調 節します。
- ドライブとフォルダを選択し、ファイル名 を入力します。

// メモ:

- 拡張子は自動的に付きます。
- ステージ 1 (原画ステージ)の画像データは、ビットマップファイル (.bmp)としてのみ保存できます。ステージ2 (輪郭線画ステージ)では、画像データは.pelファイルとして保存されます。ステージ3 (輪郭データステージ)とステージ4 (縫い方設定ステージ)では、輪郭データ、刺しゅうデータは .pem ファイルとして保存されます。

注意: ファイルの種類で旧バージョンを選択する と、保存された .pem ファイルを旧バージョ ンのソフトウェアで開くことができます。た だし、情報の一部が失われることがあります のでご注意ください。(詳細は Readme ファ イルで参照してください。)

3. 保存をクリックして、保存します。

[__] メモ:

- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- •名前を付けて保存ダイアログボックスで入 力した名前のファイルがすでに存在する場 合は、次のメッセージが表示されます。



 上書きしたくないときは、いいえをク リックします。別のファイル名で保存 してください。

ソフトウェア設定を変更する

グリッドの設定を変更する

グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。グリッド の表示のしかたや間隔を指定できます。(この機能は ステージ 3 (輪郭データステージ) でのみ使用でき ます。)

- メニューバーの表示→グリッドをクリッ クします。
 - → **グリッドの設定**ダイアログボックスが表示されます。

グリッドの設定	
□ グリッドを表示 □ 枠で表示	
グリッドの間隔: 5.0 🕂 mm	
OK キャンセル	

- グリッドを表示チェックボックスを チェックして、グリッドを表示します。 グリッドを非表示にするには、チェックを 外します。
- グリッドの間隔を設定します。グリッドの 間隔に数値(設定範囲は 1.0 ~ 25.4 mm) を入力するか、スピンボタンで値を変更し ます。
- 4. 表示のしかたを選択します。枠で表示 チェックボックスをチェックすると、縦線 と横線で表示されます。チェックを外す と、グリッドの交点のみが表示されます。



 OK をクリックし、変更を確定してダイア ログボックスを閉じます。

□ メモ:

変更を取り消してダイアログボックスを閉じ る場合は、**キャンセル**をクリックします。

長さの単位を変更する

アプリケーションで使う長さの単位を、mm または インチから選択できます。

 メニューバーのオプション→単位の設定 をクリックして、単位(mm またはイン チ)を選択します。
レイアウトセンターは、様々な刺しゅうデータを作成、編集し、それらを組み合わせて刺しゅうデータを作成 するために使用します。

複雑な刺しゅうデータはデザインセンターで作成し、デザインページに取り込みます。レイアウトセンターの ウィザードを使っても、画像を自動的に刺しゅうデータに変換できます。また、文字やモノグラム、長方形、 円、直線、曲線、マニュアルパンチングなどの刺しゅうデータを作成し、それぞれ縫い方(糸色、縫い方の種 類、ステッチクリエイターで作成したパターンの指定)を設定できます。そして、それらの刺しゅうデータを 移動したり、一部をカットしたり、配置し直したりして、レイアウトします。

刺しゅうデータが完成したら、パソコンのハードディスク等に保存し、印刷したり、オリジナルカード(また はご使用のミシンで使われているその他の記録媒体)に転送してミシンで縫うことができます。

画像や刺しゅうデータを取り込む

クリップアートや独自に作成した似顔絵などの既存の画像ファイルや、TWAIN デバイスで取り込んだ画像や クリップボードにコピーした画像をレイアウトセンターに取り込むことができます。これらの画像をトレース したりウィザードを使って自動変換して、刺しゅうデータにできます。さらに、デザインセンターで作成した 刺しゅうデータや、刺しゅうカードの刺しゅうデータをデザインページに取り込むことができます。

■刺しゅうデータを編集する

デザインページの刺しゅうデータは、文字やその他の図形データなどを加えてお好みの刺しゅうに編集することができます。

刺しゅうデータを確認する

刺しゅうデータをプレビューできます。プレビュー機能で、詳細な縫い目を確認できます。リアルプレビュー 機能で、刺しゅうデータがどのように縫われるか仕上がりイメージを確認できます。また、刺しゅうの縫い順 を確認・変更することができます。

■保存・印刷する

刺しゅうデータが完成したら、様々なファイル形式(.pes、.dst、.exp、.pcs、.hus)で保存できます。また、 カードライターを使って刺しゅうをオリジナルカードに保存できます。その他、フロッピーディスク、または、 ご使用のミシンで使われている、コンパクトフラッシュや USB メディアなどのその他の種類の記録媒体に転 送できます。また、刺しゅうデータを印刷できます。

ソフトウェアの設定を変更する

デザインページのグリッド設定や長さの単位は、お好みの設定を選ぶことができす。刺しゅうデータを作成・ 追加するとき等に便利です。

大型刺しゅう枠をお使いの方へ

大型刺しゅう枠用の組み合わせ刺しゅうデータを作ることができます。





- ① タイトルバー
- メニューバー 各機能を実行します。
- ツールバー 各メニュー機能へのショートカットです。
- 後い方バー
 刺しゅうデータの縫い方(糸色、縫い方の種類)
 等を設定します。
- ⑤ ツールボックス 各機能のツールを選択します。
- の ステータスパー 選択されているデータのサイズ等の情報が表示 されます。

- ⑦ リファレンスウィンドウ
 - リファレンスウィンドウには、常にデザインペー ジ全体または刺しゅうデータ全体が表示され、デ ザインページをズームイン表示にしても、全体の どの部分が表示されているかを確認できます。 (詳しくは、P.187 の「刺しゅうデータをリファ レンスウィンドウで見る」を参照してください。)
- ⑦ デザインページ
 作業領域です。
- ⑨ 作業領域
- ⑩ 最小化ボタン
- ⑪ 最大化ボタン
- ⑫ 閉じるボタン

レイアウトセンター 画像や刺しゅうデータを取り込む

デザインページを作成する

新規デザインページを作成 する

ツールバーボタン: 🗋

1. 🗋 をクリックするか、メニューバーの

ファイル→新規作成をクリックします。

- → デザインページが保存済みまたは作業中 のデータがない場合は、直ちに空白の新規 デザインページが表示されます。
- →現在のデザインページが保存されていな い場合は、変更を保存するかどうかを尋ね てきます。

レイアウトセンター		
^ 醒無	の変更を保存します	けか?
(#U <u>12</u>)	いいえ(<u>N</u>)	キャンセル

)) メモ:

- デザインページを保存する場合は、はいを クリックします。
- デザインページを破棄する場合は、いいえ をクリックします。
- デザインページに戻って、変更したり、別の名前を付けて保存する場合は、キャンセルをクリックします。
- P.103 の「レイアウトセンターファイルを開く」、P.188 の「保存する」

デザインページを設定する

デザインページの色やサイズ、背景色を設定します。 デザインページのサイズはお使いの刺しゅう枠のサ イズに合わせて選択できます。

- メニューバーのオプション→デザイン ページの設定をクリックします。
 - → **デザインページの設定**ダイアログボック スが表示されます。

	デザインページサイズ: 100 x 100 mm ▼ 「02: ○ 版 ○ 版 デザインページ:
() 標準	キャンセル

2. デザインページのサイズを選択します。

デザインページサイズセレクタで、ご使用の刺 しゅう枠のサイズを選択します。

必要に応じて、向き(縦/横)を選択します。

ノレビュー領域で設定内容を確認できます。

- ミシンの絵が、ミシン上のデザインページ (枠)の方向を示します。
- デザインページセレクタでデザインページの色を選択します。
- 4. 背景セレクタで背景色を選択します。
- 5. OK をクリックします。

|メモ:

・標準設定 (100 × 100 mm) に戻すには、標準をクリックします。

設定を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。



- 大型刺しゅう枠サイズ(100 × 172 mm、 130 × 300 mm)は、数字の前に*の表示が付いています。3ヶ所でミシンに取り付ける特殊な刺しゅう枠に使われる刺しゅうデータに使用しますので、ご使用のミシン、刺しゅう枠を確認してから選択してください。
- ご使用のミシンの最大刺しゅう縫製範囲 を越えるサイズを選択しないでください。

P.195 の「長さの単位を変更する」



以前に保存したレイアウトセンターのファイル (.pes ファイル)を開きます。

ツールバーボタン: 📂

1. ツールバーの 📂 か、メニューバーの

ファイル→開くをクリックします。

→次のようなファイルを開くダイアログ ボックスが表示されます。



|| メモ:

フォルダの内容を見やすくするために、ダイ アログボックスの大きさを変えることができ ます。ダイアログボックスの大きさは、変更 するまで維持されます。

2. ドライブ、フォルダを選択します。

└── メモ:

- プレビューチェックボックスがチェックされていると、選択したファイルの内容がプレビュー領域に表示されます。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

注意:

- 必ず.pesファイルの入っているフォルダを 選択してください。
- .pesファイルにデザインページからはみ出た刺しゅうデータや、針数や色数がデザインページの制限を越えた刺しゅうデータが保存されている場合は、画像プレビューは表示されません。
- フォルダ内の .pes ファイルをアイコンで 確認する場合は、一覧をクリックします。
 - →次のような一覧ダイアログボックスが表示されます。



() メモ:

- ファイルを開くダイアログボックスに戻る ときは、キャンセルをクリックします。
- データ確認をクリックすると、詳細なイ メージを見ることができます。次のような プレビューダイアログボックスが表示され ます。



表示されているファイルを開くときは、開くをクリックします。
 一覧ダイアログボックスに戻るときは、キャンセルをクリックします。

画像や刺しゅうデータを取り込む

1 注意:

デザインページからはみ出た刺しゅうデー タや、針数や色数がデザインページの制限を 越えた刺しゅうデータの .pes ファイルは、画 像プレビューは表示されません。

- ・開くをクリックするか、アイコンをダブル クリックしてファイルを開きます。
 - → デザインページが保存済みまたは作業中 のデータがない場合は、選択されたファイ ルがデザインページに表示されます。

画像データを取り込む

画像データを取り込む

刺しゅうデータを作成する際の原画や下絵として、 既存の画像データをデザインページに取り込みま す。使用できる画像ファイルの拡張子は、Windows ビットマップ(*.bmp)、Exif(*.tif、*.jpg)、ZSoftPCX (*.pcx)、Windows メタファイル(*.wmf)、Potable Network Graphics(*.png)、Encapsulated PostScript (*.eps)、kodak PhotoCD(*.pcd)、FlashPix(*.fpx)、 JPEG2000(*.j2k)です。

- メニューバーの画像→入力→ファイルか らをクリックします。
 - →次のような画像を開くダイアログボック スが表示されます。



 ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択し ます。 → 現在のデザインページが保存されていな い場合は、変更を保存するかどうかを尋ね てきます。

レイアウトセンター		
1 無題 への	D変更を保存します	<i>ከ</i> ?
	いいえ(<u>N</u>)	キャンセル

||| メモ:

- デザインページを保存する場合は、はいを クリックします。
- デザインページを破棄する場合は、いいえ をクリックします。
- デザインページに戻って、変更したり、別の名前を付けて保存する場合は、キャンセルをクリックします。

P.188 の「保存する」

メモ:
 プレビューチェックボックスがチェックされていると、選択したファイルの内容がプレビュー領域に表示されます。

3. 開くをクリックしてファイルを開きます。

→ デザインページに、画像が表示されます。

□ メモ:

- ファイル名をダブルクリックしてもファイ ルが開きます。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- 画像データに解像度が記録されている場合 は、その解像度に応じたサイズで表示され ます。
- 作業中の画像が保存されていない場合は、 保存するかどうかを尋ねてきます。
- ・メニューバーの画像→表示設定をクリック すると、画像の表示のしかたを、表示 / 薄 く表示 / 表示しないから選べます。
 - 表示をクリックすると、オリジナルの 画像が表示されます。
 - 薄く表示をクリックすると、画像は薄く表示されます。
 - 表示しないをクリックすると、画像は 表示されません。

注意:

- 複数のページがある .pcd ファイルと .fpx ファイルは、最初のページのみを開くこと ができます。LZW で圧縮された tiff ファイ ルは開くことができません。
- 取り込まれた画像のサイズと位置を変更 すると、変更情報は.pesファイルで保存されます。保存された.pesファイルに同じ画 像を取り込むと、メッセージが表示され、 以前保存された位置とサイズか、オリジナ ルの位置(デザインページ中央)のどちら を反映させるかを尋ねてきます。
- 作業領域に取り込める画像は1つに限ります。別の画像を取り込むと、以前の画像は 閉じます。

TWAIN 機器から画像データ を取り込む

TWAIN 規格対応のスキャナ等の機器を操作し、画像 をデザインページに取り込み、刺しゅうデータ作成 の下絵や原画として使うことができます。

> ↓ メモ: TWAIN とは、スキャナ等を制御するソフト ウェアのためのアプリケーションインター フェイス (API) の標準規格です。

- スキャナ等の TWAIN 機器が、パソコンに 正しく接続されているかを確認します。
- メニューバーの画像→TWAIN機器の選択 をクリックします。

→次のようなソースの選択ダイアログボックスが表示されます。

ソースの選択	
ソース: BROTHER MFC-5840CN	-
	選択
	キャンセル

ソースリストから、使用する機器を選択してクリックします。

注意:

TWAIN 機器が何もインストールされていな いときは、**ソース**リストには何も表示されま せん。この機能は、使用する TWAIN 機器の ドライバソフトウェアをインストールして から使用してください。 デバイスをクリックし反転表示させ、選択 をクリックします。

メモ:
 操作を中止してダイアログボックスを閉じる
 場合は、キャンセルをクリックします。

- メニューバーの画像→入力→TWAIN機器 からをクリックします。
 - → ソースの選択ダイアログボックスで選択 した機器のドライバインターフェイスが 表示されます。
- 画像の取り込みに必要な設定を指定し、画像を取り込みます。

1 注意:

ドライバインターフェイスの使い方につい ては、インターフェイスのヘルプマニュアル をご覧になるか、インターフェイスのメー カーにお問い合わせください。

→ スキャナやその他の機器とドライバとの 間の画像転送が完了すると、取り込んだ画 像が貼り付けられます。

() メモ:

注意:

- 作業中の画像が保存されていない場合は、 保存するかどうかを尋ねてきます。
- メニューバーの画像→表示設定をクリック すると、画像の表示のしかたを、表示 / 薄 く表示 / 表示しないから選べます。
 - 表示をクリックすると、オリジナルの 画像が表示されます。
 - 薄く表示をクリックすると、画像は薄く表示されます。
 - 表示しないをクリックすると、画像は 表示されません。

作業領域に取り込める画像は 1 つに限りま す。別の画像を取り込むと、以前の画像は閉 じます。



髪型、目、鼻、口などのパーツを組み合わせて独自 の似顔絵を作成し、その画像を取り込みます。

 メニューバーの画像→入力→モンター ジュからをクリックします。

> → **モンタージュのプロパティ**ダイアログ ボックスが表示されます。



 顔の特徴から、似顔絵の全体的なイメージ (雰囲気)を選択します。細め、太め、子 供などがあります。

> ★モ: 右のサンプルイメージが見ながら、各パーツ を変更していきます。

 パーツから、似顔絵を作成するためのパー ツを選択します。

> ↓↓ メモ: サンプルイメージの各パーツ部分をクリック しても選択できます。

 パーツの値スライダを動かして、パーツの 形を選択します。

() メモ:

- 左右同時に変更チェックボックスをチェッ クすると、目、耳は左右が同じパーツにな ります。
- サンプルイメージに変更の結果がすぐ反映 されます。



- •他のパーツと組み合わせて表示チェックボックスをチェックすると、他の パーツと組み合わせた形で、チェック を外すとそのパーツが単独で、一覧表 示されます。
- 目的のパーツをクリックしOKをクリックするか、ダブルクリックして選択します。
- パーツの特徴スライダを動かすとパーツ の特徴(標準/やや大/やや小/横長/縦 長)が選択できます。
- パーツの色を変更するには、色タブをク リックします。変更したい色をクリック し、色を選択します。



- 7. 似顔絵ができたら、OKをクリックします。
 - → デザインページに、似顔絵の画像が表示されます。

【___ メモ:

- 作業中の画像が保存されていない場合は、 保存するかどうかを尋ねてきます。
- メニューバーの画像→表示設定をクリック すると、画像の表示のしかたを、表示 / 薄 く表示 / 表示しないから選べます。
 - 表示をクリックすると、オリジナルの 画像が表示されます。
 - 薄く表示をクリックすると、画像は薄 く表示されます。

• 表示しないをクリックすると、画像は 表示されません。

Q 注意:

作業領域に取り込める画像は 1 つに限りま す。別の画像を取り込むと、以前の画像は閉 じます。

クリップボードから画像デー タを取り込む

画像データはクリップボードからデザインページに 取り込むことができます。この場合、保存せずに画 像の取り込みができます。

 メニューバーの画像→入力→クリップ ボードからをクリックします。

> 注意:
> この操作は、クリップボードに画像データが コピーされているときにのみ可能です。

→ デザインページに、画像が表示されます。

() メモ:

- ・画像は解像度 100dpi (高さ、幅とも) で表示されます。
- 作業中の画像が保存されていない場合は、 保存するかどうかを尋ねてきます。

画像の表示設定を変更する

作業領域にある画像の表示のしかたを、表示 / 表示 しない / 薄く表示から選択できます。

メニューバーの画像→表示設定をクリックし、設定を選択します。

オリジナルの画像を表示する場合は、**表示**をク リックします。

画像を薄く表示する場合は、**薄く表示**をクリックします。

オリジナルの画像を表示しない場合は、**表示し**ないをクリックします。

) メモ:

- この機能は、デザインページに取り込まれ た画像がないと使用できません。
- ショートカットキーは F6 です。押すごとに、画像の表示 / 薄く表示 / 表示しないが切り替わります。

画像のサイズと位置を調整する

画像のサイズや位置を調整します。

- メニューバーの画像→サイズと位置の変 更をクリックします。
 - → 画像の周囲に赤い線とハンドルが表示さ れます。





ステータスバーに、画像のサイズ (幅と高さ) が表示されます。

画像データを移動する:

- カーソルを画像上に移動します。
 → カーソルの形が ⊕ に変わります。
- 2. ドラッグすると移動します。

画像データを拡大・縮小する:

- 1. カーソルをハンドルの上に移動します。
 - →接しているハンドルによって、カーソルの 形が、 ◆◆、 ↓、 、 または ✓ に変 わります。



 ハンドルをドラッグして、画像のサイズを 調整します。

画像データを削除する:

 Delete キーを押すか、メニューバーの 編集→削除をクリックします。

→画像データはデザインページから削除されます。

画像データを保存する

画像データをファイルとして保存するか、クリップボードに出力します。

■ファイルとして保存する

 メニューバーの画像→出力→ファイルへ をクリックします。

→次のようなダイアログボックスが表示されます。

画像を保存する		? 🛛
保存する場所①	😂 Data	• = ÷ = •
ClipArt Photo Angelbmp Fishbmp Flower.bmp Rudolph.bmp		
ファイル:名(N):		保存(S)
ファイルの種類①	Windows ビットマップ(*.bmp)	 キャンセル

- ドライブ、フォルダ、保存したいファイル の種類を選択します。
- 3. ファイル名を入力します。

___ メモ:

- 正しい拡張子が自動的に付けられます。この拡張子を変更しないでください。
- 画像データは、Windows ビットマップ (*.bmp) または JPEG (*.jpg) のどちらかで保存す ることができます。

メモ:
 操作を中止してダイアログボックスを閉じる
 場合は、キャンセルをクリックします。

■ クリップボードに出力する

4. 保存をクリックして、保存します。

- メニューバーの画像→出力→クリップ ボードへをクリックします。
 - → デザインページの画像データがクリップ
 ボードにコピーされます。

画像データを自動的に刺しゅうデータに変換する

ステッチウィザードに従って、画像データを刺しゅうデータに変換します。

ツールバーボタン: 💎

- デザインページに画像が表示されていな い場合は、メニューバーの画像→入力を 使い、刺しゅうデータを作成する原画を用 意します。
- メニューバーの画像→サイズと位置の変 更を使い、原画を作成する刺しゅうデータ の大きさ、位置に調整します。
- 3. < 😻 をクリックするか、メニューバーの

画像→ステッチウィザードの起動をク リックします。

→ 次のダイアログボックスが表示されます。



💽 注意:

デザインページに作業中の画像がない場合 は、ダイアログボックスは表示されません。 その代わり、画像を開くダイアログボックス が表示されます。

 作成する刺しゅうのラジオボタンをク リックし、次へをクリックします。

オートパンチ:

オートパンチ機能を使用し、自動的に画像の境 界を抽出して、刺しゅうデータを作成します。

フォトステッチ1:

写実風の写真刺しゅうを作成します。色はカ ラーとモノクロが選択できます。

フォトステッチ2:

カラー(4色)または**モノクロ**(1色)で表現 する写真刺しゅうを作成します。

クロスステッチ:

クロスステッチ刺しゅうを作成します。

デザインセンター:

デザインページに画像が貼り付けられて、デザ インセンターを起動します。

() メモ:

操作を中止してダイアログボックスを閉じる 場合は、**キャンセル**をクリックします。

オートパンチを選択した場合

→ 原画の特徴を解析し、しばらくすると次の ようなオートパンチの設定ダイアログ ボックスが表示されます。

オートパンチの	ģē 🛛 🗙
変換結果」	ida
J	「 輪郭線を表示
ノイズ除去: 解像度:	無し
輪郭線:	原画に忠実 満らか 再変換
糸色り)	【ト: ブラザー刺しゅう糸 ▼
	く戻る キャンセル 荒了

設定を選択します。

変換結果タグをクリックすると、原画を画像解 析した結果のイメージが表示されます。このイ メージで刺しゅうデータが作成されます。

ズームスライダを 슃 と 🭳 の間で動かすと、

イメージの表示倍率を調整できます。

輪郭線を表示をチェックすると、原画を画像解 析して抽出した輪郭線が表示されます。

次のスライダで、画像解析するための設定を行います。

ノイズ除去:原画に含まれるゴミ(歪み)を除 去する程度を設定します。

解像度:画像解析する際の解像度を設定します。

輪郭線:抽出する輪郭線の滑らかさを設定しま す。

最大糸色数:使用する糸色の数を設定します。

糸色リストで、糸色を選択するための糸リスト を選択します。選択した糸リストから最適な糸 色が選択されます。ユーザー糸リストも選択で きます。

原画タグをクリックすると、原画が表示されます。

() メモ:

- 設定内容を変更したら、再変換をクリックし、解析をし直します。再変換をクリックしないと、新規設定内容は反映されません。
- ・戻るをクリックすると、1 つ前のダイアロ グボックスに戻ります。

 ・操作を中止してダイアログボックスを閉じ
- る場合は、**キャンセル**をクリックします。
- 縫う領域を決定します。変換結果タブの画像の部分をクリックし、その部分を縫うかどうかを選択します。



縫製しない部分はXマークで埋められます。



くこれらの領域は く縫われません。

 必要に応じて、使わない色の選択リストから、色をクリックし、色単位での面縫いの オン/オフを選択します。



)) メモ:

X マークが付いた色は、その色のすべての領 域の面縫いがオフ(縫われない)に設定され ていることを示しています。

- 必要な設定を選択したら、完了をクリック します。
 - → 画像から解析されたイメージに、最適な糸 色、縫い方が設定された刺しゅうデータが 作成され、デザインページに表示されま す。

() メモ:

作成された刺しゅうデータは、他の刺しゅう データと同様に、後から縫い方の設定を変更 することができます。

■フォトステッチ1 (カラー)を選択し た場合

→次のような範囲の設定ダイアログボック スが表示されます。



\rm 🖳 注意:

画像の幅または高さのどちらか一方が**500 mm** を超えた場合、フォトステッチ機能は使えま せん。

() メモ:

- **戻る**をクリックすると、1 つ前のダイアロ グボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- ダイアログボックスの下のマスクリスト から、画像をトリミングする形状を選択し クリックします。

「 メモ:

背景抽出をクリックすると、自動的に背景が 切り取られてトリミングされます。

画像プレビュー領域で、マスクの形状と位置を調整します。マスクのハンドルを移動して、刺しゅうデータに変換する画像部分を囲みます。

___ メモ:

- 原画の調整をクリックすると、原画の調整 ダイアログボックスが表示され、画像の調 整ができます。(詳しくは、本ページの「原 画の調整」を参照してください。)
- ズームスライダを上下に動かすと、画像の 表示倍率を調整できます。
- 初期設定では、四角形のマスクが選択されています。
- マスクを自由な形でトリミングしたいときは、
 を選択し、点の移動、挿入、削除を行い、好みの形状にマスクを調整します。
 マスクの輪郭をクリックすると、ハンドルを追加できます。ハンドルを選択して
 Delete キーを押すとハンドルを削除できます。
- 背景抽出をクリックすると、がが選択 されます。自動作成されたマスクの輪郭の ハンドルも移動、追加、削除できます。

丸いマスクで編集した場合



調整可能なマスクで編集した場合



原画の調整

範囲の設定ダイアログボックスで原画の調整 をクリックすると、次のような原画の調整ダイ アログボックスが表示されます。



ダイアログボックスに処理結果イメージが表 示されます。

原画一輪郭強調スライダで輪郭強調処理を調 整します。スライダを輪郭強調に近づけるほど 原画の明暗の境目が際立ちます。

暗い一明るいで、原画の明るさを調整します。

コントラスト低ーコントラスト高で、原画のコ ントラストを調整します。

OKをクリックすると、範囲の設定ダイアログ ボックスに、調整された画像が表示されます。

メモ:
 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

 範囲の設定ダイアログボックスの次へを クリックします。 → 画像が解析され、範囲の確認ダイアログ ボックスが表示されます。



|__| メモ:

刺しゅうデータが作成されない部分は、X マークで埋められます。

4. 次へをクリックします。

→ **フォトステッチ1の設定**ダイアログボッ クスが表示されます。

フォトステッチ1の設定				
 ・	自動選択の設定 <u> </u>			
3.0 • mm		Í	動選択	
優先項目	使用する	5色		
● 縫い品質		色	糸番号	ブラン 🔼
○ 渡り糸削減	1		001	ブラザ
	2		307	ブラザ
原画の種類	4		079	ブラザ
 写真 	5		085	ブラザ
0 4571	7		804	ブラザ
デザインページの色一	×		917	÷≒÷ř ≚
☑ ページの色も縫う		色	の変更	
〈 戻る キャンセル () 次へ >)				

 刺しゅうデータ作成のための設定を行い ます。

[[]] メモ:

- **戻る**をクリックすると、1 つ前のダイアロ グボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

縫い方

糸密度	刺しゅうデータを作成する細かさを設定 します。 細かい に設定するほど、細かい 表現が可能となりますが、ステッチ数は 多くなります。
走りピッチ	縫いピッチを設定します。この設定値を 最低の長さとしてデータを作成します。 範囲:2.0 ~ 10.0 mm 標準:3.0 mm

優先項目

刺しゅうデータに変換する際の優先項目を選 択します。

	縫い品質 を選択すると、縫い上がりの品 質を優先してデータを作成します。ただ し、渡り糸が多く発生します
縫い品質 / 渡り糸削減	し、渡り糸が多く先生しより。 渡り糸削減を選択すると、縫製時のわず らわしさを低減するため、渡り糸が少な くなるようにデータを作成します。ただ し、縫い上がり時の品質が若干落ちるこ

原画の種類

写真 / イラスト	写真を選択すると、糸色を混ぜ合わせ、 より自然なデータを作成します。 イラストを選択すると、糸色を混ぜ合わ せないで、データを作成します。 写真などの画像データは写真を、イラス トなどの画像データにはイラストを選択 します。
--------------	--

デザインページの色

自動選択の設定

糸リスト	自動選択により糸色を選択する際の、糸 リストを選択します。 選択した糸リストから最適な糸色が選択 されます。 ユーザー糸リストも選択できます。
最大糸色数	自動設定で選び出す色数の値を設定しま す。 範囲:1~50色 標準:10色

自動選択

このボタンを押すと、原画から写真刺しゅうの データを作成するのに最適な糸色を、選択され ている糸リストの中から最大糸色数に設定し た色数内で選択します。選択された糸色は、下 の使用する色に表示されます。

このボタンは、自動選択の設定の内容を変更した場合のみ、クリックできます。

使用する色

選択された糸色の確認、編集を行います。

使用する 色の一覧	データ作成用に選択された糸色を、明度 の高い順に並べています。この順番が縫 い順となります。順番は変更できません。 最大色数は、50 色です。
色の変更	このボタンをクリックすると、データ作 成用に選択された糸色をマニュアルで設 定するための 色の変更 ダイアログボック スが表示されます(下記参照)。

色の変更

このボタンをクリックすると**色の変更**ダイア ログボックスが表示されます。このダイアログ ボックスでデータ変換に使われる糸色をマ ニュアルで設定できます。



選択できる色リストから糸色を選択し、追加を クリックして使用する色リストに追加します。 糸色が選択されていない場合や、すでに使用す る色リストに 50 色の糸色が選択されている場 合は、このボタンは無効となります。

使用する色リストに追加した糸色を取り消す 場合は、使用する色リストの糸色を選択して削 除をクリックします。糸色が選択されていない ときは、このボタンは無効となります。

() メモ:

- 選択できる色リストと使用する色リストは、糸色が明度の高い順に並んでいます。この順番が縫い順となり、変更はできません。
- 使用する色リストに登録可能な最大糸色 数は 50 色です。

- 使用する色リストに表示されている糸色は、選択できる色リストには表示されません。
- 複数の色を選ぶには、隣り合った色の場合は
 (Shift) キーを、隣り合っていない色の場合は
 (Ctrl) キーを押しながら、色を選びます。

OK をクリックして、使用する色リストの変更 を確定してしてダイアログボックスを閉じま す。変更内容は、フォトステッチ1の設定ダイ アログボックスに反映されます。使用する色リ ストに何も入っていない場合は、このボタンは 無効となります。

|__| メモ:

変更を取り消してダイアログボックスを閉じ る場合は、**キャンセル**をクリックします。

フォトステッチ 1 の設定ダイアログボックスの次へをクリックします。



→次のようなプレビューダイアログボック スが表示されます。

↓ メモ:

- **戻る**をクリックすると、1 つ前のダイアロ グボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- 7. 完了をクリックします。
 - → 作成された刺しゅうデータが、デザイン ページに表示されます。

繊続評省 ノノアウトセンタ

フォトステッチ1(モノクロ)を選択した場合

→次のような範囲の設定ダイアログボック スが表示されます。





 ダイアログボックスの下のマスクリスト から、画像をトリミングする形状を選択し クリックします。

____ メモ:

背景抽出をクリックすると、自動的に背景が 切り取られてトリミングされます。

画像プレビュー領域で、マスクの形状と位置を調整します。マスクのハンドルを移動して、刺しゅうデータに変換する画像部分を囲みます。

Cのダイアログボックスでの設定については、P.111を参照してください。

 範囲の設定ダイアログボックスの次へを クリックします。 → 次のような**グレーバランス**ダイアログ ボックスが表示されます。



 スライダを操作して、どの部分を刺しゅう データにするか設定します。



<u>]]</u> メモ:

- 黒く残っているところに刺しゅうデータが 作成されます。
- **戻る**をクリックすると、1 つ前のダイアロ グボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

- グレーバランスダイアログボックスの次 へをクリックします。
 - → **フォトステッチ1の設定**ダイアログボッ クスが表示されます。

フォトステッチ1の設定	
- 縫い方 糸密度 粗い 細かい	使用色
走りビッチ 3.0 : mm	色の変更
優先項目○ 縫い品質○ 渡り糸削減	
原画の種類 • 写真	
0 1521	
/=-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
< 戻る	キャンセル 次へ >

 刺しゅうデータ作成のための設定を行い ます。

|___| メモ:

- **戻る**をクリックすると、1 つ前のダイアロ グボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

縫い方

糸密度	刺しゅうデータを作成する細かさを設定 します。 細かい に設定するほど、細かい 表現が可能となりますが、ステッチ数は 多くなります。
走りピッチ	縫いピッチを設定します。この設定値を 最低の長さとしてデータを作成します。 範囲:2.0 ~ 10.0 mm 標準:3.0 mm

優先項目

刺しゅうデータに変換する際の優先項目を選 択します。

縫い品質/	縫い品質 を選択すると、縫い上がりの品 質を優先してデータを作成します。ただ し、渡り糸が多く発生します。 渡り糸削減を選択すると、縫製時のわず
איזענדואר ע צע	くなるようにデータを作成します。ただし、縫い上がり時の品質が若干落ちることがあります。

原画の種類

使用色

刺しゅうデータを作成する糸色を設定します。 初期設定では、現在の糸リストの中で一番暗い 色が設定されています。

色の変更	このボタンを押すと、 糸色 ダイアログ ボックスが表示され、刺しゅうデータに する糸色を変更することができます。
------	---

- 7. フォトステッチ 1 の設定ダイアログボッ クスの次へをクリックします。
 - → 次のような**プレビュー**ダイアログボック スが表示されます。



() メモ:

- **戻る**をクリックすると、1 つ前のダイアロ グボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- 8. **完了**をクリックします。
 - → 作成された刺しゅうデータが、デザイン ページに表示されます。



→次のような範囲の設定ダイアログボック スが表示されます。



A 注意:

画像の幅または高さのどちらか一方が500mm を超えた場合、フォトステッチ機能は使えま せん。

 ダイアログボックスの下のマスクリスト から、画像をトリミングする形状を選択し クリックします。

[__] メモ:

背景抽出をクリックすると、自動的に背景が 切り取られてトリミングされます。

- 画像プレビュー領域で、マスクの形状と位置を調整します。マスクのハンドルを移動して、刺しゅうデータに変換する画像部分を囲みます。
 - このダイアログボックスでの設定については、P.111を参照してください。

- 範囲の設定ダイアログボックスの次へを クリックします。
 - → 画像が解析され、範囲の確認ダイアログ ボックスが表示されます。



___ メモ:

刺しゅうデータが作成されない部分は、X マークで埋められます。

- **4. 次へ**をクリックします。
 - → フォトステッチ2の設定ダイアログボック スが表示されます。



5. 刺しゅうデータ作成のための設定を行い ます。

> ・戻るをクリックすると、1 つ前のダイアロ グボックスに戻ります。
> ・操作を中止してダイアログボックスを閉じ る場合は、キャンセルをクリックします。

縫い方

縫い間隔	刺しゅうデータを作成する平行線の間隔 を設定します。 範囲: 1.2 ~ 5.0 mm 標準: 2.0 mm
縫い密度	作成する刺しゅうデータのジグザグ部分 の最大の糸密度を設定します。刺しゅう データは、この設定値より小さい密度で 作成されます。 範囲:2.5~5本/mm 標準:3本/mm

自動選択の設定

糸リスト	自動選択により糸色を選択する際の、糸 リストを選択します。 選択した糸リストから最適な糸色が選択 されます。 ユーザー糸リストも選択できます。
糸セット	刺しゅうデータ作成に用いる4色の組合 せを選択します。 選択肢の色は、C(シアン)、M(マゼン タ)、Y(イエロー)、K(ブラック)、R (レッド)、G(グリーン)、B(ブルー) です。原画によく使われている色を次の 組合せの中から選択します。 色の組合せ:CMYK、RGBK、CRYK、 BMYK

自動選択:

このボタンを押すと、選択されている糸リスト の中から、糸セットに選択されている4つの色 に一番近い糸色を選択します。選択された糸色 は、下の使用する色に表示されます。

このボタンは、自動選択の設定の内容を変更した場合のみ、クリックできます。

使用する色

選択された糸色の確認、編集を行います。

使用する 色の一覧	選択された4つの糸色を表示します。
色の変更	変更したい糸色をリストで選択し、この ボタンを押すと、 糸色 ダイアログボック スが表示され、刺しゅうデータにする糸 色を変更することができます。

フォトステッチ 2 の設定ダイアログボックスの次へをクリックします。

→次のようなプレビューダイアログボック スが表示されます。



() メモ:

- **戻る**をクリックすると、1 つ前のダイアロ グボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

7. 完了をクリックします。

→ 作成された刺しゅうデータが、デザイン ページに表示されます。

■フォトステッチ2(モノクロ)を選択 した場合

→次のような範囲の設定ダイアログボック スが表示されます。



A 注意:

画像の幅または高さのどちらか一方が500mm を超えた場合、フォトステッチ機能は使えま せん。

 ダイアログボックスの下のマスクリスト から、画像をトリミングする形状を選択し クリックします。

メモ:

背景抽出をクリックすると、自動的に背景が 切り取られてトリミングされます。

- 画像プレビュー領域で、マスクの形状と位置を調整します。マスクのハンドルを移動して、刺しゅうデータに変換する画像部分を囲みます。
 - このダイアログボックスでの設定については、P.111を参照してください。
- 範囲の設定ダイアログボックスの次へを クリックします。
 - →次のようなグレーバランスダイアログ ボックスが表示されます。



 スライダを操作して、どの部分を刺しゅう データにするか設定します。



── メモ:

- 黒く残っているところが縫われる刺しゅう データが作成されます。
- **戻る**をクリックすると、1 つ前のダイアロ グボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- グレーバランスダイアログボックスの次 へをクリックします。
 - → **フォトステッチ2の設定**ダイアログボック スが表示されます。



6. 刺しゅうデータ作成のための設定を行います。

↓↓ メモ:

- **戻る**をクリックすると、1 つ前のダイアロ グボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じ る場合は、**キャンセル**をクリックします。

縫い方

縫い間隔	刺しゅうデータを作成する平行線の間隔 を設定します。 範囲:1.2 ~ 5.0 mm 標準:2.0 mm
	↓ 線の間隔
縫い密度	作成する刺しゅうデータのジグザグ部分 の最大の糸密度を設定します。刺しゅう データは、この設定値より小さい密度で 作成されます。 範囲:2.5~5本/mm 標準:3本/mm

使用色

刺しゅうデータを作成する糸色を設定します。

初期設定では、現在の糸リストの中で一番暗い 色が設定されています。

色の変更 このボタンを押すと、**糸色**ダイアログ ボックスが表示され、刺しゅうデータに する糸色を選択できます。

7. フォトステッチ 2 の設定ダイアログボッ クスの次へをクリックします。

→次のようなプレビューダイアログボック スが表示されます。



) メモ:

- **戻る**をクリックすると、1 つ前のダイアロ グボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

完了をクリックします。

クロスステッチを選択した場合

→ クロスステッチの設定ダイアログボック スが表示されます。

クロスステッチの設定	
クロスステッチのサイズ:	2.5 mm
クロスステッチの縫い方:	2重縦い 💌
糸 リスト:	ブラザー刺しゅう糸 💌
最大糸色数:	8
〈 戻る 🛛 📥	ャンセル 洗ヘン

 刺しゅうデータ作成のための設定を行い ます。

」】 メモ:

- **戻る**をクリックすると、1 つ前のダイアロ グボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

クロスステッ チのサイズ	格子の縦横のサイズを設定します。 範囲:1.5~5mm 標準:2.5mm
クロスステッ チの縫い方	縫い回数を設定します。 範囲:2重縫い、4重縫い、6重縫い 標準:2重縫い
糸リスト	糸色を選択する際の、糸リストを選択し ます。選択した糸リストから最適な糸色 が選択されます。 ユーザー糸リストも選択できます。
最大糸色数	作成するデータに使用する色数を設定します。 設定された色数内で刺しゅうデータを作成します。 範囲:2~50色 標準:8色

[→] 作成された刺しゅうデータが、デザイン ページに表示されます。

- **2. 次へ**をクリックします。
 - → 次のようなクロスステッチを作る領域の 選択ダイアログボックスが表示されます。



- - │ メモ:
 - 縫製しない部分はXマークで埋められます。



- ズームスライダを (1) と (2) の間で動か すと、画像の表示倍率を調整できます。
 戻るをクリックすると、1 つ前のダイアロ グボックスに戻ります。
- 4. 必要に応じて、使わない色の選択リストから、色をクリックし、色単位での面縫いのオン/オフを選択します。



() メモ:

X マークが付いた色は、その色のすべての領 域の面縫いがオフ(縫わない)に設定されて いることを示しています。

- 5. 必要な設定を選択したら、完了をクリック します。
 - → 作成されたクロスステッチデータが、デザ インページに表示されます。



■デザインセンターを選択した場合

→ デザインセンターが起動し、画像が取り込まれたデザインページが表示されます。詳しくは、P.63の「デザインセンター」を参照してください。

刺しゅうデータを取り込む

ファイルから刺しゅうデータ を取り込む

Ver.4 以前で刺しゅうカードから読み込んだファイ ル (*.pec)、Tajima (*.dst)、Melco (*.exp)、Pfaff (*.pcs)、Husqvarna (*.hus)の各形式で作成された ファイル、および、ブラザー刺しゅうミシン (*.phc) を取り込み、それを作業中のデザインページに加え ます。

また、.pes ファイルを追加して、このアプリケーショ ンで作成した複数のファイルを組み合わせることも できます。

ツールバーボタン: 🔁

1. 🛃 をクリックするか、メニューバーの

ファイル→データ取り込み→ファイルか らをクリックします。

→次のようなファイルから取り込むダイア ログボックスが表示されます。

7ァイルから取り込む 😨 🗙						
ファイルの場所の	🗀 Data					
ClipArt Photo Angelpes Birthday1Lpes Birthday1Spes Birthday2Lpes	Birthday2Spes Birthday3Lpes Birthday3Spes Birthday4Lpes Birthday4Spes Birthday4Spes Birthday5Lpes	Birthday5Spes Birthday6Lpes Birthday6Spes Birthday7Lpes Birthday7Spes Birthday8Lpes Birthday8Lpes	Birthdayf Birthdayf Birthdayf Birthday1 Birthday1 Birthday1 Birthday1			
< ファイル名心			取り込み	▼ プレビュー		
ファイルの種類①	レイアウトセンター PES ファイル	L(*.PES)	キャンセル	-¥		

]] メモ:

フォルダの内容を見やすくするために、ダイ アログボックスの大きさを変えることができ ます。ダイアログボックスの大きさは、変更 するまで維持されます。

2. ドライブ、フォルダを選択します。

メモ:

- プレビューチェックボックスがチェックされていると、選択したファイルの内容がプレビュー領域に表示されます。
- フォルダ内のファイルをアイコンで確認 する場合は、一覧をクリックします。

→次のような一覧ダイアログボックスが表示されます。



1 注意:

必ず**ファイルの種類**のリストボックスから 目的のファイル拡張子を選択してください。

() メモ:

- フォルダの内容を見やすくするために、ダイアログボックスの大きさを変えることができます。ダイアログボックスの大きさは、変更するまで維持されます。
- ファイルから取りこむダイアログボックス に戻るときは、キャンセルをクリックしま す。
- データ確認をクリックすると、詳細なイメージを見ることができます。次のような プレビューダイアログボックスが表示されます。



表示されているファイルを開くときは、取り込みをクリックします。
 一覧ダイアログボックスに戻るときは、キャンセルをクリックします。

 取り込みをクリックするか、アイコンをダ ブルクリックしてファイルを取り込みま す。

1

- 他社の市販データから刺しゅうデータを 取り込むときは、サイズがデザインページ に合っているかを確認してください。
- Tajima (*.dst)、Melco (*.exp)、Pfaff (*.pcs)、 Husqvama (*.hus)の各形式で作成された ファイル、および、ブラザー刺しゅうミシン (*.phc)から取り込まれた刺しゅうデータの場合、色がわずかに変化することがあります。そのときは、メニューバーの縫い 方→縫い順 / 糸色を選択して色を調整して ください。

() メモ:

- Ver.4以前で別売の刺しゅうカードから読み 込んだ.pecファイルを取り込む場合、取り
 込みサイズダイアログボックスが表示され る場合があります。そのときは、取り込み サイズを選択し、OKをクリックします。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

デザインセンターから 刺しゅうデータを取り込む

デザインセンターの刺しゅうデータを、直接デザインページに取り込みます。

ツールバーボタン : 💫

- デザインセンターを起動し、レイアウトセンターに取り込みたいファイルを開きます。
- 2. ♪ をクリックするか、メニューバーの
 ファイル→データ取り込み→デザインセンターからをクリックします。

→**取り込みサイズ**ダイアログボックスが表示されます。



取り込み倍率で倍率を入力するか、スピン ボタンで倍率を変更します。



- 4. 方向で取り込む方向を選択します。
- 取り込みをクリックして、刺しゅうデータ を取り込みます。

メモ:

- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- デザインセンターが起動していない、.pem ファイルが開かれていない、デザインセン ターがステージ4ではない、などの場合は、 次のいずれかのメッセージが表示されま す。

レイアウトセンター 🛛 🔀				
♪	デザインセンターを起動して下さ	:(No		
	<u>OK</u>			
してマウト	la h			
212.21	12.7% ⁻			
	取り込むデータがありません。			

OK をクリックしてデザインセンターを起 動し、.pem ファイルを開きます。

P.63 の「デザインセンター」

取り込み

データ確認...



(キャンセル)

データを取り込んでいるとき、**取り込みサイ** ズダイアログボックスが表示されることがあ ります。そのときは、取り込みサイズを選択 し、**OK**をクリックします。

 注意:
 著作権法上、この機能は使用できない刺しゅ うカードがあります。 繊売評省 フィアウトセンター

レイアウトセンター 刺しゅうデータを編集する

刺しゅうデータを編集する

刺しゅうデータを選択する

既存の刺しゅうデータに変更を加えるには、まずそ の刺しゅうデータを選択します。選択ツールは、1 個または複数の刺しゅうデータを選択するときに使 います。刺しゅうデータを選択することにより、移 動、拡大・縮小、回転または反転ができます。

1. ツールボックスの 📐 をクリックします。

→ カーソルの形が 📐 に変わります。

- 選択したい刺しゅうデータをクリックします。
 - →刺しゅうデータの周りにハンドルが表示 されます。



() メモ:

- ステータスバーに、刺しゅうデータのサイズ(幅と高さ)が表示されます。
- 刺しゅうデータの選択を解除するには、他の刺しゅうデータを選択するか、刺しゅうデータが無い部分をクリックするか、ツールボックスのズームツール以外の別のボタンをクリックします。
- 複数の刺しゅうデータを選択するには、
 Ctrl キーを押しながら刺しゅうデー タをクリックします。

└── メモ:

- 選択したい刺しゅうデータ全体を囲むよう にカーソルをドラッグしても選択できま す。カーソルをドラッグすると、点線の長 方形が表示されます。マウスを離すと、点 線の長方形内にある刺しゅうがすべて選択 されます。
- 選択したくない刺しゅうデータまで選択してしまったときは、刺しゅうデータの無い部分をクリックしてすべての選択を解除し、選択し直します。

■刺しゅうデータを入力順で選択する

★ が選択されているときに、(Tab) キーを押す と、入力順で刺しゅうデータを選択できます。 (Shift) キーを押しながら(Tab) キーを押すと、入 力順の逆順で刺しゅうデータが選択されます。

(Tab) キー (または、**Shift)** と **(Tab)** キー) を押 した場合に:

- 刺しゅうデータが何も選択されていないときは、最初(または最後)に入力した刺しゅうデータが選択されます。
- 複数の刺しゅうデータが選択されているときは、その中で一番最初(または一番最後) に入力した刺しゅうデータが選択されます。
- 最後(または最初)に入力した刺しゅうデータが選択されているときは、最初(または最後)の刺しゅうデータが選択されます。

■ すべての刺しゅうデータを選択する

デザインページのすべての刺しゅうデータを一度に 選択することができます。

- 1. ツールボックスの 📐 をクリックします。
- メニューバーの編集→すべて選択をク リックします。

刺しゅうデータを移動する

 選択した刺しゅうデータ上にカーソルを 移動します。

→ カーソルの形が 🏤 に変わります。

2. ドラッグすると移動します。

() メモ:

- (Shift) キーを押しながらドラッグすると、
 刺しゅうデータは水平方向または垂直方向に移動します。
- 矢印キーを押すと、選択した刺しゅうデータを矢印キーの方向に 0.5 mm ずつ移動できます。

- レイアウトセンター
 - グリッドに固定が設定されているときは、
 矢印キーを押すと矢印の方向に1グリッドずつ移動できます。

■刺しゅうデータを中央へ移動する

選択された刺しゅうデータをデザインページの中央 へ移動します。

- 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。
- メニューバーの編集→中央へ移動をク リックします。

→ 選択された刺しゅうデータ全体がデザイ ンページの中央へ移動します。

■刺しゅうデータを配列する

選択された刺しゅうデータを指定する方法で揃えま す。

- 配列する複数の刺しゅうデータを選択します。
- メニューバーの編集→整列をクリックし、 左揃え、左右中央揃え、右揃え、上揃え、 上下中央揃え、下揃えのいずれかを選択し ます。

→ 選択された刺しゅうデータは、次のように 整列します。



」】メモ:

別の整列方法を選択するには、メニューバーの編集→元に戻すをクリックし、ステップ2.の操作を繰り返します。

図形データ上の文字列

図形データ上に配列された文字データの選択の仕方 は次の3通りがあります。選択された刺しゅうデー タの外形を基準にして整列します。



3. 文字データと図形データが共に選択されている

ドーナツ縫いが設定されている刺しゅうデータ

内側の刺しゅうデータのみ選択されている場合は内 側の刺しゅうデータの外形を基準にして、外側の刺 しゅうデータのみ、または内側と外側の刺しゅう データを共に選択されている場合は外側の刺しゅう データの外形を基準にして、整列します。



1. 内側の刺しゅうデータのが選択されている



2. 外側の刺しゅうデータが選択されている



3. 内側と外側の刺しゅうデータが共に選択されている



マニュアルで拡大・縮小する

- サイズを変更したい刺しゅうデータを選 択します。
- 選択した刺しゅうデータまたはグループ のハンドル上にカーソルを移動します。
 - → 接しているハンドルによって、カーソルの 形が、 ◆ 、 ↓、 、 ↓ または ♪ に変 わります。

() メモ:

- ←→ は、幅を拡大・縮小します。
- ↓ は、高さを拡大・縮小します。
- へ と ✓ は、幅と高さを同時に拡大、 縮小します。(幅と高さの比率が保たれま す。)
- ハンドルをドラッグして、刺しゅうデータ のサイズを調整します。

___ メモ:

- ハンドルをドラッグするとき、ステータス バーでサイズが確認できます。
- より正確なサイズ変更をする場合は、メニューバーの編集→数値設定→サイズをクリックします。

Q 注意:

- スタンプは、設定された面が拡大・縮小されても、パターンの大きさ・位置は変わりません。スタンプが設定された刺しゅうデータのサイズを変更するときは、変更後にスタンプの位置などを確認してください。
- 刺しゅうカードから読み込んだステッチ データには、拡大・縮小できないものがあ りますのでご注意ください。
- ステッチデータをそのまま拡大・縮小すると、針数は変わらないので刺しゅう品質が落ちることがあります。 Ctrl キーを押しながら拡大・縮小の操作を行うと、刺しゅうの品質が保持できます。

■数値を指定して拡大・縮小する

- サイズを変更したい刺しゅうデータを選 択します。
- メニューバーの編集→数値設定→サイズ をクリックします。

मनंद्र 🔀					
☑ 縦横比を保持					
• 100 • × 100 • %					
€ <u>59.8</u> × 73.9 × mm					
┌ 面と線のサイズ ─────					
60.8 × 74.9 mm					
■ 糸密度とバターンを保持					
OK プレビュー キャンセル					

- 縦横比を固定して幅と高さを変更すると きは、縦横比を保持をチェックします。
- 4. 指定のしかたを選びます。比率(%)また はサイズ(mm またはインチ)のどちら かをクリックします。
- 幅と高さの数値を入力するか、スピンボタン で値を変更します。

/// メモ:

- **100%** を選択すると、サイズは変更されません。
- 縦横比を保持チェックボックスを選択すると、幅と高さの比が固定され、一方の数値を変更するともう一方も自動的に変更されます。
- 指定された大きさは、面に適用されます。 刺しゅうデータに線がある場合は、ダイア ログボックスの下側の**面と線のサイズ**で全 体の大きさを確認してください。
- 糸密度やタタミ縫いの品質を維持したま ま刺しゅうデータのサイズを変更したい ときは、糸密度とパターンを保持をチェッ クします。

[→] **サイズ**ダイアログボックスが表示されま す。

() メモ:

糸密度とパターンを保持はステッチデータが 選択されているときのみチェックできます。

7. OK をクリックします。

【 】 メモ:

- プレビューをクリックすると、変更後のサ イズをデザインページ上で確認できます。
 変更を取り消してダイアログボックスを閉
- じる場合は、**キャンセル**をクリックします。
- 面(線なし)



面と線



1 注意:

- デザインページのサイズを超えるサイズ 変更はできません。
- 入力可能な最小値は、**1 mm** です。

刺しゅうデータを上下または 左右に反転させる

 上下または左右に反転させたい刺しゅう データを選択します。 上下に反転させるには、メニューバーの編集→反転→上下をクリックするか、ツールバーの
 だーの
 をクリックします。
 左右に反転させるには、メニューバーの編集→反転→左右をクリックするか、ツール

バーの 🛃 をクリックします。

() 注意: 刺しゅうカードから読み込んだステッチ データには、反転できないものがありますの でご注意ください。

刺しゅうデータを回転させる

■回転させる

- 回転させたい刺しゅうデータをクリック します。
- メニューバーの編集→回転をクリックす るか、ツールバーの ひをクリックしま す。

→ 選択した刺しゅうデータの四隅のハンド ルが、白い四角に変わります。

- カーソルをハンドルの1つに移動します。
 → カーソルの形が
 → カーソルの形が
- ハンドルをドラッグすると、1 度単位で回転します。

】 メモ: (Shift) キーを押し;

(Shift) キーを押しながらドラッグすると、15 度単位で回転します。



[▶] P.195 の「長さの単位を変更する」

回転させる(数値を指定する)

- 回転させたい刺しゅうデータをクリック します。
- メニューバーの編集→数値設定→回転を クリックします。

→ **回転**ダイアログボックスが表示されます。



回転角度の数値を入力するか、スピンボタンで値を変更します。

メモ:

 赤い矢印をドラッグしても指定できます。 カーソルを赤の矢印上に移動すると、形が

し変わります。
 ・0度を選択すると、回転されません。

4. OK をクリックします。

||| メモ:

- プレビューをクリックすると、変更後の刺しゅうデータの角度をデザインページ上で確認できます。
- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

し注意:

入力可能な数値の範囲は、0から 359 度まで で、1 度単位で入力できます。

刺しゅうデータをグループ化 する

複数の刺しゅうデータをグループ化して 1 つの刺 しゅうデータにします。グループ化された刺しゅう データは、編集する際に1つの刺しゅうデータとし て処理されます。また、個別に編集することもでき ます。

- 1. 複数の刺しゅうデータを選択します。
- メニューバーの編集→グループ化をク リックします。

→選択した刺しゅうデータがグループ化されます。

() メモ:

- 図形データ(直線や曲線など)とそれに配列されている文字のいずれかが選択されている場合は、その両方がグループ化されます。
- ドーナツ縫いが設定されている刺しゅう データの一部が選択されている場合は、 ドーナツ縫い設定がされているすべての刺 しゅうデータがグループ化されます。
- グループ化を解除するときは、グループを 選択し、ツールバーの編集→グループ化解 除をクリックします。

グループ化された刺しゅうデータを 個別に編集する

刺しゅうデータをグループ化した後も個別に編集が できます。

 グループ内の個別データを選択するとき は、(Alt)キーを押しながらクリックし ます。 グループ内の複数の個別データを選択す るときは、(Alt)と(Ctrl)キーを押し ながらクリックします。

> メモ: グループ化された刺しゅうデータ全体または グループ内の個別データを選択すると、周り に水色の枠が表示され、グループ化された刺 しゅうデータであることが示されます。

刺しゅうデータを編集します。

グループ内の刺しゅうデータを削除してグ ループを構成する刺しゅうデータが1つにな ると、グループ化は解除されます。

刺しゅうデータのポイントを編集する



キーを押すと、矢印キーを押すごとに始点の方 向へポイントが1つずつ追加選択されます。 (Ctrl) キーを押しながら→キーまたは↓ キーを押すと、矢印キーを押すごとに、1つず つ選択されているポイントが終点の方向へ切 り替わります。

Ctrl キーを押しながら←キーまたは↑ キーを押すと、矢印キーを押すごとに、1つず つ選択されているポイントが始点の方向へ切 り替わります。

→ 選択されたポイントは小さな黒い四角で 表示されます。



ポイントを移動する

 ツールボックスの をクリックしま す。

→**2**つのボタン **「「 (※)** が表示されます。

2. 👗 をクリックします。

→ カーソルの形が 📐 に変わります。

編集したい刺しゅうデータをクリックします。

→刺しゅうデータの既存ポイントが小さな 白い四角で表示されます。

() メモ: 直線、曲線、円弧、扇形、円弧と弦、マニュ アルパンチングデータやステッチデータを選 択できます。

4. 移動したいポイントをクリックします。

→ 選択されたポイントは小さな黒い四角で 表示されます。

注意:
 刺しゅうデータの線上でクリックすると、新しいポイントが挿入されます。

5. ドラッグすると移動します。



() 注意:

このとき、必ず、選択したポイントをドラッ グしてください。他の場所をドラッグする と、新たなポイントが挿入されたり、選択し たポイントの選択が解除されます。

() メモ:

- 複数のポイントが選択されている場合は、 そのすべてのポイントが同じ方向に移動し ます。
- Shift キーを押しながらドラッグすると、 水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、選択したポイントを矢 印キーの方向に0.5mmずつ移動できます。
- グリッドに固定が設定されているときは、
 矢印キーを押すと矢印キーの方向に1 グリッドずつ移動できます。
- 円弧・扇形・円弧と弦の場合、端点の移動 に矢印キーを使うことはできません。
- ドーナツ縫いが設定された刺しゅうデータのポイントも移動できます。ただし、内側の刺しゅうデータのポイントを外側の刺しゅうデータを超えて外側に移動することはできません。移動したい場合は、ドーナツ縫いを解除してください。

ポイントを挿入する

刺しゅうデータの形を変更するために、新しくポイ ントを挿入します。曲線の新たなポイントは、ハン ドルを使って接線方向を変えることもできます。

- 2. 🌾 をクリックします。

→ カーソルの形が 📐 に変わります。

3. 編集したい輪郭線をクリックします。

→刺しゅうデータの既存ポイントが小さな 白い四角で表示されます。

メモ: 直線、曲線、マニュアルパンチングデータ、 ステッチデータを選択できます。

- ポイントを挿入したい輪郭線上をクリックします。
 - →新しいポイントが追加されます。追加され たポイントは選択された状態(小さい黒い 四角)で表示されます。曲線の場合は、ハ ンドルも表示されます。



メモ: マニュアルパンチングのブロックツールで作 成された刺しゅうデータでは一対の新たなポ イントが挿入されます。





■中心点を移動する

同心円縫いや放射縫いに設定された縫いの中心点を 変更して、装飾効果を調整できます。

ツールボックスの をクリックします。
 →2つのボタン が表示されます。

2. 🔊 をクリックします。

→ カーソルの形が ● に変わります。

- 編集したい同心円縫いや放射縫いに設定 された面をクリックします。
 - →刺しゅうデータの中心点と縫い始終点が 表示されます。

<u>ک</u> ک	

4. ドラッグすると移動します。

■縫い始終点を最適化する

縫い始終点の位置を自動調整して最適化します。

 メニューバーの縫い方→縫い始終点の最 適化を選択します。

> チェックマークが表示され、縫い始終点の最適 化ができるようになります。(オンに設定され ます。)

> 最適化をオフ設定にする場合は、もう 1 度メ ニューバーの縫い方→縫い始終点の最適化を 選んでチェックを解除します。

→ チェックマークが縫い始終点の最適化の 横に表示されている場合は、連続する同色 のオブジェクトについて、縫いデータの始 点、終点を最適化(最短距離を結ぶよう に)します。 💽 注意:

- 円・円弧描画ツール、長方形描画ツール、 線描画ツールで描かれた刺しゅうデータのみ縫い始終点の最適化ができます。
- ・メニューの縫い方→縫い始終点の最適化 でモードをオンにすると、ポイント編集 ツールで始終点の編集はできません。
- → 縫い始終点の最適化の横にチェックマー クが表示されていないときは、始終点は最 適化されません。始終点の最適化をオンか らオフに変更しても、設定された始終点の 位置は保持されます。ただし、ポイント編 集ツールで始終点を自由に編集すること はできます。



縫い始終点の最適化

が選択されていない



縫い始終点の最適化が選択されている

ステッチデータを編集する

ステッチデータの針落ち点の位置を変更して、細かな編集を行うことができます。



ステッチデータの針落ち点を 編集する

- リールボックスの をクリックしま
 す。
 →2つのボタン 「「」
 が表示されます。
- 2. 「をクリックします。

→ カーソルの形が 📐 に変わります。

- 編集したいステッチデータをクリックします。
 - → ステッチデータの針落ち点が白い四角で 表示されます。

4. 選択したい白い四角をクリックします。

→ 選択された針落ち点は黒い四角で表示さ れます。

() メモ:

渡り糸(データ間を結ぶステッチデータ:画 面上では点線で表示されます)をクリックす ると、その両端の針落ち点が選択されます。

針落ち点を複数選択するには、 **Ctrl** キー を押しながら針落ち点をクリックするか、ポイ ントを囲むようにドラッグします。

() メモ:

Shift)キーを押しながらクリックすると、
 先に選択した針落ち点と今回選択した針落ち点にはさまれた針落ち点がすべて選択されます。

ます。

- (Shift) キーを押しながら→キーまたは↓ キーを押すと、矢印キーを押すごとに縫い 順の方向の針落ち点が1つずつ追加選択さ れます。(Shift) キーを押しながら←キーま たは↑キーを押すと、矢印キーを押すごと に縫い順とは逆の方向の針落ち点が1つず つ追加選択されます。)
- Ctrl キーを押しながら→キーまたは↓ キーを押すと、矢印キーを押すごとに、1 つずつ選択されている針落ち点が縫い順の の方向へ切り替わります。Ctrl キーを押 しながら←キーまたは↑キーを押すと、矢 印キーを押すごとに、1 つずつ選択されて いる針落ち点が縫い順と逆の方向へ切り替 わります。
- (Tab) キーを押すと、次の色のすべての針落ち点が選択されます。(Shift) キーを押しながら(Tab) キーを押すと、前の色のすべての針落ち点が選択されます。
- → 選択された針落ち点は小さな黒い四角で 表示されます。

し 注意:

針落ち点を選択するときは、デザインページ の空白部分ではなく針落ち点(白い四角)を クリックしてください。空白部分をクリック すると、選択された針落ち点がすべて選択解 除されてしまいます。

■針落ち点を移動する

1. ドラッグすると移動します。

() メモ:

(Shift) キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。
 矢印キーを押すと、選択した針落ち点を矢印キーの方向に 0.1 mm ずつ移動できます。

針落ち点と渡り糸を挿入する

 針落ち点と針落ち点の間の線上でクリッ クすると、その場所に新たな針落ち点が挿 入されます。

[]] メモ:

針落ち点を挿入して、渡り糸に変更するには、 (Ctrl) と (Shift) キーを押しながら線をク リックします。

■針落ち点を削除する

 Delete キーを押すと、選択された針落 ち点が削除されます。

() メモ:

渡り糸ステッチの終点を削除した場合は、そ の渡り糸ステッチは削除され、その前後のス テッチがつながります。

- ステッチデータの各色の始終点を編 集する

```
す。
→2つのボタン / 孫 が表示されます。
```

2. 👗 をクリックします。

→ カーソルの形が 📐 に変わります。

編集したいステッチデータをクリックします。

→刺しゅうデータの針落ち点が白い四角で 表示されます。

 Ctrl と Home キーを押すと、最初の 糸色の始点が選択されます。

> **(Ctrl)** と **End**) キーを押すと、最後の糸色 の終点が選択されます。

> 任意の色の始点を選択するには、その色の針落ち点を選択し(Home)キーを押します。

任意の色の終点を選択するには、その色の針落 ち点を選択し(End)キーを押します。


取り込まれたステッチデータや文字データや図形 データなどから変換されたステッチデータの色は、 次のように変更できます。

- ツールバーボタン: 强
- 1. 🎇 をクリックするか、メニューバーの

縫い方→縫い順/糸色をクリックします。

→ 色単位でコマ分けされた縫い順/糸色ダイ アログボックスが表示されます。

縫い順/糸(<u>b</u>				
1.2		میں			
1	2	3	4		
83	<u>명</u> 명 중			OK	(キャンセル

- 糸色を変更したいコマを選択し、クリック します。
- 3. 📃 をクリックします。

→ **糸色**ダイアログボックスが表示されます。



設定したい色をクリックし、OK をクリックします。

→ デザインページと縫い順/糸色ダイアログ ボックスに、刺しゅうデータが新しい色で 表示されます。

- ステップ 2.から 4.を、変更したい色ごと に繰り返します。
- **6. OK** をクリックします。

→ 刺しゅうデータが新しい色で表示されます。

変更を取り消してダイアログボックスを閉じ る場合は、**キャンセル**をクリックします。

ステッチデータをブロックに 変換する(STB 変換)

取り込まれたステッチデータや、文字データや図形 データなどから変換されたステッチデータを、STB (Stitch to Block)機能でブロック(マニュアルパン チングデータ)に変換すると、縫い方の設定を変更 したり拡大・縮小したりしても、刺しゅう品質を保 持できるようになります。

- 1. 設定したいステッチデータを選択します。
- メニューバーの縫い方→STB機能をクリックします。
 - → STB 機能のパラメータダイアログボックス が表示されます。

STB機能の	パラメータ	×
細力い	普通	粗い
	<u>`</u>	<u> </u>
OK	++	ンセル

3. スライダをドラッグして、感度を調整します。

____ メモ:

通常は**普通**に設定します。ステッチデータの 複雑さにより、必要に応じて**担い**または細か いを設定します。

4. OK をクリックします。

→ ブロックのデータはグループ化され、設定 を変更するとグループ全体に適用されま す。縫い方バーは、次のように表示されま す。

冝

() メモ:

- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- ・刺しゅうデータ内の同一色のブロックの糸
 色や縫い方を一括変更できます。
 ▲社 キーを押しながら、糸色や縫い方を 変更したいブロックを選択します。(また は、メニューバーの編集→グループ化解除 を選んで、グループ化を一旦解除して選択 することもできます。)ズームツールで刺 しゅうデータを拡大すると、ブロックの選 択が容易になります。ブロックが選択され ると、そのブロックの色と縫い方が縫い方 バーに表示されます。
- 選択カーソルでブロックを拡大または縮小 すると、糸密度とステッチパターンが維持 されるので元の縫製品質が維持できます。





STB 機能あり

1 注意:

- 刺しゅうカードから取り込んだステッチ データには、STB機能を使えないものがあ ります。
- STB 機能を設定してから拡大・縮小すると、 一部のタタミ縫いが失われることがあります。STB 機能を使わずにステッチデータに対して Ctrl キーを押しながら拡大・縮小するか、メニューバーの編集→数値設定 →サイズを選択し、糸密度とパターンを保持チェックボックスをチェックしてサイズを変更することをお奨めします。

二 メモ:

・選択された各色のブロックは個別に移動または拡大・縮小することができます。グループ化を解除した刺しゅうデータ全体を一度に移動したいときは、必ず、メニューバーの編集→グループ化を選択して各色の刺しゅうデータをグループ化してください。
 ・ポイント編集ツールで編集できます。

P.166の「縫い方の詳細設定をする」、P.126の「刺しゅうデータを拡大・縮小する」、P.129の「ポイントを選択する」

ステッチデータの一部を 切り取る

ステッチ分割ツールを使って、ステッチデータに自 由に線を描き、その部分を切り取ることができます。 切り取った部分を削除したり、移動してレイアウト し直したり、他の刺しゅうデータと組み合わせたり できます。

」メモ:

この機能は、ステッチデータにのみ使うことができます。文字データ、図形データ、マニュ アルパンチングデータには使えません。

1 注意:

レイアウトセンターの描画ツールや文字入 カツールを使って作成された刺しゅうデー タは、ステッチデータに変換すると、ステッ チ分割機能を使うことができます。

- ツールボックスの 2000 をクリックします。
- 切り取りたいステッチデータをクリック します。

メモ: または、ステッチデータを選択してから、ス テッチ分割ツールをクリックします。

- 3. 切り取り部分の始点をクリックします。

メモ: ツールボックス内で使えるツールは、ズーム ツールのみになります。拡大表示は可能です。

 クリックして次の角 (ポイント)を指定し ます。





) メモ:

- マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。右クリックするごとに、入力した逆の順序で1つずつポイントを削除できます。すべてのポイントが削除されると、すべてのツールボックスボタンが使えるようになります。ツールはステッチ分割ツールが選ばれています。
- ステッチデータを囲んでいない切り取り線 は無効になります。この場合、エラーメッ セージが表示され、切り取り線は削除され ます。ツールはステッチ分割ツールが選ば れています。
- 複雑な形状の切り取り線では、同じ面部分が重複して囲まれるごとに選択、選択解除が繰り返されます。例えば次の星型の場合、中央部分は2回囲まれるので、角だけが選択された側の面部は選択されません。



- 切り取り部分の多角形ができたら、ダブル クリックします。
- 6. 切り取った部分を編集します。

Q 注意:

- 1回の切り取り線描画で、1つの部分を切り取ることができます。他の部分も切り取りたい場合は、手順を繰り返します。
- 切り取るごとにその部分の縫い順は、最後 へ送られます。切り取り部分内の糸色の縫い順は、元の刺しゅうデータの糸色の縫い 順が保持されます。

円と弧を描く

円・円弧描画ツールでは、真円、楕円、円弧、扇形、円弧と弦などを描画できます。

円 楕円 円弧 円弧と弦 扇形

円弧以外のデータにはすべて、輪郭線と面部があり、 それぞれに縫い方を設定できます。円弧は輪郭線の みとなります。



ツールボックスの 🖂 をクリックしま 1.

す。

→ $- \gamma + \gamma + 0$ の形が $\overline{-}$ に変わり、 縫い方 バーが次のように表示されます。 -

 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·
 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 ·

 <lp>·

 ·

 H

メモ:

- •形状を描いた後でも、糸色や縫い方の種類 を変更できます。設定の変更については、 P.164 の「糸色」と P.165 の「縫い方の種 類」を参照してください。
- 糸密度などその他の縫い方の設定は、縫い 方の設定ダイアログボックスで行います (詳しくは、P.166の「縫い方の詳細設定を する」を参照してください。)縫い方の設定 は変更しないかぎり、現在指定されている 内容が適用されます。縫い方の設定は、い つでも変更できます。
- 円弧の種類セレクタをクリックし、円を選 択します。

カーソルをドラッグします。

→ ドラッグした始点と終点を結ぶ線を対角 線とした長方形に内接する楕円が作成さ れます。

メモ:

(Shift) キーを押しながらカーソルをドラッ グすると、真円が描けます。

円弧を描く

1. ツールボックスの 冯 をクリックしま

す。

→ カーソルの形が \square に変わり、縫い方 バーが次のように表示されます。

m •

メモ:

- 形状を描いた後でも、糸色や縫い方の種類 を変更できます。設定の変更については、 P.164 の「糸色」と P.165 の「縫い方の種 類」を参照してください。
- 糸密度などその他の縫い方の設定は、縫い 方の設定ダイアログボックスで行います (詳しくは、P.166の「縫い方の詳細設定を する」を参照してください。)縫い方の設定 は変更しないかぎり、現在指定されている 内容が適用されます。縫い方の設定は、い つでも変更できます。
- 2. 円弧の種類セレクタをクリックし、円弧を 選択します。

円弧

3. 「円または楕円を描く」と同様の方法で円 を描きます。

> → マウスボタンを離すと円上に放射状の線 が表示されます。

4. 弧の始点にカーソルを移動し、クリックし ます。

→ 放射状の線が消えます。

弧の終点にカーソルを移動し、クリックします。



扇形を描く

1.	ツールボックスの 🥝 をクリックしま
	す。
	→カーソルの形が ^十 ●に変わり、縫い方
	バーが次のように表示されます。

() メモ:

- 形状を描いた後でも、糸色や縫い方の種類を変更できます。設定の変更については、
 P.164の「糸色」と P.165の「縫い方の種類」を参照してください。
- 糸密度などその他の縫い方の設定は、縫い方の設定ダイアログボックスで行います (詳しくは、P.166の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。)縫い方の設定は変更しないかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定は、いつでも変更できます。
- 円弧の種類セレクタをクリックし、扇形を 選択します。

扇形 ・ ∼ ■ サテン縫い ・ ₩ ■ 欠気縫い ・

 「円または楕円を描く」と同様の方法で円 を描きます。

> → マウスボタンを離すと円上に放射状の線 が表示されます。

 扇形の始点にカーソルを移動し、クリック します。

→ 放射状の線が消えます。

5. 扇形の終点にカーソルを移動し、クリック します。









弧の終点にカーソルを移動し、クリックします。



円・円弧の種類を設定する

- ■円弧の種類 円 ・
- 円・円弧の種類を選択します。

メモ:
 円弧の種類セレクタは、ツールボックスの
 を選択すると縫い方バーに表示されます。

1. 円弧の種類セレクタをクリックします。

→ 円弧の種類が表示されます。



- 2. 種類を選択します。
 - → **円弧の種類**セレクタは、設定を変更するま で、現在の設定が保持されます。

長方形を描く

長方形描画ツールで、長方形、正方形、角の丸い長方形などを描画できます。データには輪郭線と面部があり、 それぞれに縫い方を設定できます。



|__| メモ:

Shift キーを押しながらカーソルをドラッ グすると、正方形が描けます。

角	の	丸。	みる	を訳	定	する	5
~	_		_		-		

■ 角の丸み 0.0 <u></u>mm

長方形の角を丸める大きさを選択します。

メモ:
 角の丸みセレクタは、ツールボックスの
 を選択すると縫い方バーに表示されます。また、長方形データを選択しても表示されます。

1. 角の丸みセレクタをクリックします。



- 数値 (0~100 mm) を入力して Enter) キー を押すか、角の丸みセレクタから数値を選 択します。
 - → 設定を変更するまで、長方形描画ツールで 今後作成する図形データに、この設定が適 用されます。
 - → 長方形データが選択されていると、その データにも設定が適用されます。

例 **1**: 角の丸み 0.0 mm 例 2: 角の丸み 20.0 mm





直線と曲線を描く

線描画ツールでは、直線、曲線でデータを作成することができます。

線が**開いた線**に設定されていると、データは最後の入力点で終了します。この刺しゅうデータは面がないので、 糸色と縫い方の設定は輪郭線のみに適用されます。

線が閉じた線に設定されていると、最後の入力点と最初の入力点が自動的に繋がります。この刺しゅうデータ は輪郭線と面ができます。それぞれの部分に縫い方と色の設定ができます。ただし、線が途中で交差している と面の設定はできません。面を作る場合は線を交差させないようにしてください。

刺しゅうデータの作成中は、直線と曲線とは自由に切り替えができ、また、描画後に相互に変更することもできます。

この他、画像を下絵として用いる場合は、画像の境界を自動的に抽出するセミオート機能を使って直線を描く こともできます。



1 注意:

- ・描画中は、自由に線の種類を変えることができます。ボタンを選び直すか、ショートカットキーを押します。
- ・刺しゅうデータを描いてから、直線を曲線に、また、その逆に変換できます。(詳しくは、P.131の「直線を曲線に、または曲線を直線に変える」を参照してください。)
- 閉じた線に設定されている場合、ダブルク リックすると、最後の入力点と最初の入力 点が自動的に繋がります。
- 直線を描画中に (Shift) キーを押しながら カーソルを移動すると、水平または垂直方 向に線が描けます。
- セミオートを選択して描画する場合は、下 絵となる画像が必要です。画像がない場合 は、直線と同じ動作になります。

両端の処理を指定する

■ 両端の処理 開いた線・

直線と曲線を開いた線にするか、閉じた線にするか を選択します。

メモ:
 両端の処理セレクタは、ツールボックスの
 を選択すると縫い方バーに表示されます。また、直線や曲線を選択しても表示されます。

1. 両端の処理セレクタをクリックします。

→2つの設定が表示されます。



2. 設定を選択します。

- → 設定を変更するまで、線描画ツールで今後 作成する図形データに、この設定が適用さ れます。
- → 直線または曲線データが選択されている と、そのデータにも設定が適用されます。

マニュアルパンチングデータを作成する

このツールは、手縫い刺しゅうのような外観の刺しゅうデータを作成するときに使用します。面縫いに標準的 なタタミ縫いやサテン縫いを設定すると、面全体の縫い角度は同一方向になってしまいます。しかし、形に よっては、刺しゅうデータの中心から放射方向に縫い角度を設定すると、通常とは違う風合いに仕上がること があります。マニュアルパンチングでは、自由に縫い角度を設定できます。

ご自分でデザインした文字などは、マニュアルパンチングツールを使うと、同じ形でも縫い目によってバリ エーションが広がります。以下に示す図は、「O」の文字の2種の縫い方のプレビューを示しています。

下の文字は輪郭線を縫わないように設定した2個の同心円を使ってデザインしたもので、大きな円にはタタミ 縫いを使い、小さな円の面部を縫わない設定にしたものです。さらに、この刺しゅうデータにはドーナツ縫い の設定がされています。



下の文字はマニュアルパンチングツールを使って描いたものです。上の文字を複製し、それぞれの円の面部を 縫わない設定に変更し、それぞれの円の輪郭線をガイドに利用して、マニュアルパンチングデータを作成した ものです。ガイドとして利用した2つの円はその後削除してあります。



この例ではその違いがプレビュー画面でよりはっきりするよう、糸密度は最低値に設定されています。 マニュアルパンチングデータを作成するとき、背景に何かをガイドとして使うと作業が簡単になります。上の 例では、2つの円を使用し、マニュアルパンチングデータが完成した後に削除しました。

下絵として画像を取り込み、マニュアルパンチング データを描画する方法もあります。この方法では、 自由に縫い角度を設定できます。

- ガイドとして使う原画を開くか、データを 用意します。
- 2. ツールボックスの 🔎 をクリックしま

す。

9。 →5つのボタン 🖓 🔗 🚱

表示されます。

- ・ 直線のブロック型パンチングデータ の作成に使用します。

 (ショートカットキー: (Z))
- 曲線のブロック型パンチングデータの作成に使用します。
 (ショートカットキー:X)

(ショートカットキー: ▲)) : セミオートを使った直線ブロック型

パンチングデータの作成に使用します。

(ショートカットキー:(V))

送り型パンチングデータの作成に使用します。

(ショートカットキー:**B**)

マニュアルパンチングデータを作成中、上記の 種類を変更できます。例えば、ブロック型デー タから開始し、後から走り型に切り替えてブ ロック型の周囲に輪郭線を描き、さらに送り型 に切り替えて次のブロック型データに移行で きます。異なるものからなるデータ全体が、単 ーの刺しゅうデータ(すべての部分が同じ縫い 方と同じ糸色)とみなされます。

次の例では、直線のブロック型データで開始 し、送り型を使ってカーソルを移動し、走り型 データを作成しました。 🧵 サテン縫い 💽

() メモ:

が

- ・刺しゅうデータを作成した後でも、糸色や 縫い方の種類を変更できます。設定の変更 については、P.164の「糸色」とP.165の 「縫い方の種類」を参照してください。
- 糸密度などその他の縫い方の設定は、縫い方の設定ダイアログボックスで行います (詳しくは、P.166の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。)縫い方の設定は変更しないかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定は、いつでも変更できます。
- 4. 始点 (ポイント1)をクリックします。
- 下の図を参考に、ポイント2~8をクリックします。





|_| メモ:

マウスを右クリックすると、直前に入力した ポイントを削除できます。

文字を入力する



 書体、サイズ、糸色、縫い方の種類、その 他縫い方の設定を指定します。

↓↓ メモ:

文字データを作成した後でも、書体、サイズ、糸色、縫い方の種類を変更できます。
 詳しくは、P.149の「書体」、P.150の「文字サイズ」、P.164の「糸色」、P.165の「縫い方の種類」を参照してください。

- 6. ポイント8(ブロック型データの最終ポイント)をクリックした後、 // (送り型パンチング)をクリックし、ポイント9(走り型データの始点)でクリックします。
- をクリックして走り型パンチングを 選択し、上の図のようにポイント 10、11、 12 をクリックします。
- ポイント 13 (データの最終点) でダブル クリックしてデータを完成させます。

() メモ:

- 入力中は、ショートカットキーで自由にパ ンチングの種類を変えることができます。
- セミオートを選択して描画する場合は、下 絵となる画像が必要です。画像がない場合 は、直線のブロック型パンチングデータと 同じ動作になります。
- 刺しゅうデータを描いた後に直線を曲線に、また、その逆に変換できます。詳しくは、P.131の「直線を曲線に、または曲線を直線に変える」を参照してください。
- 繊結詳省
 フィアウトセンタ

 その他の詳細設定は縫い方の設定ダイアロ グボックスと書式設定ダイアログボックス で行います(詳しくは、P.166の「縫い方 の詳細設定をする」とP.152の「文字属性 を設定する」を参照)。これらの設定は変更 しないかぎり、現在指定されている内容が 適用されます。これらの設定は、いつでも 変更できます。

 注意:
 アプリケーションに内蔵されている書体 (書体番号 01 ~ 35、行書、楷書)が選択 されているときは、線の縫い方は設定でき ません。

- 文字データを入力したい位置でクリック します。
 - → 文字の編集ダイアログボックスが表示され、選択された書体で入力可能な選択できる文字一覧が表示されます。



楷書、行書の場合



TrueType フォントが選択されている場合は、次のようなダイアログボックスが表示されます。

欧文フォントの場合、選択できる文字欄には、 選択されているフォントのイメージで文字等 が表示されます。入力、または選択された文字 は、選択されているフォントのイメージで上欄 部分に表示されます。

欧文フォントの場合



日本語フォントの場合



🖳 注意:
TrueType フォントの中には、フォーマット
やデザインの形状により、きれいに刺しゅう
データに変換できないもの、また縫い上がり
がきれいにならないものがあります。実際に
縫う前に、試し縫いを行ってください。
(例:明朝体、教科書体等のフォントは、文
字の線が非常に細い部分がありますので、刺
しゅうの模様には適しません。ゴシック体の
ような、すべての線がある程度太い書体をお
選びください。)
TrueType のフォントの中には刺しゅうデー
タに変換できないものがあります。この場
合、変換後の文字は表示されず、エラーメッ
セージが表示されます。

5. 希望の文字をキーボードで入力します。

___ メモ:

- **Enter** を押すと、改行します。
- 01 ~ 35のアルファベット書体は、英数半角で入力してください。また、楷書、行書の書体を選択したときは、全角で入力してください。半角文字は受け付けません。
- 選択できる文字の文字をクリックし選択を クリックするか、文字をダブルクリックし ても入力できます。楷書、行書、日本語フォ ントは、選択できる文字一覧が表示されま せん。キーボードから直接入力してください。
- •選択できる文字一覧の文字の上にカーソル を移動すると、その文字の拡大画像が表示 されます。

6. OK をクリックします。

→ デザインページに文字が表示されます。

|___ メモ:

- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- 入力した文字データを編集する場合は、文字を選択し、メニューバーの文字→文字の編集を選択します。表示された文字の編集 ダイアログボックスで文字を編集します。 (詳しくは、P.150の「文字を編集する」を参照してください。)

🔒 注意:

入力した文字が、選択されている書体にない 場合は、エラーメッセージが表示されます。 ダイアログボックスの OK をクリックして、 文字の編集ダイアログボックスに戻り、入力 し直してください。

文字属性を指定する	11 ABC AA0-9827
	12 ABC Aalo-98?!
	13 ABC Aalo-98221
雪体を選択します。 ───────	14 ABC A <u>a</u> 0-98?!
) メモ:	15 ABS (Aa0-982)
書体 セレクタは、ツールボックスの A を選	16 ABC (Aalo-982)
択すると縫い方バーに表示されます。また、 すつご、 クな溜切してたまごされます。	17 ABC Aa0-98?!
又子ナータを選択しても衣小されます。	18 .A. 78 C 🛽 🗎
書体セレクタをクリックします。	19 436 A
→ 書体の一覧が表示されます。	20 ABC [Aalo-98?]
01 ABC AA00027 - 10.0 - mm	21 .8.360 🛛
	22 ABC AA
02.49998 (Aalo-9822) 03 A 314 (C) (Aalo-9822)	23 A.B.C. A
04 ABC AGOGE?	24 24 26 6 A
06 ABC (A00987)	25 (A) (B) (6 (A)
07 ABC (Aa0-9621) 08 ABC (Aa0-9621)	26 A.BC 🛛
09 A38 00 (Aa0-962)	27 ABC 🛛
● 一日 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	28 ABC 🛛
書体番号 一 書体見本	29 ABC A 0-9
- 書体を選択します。	30 ABC Aa0-9821
→ 設定を変更するまで、文字入力ツールで今	31 ABC Aa0-98?!
後作成するすべての文字データにこの書	32 ABC Aa0-98?!
1半小週用されよ9。 、立字データまたけ立字データ中の立字が	33 ABG Aa0-98?!
選択されていると、その文字にもこの書体	34 ABC Aa0-98?!
が適用されます。	35 ABC AA0-98?!
使用できる書体と各書体で使用できる文字の 種類は、次の通りです	楷書 あけ漢
程規は、八の通りです。 01 ARC : Alalo-98?!	行 書 あ力漢
12. ABB Alalo-98??!	
03 3 3 16 (Alalo-982?)	🛕 英語アルファベットの大文字
04 48 2 Alabele 2	
	0-9 数字
	<u>8.?!</u> ビリオド、括弧、その他の記号
	あ ひらがな
10 APA (Alaceo)	

カタカナ

漢 漢字

さらに、前述の書体の後に、システムにインス トールされている True Type フォントの書体名 が、その書体の表示例とともに表示されます。

01 ABC Aa0-98?! • 10.0 •	mm
₱ Arial AaBbYyZz	~
Tr Arial Black AaBbYyZz	
ीr Batang AaBbYyZz	
ृ¶r BatangChe AaBbYyZz	
聍 Comic Sans MS ΑαΒbYyZz	
₱ Courier New AaBbYyZz	
№ Dotum AaBbYyZz	
₱ DotumChe AaBbYyZz	
🎝 Estrangelo Edessa 🗛BbYyZz	
ृ¶r Frame5 Font AaBbYyZz	~

() メモ:

TrueTypeフォントの詳細設定は、メニューバー の文字→ TrueType フォントの設定を選択す ると表示される TrueType フォントの設定ダ イアログボックスで変更できます。(詳しく は、P.156 の「TrueType の属性を設定する」 を参照してください。)

1 注意:

TrueType フォントの中には、フォーマット やデザインの形状により、きれいな刺しゅう データに変換できないもの、また縫いあがり がきれいにならないものがあります。実際に 縫う前に、試し縫いを行ってください。(例: 明朝体、教科書体等のフォントは、文字の線 が非常に細い部分がありますので、刺しゅう の模様には適しません。ゴシック体のよう な、すべての線がある程度太い書体をお選び ください。)

P.147の「文字を入力する」、P.129の「刺しゅ うデータのポイントを編集する」、P.156の「TrueTypeの属性を設定する」 ■ 文字サイズ 10.0 • mm

文字サイズを選択します。

】 メモ:

文字サイズセレクタは、ツールボックスの **A**を選択すると縫い方バーに表示されま す。また、デザインページで文字データを選 択しても表示されます。

1. 文字サイズセレクタをクリックします。

10.0	•	mm
5.0		
10.0		
15.0		
20.0		
30.0		
50.0		
75.0		
100.0		

- 高さ(5~100 mm)を入力して (Enter) キー を押すか、文字サイズセレクタをクリック して数値を選択します。
 - → 設定を変更するまで、文字入力ツールで今 後作成する文字データに、この設定が適用 されます。
 - → 文字データ、または文字データ内の文字が 選択されていると、その文字にも設定が適 用されます。
 - ▶ P.147の「文字を入力する」、P.129の「刺しゅうデータのポイントを編集する」

文字を編集する

入力した文字を編集します。

1. 編集したい文字データを選択します。

 住意: 一度に複数の文字データは編集できません。 複数の文字データを選択している場合は、この機能は使えません。

 メニューバーの文字→文字の編集をク リックします。

→ 文字の編集ダイアログボックスが表示されます。



- 選択した文字が文字入力領域に表示され ます。
- 4. 文字を編集します。

↓ メモ:

- **Enter** を押すと、改行します。
- 01 ~ 35のアルファベット書体は、英数半角で入力してください。また、楷書、行書の書体を選択したときは、全角で入力してください。半角文字は受け付けません。
- 選択できる文字の文字をクリックし選択を クリックするか、文字をダブルクリックし ても入力できます。楷書、行書、日本語フォ ントは、選択できる文字一覧が表示されま せん。キーボードから直接入力してください。
- 選択できる文字一覧の文字の上にカーソル を移動すると、その文字の拡大画像が表示 されます。

OK をクリックします。

→ デザインページに、編集された文字が表示 されます。

|__| メモ:

- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- TrueTypeフォントから変換された文字が選 択されている場合、表示される文字リスト はカーソルの位置の文字に設定されている 文字フォントになります。

1 注意:

入力した文字が、選択されているフォントに ない場合は、エラーメッセージが表示されま す。ダイアログボックスの **OK** をクリックし て、**文字の編集**ダイアログボックスに戻り、 入力し直してください。

- 文字を選択する
- リールボックスの をクリックします。
 →2つのボタン が表示されます。
- 2. 🌾 をクリックします。

→ カーソルの形が 📐 に変わります。

編集したい文字データをクリックします。

→ 各文字の左下に既存ポイントが小さな白 い四角で表示されます。

選択したい文字のポイントをクリックします。

複数の文字を選択するには、(Ctrl)キーを押 しながら各文字のポイントをクリックするか、 選択したい文字のポイントを囲むようにド ラッグします。

→ 選択された文字のポイントは小さな黒い 四角で表示されます。

([]) メモ:

- (Shift) キーを押しながらクリックすると、
 先に選択した文字と今回選択した文字には さまれた文字がすべて選択されます。
- Shift キーを押しながら→キーまたは↓
 キーを押すと、矢印キーを押すごとに最後の文字の方向へ文字が1文字ずつ追加選択されます。
 Shift キーを押しながら←キーまたは↑キーを押すと、矢印キーを押すごとに先頭の文字の方向へ文字が1文字ずつ追加選択されます。
 Shift キーを押しながら反対方向の矢印を押すと、文字の選択が解除されます。
- Ctrl キーを押しながら→キーまたは↓
 キーを押すと、矢印キーを押すごとに、1
 文字ずつ選択されている文字が、最後の文
 字の方向へ切り替わります。Ctrl キーを
 押しながら←キーまたは↑キーを押すと、
 矢印キーを押すごとに、1 文字ずつ選択されている文字が、先頭の文字の方向へ切り
 替わります。

5. 書体、サイズ、糸色、縫い方の種類、その 他の設定を変更します。



ALCOEF

) メモ:

TrueType フォントは、輪郭線の線縫いのオン /オフ、オン場合は糸色や縫い方の種類などを 設定できます。

文字属性を設定する

書式設定ダイアログボックスで様々な文字属性を設 定できます。

ツールバーボタン: 📠

- 1. 編集したい文字データを選択します。
- 2. 座 をクリックするか、メニューバーの
 文字→書式設定をクリックします。
 - →書式設定ダイアログボックスが表示され ます。



3. 必要に応じて、設定を変更します。

) メモ:

各設定の右側の 헲 をクリックすると、標準 設定に戻すことができます。

4. 設定をクリックして、設定します。

() メモ: 閉じるをクリックすると、ダイアログボック スが閉じます。

文字間 (個別)	文字間隔を設定します。 1文字単位で設定できます。 範囲:-100.0 ~ 100.0 mm 標準:0.0 mm	0.0 mm Abcdef 5.0 mm (Aとし の間) A bcdef
基準線から のオフセッ ト	文字の基準線からの位置 を設定します。 1文字単位で設定できます。 範囲:-100.0 ~ 100.0 mm 標準:0.0 mm	0.0 mm Abcdef 2.0 mm Abcdef
回転	文字を回転させます。 1文字単位で設定できます。 範囲:0 ~ 359度 標準:0度	0度 Abcdef ^{20度} Abcdef
文字間 (全体)	選択した文字列すべての 文字間隔を設定します。 範囲:-100.0 ~ 100.0 mm 標準:0.0 mm	0.0 mm Abcdef 2.0 mm Abcdef
行間	選択した文字列すべての 行間隔を文字の高さとの 比率で設定します。 範囲:0~1000% 標準:100%	100% Abcdef ghijkl 150% Abcdef ghijkl
揃え方	文字列を左、中央、右に 揃えます。	左 Abcdef ghijkl 中央 Abcdef ghijkl 右 Abcdef ghijkl

		横書き	5	
		Α	В	С
横書き/ 縦書き	横書き / 縦書きの設定を します。	縦書き	Â	
			В	
			С	

」】 メモ:

- 縦書きでは、一部の文字で完全に縦書きに 対応していない文字があります。
- ・書式設定ダイアログボックスの文字間(個別)と文字間(全体)は、ともに文字の間隔を設定します。この2つの違いは、文字間(全体)は、常に文字データの全体に適用されるのに対し、文字間(個別)は、個々の文字に適用される点です。データ全体に文字間(個別)を適用すると、文字間(全体)と全く同じように機能します。文字データの個別書体選択については、P.151の「文字を選択する」を参照してください。
- 本ページの「文字配列を設定する」、P.155の 「文字を変形する」

文字配列を設定する

図形データ(曲線、直線データなど)に沿って文字 データを配列します。

ツールバーボタン: 🞪

1. 文字データと図形データを選択します。



2. 🎪 をクリックするか、メニューバーの

文字→文字の配列をクリックします。

→ **文字の配列の設定**ダイアログボックスが 表示されます。

文字の配列の設定		
横位置:	縦位置:	向き:
ABC -	ABC -	- 264
匚 反対側	OK	キャンセル

 構位置、縦位置、向きセレクタをクリック して、どのように配置するか選択します。

> メモ: 文字データを図形データの反対側に配置する 場合は、反対側をチェックします。

4. OK をクリックして設定します。

] メモ:

操作を中止してダイアログボックスを閉じる 場合は、**キャンセル**をクリックします。

〕注意:

文字の配列を行った場合、文字の変形は解除 されます。1つの図形データに対して配列で きる文字データは1つだけです。

		ABC V
		ABC - Absiel
横位置	線に沿うときの文字の分布を設定します。	ABC -
		ABC.
	文字と線との間隔を設定します。	ABC -
縱位置		ABC
		ABC · ABC ·
		Nec - Le contra
向き	線に対する文字の傾きを設定します。	ABC . ABC
	ナウナロオのサナナ	
反対側	文字を反対側に沿わせます。	反対側

▶ 本ページの「文字配列を解除する」

■文字配列を解除する

レイアウトセンター

図形データに沿って配列した文字データを切り離し ます。

ツールバーボタン: 🎬

 図形データ上に配列された文字データを 選択します。



💦 P.153 の「文字配列を設定する」



-155

TrueType の属性を設定する

刺しゅうデータに変換される TrueType フォントの 属性(スタイル等)を設定します。

- 1. 編集したい文字データを選択します。
- メニューバーの文字→TrueTypeフォントの設定をクリックします。
 - →次のようなダイアログボックスが表示されます。TrueTypeフォントから変換した文字が選択されていると、選択された文字の属性が表示されます。



____ メモ:

- フォント名は、選択されている書体名を示します。
 サンプルボックスは、選択されている書体
 - のサンプルを示します。
- 3. スタイルで、希望の字体を選択します。
- 4. 書体の種類で、希望の書体を選択します。
- OK をクリックすると、設定を確定し、ダ イアログボックスを閉じます。
 - → 設定を変更するまで、今後 TrueType フォ ントから変換されて作成される文字デー タに、この設定が適用されます。
 - → TrueType フォントから変換された文字デー タが選択されていると、その文字にも設定 が適用されます。

」 メモ:

変更を取り消してダイアログボックスを閉じる 場合は、**キャンセル**をクリックします。

A 注意:

- スタイルと書体の種類の内容は、選択されたTrueTypeフォントによって異なります。
- 複数の TrueType フォントで作成されている文字列が選択されると、このダイアログボックスは表示されません。
 更に、同じフォントでもスタイルか書体の種類が異なる文字列が選択されると、文字列の最初の文字の属性設定がダイアログボックスに表示されます。
 どちらの場合も、1文字のみを選択している場合は、ダイアログボックスは、その文字に設定されている属性を表示します。
- P.147 の「文字を入力する」、P.152 の「文字 属性を設定する」



TrueType フォントから変換された文字データを図 形データに変換します。

- TrueType フォントから変換された文字デー タを選択します。
- メニューバーの文字→図形データに変換 をクリックします。
 - → 選択されていた文字データが、図形データ に変換されます。



変換された図形データは、縫い設定が一切 されていませんので、点線で表示されます。 目的に応じて、縫い設定をしてください。

↓ メモ:

グループ化やドーナツ縫いを設定すると、形 状崩れを防ぐことができます。

モノグラムを作成する

モノグラム機能を使うと、1~3文字の大文字アルファベットを変形し、周りに装飾を加えてモノグラム(イ ニシャル文字)を作成することができます。

- ツールボックスの ▲をクリックします。

 → 2 つのボタン ▲ が表示されます。

 たクリックします。

 → カーソルの形が ↓ に変わり、縫い方 バーが次のように表示されます。

 ▶ Diamond HBL 200 mm ▲ 世方ン縫い 、
- 書体、サイズ、糸色、縫い方の種類、その 他縫い方の設定を指定します。

]] メモ:

- モノグラムデータを作成した後でも、書体、 サイズ、糸色、縫い方の種類を変更できます。詳しくは、P.158の「モノグラムの書体」、P.158の「モノグラムのサイズ」、P.164の「糸色」、P.165の「縫い方の種類」を参照してください。
- その他の詳細設定は、縫い方の設定ダイア ログボックスで行います(詳しくは、P.166 の「縫い方の詳細設定をする」を参照)。こ の設定は変更しないかぎり、現在指定され ている内容が適用されます。設定は、いつ でも変更できます。
- モノグラムを入力したい位置でクリックします。
 - → モノグラムの編集ダイアログボックスが 表示されます。



5. 文字(大文字)をキーボードで入力します。

✓ メモ:

- •選択できる文字一覧の文字をダブルクリッ クするか、文字をクリックし選択をクリッ クしても入力できます。
- モノグラム機能で入力できる文字数は、3文 字までです。

注意:
 改行はできません。
 Enter) キーを押すと、ダイアログボックスは閉じ、デザインページに
 モノグラムデータが表示されます。

- モノグラムの周囲や両サイドに装飾を加 えるときは、飾り模様チェックボックスを チェックします。
 - → 選択されている飾り模様がプレビュー領域に表示されます。



 飾り模様を変更するには、模様選択をク リックします。

→ 一覧ダイアログボックスが表示され、 飾り



- 飾り模様をクリックして選択をクリック するか、飾り模様をダブルクリックして選 択します。
 - → 一覧ダイアログボックスは閉じ、選択した 飾り模様がプレビュー領域に表示されま す。
- OK をクリックします。

 [→] デザインページに選択した装飾でモノグ ラムが表示されます。



[__] メモ:

操作を中止してダイアログボックスを閉じる 場合は、**キャンセル**をクリックします。



📕 モノグラムの書体 📧 Diamond ARGBCC 🚽

モノグラムのフォントを選択します。

() メモ:

モノグラム書体セレクタは、ツールボックス の 余 を選択すると縫い方バーに表示され ます。また、モノグラムデータを選択しても 表示されます。

モノグラム書体セレクタをクリックします。

→ モノグラムの書体一覧が表示されます。

😼 Diamond	ABD	•
🍓 Diamond	abd	~
🍓 Script	ABC	~

モノグラムの書体名 モノグラムの書体サンプル

- 書体を選択します。
 - → 設定を変更するまで、モノグラム文字入力 ツールで今後作成するデータに、この設定 が適用されます。
 - → モノグラムデータが選択されていると、そのデータにも設定が適用されます。

- モノグラムのサイズ 10.0 mm
- モノグラムのサイズを選択します。

メモ:
 モノグラムサイズセレクタはツールボックスの
 を選択すると縫い方バーに表示されます。また、モノグラムデータを選択しても表示されます。

モノグラムサイズセレクタをクリックします。

10.0	•	mm
5.0		
10.0		
15.0		
20.0		
30.0		
50.0		
75.0		
100.0		

- 高さ(5~100 mm)を入力して Enter) キー を押すか、モノグラムサイズセレクタで数 値を選択します。
 - →設定を変更するまで、モノグラム文字入力 ツールで今後作成するモノグラムデータ に、この設定が適用されます。
 - → モノグラムデータが選択されていると、そのデータにも設定が適用されます。

モノグラムを編集する

入力したモノグラムを編集します。

編集したいモノグラムデータを選択します。

注意:
 一度に複数のモノグラムデータは編集できません。複数のモノグラムデータを選択している場合は、この機能は使えません。

 メニューバーの文字→文字の編集をク リックします。 → モノグラムの編集ダイアログボックスが 表示され、選択されているモノグラムの 文字と飾り模様がそれぞれ文字入力領域 とプレビュー領域に表示されます。

モノグラムの編集
тларация: АВС
選択できる文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
☞ 飾り模様
OK キャンセル

3. 文字を編集します。

]] メモ:

- 選択できる文字の文字をクリックし選択を クリックするか、文字をダブルクリックし て入力します。
- 飾り模様を変更するときは模様選択をクリックし、一覧ダイアログボックスから選択します。
- 飾り模様を外すときは、飾り模様チェック ボックスのチェックを外します。

1 注意:

改行はできません。 **Enter** キーを押すと、ダ イアログボックスは閉じ、デザインページに モノグラムデータが表示されます。

4. OK をクリックします。

→ 編集されたモノグラムが表示されます。

↓ メモ:

変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

▶ P.157 の「モノグラムを作成する」

モノグラムの文字と飾り模様
 を別々に編集する
 ハールボックスの をクリックします。
 →2つのボタン が表示されます。
 2. をクリックします。

→ カーソルの形が 📐 に変わります。

 編集したいモノグラムデータをクリック します。

> → モノグラムデータの既存ポイントが小さ な白い四角で表示されます。

 選択したい文字または飾り模様のポイン トをクリックします。

> 複数の文字や飾り模様を選択するには、 **Ctrl** キーを押しながら各文字や飾り模様 のポイントをクリックするか、選択したい文字 や飾り模様のポイントを囲むようにドラッグ します。

→ 選択された文字や飾り模様のポイントは 小さな黒い四角で表示され、縫い方バーが 次のように表示されます。

■ サテン縫い

5. 糸色や縫い方の種類を変更します。



・飾り模様は、左右別々には編集できません。

スタンプを設定・編集する

円・円弧/長方形/直線描画ツールや文字ツール、マニュアルパンチングツールを使って描かれた刺しゅうデー タにスタンプを設定します。プログラムタタミ/スタンプパターンは本アプリケーションに用意されています が、ステッチクリエイターで、編集したり、新しく独自のパターンを作成したりできます。



スのプレビュー領域に、選択したフォルダ のプログラムタタミ / スタンプパターンが

表示されます。

- スタンプの幅と高さを変更する場合は、ス タンプの設定ダイアログボックスのサイ ズに数値(1~100 mm)を入力するか、 スピンボタンで値を変更します。
- 5. スタンプの角度を変更する場合は、角度の 下の赤い矢印をドラッグして、角度を設定 します。

または、数値を直接入力するか、スピンボタン で値を変更することもできます。

[]] メモ:

- スタンプツール選択中は、スタンプの設定 ダイアログボックスは開いたままで作業が でき、スタンプのサイズと角度をいつでも 調整できます。
- スタンプの設定ダイアログボックスを閉じるには、閉じるをクリックします。
- 閉じた後でダイアログボックスを再度開く
 には、
 をクリックします。
- スタンプを設定したい面をクリックします。
 - → カーソルをクリックした面上に移動する と、形が <u>↓</u> に変わります。選択した面 の輪郭線が、赤い破線で表示されます。
- スタンプを設定したい位置をクリックします。

→ スタンプの形状が点線で表示されます。



- () メモ:
- スタンプ全体が表示されます。スタンプの 方が設定された面よりも大きい場合があり ますが、面と重なっている部分のみが縫わ れます。
- スタンプは、円・円弧/長方形/直線の各描 画ツールや文字ツール、マニュアルパンチ ングツールを使って作成された刺しゅう データの、サテン縫い、タタミ縫い、また はプログラムタタミ縫いが設定された面の みに設定できます。
- 同じ面に複数のスタンプを設定するとき は、必要な回数分面をクリックし続けます。
- スタンプの設定ダイアログボックスは、ス タンプツールを選択中のみ表示されます。
- スタンプは設定された面内でのみ縫われます。

スタンプを編集する

1.	ツールボックスの	<u>_</u>	をクリックします。
	→ 2 つのボタン	2	▶ が表示されます。

- 2. 🦎 をクリックします。
 - → カーソルの形が^Q に変わり、スタンプの設定ダイアログボックスが表示され、面に設定されているスタンプが点線で表示されます。



() メモ:

面が選択されている場合は、面の輪郭線が赤 い破線で表示され、スタンプは点線で表示さ れます。

- 編集するスタンプを設定した面をクリックします。
 - → 選択した面の輪郭線が、赤い破線で表示さ れます。

4. 編集するスタンプをクリックします。

→ 丸いハンドルがスタンプの周囲に表示され、回転ハンドルがスタンプの上部に表示されます。



注意: 複数個のスタンプを一緒に選択することは できません。別のスタンプを選択すると、前 に選択していたスタンプの選択は解除され ます。

5. スタンプの形状を変更する場合は、スタンプの設定ダイアログボックスで別のスタンプを選択して、設定をクリックします。 スタンプのサイズと角度を変更する場合は、スタンプの設定ダイアログボックスのサイズと角度で設定値を指定するか、ハンドルまたは回転ハンドルをドラッグして調整します。

スタンプを移動する場合は、ドラッグします。 面内にスタンプ全体または一部を配置します。

スタンプを削除する場合は、メニューバーの**編** 集→削除を選択するか、 **Delete** キーを押し ます。

() メモ:

- スタンプを設定した刺しゅうデータを移動 すると、スタンプも一緒に移動します。た だし、刺しゅうデータのサイズを変更した り回転しても、スタンプには適用されませ ん。刺しゅうデータの形状を編集した場合 は、スタンプも調整が必要かを確認してく ださい。
- スタンプの形状はスタンプツールを選択中 にのみ表示されます。
- スタンプは設定された面内でのみ縫われます。
- スタンプの設定ダイアログボックスを閉じるときは、閉じるをクリックします。
- ▶ P.126 の「刺しゅうデータを拡大・縮小する」、 P.127 の「刺しゅうデータを回転させる」

線と面に縫い方を設定する

縫い方バーで、次のような刺しゅうデータの属性を 設定できます。

- 幾何学的属性(円弧の種類、角の丸み、両端の処理)
- 文字属性(書体、サイズ、変形の度合)
- 刺しゅう属性(糸色と縫い方、輪郭線と面部のオン/オフ)

使用できる設定は、選択されたツールと刺しゅう データの種類によって異なります。

例1:選択ツールが選択されていて、刺しゅうデー タが選択されていない場合

~ ■ サテン縫い ・ ■ ■ タダン縫い ・

例2: 文字が選択されている場合

01 ABC Qale 9827 (Ala) 10.0 · mm 直 サテン縫い ·

カーソルを縫い方バーの各ボタンやセレクタ上に置 くと、その機能を示すラベルが表示されます。以下 の説明では、縫い方バーの各構成要素を、これらの ラベルに表示される名前で呼びます。



原則として、作成する刺しゅうデータに設定できる 属性は、データ作成の直前またはデータ作成後に設 定できます。例えば、長方形を描くときは、長方形 描画ツールを選択後に、糸色と角の丸みを設定でき ます。長方形が作成されていれば、それを選択し、 その属性を変更することもできます。

ただし、円・円弧描画ツールの場合は例外で、どの データ(円、弧、その他)を作成するのかを、実際 に作成する前に決めなければなりません。データを 作成した後でデータの種類を変更することはできま せん。

幾何学的属性

円 .	円弧の種類: 円・円弧の種 類を選択します。	P.139
0.0 v mm	角の丸み :長方形の角を丸 める大きさを設定します。	P.142
開いた線・	両端の処理 : 直線や曲線で 描かれたデータを開いた線 にするか、閉じた線にする かを設定します。	P.144

文字属性

	書体 :文字の書体を選択し ます。	P.149
10.0 • mm	文字サイズ、モノグラムサ イズ :文字サイズ、モノグ ラムサイズを選択します。	P.150
50 • %	変形の度合い:変形の度合いま選択します。	P.155

刺しゅう属性

2	線の設定 :輪郭線縫いのオ ン/オフを切り替えます。オ フのときは、縫製は行われ ず、その糸色や縫い方の種 類の設定はできません。	P.163
<u>₩₩</u>	面の設定 : 面縫いのオン/オ フを切り替えます。オフの ときは、縫製は行われず、そ の糸色や縫い方の設定はで きません。	P.163
	線の色、面の色、文字の色、 モノグラムの色、パンチン グの色:輪郭線、面、文字、 モノグラム、マニュアルパ ンチングデータの糸色を設 定します。	P.164
	特別色	P.165
サテン縫い 🕒	線の縫い方: 輪郭線の縫い 方を設定します。	P.165
タ気縫い・	面の縫い方、モノグラムの 縫い方:面部、文字、モノ グラム、マニュアルパンチ ングデータの縫い方を設定 します。	P.165

糸色と縫い方を設定する

刺しゅうデータに糸色と縫い方を設定します。輪郭 線や面がある刺しゅうデータには、それぞれ異なる 糸色と縫い方を設定できます。面にグラデーション が設定されていると、異なる色を追加してブレン ディングを行うことができます (P.174の「グラデー ションを作成する」を参照)。文字データには、1文 字ごとに糸色と縫い方を設定できます。

輪郭線と面がある刺しゅうデータとは、TrueType フォントから変換された文字、円、扇形、円弧と弦、 長方形、閉じた直線、閉じた曲線のことで、これら の刺しゅうデータには、輪郭線と面部の縫う / 縫わ ないの設定ができます。

円弧、開いた直線 / 曲線などの輪郭線だけの刺しゅ うデータの場合、輪郭線を縫う / 縫わないが設定で きます。

ソフトウェア内蔵の書体やマニュアルパンチング データで作成された刺しゅうデータは、面だけの輪 郭線のないデータで、輪郭線部を縫う / 縫わないは 設定できません。

マニュアルパンチングデータでは、3 種類のマニュ アルパンチングデータ(ブロック型、セミオートブ ロック型、走り型)すべてに糸色を設定できますが、 縫い方の設定はブロック型に限られます。

■線の設定 📈

輪郭線縫いのオン/オフを切り替えます。

↓↓ メモ:

- 線の設定ボタンは、選択ツールが選択されていて、刺しゅうデータが選択されていないとき、または、輪郭線(TrueType フォントから変換された文字、円弧、扇形、円弧と弦、長方形、直線、曲線)のある刺しゅうデータが選択されているとき、ツールボックスの▲、・「、「」、「」を選択しているときに使用できます。
 線縫いがオフのときは、縫製は行われず、
- ・線縫いがオブのとさば、縫袈は117119
 その糸色や縫い方の設定はできません。

線の設定ボタン(
)をクリックします。

オン/オフにより、表示が変わります。

オン:線の色ボタンと線の縫い方セレクタが表示されます。

オフ:**線の色**ボタンと**線の縫い方**セレクタが表 示されません。 ボタンをクリックするごとに、オン/オフが交 互に切り替わります。



- → 設定を変更するまで、今後作成するすべて の輪郭線に、この設定が適用されます。
- →刺しゅうデータが選択されていると、その 刺しゅうデータにも設定が適用されます。

線の設定がオン: 線の設定がオフ:



 輪郭線の設定をオンにするには、線の設定 ボタンを再度クリックします。



▶ P.164 の「糸色」、P.165 の「縫い方の種類」

■面の設定 ₩

面縫いのオン/オフを切り替えます。

___ メモ:

面の設定ボタンは、選択ツールが選択されていて、刺しゅうデータが選択されていないとき、または、面(文字、円、扇形、円弧と弦、長方形、閉じた直線、閉じた曲線)のある刺しゅうデータが選択されていると

き、ツールボックスの \mathbf{A} 、 \mathbf{G} 、 \mathbf{C} 、

を選択しているときに使用できます。

 オフのときは、縫製は行われず、その糸色 や縫い方の設定はできません。



1. 糸色ボタン(🧾)をクリックします。

→次のような線の糸色または面の糸色ダイ アログボックスが表示されます。



___ メモ:

詳細を表示チェックボックスをチェックする と、糸色の情報表示一覧に切り替わり、糸番 号、ブランド、糸色名を確認できます。

 糸リストセレクタから、システム糸リスト またはユーザー糸リストを選択します。

> ユーザー糸リストの設定方法や、ミシンでの 糸色の扱いについては、P.184の「ユーザー 糸リストを作成・編集する」参照

3. 糸色リストから、希望する色をクリックします。

() メモ:

- 糸色をダブルクリックしても選択できます。
- 選択された色は、ダイアログボックスの下 方に表示されます。
- 糸色一覧の下の4つのボタンには特別な機能があります。詳しくは、P.165の「特別 色」を参照してください。

OK をクリックします。

メモ:
 操作を中止してダイアログボックスを閉じる
 場合は、キャンセルをクリックします。

- → 設定を変更するまで、今後作成するすべての刺しゅうデータに、この設定が適用されます。線と面の糸色ボタンが、現在の色を表示します。
- →刺しゅうデータが選択されていると、その 刺しゅうデータにも設定が適用されます。



P.163 の「線の設定」、P.163 の「面の設定」

■ 特別色



- 空白(未定義):糸色表示機能のあるミシンでは、自動的に指定された糸色を表示しますが、実際にミシンを使って縫製する際、そのときに応じて色を決めたいときに、「空白」を指定します。
- 次の3つの特別色を使って、アップリケを 作成できます。

アップリケピース:

アップリケにする布などを切り取るための 輪郭線を縫います。

アップリケノイチ:

上記の作業で作成されたアップリケを縫い 付ける布に、アップリケ位置のガイド線を縫 います。

アップリケ:

アップリケを縫い付けます。

[]] メモ:

アップリケウィザードを使って簡単にアップ リケを作成することもできます。詳しくは、 P.176 の「アップリケウィザードを使う」を 参照してください。



() メモ:

- 線の縫い方と面の縫い方セレクタは、選択 ツールが選択されている場合に縫い方バー に表示されます(線の設定や面の設定ボタ ンでオフになっていないとき)。
- ・描画ツールの1つを選択するか既存のデータを選択すると、そのデータの縫い方セレクタが表示されます。

1. 縫い方の種類セレクタをクリックします。

\rightarrow	・縫い方の種類セレクタ表示される、設定で
	きる縫い方は選択した刺しゅうデータに
	より異なります。

縫い方	線の縫い方設 定	面の縫い方設定
文字 内蔵フォ ント	なし	サテン縫い、タタミ縫い
文字 (TrueType フォント)	サテン縫い、 走り縫い、 モチーフ縫い、 E/V ステッチ	ッテン縫い、タダミ縫い プログラムタタミ縫い
マニュア ルパンチ ングデー タ	なし	サテン縫い、タタミ縫い、 プログラムタタミ縫い、 パイピング縫い
その他	サテン縫い、 走り縫い、 モチーフ縫い、 E/V ステッチ	サテン縫い、タタミ縫い、 プログラムタタミ縫い、 モチーフ縫い、 クロスステッチ、 同心円縫い、放射縫い、 渦巻き縫い

希望する縫い方の種類をクリックします。

- → 選択された縫い方の種類がセレクタに表 示されます。
- → 設定を変更するまで、今後作成するすべて の刺しゅうデータに、この設定が適用され ます。
- →刺しゅうデータが選択されていると、その 刺しゅうデータにも設定が適用されます。

Q 注意:

縫い方の詳細設定は縫い方の設定ダイアロ グボックスでできます。プログラムタタミ縫 いやモチーフ縫いを選択した場合は、縫い方 の設定ダイアログボックスでパターンも選 択してください。(パターンの初期設定はあ りません。)

▶ P.163 の「線の設定」、P.163 の「面の設定」、 P.166 の「縫い方の詳細設定をする」



詳細モード:

1050000				
又線の登い方				ī,
サテン幅	1.0	mm		Î
糸密度	4.0			
□ ハーフスティ	<i>۱</i> チ			
▽面の縫い方				
□ 下打ち				
糸密度	4.0			
□ グラデーシ	=> _	パターン	_	
	45			
折り返し	• =			
□ ハーフステ:	/手			
4			I F	É

() メモ:

- ・メニューバーの縫い方→縫い方の設定を選択しても、縫い方の設定ダイアログボックスを表示できます。
- ダイアログボックスに表示される縫い方の 設定内容は、選択されている縫い方の種類 によって異なります。

 基本的な縫い方と簡単な設定のみを表示するには、簡易モードへをクリックします。 選択した縫い方に指定できるすべての設定を表示するには、詳細モードへをクリックします。

() メモ:

- 簡易モードで表示されない設定は、詳細 モードの以前の設定値が維持されます。
- ガイドを隠すをクリックすると、ガイド表示領域が非表示になります。ガイドを表示をクリックすると、ガイド表示領域が表示されます。
 ガイド表示領域を表示しているときは、

カーソルを設定項目上に移動すると、縫い 方のサンプルが表示されます。設定を変更 するごとに、変更後の実際の変化をここで 確認できます。

 必要に応じて、線の縫い方または面の縫い 方の下に表示された各設定を変更します。

() メモ:

- ダイアログボックスの大きさは、ダイアロ グボックスの端をドラッグすることで自由 に変更できます。スクロールバーが表示さ れているときは、スクロールすることによ りすべての設定を表示できます。
- 入力の方法は、表示モードによって異なります。詳細モードで数値を入力する場合は、 直接数値を入力するか、スピンボタンで値を変更します。簡易モードでは、スライダを移動して設定を変更します。設定の右側

の 💼 をクリックすると、標準設定に戻す ことができます。

○ 縫い方の設定の各設定については、P.167の 「線の縫い方」と P.168の「面の縫い方」を 参照してください。

1 注意:

縫い方の設定の各設定は、表示モードに関係 なく、変更されるまで、現在設定されている 内容が保持されます。

- 5. 新規設定を確定するには、ダイアログボックスの設定をクリックします。
- 閉じるをクリックして、ダイアログボック スを閉じます。

■線の縫い方

指定できる縫い方の設定は、選択した縫い方によって異なります。簡易モードでは、表示されない縫い方の設 定があります。

サテン縫い

サテン幅	サテン幅を設定します。 範囲:1.0 ~ 10.0 mm 標準:2.0 mm	
糸密度	1 mm 当たりの糸数を設定します。 範囲:1.0 ~ 7.0 本 / mm 標準:4.0 本 / mm	
ハーフステッチ	ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。 サテン縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、一定糸 オン: 密度になるように自動的に調整されます。 標準:オフ オフ: オフ:	

走り縫い

走りピッチ	輪郭線縫いのピッチを設定します。 範囲:1.0 ~ 10.0 mm 標準:2.0 mm
走り回数	輪郭として縫われる回数を設定します。 範囲:1~5 標準:1回

モチーフ縫い

走りピッチ	輪郭線縫いのピッチを設定します。 範囲:1.0 ~ 10.0 mm 標準:10.0 mm			
モチーフ	1	モチーフ縫いのパターンを選択します。 をクリックすると、一覧ダイアログボックスが表示 があるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターン ンをダブルクリックするか、クリックして反転表示させて てパターンを選択します。	:されます。 の一覧から てから OK	使用する . pmf 希望のバター をクリックし
	幅(横の長さ)	パターンの幅(線に沿った方向)を設定します。 範囲:2.0 ~ 10.0 mm 標準:5.0 mm		
	高さ(縦の長さ)	パターンの高さ(線と垂直な方向)を設定します。 範囲:2.0 ~ 10.0 mm 標準:5.0 mm		
	アレンジ1 (横配列)	パターンの横配列を設定します。ஹのようなパター ンでは、右図のような線に沿って配列されます。	標準 反転 交互	$\frac{2}{2}$
	アレンジ 2 (縦配列)	パターンの縦配列を設定します。▶のようなパター ンでは、右図のような線に沿って配列されます。	標準 反転 交互	

E/V ステッチ

	E ステッチか V ステッチかを選択します。				
E ステッチ V ステッチ	間隔	ストロークの間隔を設定します。 範囲:1.0 ~ 20.0 mm 標準:5.0 mm	E ステッチ ・ ・・・・・	♥ ステッチ ▲	
	ストローク幅	ストロークの幅(線と垂直な方向)を設 定します。 範囲:1.0 ~ 10.0 mm 標準:2.5 mm	E ステッチ ↓	▼ステッチ	
	走りピッチ	線縫いのピッチを設定します。 範囲:1.0 ~ 10.0 mm 標準:2.0 mm	E ステッチ	♥ ステッチ	
	走り回数	線縫いの縫われる回数を設定します。V ス 含まれます。 範囲:1、3、5回 標準:1回	テッチではストロ-	- ク部分も走り回数に	
	ストローク回数	ストローク部分の縫われる回数を設定しま Eステッチ が選択されているときのみ有効 範囲:1~3回 標準:1回	⊧す。 ♪です。		
	ストロークの向き	ストロークの向きを設定します。	E ステッチ	V ZF YF	

■面の縫い方

指定できる縫い方の設定は、選択した縫い方によって異なります。簡易モードでは、表示されない縫い方の設 定があります。

サテン縫い

下打ち	下打ちをする/しないを切り替えます。広い面積を縫う場合、縫い縮みを防ぐために下打ち をしてみてください。面の形状により、この設定が使用できない場合もあります。 オン:下打ちを行う オフ:下打ちを行わない
糸密度	1 mm 当たりの糸数を設定します。 範囲:1.0 ~ 7.0 本/mm 標準:4.0 本/mm
グラデーション	糸密度のグラデーションのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが 一定 に設定されている場合に設定できます。 パターン をクリックして、グラデーションのパターンを設定します。 標準:オフ この設定について詳しくは、P.174 の「グラデーションを作成する」を参照してください。
縫い角度	[タイプ]縫い方向の種類を設定します。 一定:一定の角度で縫います。下記で角度を設定します。 可変:データの形状に合わせて縫い方向を可変します。 [角度]縫い方向の角度を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 範囲:0~359度 標準:45度

ハーフステッチ	ハーフステッチ のオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが 可変 に設定されている場合に設定できます。 サテン縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、一定糸密度 になるように自動的に調整されます。 標準:オフ	オン: <u>****</u> オフ: <u>***</u> **
内部走り経路	走り縫い経路を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 指定できる設定: • 面の内部(図形内部の最短経路) • 輪郭線沿い(図形の輪郭線の内側の線上の最短経路) • 輪郭線上(図形の輪郭線上の最短経路) グラデーションがオフに設定されている場合にのみ、面の内部を 設定できます。 標準:面の内部	面の内部: 輸郭線沿い: 輪郭線上: 〇
縮み補正	縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 範囲:0.0 ~ 2.0 mm 標準:0.0 mm	

タタミ縫い

下打ち	下打ちをする/しないを切り替えます。広い面積を縫う場合、縫い縮みを防ぐために下打ち をしてみてください。面の形状により、この設定が使用できない場合もあります。 オン:下打ちを行う オフ:下打ちを行わない
糸密度	1 mm 当たりの糸数を設定します。 範囲:1.0 ~ 7.0 本 / mm 標準:4.0 本 / mm
グラデーション	糸密度のグラデーションのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが 一定 に設定されている場合に設定できます。 パターン をクリックして、グラデーションのパターンを設定します。 標準:オフ この設定について詳しくは、P.174 の「グラデーションを作成する」を参照してください。
縫い角度	[タイプ]縫い方向の種類を設定します。 一定:一定の角度で縫います。下記で角度を設定します。 可変:データの形状に合わせて縫い方向を可変します。 [角度]縫い方向の角度を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 範囲:0~359度 標準:45度
折り返し	ステッチの折り返しパターンの形を指定します。 使用できる設定: ■, ■ 標準: ■ (文字以外のすべての刺しゅうデータ) ■ (文字)
ハーフステッチ	ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが 可変 に設定されている場合に設定できます。 タタミ縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、一定糸密度 になるように自動的に調整されます。 標準:オフ オフ:

内部走り経路	面内部の走り縫いの経路を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 指定できる設定: • 面の内部(図形内部の最短経路) • 輪郭線沿い(図形の輪郭線の内側の線上の最短経路) • 輪郭線上(図形の輪郭線上の最短経路) グラデーションがオフに設定されている場合にのみ、面の内部を 設定できます。 標準:面の内部	面の内部: 輪郭線沿い:
縫いピッチ	縫いピッチを設定します。 範囲:1.0 ~ 10.0 mm 標準:4.0 mm	縫いピッチ- -
偏差	縫い目のずらし具合を設定します。 範囲:0 ~ 99% 標準:30%	30% 0%
縮み補正	縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 範囲:0.0 ~ 2.0 mm 標準:0.0 mm	

プログラムタタミ縫い

下打ち	下打ちをする/しないを切り替えます。広い面積を縫う場合、縫い縮みを防ぐために下打きをしてみてください。面の形状により、この設定が使用できない場合もあります。 オン:下打ちを行う オフ:下打ちを行わない		
糸密度	1 mm 当たりの糸数を設定します。 範囲:1.0 ~ 7.0 本 / mm 標準:4.0 本 / mm		
グラデーション	糸密度のグラデーションのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが 一定 に設定されている場合に設定できます。 パターン をクリックして、グラデーションのパターンを設定します。 標準:オフ この設定について詳しくは、 P:174 の「グラデーションを作成する」を参照してください。		
縫い角度	[タイプ]縫い方向の種類を設定します。 一定:一定の角度で縫います。下記で角度を設定します。 可変:データの形状に合わせて縫い方向を可変します。 [角度]縫い方向の角度を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 範囲:0~359度 標準:45度		
ハーフステッチ	ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが 可変 に設定されている場合に設定できます。 プログラムタタミ縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、 一定糸密度になるように自動的に調整されます。 標準:オフ		
内部走り経路	 面内部の走り縫いの経路を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 指定できる設定: 面の内部(図形内部の最短経路) 輪郭線沿い(図形の輪郭線の内側の線上の最短経路) 輪郭線上(図形の輪郭線上の最短経路) 「うデーションがオフに設定されている場合にのみ、面の内部を設定できます。 標準:面の内部 		

刺しゅうデータを編集する

縮み補正		縫製面を縫し 範囲:0.0 ~ 標準:0.0 m	製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 3囲:0.0 ~ 2.0 mm 3準:0.0 mm		
	ご 幅 (横の長さ)		プログラムタタミのパターンを選択します。 をクリックすると、一覧ダイアログボックスが表示されます。使用する .pas ファイルがあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧か ら希望のバターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示させてから OK をクリックしてパターンを選択します。		
			縫いパターン幅を設定します。 範囲:5.0 ~ 10.0 mm 標準:7.5 mm		
高さ(縦の長さ)		さ)	縫いパターン高さを設定します。 範囲:5.0 ~ 10.0 mm 標準:7.5 mm		
角 プログラム タタミ イ 経べいしく照	角度		パターン配列の角度を変更します。 範囲:0~359度 標準:0度 135 ^{°90°45°} 180° 225 ^{°270°315°}		
	オフセット	オフセット 方向	パターン配列の横/縦のオフセット方向を設定します。 横 😪 🛣		
		オフセット 値	パターン配列のオフセット(ずらし)量を設定します。 範囲:0 ~ 99% 標準:0%		
	ペースの 縫い方 ベースの縦 い方まく(詳し く照)。	折り返し	ステッチの折り返しパターンの形を指定します。 ベースの縫い方がオンに設定されている場合に設定で きます。 使用できる設定:■、■ 標準:■ (文字以外のすべての刺しゅうデータ) ■ (文字)		
		縫いピッチ	プログラムタタミ縫いのペースの縫い方用に縫いピッチを設定します。 ベースの縫い方がオンに設定されている場合に設定で 縫いピッチート きます。 範囲:1.0~10.0 mm 標準:4.0 mm		
		偏差	プログラムタタミ縫いのベースの縫い方用に縫い目のずらし具合を設定します。 ベースの縫い方がオンに設定されている場合に設定 むきます。 範囲:0 ~ 99% 標準:30%		

繊能詳緒 フノンレトセンター

パターン レーン 縫い沈め、または浮き上がり 効果を設定した面



プログラムタタミ縫いのベース の縫い方(斜線で示したパターン 以外の領域)で設定された縫い方 で縫われます。

- パターンファイルで設定された 縫い方で縫われます。
モチーフ縫い

	モチーフ縫いに パターン1 と パターン2 のいずれを使うかを選択します。 パターン1と2 を選んだ場合は、 各列で交互に縫製されるようにプログラムされます。 パターン1のみ:パターン1のみを使います。(標準) パターン2のみ:パターン2のみを使います。 パターン1と2:パターン1と2を使います。				
モチーフ	パターン 1 パターン 2	1	 モチーフ縫いのパターンを選択します。 をクリックすると、一覧ダイアログボックス: る.pmf があるフォルダを選択します。使用可能な 希望のバターンをダブルクリックするか、クリック OK をクリックしてパターンを選択します。 	が表示されます。使用す 縫いパターンの一覧から して反転表示させてから	
		幅 (横の長さ)	パターンの幅(線に沿った方向)を設定します。 範囲:2.0 ~ 10.0 mm 標準:5.0 mm		
		高さ (縦の長さ)	パターンの高さ(線と垂直な方向)を設定します。 範囲:2.0 ~ 10.0 mm 標準:5.0 mm		
		アレンジ 1 (横配列)	パターンの横配列を設定します。☆のようなパ ターンでは、右図のように線に沿って配列されま す。	 標準 ◇◇◇◇◇◇ 反転 ◇◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ 	
		アレンジ 2 (縦配列)	パターンの縦配列を設定します。▶のようなパ ターンでは、右図のように線に沿って配列されま す。	標準 反転 交互	
	角度		モチーフ縫いの縫い角度を設定します。 範囲:0 ~ 359 度 標準:0 度	$135^{\circ} \begin{array}{c} 90^{\circ} \\ 45^{\circ} \\ 180^{\circ} \\ 225^{\circ} \\ 270^{\circ} \\ 315^{\circ} \end{array}$	
	オフセット量		パターン配列の各列のオフセット(ずらし)量を 設定します。 範囲:0.0 ~ 10.0 mm 標準:0.0 mm		
	走りピッチ		走りピッチを設定します。 範囲:1.0 ~ 10.0 mm 標準:10.0 mm		

クロスステッチ

サイズ	格子の縦横のサイズを設定します。 詳細モードでは、単位として mm またはカウントで設定します。どちらの単位で設定して も、もう一方の単位も連動して設定されます。 範囲:1.5 ~ 5.0 mm または 5 ~ 17 カウント 標準:2.5 mm または 10 カウント
縫い方	縫い回数を設定します。 範囲:2重縫い、4重縫い、6重縫い 標準:2重縫い

同心円縫い、放射縫い、渦巻き縫い

同心円縫いと放射縫いの中心点の移動について詳しくは、P.133の「中心点を移動する」を参照してください。

糸密度	1 mm 当たりの糸数を設定します。 範囲:0.5 ~ 7.0 本 / mm 標準:2.0 本 / mm
走りピッチ	走りピッチを設定します。 範囲:1.0 ~ 10.0 mm 標準:2.0 mm

パイピング縫い

ブロックの進行方向に沿って縫い目を作成します。 マニュアルパンチングデータにのみ使用できます。



糸密度	1 mm 当たりの糸数を設定します。 範囲:0.5 ~ 7.0 本 / mm 標準:2.0 本 / mm	
走りピッチ	輪郭線縫いのピッチを設定します。 範囲:1.0 ~ 10.0 mm 標準:4.0 mm	
偏差	縫い目のずらし具合を設定します。 範囲:0 ~ 99% 標準:30%	30% - WWA

マニュアルパンチングのみ

ぼかし縫い	ぼかし縫いを# 上側:上側に 下側:下側に マニュアルパ: 2-4 が下端にな	確い方向に対してどちら側に適用するかを設定します。 ぼかし縫いを行います。 ずかし縫いを行います。 ンチングツールでデータを作成すると、構成点 1-3 が上側、構成点 にります。
	<u>M</u>	ぼかし縫いのパターンを選択します。 をクリックすると、一覧ダイアログボックスが表示されます。使用可能な縫いパター ンの一覧から希望のバターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示させてから OK をクリックしてパターンを選択します。
	最大幅	ぼかし縫いの幅を設定します。 範囲:0.2 ~ 100.0 mm 標準:3.0 mm

(ぼかし縫いパターンの例)



プログラムタタミ縫いとスタンプに関する注意

プログラムタタミ縫いやスタンプを設定する場合、 縫い方とパターン角度によっては、パターンの効果 が十分に現れない場合があります。これは、パター ンのデータと縫い角度が交わる所に針落ちデータを 作成するためです。

したがって、プログラムタタミ縫いやスタンプを設 定する場合は、必ずプレビュー機能を使って縫い角 度、パターン角度が正しいか確認してください。効 果的な角度の値を得るため、別の縫い角度を試して 比較してみてください。

プログラムタタミ縫いの例

例 1: 縫い角度:45度(標準)

27/142 編集 (2) 플레이 文字이 분(178) 종국의 1792-20 /1476) 이 등 (2) 이 등 (3) 이 이 볼 (3) 이 (5) 용 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
○ ●
0.0 ・mm 2 目 サテン組() ・ 開 目 プログラムタシを継() ・
-SPILLAND CONTRACTOR AND
Sector (/ / / / / / / / / / / / / / / / / /
A SUMMARY AND A VALUE AND A
THE REAL PROPERTY AND THE FULL PROPERTY AND THE PROPERTY
- BANNA MANA KANA AND AND AND AND
A S A A A A A A A A A A A A A A A A A A
I SUMMER AND A STANDARD
- Strick Hickory Hickory Victory Victory
THE REPORT OF THE STATE OF THE
Same Shark Konne Same Same Shark St
Martha
I CALLER AND
- 3861/15/18(18/18/18/18/18/18/18/18/18/18/18/18/18/1
幅 +63.60 mm, 南芝 +106.50 mm NUM





例3: 縫い角度:0度



P.181 の「縫製イメージをプレビューする」、
 P.201 の「ステッチクリエイター」

グラデーションを作成する

1 色または2 色の糸密度を調整して、独自のグラデーションパターンを作成できます。

- 縫い方の設定ダイアログボックスの詳細 モードで、グラデーションチェックボック スをチェックします。
- パターンをクリックします。
 - → **グラデーションパターンの設定**ダイアロ グボックスが表示されます。



- 糸色を変更するときは、
 します。
 糸色ダイアログボックスから色を 選択して OK をクリックします。
- グラデーションのパターンを選びます。パ ターン選択から希望するボタンをクリッ クします。
- グラデーションの糸密度を調節します。ス ライダを動かします。

ンチャン・ 設定変更結果がプレビュー領域に表示されます。

- 2 色を混ぜる場合はブレンディングチェックボックスをチェックします。糸色を変更するときは、その下の
 たクリックします。糸色ダイアログボックスから色を選択して OK をクリックします。
- **7. OK** をクリックします。

メモ:

- ブレンディングのチェックが外れている場合は、グラデーション設定では残りの色が 適用されます。
- 設定を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。





アップリケウィザードを使うと、アップリケデータ を簡単に作成できます。

 円や正方形などの閉じた図形データを選 択します。

[__] メモ:

- 線が交差したパターンは選択できません。
 アップリケウィザード終了後は、アップリケの作成用に使われた図形データは削除されます。
- メニューバーの縫い方→アップリケウィ ザードをクリックします。
 - → **アップリケウィザード**ダイアログボック スが表示されます。



- アップリケピースの切り取り線を縫製する/しないを選択します。縫製する場合は アップリケピースの下のありを、しない場合はなしをクリックします。
- 4. アップリケの位置 (アップリケピースを貼 り付けるガイド線) が、自動的に縫製され るように設定されます。
- 5. 仮止め用の縫製をする/しないを選択します。縫製する場合は仮止めの下のありを、しない場合はなしをクリックします。ありのときは、縫い目の種類セレクタをクリックし、サテン縫い、Eステッチ、Vステッチから選択します。



- 6. アップリケ縫いの縫い方の種類、各設定を 指定します。アップリケの下のセレクタま たはスピンボタンをクリックして、設定し ます。
- OK をクリックして、アップリケウィザー ドを終了します。デザインページにアップ リケデータが表示されます。

メモ:
 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。





→ カーソルの形が⁺ に変わります。

- 距離を測りたい刺しゅうデータの一方に カーソルを移動し、クリックします。
 - → その場所に、測定の起点としての小さい丸 が表示されます。

 カーソルをドラッグすると、ステータス バーに測定値が表示されます。
 長さは、始点と終点を結ぶ直線の長さを示します。
 幅は、始点と終点を結ぶ直線の水平幅の長さを示します。
 高さは、始点と終点を結ぶ直線の垂直高の 長さを示します。



縫製範囲を設定する

縫製範囲を設定します。

 メニューバーの縫い方→縫製範囲の設定 をクリックします。

→ 次のダイアログボックスが表示されます。



- デザインページの外形または縦製データの外形を選択します。
- OK をクリックします。

【___ メモ:

操作を中止してダイアログボックスを閉じる 場合は、**キャンセル**をクリックします。

→ デザインページの外形を選択すると、縫製開始時に、針の位置が作業中のデザインページの中心になるように、刺しゅうデータが作成されます。

||| メモ:

デザインページの外形を選択すると、刺しゅ うデータのサイズがデザインページの大きさ になります。

→ 縫製データの外形を選択すると、縫製開始時に、針の位置が作業中の刺しゅうデータの中心になるように、刺しゅうデータが作成されます。

() メモ:

縫製データの外形では、実際の刺しゅうサイズの実寸が縫製範囲としてミシンに認識されるので、ミシンのレイアウト機能がより発揮されます。





P.102の「デザインページを設定する」

 ・
 ・
 ・

 ・
 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

縫い順と糸色を確認・変更する

刺しゅうデータの縫い順を確認、変更します。

ツールバーボタン: 😪

1. 🤮 をクリックするか、メニューバーの

縫い方→縫い順/糸色をクリックします。

→次のような縫い順/糸色ダイアログボック スが表示されます。



図をクリックすると、それぞれの部分がコマいっぱいに拡大表示されます。

と
かいた
と
、
連続する
同色の
部分が
組み合
わされて
1つの
コマに
表示されます。



 OK をクリックすると、設定を確定し、ダ イアログボックスは閉じます。

🛄 メモ:

田 をクリックすると、部分ごとのコマが 表示されます。



□ は、連続する同色の部分の最初の部分 であり、続いて同色の各部分が縫い順に表 示されていることを示しています。

─ をクリックすると、その色の部分を組み合わせた表示に戻ります。

変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

データを選択する

 縫い順 / 糸色ダイアログボックスで、コマ を選択します。

→ コマを選択すると、コマの枠がピンクになり、デザインページのそのコマの面の輪郭線が赤い破線で表示されます。

レイアウトセンター

() メモ:

- 複数のコマを選択するときは、(Shift) キー または (Ctrl) キーを押しながら、各コマを クリックします。または、選択するコマを すべて囲むようにドラッグします。
- 縫い順/糸色ダイアログボックス上で選択 されているデータは、ダイアログボックス を閉じた後に選択状態になります。

縫い順を変更する

縫い順を変更するには、移動したい部分のコマを選 択し、コマを新しい縫い順の位置にドラッグします。 縦の赤い太い線が表示され、コマの移動先を示しま す。



ダイアログボックスの下のボタンをクリックしても コマを動かすことができます。

空をクリックすると、縫い順を先頭に移動します。

空をクリックすると、縫い順を1つ前に移動します。

<u>
</u>
をクリックすると、縫い順を1つ後に移
動します。

<u>
ゆ</u>
をクリックすると、縫い順を最後に移動
します。

【】 メモ:

部分を組み合わせたコマを移動すると、部分 ごとのコマで表示されます。その色の最初の

1 注意:

- ステッチ分割ツールで切り取った部分の 縫い順は、最後へ送られます。切り取り部 分の糸色の縫い順は、元の刺しゅうデータ の糸色の縫い順と同じになりますが、他の データと同様に編集できます。
- 線や面に縫い方が設定されていない刺しゅうデータのコマは点線で表示され、コマの下の縫い順番号は表示されません。

同じ色のデータを組み合わせる

縫い順/糸色ダイアログボックスを使って、同じ色の刺しゅうデータをまとめます。同じ色の刺しゅう データのコマの横にドラッグします。

↓ **メモ:** 縫い順を変更した後は、刺しゅうデータが重 なっている部分の縫い順が正しいか縫われ方 を確認してください。

色を変更する

 刺しゅうデータの糸色を変更したいコマ をクリックし、 をクリックします。

→ **糸色**ダイアログボックスが表示されます。



- 設定したい色をクリックし、OK をクリックします。
 - → デザインページと縫い順/糸色ダイアログ ボックスに、刺しゅうデータが新しい色で 表示されます。
- **3.** OK をクリックします。
 - →刺しゅうデータが新しい色で表示されます。

メモ:
 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

ズーム

刺しゅうデータをズームイン、ズームアウトして詳細部分や見えない部分を表示します。

ズームインを行う

1. ツールボックスの 🔍 をクリックしま

す。 →5つのボタン € Q 1:1 図 ♪ が表示されます。

- 3. 拡大したい部分をクリックします。

メモ: 特定の部分を拡大するには、目的の場所を囲 むようにドラッグします。

ズームアウトを行う

1. ツールボックスの 🔍 をクリックしま

す。

- → 5 つのボタン Q Q 1:1 Q が表示されます。
- 2. Q をクリックします。
 → カーソルの形が Q に変わります。
- 3. 縮小したい部分をクリックします。

原寸にズームインする

- 1. ツールボックスの 🔍 をクリックしま
 - **す。** →5つのボタン **Q Q 1:1 Q** が表示されます。
- 2. 1:1をクリックします。

→ デザインページがほぼ原寸で表示されます。

特定の刺しゅうデータだけを ズームする

- ズームしたい 1 つまたは複数の刺しゅう データを選択します。
- 2. ツールボックスの えをクリックします。
 →5つのボタン Q Q 1:1 Q O が表示されます。

→ 選択した刺しゅうデータだけが、利用可能 な画面スペースいっぱいに表示されます。

デザインページ全体を表示する

ツールボックスの Q をクリックします。

→5つのボタン Q Q 1:1 Q 図 が表示されます。

縫製イメージをプレビューする

刺しゅうデータを作成中や完成後に、そのデータの縫製イメージや仕上がりイメージをプレビューできます。 実際にどのように縫製されているかを確認できます。

 プレビューを表示するには、メニューバー の表示→プレビューをクリックします。 または、次のツールバーボタンをクリック します。
 ひ ○ ● ● ● ● ● ● プレビュー → 作成した刺しゅうデータの縫製イメージ が表示されます。



✓モ:
 ズームツールで画面の表示倍率を変更できます。ズームインを行う場合はツールボックスの
 を、ズームアウトを行う場合は
 を、ブリックしてから、刺しゅうデータの見たい部分をクリックします。

- 通常表示に戻すには、ステップ 1. を繰り 返すか、 Esc キーを押します。
- リアルプレビューを表示するには、メ ニューバーの表示→リアルプレビューを クリックします。 または、次のツールバーボタンをクリック します。

≪ ■ 壺 🏋 興 融 ■ 瑞 ■ ■ 参 🛃 🗔 リアルプレビュー ——

→ 刺しゅうデータの仕上がりイメージが表示されます。



() メモ:

Q 注意:

- リアルプレビュー画面では、刺しゅうデータの編集はできません。
- モニタの設定が256 色以下の場合、鮮明な 色を表示できません。16 ビットハイカラー (65536 色)以上の設定で使用してください。

 通常表示に戻すには、ステップ 3. を繰り 返すか、 Esc キーを押します。

リアルプレビューの設定を 変更する

リアルプレビュー設定を変更して、刺しゅうデータ を見やすくできます。

- メニューバーの表示→リアルプレビュー の設定をクリックします。
 - →次のリアルプレビューの設定ダイアログ ボックスが表示されます。

リアルプレビューが 表示されているとき リアルプレビューが 表示されていないとき



- 糸の太さスライダで、糸の太さを設定します。
- コントラストスライダで、コントラストを 設定します。

レイアウトセンター

- 4. 明るさスライダで、明るさを設定します。
- リアルプレビューが表示されているとき は、設定をクリックし、新たな設定でリア ルプレビューを表示させます。

リアルプレビューが表示されていないときは、 **OK**をクリックして、次回以降の表示のために その設定を保存します。

ステッチを確認する

ミシンでどのように縫われていくか、縫製の様子をステッチシミュレーターを使って確認できます。

ツールバーボタン: 🛃

1. 🛃 をクリックするか、メニューバーの

表示→ステッチシミュレーターをクリッ クします。

ステッチシミュレーターダイアログボックス が表示され、デザインページの刺しゅうデータ の表示が消えます。

X75792110-9 X ↓ 0 / 3876 ↓ ↓ ↓-/+ ↓ ↓ ● ↓</td

___▶___をクリックして、シミュレーション を開始します。

() メモ:

- シミュレーション中は、
 は一時停
- 止ボタン(リー)に切り替わります。
- シミュレーション中は、マーカー(+) が縫製中の針位置を示します。
- ステッチを見やすく拡大表示にするには、 デザインページをズームインしてからス テッチシミュレーターダイアログボックス を開きます。

□- をクリックすると、前の色の先頭まで 戻ります。

[+ をクリックすると、次の色の先頭まで早

送りします。 針数を指定してシミュレーションを戻すには、 戻したい針数を入力または選択してから、

Eクリックします。

∐ メモ:

変更を取り消してダイアログボックスを閉じ る場合は、**閉じる**または**キャンセル**をクリッ クします。

▶ P.181 の「縫製イメージをプレビューする」

針数を指定してシミュレーションを進めるに は、進めたい針数を入力または選択してから、

をクリックすると、シミュレーションを
 停止し、開始前の状態に戻ります。

メモ: スライダはシミュレーションの進行状況を示 しています。また、スライダをドラッグする と、シミュレーションを進めたり、戻したり することができます。

のスライダをドラッグすると、シミュレーションの表示スピードを調整できます。

↓↓ メモ:

- りの数字は、描画中の針数/全体の針数 を示しています。
- **三** の数字は、描画中の糸色の縫い順 / 全 体の色数を示しています。
- ダイアログボックスの右上隅の × をク リックし、ダイアログボックスを閉じます ます。

メモ: ステッチシミュレーターダイアログボックス を表示する前に、刺しゅうデータを選択する と、選択した刺しゅうデータのみシミュレー ションされます。

刺しゅうデータ情報を確認する

刺しゅう寸法、針数、色数、色の順序などの縫い方情報を、**デザインのプロパティ**ダイアログボックスで確認 します。

 メニューバーのオプション→デザインの プロパティをクリックします。

> → デザインのプロパティダイアログボック スが表示されます。



↓ メモ:

- 刺しゅうデータを構成する個々の刺しゅう データを選択しデザインのプロパティダイ アログボックスを表示すると、選択した刺 しゅうデータのプロパティを確認できます。 刺しゅうデータが選択されていない場合は、 デザインページ全体の情報が確認できます。
- 基本色で表示チェックボックスをチェック すると、ミシンで表示される糸色名に切り 替わります。
- このダイアログボックスは大きさを変えられます。ダイアログボックスの大きさは次に変更するまで保持されます。
- 閉じるをクリックすると、ダイアログボッ クスが閉じます。

デザインページに大型枠(100 × 172 mm、 130 × 300 mm)が選択されている場合

刺しゅうデータが何も選択されていないと、次のようなダイアログボックスが表示されます。

枠の位置1	/ 4 ~	
E		(犬))
幅	100	.00 m.m.
高さ:	100	.00 m.m.
針数:	698	2
色数:	5	
色の順番	⊧ ⊏ a	8本色で表示
色	糸番号	ブランド
1	030	ブラザー
2	900	ブラザー
4	509	ブラザー
5		
100		>

このダイアグボックスが表示されると同時に、デザインページは自動的にページ全体表示に切り替わります。

↓ メモ:

- ダイアログボックスの最上行は、現在表示 されているデザイン(部分デザインシート) の枠の位置番号と、部分デザインシートの 総取り付け位置数を表示しています。
- このとき、デザインページの表示では、ダイアログボックスに表示されている枠の位置番号に対応するデザインのみが表示され、また、対応する刺しゅう枠の取り付け位置の外形は赤線で囲まれて表示されます。
- •前ボタンまたは次ボタンをクリックして、 表示内容を現在表示されている取り付け位 置から対応するデザインに切り替えます。

🚺 注意:

最初の枠の位置番号に対応する部分デザイ ンシート、または、最後の枠の位置番号に対 応する部分デザインシートが表示されてい るときは、前ボタンまたは次ボタンはいずれ も、クリックできません。

① 注意:

デザインページより大きい、またはデザイン ページからはみ出している刺しゅうデータ があるときは、このダイアログボックスの代 わりに、「データのサイズか位置を変更して ください。」というエラーメッセージが表示 されます。エラーの表示後、エラーに該当す る刺しゅうデータが選択状態になりますの で、サイズまたはその位置を調整してください。 (エラーに該当する刺しゅうデータが複 数ある場合は、縫い順が最も早い刺しゅう データが選択状態になります。)

レイアウトセンター

ユーザー糸リストを作成・編集する

ユーザー糸リストの作成、編集を行います。

- メニューバーのオプション→ユーザー糸 リストの編集をクリックします。
 - →次のようなダイアログボックスが表示されます。



ユーザー糸リストとは、よく使う糸やお手持ち の糸を登録するなど独自に作成、編集すること ができるリストです。システム糸リストからの 糸データを組み合わせたり、新規の糸データを 作成することもできます。

新しい糸リストを作成する

- 1. リスト作成をクリックします。
 - → **リスト作成**ダイアログボックスが表示されます。

リスト作成	
ሀスト&	0K キャンセル

 リスト名を入力しOKをクリックすると、 その名前のリストが登録されます。

↓↓ メモ:

登録されたリストは、**ユーザー糸リスト**のリ ストボックスから選択し、内容を編集するこ とができます。

糸リストを削除する

 ユーザー糸リストのリストボックスから 削除したいリストを選択します。

ユーザー糸リスト: Default •

 リスト削除をクリックすると、そのリスト が削除されます。

糸リストを編集する

 ユーザー糸リストのリストボックスから 編集したいリストを選択します。

ューザー糸リストの 編集						
	ユーザ	ー糸り	スト	Custom	-	UZEMA.
		色	糸番号	フランド	治巴治	リスト削除
	*1		001		クロ	Ŀ
	*2		002		50	TA
						糸色作成
						糸色削除
						糸色編集
	システ	ム糸リ	スト	 ブラザー刺し	↓う糸 <u>・</u>]
		色	糸番号	ブランド	糸色名 🔨	J I
	1		900	ブラザー	20	
	2		001	フラザー	5/D 2.5	
	4		085	ブラザー	ピンク	
	5		086	ブラザー	コイビンク	
	6		124	ブラザー	モモイロ 🔍	
	<	_	107		747.74	
			01		キャンセ	JV



システム糸リストから糸色を追加する

- システム糸リストのリストボックスから 追加したい糸のブランドを選択し、クリッ クします。
- ダイアログボックスの下のリストから追加したい糸色をクリックします。

() メモ:
複数の色を選択するときは、Shift キーまた
は Ctrl キーを押しながら糸色をクリック
します。



→ 選択した糸色がユーザー糸リストに追加 されます。





新しい糸色を追加する

1. 糸色作成をクリックします。

→ 糸色の編集ダイアログボックスが表示されます。

糸色の編集		
糸色の情報		
色:	色の作成	キャンセル
治番号:		
ブランド:		
糸色名:		

色を登録します。色の作成をクリックします。

→次のようなダイアログボックスが表示されます。



- 設定したい色を選択し、OKをクリックします。 糸色の編集ダイアログボックスの色にその色が表示されます。
- 必要に応じて、糸番号、ブランド、糸色名のボックスに、数字や文字を入力します。

糸色の編集		
糸色の情報ー		
色:	色の作成	キャンセル
糸番号:	0517	
ブランド:		
糸色名:	Green	

メモ: 糸番号は、数字のみ入力できます。

5. OK をクリックすると、新しい糸色がユー ザー糸リストに追加されます。

ーザーネ	8U.7.1-	の編集			
ユーザ	ー糸リ	スト:	Custom	•	リスト作成
	色	糸番号	ブランド	糸色名	リスト削除
*1		001		20	±^
*2		107	ブラザー	シロー・ション	TA
4		869	ブラザー	コイアカムラサ	公布社会
*6		0517		Groop	Lastinat ERMan
~0		0017		Green	<u>一</u> 帝巴則隊
					糸色編集
システム糸リスト: ブラザー刺しゅう糸 🔹					
	色	糸番号	ブランド	糸色名 🔨	
7		107	ブラザー	マゼンダ 👝	
8		030	ブラザー	ジュイロ	
10		869	ブラザー	コイアカムラサ	
11		620	ブラザー	アカムラサキ	
12		079	ブラザー	サーモンピンク	
<				>	
		ОК	.	キャンセル	v

メモ: 新しく追加された糸色は、行の左端に(*) マークが付きます。 レイアウトセンタ

機能詳細

糸色を削除する

ユーザー糸リストに登録されている糸色を削除する 場合は、ユーザー糸リストの糸色一覧の削除したい 糸色をクリックし、糸色削除をクリックします。

糸色を編集する

ユーザー糸リストに登録されている糸色は、色や糸 番号等を変更することができます。

 ユーザー糸リストの糸色一覧の編集した い糸色をクリックし、糸色編集をクリック します。

± 2	ー糸リスト	の編集			
ב-	-ザー糸り	スト	Custom	•	リスト作成
	色	糸番号	ブランド	糸色名	リスト削除
	*1	001		20	
- 1	*2	002		シロー・・・・・	TA
	4	869	ブラザー	コイアカムラサ	
	86	0517		Green	X A 2020
		0011		Green	
				•	
22	イナムポリ	7L:	フフサ ー 刺しら	▶○帝 _	
			-		
	E	糸番号	ブランド	糸色名 🔥	
	7 0	糸番号 107 020	ブランド ブラザー ゴーザ:	糸色名	
	7 8 9	糸番号 107 030 807	ブランド ブラザー ブラザー	糸色名 ※色名 マゼンダ ジュイロ パーイロ	
	7 8 9 10	糸番号 107 030 807 869	ブランド ブラザー ブラザー ブラザー ブラザー	糸色名 へ マゼンダ シュイロ ベニイロ コイアカムラサ.	
	7 8 9 10 11	 糸番号 107 030 807 869 620 079 	ブランド ブラザー ブラザー ブラザー ブラザー ブラザー ブラザー	糸色名 マゼンダ シュイロ ベニイロ コイアカムラサ・ アカムラサキ サーニンピンク	
	7 8 9 10 11 12 13	糸番号 107 030 807 869 620 079 333	ブランド ブラザー ブラザー ブラザー ブラザー ブラザー ブラザー	糸色名 ▲ マゼンダ ● シュイロ □ コイアカムラサ. アカムラサキ サーモンピング ▼	
<	7 8 9 10 11 12 13	糸番号 107 030 807 869 620 079 333	ブランド ブラザー ブラザー ブラザー ブラザー ブラザー ブラザー	糸色名 マゼンダ シュイロ マニイロ コイアカムラサ・ アカムラサキ サーモンピンク ペニカバイロ >	

→次のようなダイアログボックスが表示されます。

糸色の編集			
一糸色の情報一			
色:		色の作成	キャンセル
糸番号:	0517		
ブランド:			
糸色名:	Green		

 新しい糸色の追加と同様に、糸色の情報を 編集します。

]] メモ:

編集された糸色は、新しく追加された糸色と 同様に、行の左端に(*)マークが付きます。

糸色の順序を変更する

ユーザー糸リストの糸色一覧の順序を変更したい糸 色をクリックし、**上へ**または下へをクリックします。

1. 注意:
本プログラムで作成した刺しゅうデータを
ミシン上で扱う場合、ミシン上での糸色に関
する表示は、ミシンにより異なります。
1. 糸色を表示する機能がないミシン
設定された糸色の情報は、一切ミシンには表
示されません。
<u>2. 糸色を表示する機能があるミシン</u>
各刺しゅうデータに設定された糸色の情報
のうち、糸色のみがミシン上に表示されま
す。たたし、表示される糸色名はミシンか内
別しゆうテーダに設定されに希巴に一番近
い木色をミンノに内蔵している木色石から 選択し、ミシンに表示されます
3 データ糸色優先機能があるミシン
ミシンの中には 木プログラムで設定された
糸色の情報を表示できる機種があります そ
のミシンでは、刺しゅうデータに設定された
糸情報のうち、糸色、糸色名、ブランド名、
糸番号などが表示されます。
ただし、編集もしくは追加した糸色(行の左
端に*マークがついている糸色)は、糸番号
のみが表示されます。

刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで見る

リファレンスウィンドウには、常にデザインページ全体、もしくは刺しゅうデータ全体が表示されます。デザ インページをズームイン表示すると、現在表示されている部分が赤い枠(表示領域枠)で表示され、全体のど の部分を作業しているかを確認できます。リファレンスウィンドウの表示/非表示は、メニューバーの表示→リ ファレンスウィンドウ、またはツールバーの
□ で切り替えます。

表示方法を切り替える

リファレンスウィンドウは、デザインページ全体を 表示するか、刺しゅうデータ全体を表示領域サイズ 合わせて表示するか、切り替えることができます。

1. 🔣 をクリックします。

→ リファレンスウィンドウの表示方法が切 り替わります。



デザインページ 全体を表示





刺しゅうデータ 全体を表示

表示領域枠を移動する

表示領域枠を移動して、デザインページに表示する 部分を、リファレンスウィンドウで指定できます。

- カーソルを表示領域枠の上に移動します。
 → カーソルの形が ♀ に変わります。
- 表示領域枠をドラックして、デザインページで表示したい部分を囲む位置に移動します。

→表示領域枠で囲まれたデータ部分がデザ インページに表示されます。

表示領域枠を書き直す

枠を書き直してデザインページに表示する部分を、 リファレンスウィンドウで指定できます。

- リファレンスウィンドウの表示したい部 分をクリックまたはドラッグします。
 - → クリックした位置を中心とした表示領域枠に書き直され、表示領域枠で囲まれたデータ部分がデザインページに表示されます。特定の部分を表示するには、目的の場所を囲むようにドラッグします。

表示領域枠を拡大・縮小する

- 1. カーソルを表示領域枠の角に移動します。
 - →接している角によって、カーソルの形が 、または / に変わります。

↓ メモ:
 ▲ と
 で、高さと幅を拡大・縮小します。

 角をドラッグし、表示領域枠のサイズを調 節します。

保存する

上書き保存する

刺しゅうデータや画像は1度保存すれば、次回から のデータの更新時は簡単に上書き保存できます。

ツールバーボタン: 🔚

1. 🔚 をクリックするか、メニューバーの

ファイル→上書き保存をクリックします。

- → 作業中の刺しゅうデータや画像を以前に1 度以上保存したことがある場合は、ファイ ルは直ちに上書き保存されます。
- → ファイル名が無題のときや、ディスク上に ファイルが見つからないときは、名前を付 けて保存ダイアログボックスが表示され ます。

新しい名前を付けて保存する

現在のファイルを別のファイル名で保存すると、元の ファイルに変更を加えず、新規にデータを保存できま す。ファイルは.pesファイルで保存されます。

 メニューバーのファイル→名前を付けて 保存をクリックします。

> →次のような名前を付けて保存ダイアログ ボックスが表示されます。

名前を付けて保存			? 🛛
保存する場所①:	🔁 Data		* 💷 *
ClipArt	🙀 Birthday2S.pes	🙀 Birthday5S.pes	🚮 Birthday
C Photo	🍓 Birthday3Lpes	橘 Birthday6Lpes	🙀 Birthdays
Angelpes 🖓	🙀 Birthday3S.pes	🚮 Birthday6S.pes	🚮 Birthday 🤅
🙀 Birthday1 L.pes	🙀 Birthday4Lpes	橘 Birthday7Lpes	橘 Birthday1
🙀 Birthday1 S.pes	🍓 Birthday4S.pes	🍓 Birthday7S.pes	🍓 Birthday 1
🙀 Birthday2Lpes	🎼 Birthday5Lpes	🍓 Birthday8Lpes	🍓 Birthday1
<			>
ファイル名(N):	無題pes		保存(S)
ファイルの種類(①)	レイアウトセンター Ver.6.0 フォ	▶イル(*.PES) 👤	キャンセル

 ドライブとフォルダを選択し、ファイル名 を入力します。

1 注意:

レイアウトセンター

保存・印刷する

- ファイルの種類で旧バージョンを選択す ると、保存された.pes ファイルを旧バー ジョンのソフトウェアで開くことができ ます。ただし保存されたデータはすべてス テッチデータに変換されます。
- 3. 保存をクリックして、保存します。

___ メモ:

- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
 名前を付けて保存ダイアログボックスで入
- わした名前のファイルがすでに存在する場合は、次のメッセージが表示されます。



- リックします。別のファイル名で入力 できます。
- → レイアウトセンターのタイトルバーに新しいファイル名が表示されます。

刺しゅうデータを別の形式で 出力する

デザインページに表示されているデータを、別の ファイル形式 (.dst、.hus、.exp、.pcs) に変換して 出力します。

メニューバーのファイル→データ書き出しをクリックします。

→次のようなダイアログボックスが表示されます。

データ書き出し			? 🛛
保存する場所(1):	🗀 Data	- + E	* 💷 •
ClipArt Photo			
ファイル名(凹):	無題DST		保存(5)
ファイルの種類①	タジマファイル(*.DST)	•	キャンセル
糸切り用のジャン	ブ数: 8 🛨		

- ドライブとフォルダを選択し、ファイル名 を入力します。
- ファイルの種類で出力したい形式 (.dst、 .hus、.exp、.pcs)を選択します。

【]] メモ:

DST 形式では、糸色の変更に必要な糸切りを 指示するためにジャンプコードが使用されて います。ジャンプ回数はご使用のミシンに よって異なりますが、糸切り用のジャンプ数 セレクタに回数を入力、または選択できます。 (この設定は DST 形式が選ばれている場合の み有効です。)

💽 注意:

 別売の刺しゅうカードから読み込んだス テッチデータには、出力できないものがあ りますのでご注意ください。

オリジナルカードへ 刺しゅうデータを書き込む

刺しゅうデータをオリジナルカードに保存して、ミ シンに転送します。



ツールバーボタン : ᄓ

オリジナルカードをカードライターに挿入します。



2. 🍡 をクリックするか、メニューバーの

ファイル→カード書き込み→デザイン ページのデータをクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。



🚺 注意:

- すでにオリジナルカードに刺しゅうデー タが書き込まれている場合は、その刺しゅ うデータが消去されてもよいか確認して ください。
- オリジナルカードが挿入されていない場合は、次のメッセージが表示されます。



- オリジナルカードを挿入し、再試行を クリックします。
- 操作を中止してメッセージを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- デザインページからはみ出た刺しゅう データや、針数や色数がデザインページの 制限を越えた刺しゅうデータがある場合 は、刺しゅうデータはオリジナルカードに 保存できません。

() メモ:

操作を中止してメッセージを閉じる場合は、 **キャンセル**をクリックします。

- OK をクリックします。
 - → データがオリジナルカードに転送されている間、書き込み中メッセージが表示され、その後次のメッセージが表示されます。



OK をクリックして、メッセージを閉じます。

P.188 の「上書き保存する」、P.188 の「新し い名前を付けて保存する」

オリジナルカードへ複数の 刺しゅうデータを書き込む

複数の.pesファイルを一度にオリジナルカードに書 き込みます。

」」メモ:

.pes ファイルと同様に .pen ファイル (個別の ミシンに対応した不正コピー防止機能付きの 刺しゅうファイル) もオリジナルカードに書 き込むことができます。ただし、プレビュー 機能は使用できません。また、刺しゅうデー タの情報で針数が表示されない場合がありま す。.pen ファイルはインターネットの刺しゅ うデータダウンロードサイト「ハートステッ チズ」 (http://www.heartstitches.com) から入 手することができます。

オリジナルカードをカードライターに挿入します。

1 注意:

- オリジナルカードを正しく挿入すると、カ チッという音がします。
- ミシンからオリジナルカードを抜き差し するときは、必ずミシンの電源を切ってか ら行ってください。カードライターからオ リジナルカードを抜き差しするときは、パ ソコンの電源を切る必要はありません。
- メニューバーのファイル→カード書き込 み→複数PES/PENファイルをクリックし ます。

→次のようなカード書き込みダイアログ ボックスが表示されます。



選択された刺しゅうデータ

// メモ:

・刺しゅう枠セレクタで指定されている刺しゅう枠のサイズよりも、サイズや針数の大きい刺しゅうデータには、赤色の

📐 が付きます。

- 大型枠用の刺しゅうデータには、左上に
 マークが付きます。
- 刺しゅう枠セレクタから刺しゅう枠のサ イズを選択します。

🔲 100 X 100 mm 💽

↓↓ メモ:

- ご使用のミシンで使える刺しゅう枠より大きいサイズを選択しないでください。枠サイズより大きいサイズで作成したカードは、ミシンで正しく動作しません。
- カードに書き込むファイルの刺しゅう枠サ イズと同じかそれより大きい数値を選択し ます。数値がそれより小さいと、カードに 書き込めず「×」が表示されます。
- 4. 🚔 をクリックして、刺しゅうデータ

(.pes ファイル)が保存されているフォル
 ダを選択します。候補データリストに刺しゅうデータのアイコンが表示されます。

↓↓ メモ: フォルダでカードを選択すると、カードライ ターに挿入されているオリジナルカードの データを見ることができます。

レイアウトセンター

- オリジナルカードに書き込みたい刺しゅ うデータを、候補データリストから選択し クリックします。
 - ∐ メモ:
 - 選択を解除する場合は、そのデータを再ク リックします。
 - _____ をクリックすると、候補データリス

トまたは書き込みデータリストに表示する 刺しゅうデータのアイコンサイズの大 / 小 を切り替えることができます。

• 全 をクリックすると、候補データリ

ストまたは書き込みデータリストの中で選 択されている刺しゅうデータの情報(刺 しゅうサイズ、針数、色)を表示します。 (1つの刺しゅうデータが選択されていると きのみ有効です。)

• 110 をクリックすると、候補データリス

トまたは書き込みデータリストの中で選択 されている刺しゅうデータをリアルプレ ビュー表示します。(1つの刺しゅうデータ が選択されているときのみ有効です。)

- 6. ◆ をクリックして、候補データリスト で選択した刺しゅうデータを書き込み

データリストに追加します。





 オリジナルカードに書き込みたい刺しゅ うデータがすべて選択されるまで操作を 繰り返します。

___ メモ:

この操作をしながら、カード容量インジケー タで刺しゅうデータの容量とオリジナルカー ドの空き容量を確認できます。 候補データリストで選択された刺しゅうデー タによって使用される容量は空色で表示され ます。選択済みの刺しゅうデータによって使 用される容量は青色で表示されます。

100%	
100%	
100%	

 オリジナルカードに書き込む刺しゅう データを書き込みデータリストに表示で きたら、たうをクリックして、データの書 き込みを始めます。

> → データの書き込みは、オリジナルカードの 中のデータをすべて消去してから、リスト 順に行われます。
> 書き込みが完了したら、そのカードをミシ ンで扱うことができます。

1 注意:

- オリジナルカードへ書き込みが行われる 前に、それまで書き込まれていたデータは すべて消去されます。各カードの内容は、 後から回復ができるように、ソフトウェア 内の Card フォルダに保存しておくことを お勧めします。
- オリジナルカードの内容を確認するには、

をクリックして参照ダイアログボッ

クスを開き、一番上に現れるしをクリック します。挿入されたカードに保存されてい る刺しゅうデータが、候補データリストに 表示されます。

- オリジナルカードにデータを書き込んでいる最中(LED表示が点滅中)は、オリジナルカードや USB コネクタを抜かないでください。
- 9. ダイアログボックスを閉じるときは、右上

の 🔀 をクリックします。



.pes ファイルで保存された刺しゅうデータについて の説明や情報を入力します。

 メニューバーのファイル→ファイルプロ パティをクリックします。

> → **ファイルプロパティ**ダイアログボックス が表示されます。

ファイルブロパティ	
ファイル名: ファイルバージョン: 幅: 高さ: 針数: 色数: 最終更新日:	Sample2.pes 6.0 87.20 mm 89.70 mm 10625 8 2004/10/12
デザイン名:	
分類	
作者:	
キーワード:	
אלאב	
ОК	キャンセル

針数は、ファイル内の刺しゅうデータの総針 数です。

- 2. 情報を入力、または、変更します。
- OKをクリックして入力した情報を保存します。

ノノメモ:

- 入力したデータは、次に保存するときに ファイルに保存されます。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- ファイルは入力した情報に基づいてデザインデータベースで検索できます。

印刷する

印刷の設定を変更する

印刷をする前に、印刷したい刺しゅうデータファイ ルの印刷設定を変更する必要がある場合がありま す。

- ファイル→印刷の設定をクリックします。
 - →次のような印刷の設定ダイアログボック スが表示されます。



- 2. **用紙と印刷の向き**を選択します。
- 印刷サイズ、印刷オプション、印刷イメージで印刷の詳細を選択します。
 - ・ 印刷サイズ

原寸:刺しゅうデータのイメージを1ページ目に実寸で印刷します。2ページ目に縫い 情報(刺しゅう寸法、刺しゅう色順、針数) が印刷されます。ファイル名は両方のページ に印刷されます。 刺しゅうデータのサイズが紙の寸法よりも 大きい場合は、用紙からはみ出して印刷され ます。ただし、印刷オプションの用紙より大 さいデザインを2ページに分割印刷するを選 択している場合は分割印刷されます。 縮小:刺しゅうデータの縮小イメージとファ イル名、縫い情報(刺しゅう寸法、刺しゅう 色順、針数)が、1ページに印刷されます。

• 印刷オプション 縫製範囲と中心線を印刷する:選択すると、 刺しゅうデータの最大外形(P.177の「縫製 範囲を設定する」参照)とその中心軸を黒色 で印刷します。(この設定は、原寸印刷が選 択されているときにのみ使用できます。) **グリッドを印刷する:**選択すると、刺しゅう 枠に添付の刺しゅうシートに印刷されてい るグリッドと同様のグリッド線を緑色で印 刷します。

用紙より大きいデザインを2ページに分割印 刷する:選択すると、紙の寸法よりも大きい 刺しゅうデータは、A4またはレターサイズの 紙に半分ずつ印刷されます。(この設定は、印 刷サイズの原寸が選択され、デザインページ が大型枠サイズ [枠サイズが 200 × 300 mm] に設定されている場合のみ使えます。)分割 印刷機能では、【/↓ か 【) / 】が紙の右下 に印刷されて刺しゅうデータの半分である ことを示します。

• 印刷イメージ

ノーマル:刺しゅうデータがプレビュー画面 のイメージで印刷されます。 リアル:刺しゅうデータがリアルプレビュー 画面のイメージで印刷されます。リアルの設 定の詳細を変更するには、設定をクリックし ます。詳しくは、P.181の「リアルプレビュー の設定を変更する」を参照してください。

4. OK をクリックします。

[__] メモ:

- 印刷の設定を変更するにはプロパティをクリックします。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。

▶ P.181 の「縫製イメージをプレビューする」

縫製イメージを確認する

印刷前に印刷イメージを確認できます。

- メニューバーのファイル→印刷プレ ビューをクリックします。
 - → 印刷の設定ダイアログボックスで原寸印 刷が選択されていると、レイアウトセン ターの画面は次のように表示されます。



メモ:

- 拡大または縮小をクリックすると、イメージが拡大または縮小されます。拡大をクリックするか、拡大したい部分をクリックすると、イメージが拡大されます。イメージを縮小するには、縮小をクリックします。
- 次ページをクリックすると、次ページが表示されます。
- 前ページをクリックすると、前のページが 表示されます。
- 2ページをクリックすると、2ページが同時 に表示されます。(2ページボタンが1ペー ジボタンに替わります。)
- 1ページボタンをクリックすると1ページで 表示されます。
- 印刷をクリックすると、印刷ダイアログ ボックスを開き、印刷できます。
- ・画像を詳しく見る場合は、一度に1ページ だけ表示すると拡大ができます。
 刺しゅうデータ内の個々の刺しゅうデータの縫い情報を確認するにはメニューコマン ドのオプション→デザインプロパティを選 択します。
- P.192 の「印刷の設定を変更する」、「印刷する」、P.183 の「刺しゅうデータ情報を確認する」

繊続群省 アウトセンター

7

印刷する

作業中のデザインページと情報を印刷します。

- メニューバーのファイル→印刷をクリックします。
 - →次のような印刷ダイアログボックスが表示されます。

印刷	? 🔀
- プリンター プリンタ名(M): Brother HJ-100 状態: 準備完了 種類: Brother HJ-100 場所: LPT1: コメント:	▼ <u>フロパティ(₽)</u> 下 ファイルへ出力(Q)
ED刷範囲 (で すべて(<u>A</u>)	印刷部数
ページ指定(0) 「 ページ指定(0) 「 ページまで(0) で ぼれした部分(5)	
	OK ++>21

- 2. 必要に応じて、設定を選択します。
- 3. OK をクリックして、印刷します。
 - ・印刷設定を変更するには、プロパティをクリックします。
 - 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- プリンタの指示に従って、印刷を終了します。
 - → 印刷サイズの設定によって、1つの刺しゅうデータまたは、1つの部分刺しゅうデータの内容が1ページまたは2ページに印刷されます。

ソフトウェアの設定を変更する

レイアウトセンター

各設定を変更する

グリッド設定を変更する

グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。グリッド の表示のしかたや間隔を指定できます。

- メニューバーの表示→グリッドをクリッ クします。
 - → グリッドの設定ダイアログボックスが表示されます。

グリッドの設定
 ビ グリッドを表示 ビ 枠で表示 ビ グリッドに固定
グリッドの間隔: 2.5 🕂 mm
OK キャンセル

- グリッドを表示チェックボックスを チェックして、グリッドを表示します。 グリッドを非表示するには、チェックを外 します。
- 同じ大きさの刺しゅうデータを作成した り、等間隔に刺しゅうデータを並べたいと きは、グリッドに固定チェックボックスを チェックします。

🏹 メモ:

カーソルは**グリッドの間隔**で設定された数値 で移動します。 固定機能はグリッドの表示 / 非表示に関わら ず有効です。

- グリッドの間隔を設定します。グリッドの 間隔に数値(設定範囲は 0.1 ~ 25.4 mm) を入力するか、スピンボタンで値を変更し ます。
- 表示のしかたを選択します。枠で表示 チェックボックスをチェックすると、縦線 と横線で表示されます。チェックを外す と、グリッドの交点のみが表示されます。

💽 注意:

グリッドを表示チェックボックスがチェッ クされており、**枠で表示**チェックボックスが チェックが外れている場合は、グリッドの交 差点のみが表示されます。

 OK をクリックし、変更を確定してダイア ログボックスを閉じます。

|__| メモ:

変更を取り消してダイアログボックスを閉じ る場合は、**キャンセル**をクリックします。

▶ 本ページの「長さの単位を変更する」

長さの単位を変更する

アプリケーションで使う長さの単位を、mm または インチから選択できます。

- メニューバーのオプション→単位の設定 をクリックして、単位(mm またはイン チ)を選択します。

レイアウトセンター 大型刺しゅう枠をお使いの方へ

大型刺しゅう枠用のデータを作成する

ミシンに付属の大型枠(ミシンへの取り付け部が、3ヶ所あるもの、枠サイズ:130 × 300 mm、100 × 172 mm)に対応した刺しゅうデータを作成します。



大型枠の例:100 × 172 mm サイズの刺しゅう枠

これらの枠を使用するときは、1つの刺しゅうデータのサイズが130×180 mm(もしくは刺しゅうミシンの 縫製サイズにより100×100 mm)で、刺しゅう枠の取り付け位置(上図のa、b、c)を替えたときに位置が 合うように、あらかじめ取り付け位置を考慮して刺しゅうデータが配置されている必要があります。

刺しゅうデータの作成の際、各刺しゅうデータはミシンの縫製範囲内に収まっていなくてはなりません。

2. デザインページサイズセレクタで、100 × デザインページのサイズを 172 mm または 130 × 300 mm を選択しま 設定する す。 必要に応じて、向き(縦/横)を選択します。 **1.** メニューバーのオプション→デザイン ページの設定をクリックします。 メモ: → **デザインページの設定**ダイアログボック •大型枠用設定は、数字の前に*の表示が付 スが表示されます。 いています。 •ご使用のミシンで使用可能な刺しゅう枠を デザインページの設定 確認してから設定を行ってください。 デザインページサイズ 100 x 100 mm • . © # 🚺 注意: デザインセンターの**デザインページの設定** d FT ダイアログボックスでは、大型刺しゅう枠は 色 デザインページ: • 設定できません。 봡뢺 • OK 標準 キャンセル



 画面上のデザインページは次のように示 されます。



二 メモ:

 領域a:上位の取り付け位置で刺しゅう枠を 取り付けたときの縫製領域
 領域b:中央の取り付け位置で刺しゅう枠を 取り付けたときの縫製領域
 領域c:下位の取り付け位置で刺しゅう枠を 取り付けたときの縫製領域
 各領域は点線で区分されています。

次の条件に適合するように刺しゅうデー タを作成します。

 1 つの刺しゅうデータの大きさが、100 × 100 mm (または 130 × 180 mm) 以内であ ること (デザインセンターから模様を取り込む場

合、それらのサイズより大きなサイズは指示 できません。)



- それぞれの刺しゅうデータが、各領域(a、 b、cのいずれか)に完全に含まれていること
 1:領域aに完全に収まっているので問題あり ません。
 - 2:領域bまたはcに完全に収まっているので 問題ありません。
 - 3:大きさは問題ありませんが、どの領域にも 完全に収まっていないので、修正が必要で す。
 - 4:サイズが大きすぎるので修正が必要です。

注意: 条件を満たしていない刺しゅうデータは、次のステップの縫い順の設定に進むときに警告が表示されます。

枠を最適化する

枠の最適化機能をオンにしておくと、刺しゅう枠を 頻繁に付け替えてもよくなり、縫いズレ、縫い弛み 等が起きにくくなります。

 メニューバーの縫い方→枠の最適化をク リックします。





 枠の最適化をオンにすると、設定した縫い 順を、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替 え回数が最も少なくなるように縫い順 / 枠 の位置順を最適化したデータを作成しま す。

P.197 の例では、縫い順は次のようになり ます。a (刺しゅうデータ 1) → b (刺しゅ うデータ 2) → a (刺しゅうデータ 3、5) → c (刺しゅうデータ 4、6)

枠の最適化をオフにすると、設定した縫い 順通りに、各刺しゅうデータを縫います。 最適化されていませんので、刺しゅう枠の 取り付け位置の付け替え回数は、刺しゅう データによってはオンの場合より多くなる ときがあります。

P.197 の例では、縫い順は次のようになり ます。a (刺しゅうデータ 1) → b (刺しゅ うデータ 2) → a (刺しゅうデータ 3) → c (刺しゅうデータ 4) → a (刺しゅうデータ 5) → c (刺しゅうデータ 6)

💽 注意:

刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数 が多くなると、縫いズレ、縫い弛み等が起き やすくなりますので、枠の最適化を有効にし て刺しゅうデータを作成することお勧めし ます。ただし、枠の最適化を行うと設定した 縫い順と異なりますので、縫製する前に縫い 順をご確認ください。

刺しゅうデータをチェック する

1 注意:

オプション→デザインのプロパティを選択 する前に、刺しゅうデータが選択されていな いことを確認してください。選択されている と、その刺しゅうデータの情報のみが表示さ れます。

 メニューバーのオプション→デザインの プロパティをクリックします。 → デザインのプロパティダイアログボック スが表示され、デザインページの表示が自 動的にページ全体表示に切り替わります。



) メモ:

- ダイアログボックスの最上行は、現在表示 されている部分デザインシートの枠の位置 番号と、部分デザインシートの総取り付け 位置数を表示しています。
- このとき、デザインページの表示では、ダイアログボックスに表示されている枠の位置番号に対応する刺しゅうデータのみが表示され、また、対応する刺しゅう枠の取り付け位置の外形は赤い線で囲まれて表示されます。
- 前または次をクリックして、表示内容を現 在表示されている取り付け位置に対応する デザインから、前後の取り付け位置に対応 するデザインに切り替えます。このとき、 対応する刺しゅうデータと刺しゅう枠位置 がデザインページに表示されます。

1 注意:

どの部分デザインシートにも入らない刺しゅうデータがあるとき(部分デザインシートのサイズより大きい場合、どの部分デザインシートにも内包されていない位置にある場合)には、このダイアログボックスの代わりに、「データのサイズか位置を変更してください。」というエラーメッセージが表示されます。エラーの表示後、エラーに該当する刺しゅうデータが選択状態になりますので、サイズまたはその位置を調整してください。(エラーに該当する刺しゅうデータが複数ある場合は、縫い順が最も早い刺しゅうデータが選択状態になります。)

大型刺しゅう枠をお使いの方へ

レイアウトセンター

 メニューバーの表示→プレビューをクリッ クするか、ツールバーの 一 をクリックし て、プレビューイメージを確認します。

刺しゅうデータを保存する

メニューバーのファイル→上書き保存または名前を付けて保存をクリックして、刺しゅうデータを保存します。

→ すべての刺しゅうデータが、1 個のファイ ル (.pes ファイル) に保存されます。

|__| メモ:

ファイルのサイズ、色替え回数が指定数より 大きい場合、または、個々の刺しゅうデータ の中にどの部分デザインシートにも入らない ものがある場合は、「全てのデータをデザイン ページの枠内に入れてください。このまま保 存されたデータはカードに書き込めません。 それでも保存しますか?」という警告メッ セージが表示されますので、変更するか、保 存するか対応してください。



刺しゅうデータをオリジナル カードへ書き込む

 デザインページに刺しゅうデータが表示 されているときは、メニューバーのファイ ル→カード書き込み→デザインページの

データか、ツールバーの 🍡 をクリック

して、刺しゅうデータをオリジナルカード に書き込みます。

大型枠用刺しゅうデータは、1つの刺しゅう枠の取り付け位置に対応する刺しゅうデータを1つの刺しゅうデータとし、それを複数組み合わせて縫製するように構成されています。

書き込みは、1回の書き込み作業で、1つの大 型枠用の刺しゅうデータのすべてを(複数の刺 しゅうデータとして)書き込みます。



上の刺しゅうデータをオリジナルカードに書 き込んだ場合、ミシン上で刺しゅうデータを確 認すると、次のようになります。



- :刺しゅう枠の上位の取り付け位置(位置 a) で縫う刺しゅうデータ
- :刺しゅう枠の中央の取り付け位置(位置b) で縫う刺しゅうデータ
- :刺しゅう枠の下位の取り付け位置(位置 c) で縫う刺しゅうデータ

したがって、上記の例では、刺しゅうデータの 枠位置の縫い順は $\mathbf{b} \rightarrow \mathbf{a} \rightarrow \mathbf{c}$ の順になります。

刺しゅうデータをパソコンに保存した後は、メニューバーのファイル→カード書き込み→複数PES/PENファイルをクリックして、刺しゅうデータをオリジナルカードに書き込みます。

デザインページのデータ同様、刺しゅうデータ はすべて一度にオリジナルカードに書き込ま れます。

さらに、オリジナルカードの容量に余裕がある 場合は、他の刺しゅうデータを同時に書き込む こともできます。

大型刺しゅう枠を使用する際の注意点:

- 実際の布地に縫製する前に、同じ布地で試し 縫いを行ってください。また、針と糸も実際 に使うものと同じものを使用してください。
- 必ず布地の裏に接着芯を貼り、刺しゅう枠にしっかりと張ってください。特に、薄い生地や伸縮地の場合は、接着芯を2枚重ねて使用してください。接着芯がないと、布が縮み、輪郭線のズレ、布じわが起き、きれいな仕上がりになりません。
- 輪郭線は、サテン縫いを設定してください。
 走り縫い設定よりも縫いずれを防ぐことができます。



 刺しゅう枠を異なった枠位置で取り付ける 必要のある刺しゅうデータでは、刺しゅう データの各部(継ぎ目)を重ねてデザインす ると、縫いずれを防ぐことができます。



大型枠デザインの印刷 について

デザインページが大型枠用に選択されていると、1 ページ目にデザインページの全体画像が、2ページ目 以降に刺しゅうデータの各部分データの縫い情報(刺 しゅう寸法、縫い順、針数、枠位置)が印刷されるた め総ページ数は刺しゅうデータによって異なります。

- 130 × 300 mmのデザインページが選択されている場合、130 × 180 mmを1つの部分データとして複数枚に分けて印刷します。
- 100 × 172 mmのデザインページが選択されている場合、100 × 100 mm を 1 つの部分データとして複数枚に分けて印刷します。

デザインページの印刷は以下の通り行われます。

原寸印刷が選択されている場合

1 ページ目にデザインページ全体を原寸大で印刷します。(ただし、130 × 300 mm が選択されている場合はデザインページの全体の縮小印刷となります。) その後、最初の枠取り付け位置から順に、各部分データの縫製イメージが印刷され、その刺しゅうデータの縫い情報が次のページに印刷されます。

縮小印刷が選択されている場合

1 ページ目にデザインページ全体を原寸大で印刷します。(ただし、130 × 300 mm が選択されている場合はデザインページの全体の縮小印刷となります。) その後、最初の枠取り付け位置から順に、各部分データの縫製イメージと縫い情報が同じページに印刷されます。

|_|| メモ: メニューバーの**ファイル→印刷プレビュー**の

各部分データのプレビュー表示も、上記のようになります。

ステッチクリエイター

ステッチクリエイターで、デザインセンターやレイアウトセンターでプログラムタタミ縫いやモチーフ縫いに 使用するプログラムタタミ / スタンプパターンやモチーフパターンを、独自にデザインすることができます。 プログラムタタミ縫いやモチーフ縫いを設定すると、プログラムタタミ / スタンプパターンやモチーフパター ンがタイル状に面全体に並べられ、装飾的な刺しゅうデータができます。さらに、面部分にプログラムタタミ / スタンプパターンを個別のスタンプとして設定することもできます。ステッチクリエイターで、本アプリケー ション付属の多数のパターンを編集して、オリジナルのプログラムタタミ縫い、スタンプ、モチーフ縫いを作 ることができます。

直直

1	🥦 無罰 - ステッチクリエイター	
2	-ファイル(E) モード(M) 編集(E) 表示(D) ヘルブ(H)	9
3	0 品 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4	
4		(8)
	2/La	× ⑦
		6
5		NUM /

- ① タイトルバー
- ② メニューバー各機能を実行します。
- ③ ツールバー
 各メニュー機能へのショートカットです。
- ④ ツールボックス
 各機能のツールを選択します。
 (下の4つのボタンはモチーフモードでは表示されません。)
- ⑤ ステータスバー

簡単な情報を表示します。

- ⑦ プレビュー画面
 パターンがいくつか並べられてプレビュー表示
 されます。どのような縫い目になるか確認できます。
- ⑦ 作業領域
- ⑧ 最小化ボタン
- ⑩ 閉じるボタン

ファイルを開く

新規パターンを作成する

空白の作業領域を開いて、新しいパターンをデザイ ンできます。

ツールバーボタン: 🗋

1. 🗋 をクリックするか、メニューバーの

ファイル→新規作成をクリックします。

- → 作業領域が保存済みまたは作業中のデー タがない場合は、直ちに空白の新規作業領 域が表示されます。
- → 現在の作業領域が保存されていない場合は、 変更を保存するかどうかを尋ねてきます。

ステッチクリエイター	×
. 無題 への変更を保存しますか?	

【___ メモ:

- 作業領域を保存する場合は、はいをクリックします。
- 作業領域を破棄する場合は、いいえをク リックします。
- 作業領域に戻って、変更したり、別の名前 を付けて保存する場合は、キャンセルをク リックします。

▶ 本ページの「パターンファイルを開く」、P.214 の「上書き保存する」、P.214の「新しい名前 を付けて保存する」

パターンファイルを開く

以前に保存したパターンファイルを開きます。

ツールバーボタン: 彦

ツールバーの ² か、メニューバーの
 ファイル→開くをクリックします。

→次のようなファイルを開くダイアログ ボックスが表示されます。

ファイルを聞く					? 🔀
ファイルの場所の	🗀 Pattern		- ÷ 🗈	di 💷 •	
motif01.pmf motif02.pmf motif03.pmf motif04.pmf motif05.pmf motif06.pmf	motif07.pmf motif08.pmf motif09.pmf motif10.pmf motif11.pmf motif12.pmf	motif13pmf motif14pmf motif15pmf motif16pmf motif16pmf motif18pmf	motif19.pmf motif20.pmf motif21.pmf motif22.pmf motif22.pmf motif23.pmf motif24.pmf	motif25.pmf motif26.pmf motif27.pmf motif28.pmf motif29.pmf motif30.pmf	
ファイル名(N): ファイルの種類(T):	 パターンファイル(*.PAS;*.PMF)	•	開(@) キャンセル	✓ フレヒュー 一覧

2. ドライブ、フォルダを選択します。

山 メモ:

- プレビューチェックボックスがチェックされていると、選択したファイルの内容がプレビュー領域に表示されます。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。



- フォルダ内の.pas および.pmf ファイルの 内容を見たいときは、一覧をクリックしま す。
 - →次のような一覧ダイアログボックスが表示 されます。



) メモ:

- ファイルを開くダイアログボックスに戻る ときは、キャンセルをクリックします。
- パターンの真ん中の緑の矢印は、そのパ ターンがモチーフパターン(.pmfファイル) であることを示します。矢印がが無いパ ターンは、プログラムタタミ / スタンプパ ターン(.pas ファイル)です。
- プログラムタタミ/スタンプパターンは、面の設定がされている場合、赤(縫い沈め効果)と青(浮き上がり効果)で塗りつぶされます。

ステッチクリエイター



ファイル (*.wmf)、PotableNetworkGraphics (*.png)、 EncapsulatedPostScript (*.eps) 、kodakPhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx)、JPEG2000 (*.j2k) です。 メニューバーのファイル→下絵を開くを

クリックします。

→次のような下絵を開くダイアログボック スが表示されます。

下絵を聞く		? 🛛
ファイルの場所の	🔁 Data 💽 🕂 🗈 💣 💷*	
ClipArt Photo Angelbmp Fishbmp Flower.bmp Rudolph.bmp		
ファイル名(N):	IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	🗹 7.62-
ファイルの種類(工):	画像ファイル(*bmp*pod*fpx*tif*jpg*pcx*wm ▼ キャンセル	

ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択し

プレビューチェックボックスがチェックされ ていると、選択したファイルの内容がプレ ビュー領域に表示されます。

→ 作業領域に、画像が表示されます。

- ファイル名をダブルクリックしてもファイ
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じ る場合は、**キャンセル**をクリックします。
- メニューバーの画像→表示設定をクリック すると、画像の表示のしかたを、表示 / 薄 く表示/表示しないから選べます。
 - 表示をクリックすると、オリジナルの 画像が表示されます。
 - •薄く表示をクリックすると、画像は薄 く表示されます。
 - 表示しないをクリックすると、画像は 表示されません。
- 複数のページがある .pcd ファイルと .fpx ファイルは、最初のページのみを開くこと ができます。LZW で圧縮された tiff ファイ ルは開くことができません。
- •作業領域に開くことができる画像は1つに 限ります。別の画像を表示すると、以前の 画像は閉じます。

編集するパターンを選択する

ステッチクリエイターを使用して、プログラムタタミ縫い/スタンプ用、モチーフ縫い用のパターンを作成で きます。方法と作業領域はそれぞれ異なります。メニューバーのモードをクリックし、サブメニューから作成 したいパターンを選択します。

- メニュバーのモードをクリックして、モードを選びます。 プログラムタタミ/スタンプモードにするときは、プログラムタタミ/スタンプモードにするとます。
 ます。モチーフモードにするときは、モチーフを選択します。
 - → 作業領域が保存済みまたは作業中のデー タがない場合は、直ちに空白の新規作業領 域が表示されます。
 - →現在の作業領域が保存されていない場合は、 変更を保存するかどうかを尋ねてきます。

ステッチクリエイター	\mathbf{X}				
無題 への変更を保存しますか?					
(北北) キャンセル					

____ メモ:

- 作業領域を保存する場合は、はいをクリックします。
- 作業領域を破棄する場合は、いいえをク リックします。
- 作業領域に戻って、変更したり、別の名前 を付けて保存する場合は、キャンセルをク リックします。

■プログラムタタミ / スタンプモード

プログラムタタミ / スタンプモードでは、パターン を1本または複数の線で描き、その後、線で囲まれ た部分に面の設定を加えることで、縫い沈め / 浮き 上がり効果を出すことができます。デザインセン ターやレイアウトセンターで、プログラムタタミ縫 いを設定し、さらに、個別のスタンプを設定するこ とができます。

ツールボックスの直線描画ツールで、プログラムタ タミ / スタンプパターンの線を描き、線で囲まれた 面に、面設定ツール(凹、凸、クリア)で縫い沈め /浮き上がり効果を設定し、プログラムタタミ/スタ ンプパターンを編集します。

プログラムタタミ縫いの縫い方は、設定された一定 の方向に縫われる通常のタタミ縫いとは異なりま す。プログラムタタミパターンは、パターン線上に 直接針が落ちるように作成されています。

また、縫い沈め効果が設定された面内には、通常よ り細かいピッチのタタミ縫いで針落ち点が作成され ます。浮き上がり効果が設定された面内には、針落 ち点が作成されません。



モチーフモード

モチーフモードでは一本の線の形を変えて、オリジ ナルのパターンを作成します。パターンは、レイア ウトセンターでは線と面の縫い方に、デザインセン ターでは面の縫い方に設定できます。

作業領域の中央に緑の矢印(→)が表示され、刺しゅ うが行われる方向が示されています。

緑の矢印に沿ってピンクの線が一本表示されます。 この線はモチーフ縫いのベースを示し、ポイント編 集ツールでポイントを挿入したり、移動したりして 編集し、パターンを作成します。

作業領域の左端の青い四角はその線の始点を、右端 の赤い四角は終点を示しています。

始点と終点は削除できません。両方とも同一の上下 位置になければならないので、どちらか一方を移動 すると、もう片方の点も同じ上下位置に動きます。



パターン例 線縫い





ステッチクリエイター

作成中にパターンの模様イメージを確認する

プレビュー画面で、どんな模様になるか、パターンをいくつか並べた模様イメージを確認できます。

 プレビュー画面が表示されていない場合 は、メニューバーの表示→プレビューをク リックします。

> 選択されているモード設定のプレビュー画面 が表示されます。メニューバーの**表示→プレ ビュー**の左にチェックマークが付きます。



プログラムタタミ/スタンプモード



プレビュー画面の画像は、作業領域の変更に合わせて更新されます。

 プレビュー画面を閉じるときは、閉じるボ タンを押すか、メニューバーの表示→プレ ビューのチェックを解除します。

│ メモ:

- プレビュー画面は大きさを変更できます。
- プレビュー画面表示設定は、次に変更する まで保持されます。

プログラムタタミ / スタンプモードで パターンを作成する

直線描画ツールで、パターンの直線または折線を描くことができます。直線の終点が次の線の始点となります。

グリッドが表示されている場合は、どこでクリックしても、必ず最も近くのグリッド線の交点(グリッドの垂 直線と水平線の交差する点)にポイントが作成されます。水平線や垂直線はグリッド線と重なって引かれます。 また、対角線を引くこともできます。

描きたいパターンによって、グリッド間隔を選択します。また、グリッドを非表示に設定すると、ポイントが 交点に挿入されなくなります。グリッドと調整については、P.215の「グリッド設定を変更する」を参照して ください。

- 1. ツールボックスの < をクリックします。
 - → カーソルを作業領域上に移動すると、カー ソルの形が^十く に変わります。



カーソルを線の始点へ移動し、クリックします。



カーソルを次の点へ移動し、クリックします。



 メモ:
 マウスを右クリックすると、直前に入力した ポイントを削除できます。 カーソルを移動とクリックを繰り返し、終 点でダブルクリックします。



 他の線を加えたい場合は、同じ手順を繰り 返し、パターンを完成します。

プログラムタタミ/スタンプモードで パターンを編集する



複数のパターンを選択するときは、
 Ctrl キーを押しながらパターンをクリックします。

// メモ:

- 選択したいパターン全体を囲むようにカー ソルをドラッグしても選択できます。カー ソルをドラッグすると、点線の長方形が描 かれます。マウスを離すと、点線の長方形 内のパターンがすべて選択されます。
- 選択したくないパターンまで選択してしまったときは、パターンの無い部分をクリックしてすべての選択を解除し、選択し直します。

■すべてのパターンを選択する

- ツールボックスの ▶ をクリックします。
- メニューバーの編集→すべて選択をク リックします。

パターンを移動する

選択したパターン上にカーソルを移動します。

→ カーソルの形が () に変わります。

2. ドラッグすると移動します。

<u>)</u>メモ:

- Shift) キーを押しながらドラッグすると、 パターンは水平方向または垂直方向に移動 します。
- 矢印キーを押すと、選択したパターンを矢 印キーの方向に1グリッドずつ移動できま
 ず、グリッドが表示されていないときは、 小ピッチで移動します。

パターンを拡大・縮小する

- 選択したパターンのハンドル上にカーソ ルを移動します。
 - → 接しているハンドルによって、カーソルの 形が、→→、↓、↓、↓または ~ に変 わります。

[__] メモ:

- ↔ は、幅を拡大・縮小します。
- ↓ は、高さを拡大・縮小します。
- くとくは、幅と高さを同時に拡大、 縮小します。(幅と高さの比率が保たれま す。)
- ハンドルをドラッグし、パターンのサイズ を調整します。

パターンを削除する

- 1. 削除したいパターンを選択します。
- 2. (Delete) キーを押すか、メニューバーの 編集→削除をクリックします。

パターンを切り取る

選択されたパターンを画面から削除して、クリップ ボードにコピーします。

ツールバーボタン: 💥

- 1. 1 つまたは複数のパターンを選択します。
- 2. 💥 をクリックするか、メニューバーの

編集→切り取りをクリックします。

→ 選択されたパターンが作業領域から削除 されます。

// メモ:

データはクリップボードにコピーされるの で、メニューバーの**編集→貼り付け**を使って、 貼り付けることができます。

★ページの「パターンをコピーする」、P.208 の「パターンを貼り付ける」、本ページの「パ ターンを削除する」

10,100

\$

繊能評省 スナッチクリエイ

パターンをコピーする

選択したパターンを作業領域から削除しないで、ク リップボードに保存します。

ツールバーボタン: 🛅

- 1. 1つまたは複数のパターンを選択します。
- 2. 🗈 をクリックするか、メニューバーの

編集→コピーをクリックします。

- → 選択したパターンがクリップボードにコ ピーされます。編集→貼り付けを使って、 貼り付けることができます。
- 本ページの「パターンを切り取る」、P.208の 「パターンを複製する」、P.208の「パターン を貼り付ける」
パターンを複製する

選択したパターンのコピーを作業領域に追加しま す。

- 1. 1 つまたは複数のパターンを選択します。
- メニューバーの編集→複製をクリックします。
 - → 選択したパターンのコピーを作業領域に 追加します。
 - P.207の「パターンをコピーする」、本ページの「パターンを貼り付ける」

パターンを貼り付ける

クリップボードにあるパターンを作業領域に貼り付けます。

ツールバーボタン: 🛅

- 1. 🛅 をクリックするか、メニューバーの
 - **編集→貼り付け**をクリックします。
 - → 切り取りやコピーでクリップボードに保存されたパターンが、作業領域に貼り付けられます。
 - P.207の「パターンを切り取る」、P.207の「パ ターンをコピーする」、本ページの「パター ンを複製する」

パターンを上下に反転させる

選択されたパターンを上下に反転させます。

- ツールバーボタン: 💈
- 1. 1 つまたは複数のパターンを選択します。
- 2. 🚦 をクリックするか、メニューバーの

編集→反転→上下をクリックします。 → 選択されたパターンが上下に反転されます。

↓ メモ: パターンを元の向きに戻すには、編集→反転 →上下をもう一度クリックします。

本ページの「パターンを左右に反転させる」、
 本ページの「パターンを回転させる」

パターンを左右に反転させる

選択されたパターンを左右に反転させます。

ツールバーボタン: 🔂

- 1. 1 つまたは複数のパターンを選択します。
- 2.
 ³ をクリックするか、メニューバーの

 編集→反転→左右をクリックします。

→ 選択されたパターンが左右に反転されます。

本ページの「パターンを上下に反転させる」、
 本ページの「パターンを回転させる」

パターンを回転させる

選択されたパターンを任意の角度で回転させます。

- ツールバーボタン: ひ
- 1. 1 つまたは複数のパターンを選択します。

-	+ -	-1-	- + -		- + -						
	1						- 1		1		1
-	÷ -		- 1 -	!_	- 慶,					- 1	
	Τ.				T.	~			5.0	Ξ.	
	1.		-	<u>_</u>	- 11		\sim		1.1		1
	17	12	~				- 1	\sim			17
	4.0	~	÷	- i-	- i -	- i			\sim	÷	1
-	×.,	i Ti Ti	- ý -	- in					in p	24-1	- i-
	1	~			1	1			~	1	1
-	+ -	-1-	~~		- + -			~			
		1	1.7	~	1	ملہ ا	~		1	1	1
-	÷.,	1.	_ ! .	-12	` ★ :	<u>_</u>				- 1	
	1.								1.1		1
-		- '		_						- '	

2. 🕐 をクリックするか、メニューバーの

編集→回転をクリックします。

→ 選択したパターンの四隅のハンドルが、白 い四角に変わります。



3. カーソルをハンドルの1つに移動します。

→ カーソルの形が () に変わります。



ステッチクリエイター

ハンドルをドラッグして、希望の角度に回転します。

	-+-		- + -		- + -					· -
1		1		1		1				1
1	- 63									
1	ш	1	1	10		-	_	1		1
1				<u></u>		1	_		÷ 1	1
	- + -		- + +		- + -			/		- 1-
1			1	1		1		×		1
1	_ ! _	1.1	<u> </u>	_ 1		_ L		ZL .		1
17	- T -	77	- T -		- T -		-7			1
1		/		1	1	1	1			1
	-+ 2		- + -		- + -	/				- 1-
1		-+,	_	1	1	1			1	1
1	п		_		~÷	<u></u>		1.1		1
٦.			-γ-		- γ -		· n =	- C -		с.
1						1				1
1		_ !	_		_1 _	_ L_	+		_ ! _	L.,

() メモ:

・ドラッグすると角度が1度ずつ変わります。

 Shift) キーを押しながらドラッグすると、 15 度単位で回転します。

プログラムタタミ/スタンプモードで ポイントを編集する

グリッドが表示されている場合、移動または挿入したポイントは、グリッドの縦線と横線が交差する位置にお かれます。ポイントはどこに移動、また挿入しても、最も近い交差点に移動、挿入されます。

描きたいパターンによって、グリッド間隔を選択します。グリッドと調整については、P.215 の「グリッド設 定を変更する」を参照してください。

ポイントを移動する

- 1. ツールボックスの 🌾 をクリックしま
 - す。
 - → カーソルの形が _ に変わります。
- 編集したいパターンをクリックします。

→ パターンの既存ポイントが小さな白い四 角で表示されます。



() メモ:

- 度に1本のパターンだけを選択できます。

- 3. 移動したいポイントをクリックします。
 - → 選択されたポイントは小さな黒い四角で 表示されます。

ノメモ:

- 複数のポイントを選択するには、
 Ctrl キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。
- Ctrl キーを押しながら→キーまたは↓ キーを押すと、矢印キーを押すごとに、1 つずつ選択されているポイントが終点の方 向へ切り替わります。

注意:
 パターンの線上でクリックすると、新しいポイントが挿入されます。

- 4. ドラッグすると移動します。
 - → 選択されたすべてのポイントが同じ方向 に移動します。

- Shift キーを押しながらドラッグすると、 ポイントは水平方向または垂直方向に移動 します。
- 矢印キーを押すと、ポイントを矢印キーの 方向に1グリッドずつ移動できます。グリッ ドが表示されていないときは、小ピッチで 移動します。

繊能詳着 ステッチクリエイタ

ポイントを挿入する

1. ツールボックスの 🌾 をクリックしま

す。

→ カーソルの形が 📐 に変わります。

編集したいパターンをクリックします。

→ パターンの既存ポイントが小さな白い四 角で表示されます。

 ポイントを挿入したいパターンの線上で クリックします。

> →新しいポイントが追加されます。追加され たポイントは選択された状態(小さい黒い 四角)で表示され、すぐに編集できます。

ポイントを削除する

→ カーソルの形が 📐 に変わります。

- 2. 編集したいパターンをクリックします。
 - →パターンの既存ポイントが小さな白い四 角で表示されます。

() メモ:

一度に1本のパターンだけを選択できます。

- 3. 削除したいポイントをクリックします。
 - → 選択されたポイントは小さな黒い四角で 表示されます。

ノノメモ:

- 複数のポイントを選択するには、 (Ctrl) キーを押しながらポイントをク リックするか、ポイントを囲むようにド ラッグします。
- Delete キーを押すか、メニューバーの 編集→削除をクリックします。

()メモ: 2 つのポイントから成る線の場合は、1 つを 消すと線全体が削除されます。

面の縫い方を設定する

プログラムタタミ / スタンプパターンは、線で囲まれた面部に縫い方を設定することにより、縫い沈め / 浮き 上がり効果を表現することができます。デザインセンターやレイアウトセンターのスタンプツールを使って、 このパターンをスタンプを押すように配置したり、プログラムタタミ縫いのパターンとして使うこともできま す。レイアウトセンターでは、円・円弧 / 長方形 / 直線の各描画ツールや文字ツール、マニュアルパンチング ツールを使って作成された刺しゅうデータのみ設定できます。

1. 既存のプログラムタタミ/スタンプパター

ンファイル (.pas ファイル) を開くか、タ タミ/スタンプモードの直線描画ツールを 使って新しいパターンを描きます。 Q 注意:

面の縫い方の設定(縫い沈め/浮き上がり) を行うには、閉じたステッチ線で囲まれた面 が必要です。 作業領域の端(外周)にもステッチ線を描く ことができます。端に線を描けば、作業領域 の端ギリギリまで面として使用できます。

ステッチクリエイター



縫い沈め効果を設定する面をクリックします。

→ 面が赤色(このツールの設定色)で表示さ



() メモ:

この面は、ピッチ 2.0 mm、偏差 30%、針落 ち点が面の輪郭線の上に設定されたタタミ縫 いで縫製されます。

4. ツールボックスの 퀤 (面設定(凸))を

クリックします。

→ カーソルの形が○

- 浮き上がり効果を設定する面をクリック します。
 - → 面が青色(このツールの設定色)で表示されます。この面は針落ち点が作成されずに 縫われます。



 6. 面の設定(縫い沈め/浮き上がり効果)を 解除するには、ツールボックスの (個)(面 設定(クリア))をクリックします。

→ カーソルの形が込んに変わります。

- 7. 面の設定を解除する面をクリックします。
 - → 面が白(このツールの設定色)で表示さ れ、その部分は、ベースの縫い方で設定さ れた縫い方向で縫われます。

1 注意:

- 面の設定をした後でステッチ線を編集した 場合は、編集後も面が線で囲まれていることを確認してください。面が囲われていないと、縫い沈め / 浮き上がり効果は解除されます。
- ・面設定されたプログラムタタミ/スタンプ パターンは、Ver.6 より前のバージョンの ソフトウェアでは使用できませんが、以前 のバージョンで作成された.pasファイルに 面の縫い方の設定を行うことはできます。

モチーフモードでパターンを作成する

モチーフモードでは、始点と終点の間にポイントを挿入し、そのポイントを移動するという操作を繰り返して、 一筆書きのようなパターンを作成します。

グリッドが表示されている場合は、移動または挿入したポイントは、グリッドの縦線と横線が交差する位置に おかれます。ポイントはどこに移動、また挿入しても、最も近い交差点に移動、挿入されます。

描きたいパターンによって、グリッド間隔を選択します。グリッドと調整については、P.215の「グリッド設 定を変更する」を参照してください。

1. ツールボックスの 🌾 をクリックします。

→ カーソルの形が 📐 に変わります。

メモ:
 モチーフモードに設定すると、自動的にポイント編集ツールが選択されます。

- 2. 始点(青い四角)と終点(赤い四角)の間 のベース線をクリックします。
 - → 新しいポイントが追加されます。追加され たポイントは選択された状態(小さい黒い 四角)で表示され、すぐに編集できます。

ファイル(E) モード(M) 編集(E) 表示(D) ヘルプ(H)	
D 25 日 ち C X 当 時 計 品 D	
/ >	
2 Julia	8
	_
	_
F1キーアヘルプを表示	M

 移動したいポイントを新しい位置に移動 します。



() メモ:

- Shift キーを押しながらドラッグすると、 ポイントは水平方向または垂直方向に移動 します。
- 矢印キーを押すと、ポイントを矢印キーの 方向に1グリッドずつ移動できます。グリッ ドが表示されていないときは、小ピッチで 移動します。
- **Delete** キーを押すと、選択されたポイン トが削除されます。
- ステップ 2.と3.を繰り返して、モチーフ パターンを完成させます。

- ・始点(青い四角)または終点(赤い四角)のどちらか一方を移動すると、もう片方の点も同じ上下位置に動きます。
- なお、始点と終点は、一定の距離以下に近づけることはできません。

モチーフモードでパターンを編集する

パターンを作成後、または、既存のモチーフファイル開いて、その形状や位置を変えます。上記の手順と同様 の方法でポイントを追加、移動したり、複数のポイントを同時に選択、移動、削除して編集します。

複数のポイントを パターンを拡大・縮小する 一度に移動・削除する 1. ツールボックスの 📐 をクリックしま 1. ツールボックスの 🌾 をクリックしま す。 → モチーフパターンが選択されます。 す。 → カーソルの形が 📐 に変わります。 カーソルをハンドル上にカーソルを移動 します。 ||メモ: → 接しているハンドルによって、カーソルの モチーフモードを選択すると、自動的にポイ 形が、🕂 、 🕇 、 🕄 または 🦯 に変 ント編集ツールが選択されます。 わります。 2. 始点(青い四角)と終点(赤い四角)の間 の編集したいポイントをクリックします。 || メモ: → 選択されたポイントは小さな黒い四角で 表示されます。 し、高さを拡大・縮小します。 く
 と
 は、幅と高さを同時に拡大、
 ||メモ: •複数のポイントを選択するには、 縮小します。(幅と高さの比率が保たれま (Ctrl) キーを押しながらポイントをク す。) リックするか、ポイントを囲むようにド ラッグします。 3. ハンドルをドラッグし、パターンのサイズ (Ctrl) キーを押しながら→キーまたは↓ を調整します。 キーを押すと、矢印キーを押すごとに、1 つずつ選択されているポイントが終点の方 向へ切り替わります。 パターンを上下または 左右に反転させる 注意: 選択したパターンを上下または左右に反転させま パターンの線上でクリックすると、新しいポ す。 イントが挿入されます。 ツールボックスの 📐 をクリックしま 3. ドラッグすると移動します。 1. → 選択されたすべてのポイントが同じ方向 す。 に移動します。 → モチーフパターンが選択され、ツールバー 4. ポイントを削除するときは、 の 🙀 および 🚺 が選択できるように (Delete) キーを押します。 なります。 → 選択されたすべてのポイントが削除され ます。 注意: 始点(青い四角)と終点(赤い四角)は削除 できません。

ステッチクリエイター

パターンを上下に反転させるときは、メニューバーの編集→反転→上下をクリックするか、ツールバーの こ をクリックします。
 パターンを左右に反転させるときは、メニューバーの編集→反転→左右をクリックするか、ツールバーの こ をクリックします。

保存する

上書き保存する

パターンを1度保存すれば、次回からデータの更新 時は簡単に上書き保存できます。

ツールバーボタン: 🔚

1. 🔚 をクリックするか、メニューバーの

ファイル→上書き保存をクリックします。

- → 作業中のパターンを以前に1度以上保存したことがある場合は、ファイルは直ちに上書き保存されます
- → ファイル名が無題のときや、ディスク上に ファイルが見つからないときは、名前を付け て保存ダイアログボックスが表示されます。

▶ 本ページの「新しい名前を付けて保存する」

新しい名前を付けて保存する

現在のファイルを別のファイル名で保存すると、元 のファイルに変更を加えず、新規にパターンを保存 できます。

ファイルはプログラムタタミ / スタンプモードでは .pas ファイルとして、モチーフモードでは .pmf ファ イルとして保存されます。

 メニューバーのファイル→名前を付けて 保存をクリックします。

> →次のような名前を付けて保存ダイアログ ボックスが表示されます。



↓ メモ:

パターンを元の向きに戻すには、同じメ ニューバーをもうー度選択するか、メニュー バーの**編集→元に戻す**をクリックします。

 ドライブとフォルダを選択し、ファイル名 を入力します。



3. 保存をクリックして、保存します。

() メモ:

- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、キャンセルをクリックします。
- •名前を付けて保存ダイアログボックスで入 力した名前のファイルがすでに存在する場 合は、次のメッセージが表示されます。



▶ 本ページの「上書き保存する」

してください。



各設定を変更する

下絵の表示設定を変更する

作業領域にある下絵の表示のしかたを、表示 / 表示 しない / 薄く表示から選択できます。

 メニューバーの表示→下絵をクリックし、 次に設定を選択します。

> 下絵を表示する場合は、**表示**をクリックします。 下絵を薄く表示する場合は、**薄く表示**をクリッ クします。

> 下絵を表示しない場合は、**表示しない**をクリックします。

メモ:

- 作業領域に取り込まれている下絵の画像が ない場合は、この機能は使えません。
- ショートカットキーは F6 です。押すごとに、下絵の表示 / 薄く表示 / 表示しないが切り替わります。
- ▶ P.203 の「下絵を開く」

グリッド設定を変更する

グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。グリッド の表示のしかたや間隔を指定できます。

 メニューバーの表示→グリッドをクリッ クします。

> →現在のグリッド設定を示すサブメニュー が表示されます。

 作成または編集したいパターンに必要な 設定をクリックします。

広いをクリックすると、グリッド間隔を作業領域の 1/8 に変更します。

普通をクリックすると、グリッド間隔を作業領 域の 1/16 に変更します。

狭いをクリックすると、グリッド間隔を作業領域の 1/32 に変更します。

グリッドを表示しない場合は、**表示しない**をク リックします。

|___| メモ:

- 作業中も、グリッド設定を変更することができます。
- グリッド設定は次に変更するまで現在の設 定が保持されます。







繊能群省 ステッチクリエイター



グリッドが表示されている場合は、どこでクリック しても、必ず最も近くのグリッド線の交点(グリッ ドの垂直線と水平線の交差する点)にポイントが作 成されます。水平線や垂直線はグリッド線と重なっ て引かれます。また、対角線を引くこともできます。 また、どこに移動しても、ポイントは最も近い交差 点に移動します。

描きたいパターンによって、グリッド設定を選択し てください。細かなパターンを描くときは、より狭 いグリッドを選択し、より単純なパターンを描くと きはより広いグリッドを選択してください。**表示し** ないを選択すると、グリッドへのポイント固定機能 が解除されます。

デザインデータベース

デザインデータベースは、パソコン上の刺しゅうファイルの検索やプレビューが簡単にでき、ファイルを容易 に整理したり、見つけ出したりすることができます。また、刺しゅうファイルをレイアウトセンターで開いた り、取り込んだりできる他、その他のファイル形式(.pes、.dst、.exp、.pcs、.hus)にも変換できます。選択 されたフォルダ内の刺しゅうファイルを、一覧印刷したり、HTMLファイルとしての出力ができます。選択さ れたフォルダ内の刺しゅうデータの縫い情報は、CSVファイル(カテゴリがカンマで区切られているデータ) として出力し、MicrosoftExcel[®]などの他のアプリケーションで使用することができます。





- ① タイトルバー
- メニューバー 各機能を実行します。
- ツールバー 各メニュー機能へのショートカットです。
- ④ フォルダビュー パソコン上のフォルダ階層や、実行された検索の 結果を表示します。
- ⑤ コンテンツビュー 選択されたフォルダにあるすべての刺しゅう ファイルの一覧、またはサムネイル(アイコン) を表示します。

- ⑥ ステータスパー
 簡単な情報を表示します。
- ⑦ 最小化ボタン
- ⑧ 最大化ボタン
- ⑨ 閉じるボタン

デザインデータベース

デザインデータベースを起動する

() メモ:

デザインデータベースのショートカットがデ スクトップ上などに作成されている場合は、 そのアイコンをダブルクリックしても起動で きます。

デザインデータ ベース

→ デザインデータベース画面が開きます。

メモ: ディスプレイ画面全体にデザインデータベー ス画面を表示するには、タイトルバーの右端 の最大化ボタンをクリックします。

- フォルダビュー内のフォルダをクリック します。
 - → フォルダ内のすべての刺しゅうファイル がコンテンツビューに表示されます。

ファイル(E) 編集(E) 表示(Q) オブション(Q)	- AJ	げ田							
X 🗞 🛍 📰 📰 🖬 🔂									
E 💼 PILe3PRO Ver.6	^	771ル名	計数	色数	幅	高さ	種類	更新日時	
Color		Angelpes	11540	12	83.6	96.7	PES	1999/12/01 13:34	
🕀 😂 Data		Birthday10Lpes	9625	8	96.2	97.6	PES	2002/03/11 13:11	
- Eont		Birthday10Spes	1402	6	35.1	43.7	PES	2002/03/11 13:11	
Co Pattern		Birthday11Lpes	16004	7	97.9	97.8	PES	2002/03/11 13:10	
🖲 🧰 Common Files		Birthday11Spes	2957	5	44.5	35.2	PES	2002/03/11 13:10	
E ComPlus Applications		Birthday12Spea	3394	8	47.2	45.7	PES	2002/03/11 13:06	
internet Explorer		Birthday1Lpes	9278	7	93.7	95.9	PES	2002/03/11 1307	
🖲 🧰 Messenger	-	Birthday1Spes	2907	7	43.5	45.9	PES	2002/03/11 13:08	
* 🛄 microsoft frontpage		Birthday/21 pes	7998	12	949	95.5	PES	2002/03/11 13:07	
Movie Maker		Birthday/25 pers	2038	7	45.1	47.3	PES	2002/03/11 13:07	
e 🛄 MSN		Birthday3Loss	7904	7	94.9	93.1	PES	2002/03/11 13:09	
MSN Gaming Zone		Birthday35.pes	795	5	24.9	44.9	PES	2002/03/11 13:09	
Netheeting		Birthdavdl nes	8762	7	91.9	945	PES	2002/03/11 13:05	
Chane Services		RithdavdS nes	2823	6	48.4	47.9	PES	2002/03/11 13:05	
Windows Is and Viewer		Rithdw6Loes	9797	2	93.9	949	PES	2002/03/11 13:09	
E Co Wedows Media Disuse		Rithday 6S pes	2528	6	45.8	49.1	PES	2002/03/11 13:10	
E Co Windows NT		Rithdwfil pes	8042	6	961	95.6	PES	2002/03/11 13:08	
E Co Wordweel Indate		BirthdayfiSpes	3163	5	44.6	41.1	PES	2002/09/11 13:09	
T C WnZin	~	Birthday71 ner	9338	å	971	95.2	PES	2002/03/11 13:08	
	8	District of the	2026	2	427	47.0	PEC	2002/02/11 12:09	
the state with		In a construction	6000						

() メモ:

表示されるファイルは、.pes、.dst、.exp、.pcs、 .hus、.phc のみです。

刺しゅうファイルを整理する

ファイルを別のフォルダに移動するなどして、刺しゅうファイルを整理します。また、刺しゅうファイルの表 示のしかたを、サムネイル大 / サムネイル小 / 詳細から選択できます。

新規フォルダを作成する

刺しゅうファイルを整理をするために、新規フォル ダを作成します。

- フォルダビューで、新規フォルダを作成したいフォルダを選択します。
- ファイル→フォルダの新規作成をクリックします。
 - → 選択したフォルダ内に、新規フォルダがサ ブフォルダとして表示されます。



3. 新しいフォルダ名を入力し、Enter キー を押します。

> → フォルダ名が入力された名前に変わりま す。

刺しゅうファイルを別の フォルダに移動・コピーする

デザインデータベースで、刺しゅうファイルのフォ ルダ間の移動が簡単にできます。

- フォルダビューに、刺しゅうファイルを移 動したいフォルダを表示します。
- 移動したい刺しゅうファイルの入ってい るフォルダを選択します。

 コンテンツビューに表示された移動する 刺しゅうファイルを、フォルダビューの移 動先のフォルダにドラッグします。



- → 移動先のフォルダが移動前のフォルダと 同じドライブにある場合は、選択された刺 しゅうファイルは、ドラッグした先のフォ ルダに移動します。
- →移動先のフォルダが移動前のフォルダと 異なるドライブにある場合は、選択された 刺しゅうファイルは、ドラッグした先の フォルダにコピーされます。

└── メモ:

- 同じドライブにある別のフォルダにファイ ルをコピーするときは、Ctrl キーを押し ながら、刺しゅうファイルをドラッグしま す。
- 異なったドライブにある別のフォルダに ファイルを移動するときは、(Shift) キーを 押しながら、刺しゅうファイルをドラッグ します。
- ファイルの削除やコピーは、メニューバーの機能を使って行うこともできます。編集
 →切り取り(または編集→コピー)を選びます。その後、新規フォルダに追加するには、フォルダビューで新規フォルダを選択し、編集→貼り付けを選択します。

刺しゅうファイルの名前を 変更する

デザインデータベースで、刺しゅうファイルのファ イル名を簡単に変更することができます。



- フォルダビューで、名前を変更したい刺 しゅうファイルのあるフォルダを選択し ます。
- コンテンツビューで、名前を変更したい刺しゅうファイルを選択します。

→刺しゅうファイルが反転表示に変わります。

名前を変更したい刺しゅうファイルの名前をクリックします。

→入力が可能な状態になります。

ポ デザインデータベース									
ファイル(E) 編集(E) 表示(D) オブション	2) v	1719							
X 🗞 🕸 📰 📰 🖬 🔂 🗠									
🗄 😋 🕅 Lað PRO Ver.6	^	771ル名	針数	色数	幅	365	種類	更新日時	
Color		dog pes	6285	8	56.1	46.7	PES	2004/10/13 2:04	
😑 🍋 Data		Rower pes	11249	10	98.5	96.8	PES	2004/10/13 2:09	
ClipArt ClipArt		RoseandSunpes	11249	10	98.5	96.8	PES	2004/10/13 2:10	
- Ca Photo		TulpLpes	3789	4	68.9	67.4	PES	2004/10/13 212	
── 新しいフォルダ									
- Cont									
Ca Pattern									
🖲 🍋 Common Files	-								
E ComPlus Applications									
- California Explorer									
🖲 😋 Messenger									
🕀 🍋 microsoft frontpage									
🖲 🚞 Movie Maker									
🖲 🧰 MSN									
🕀 🍋 MSN Gaming Zone									
🗄 🚞 NetNeeting									
🖲 🚞 Online Services									
🕀 🚞 Windows Media Player									
- 😋 Windows NT	~								
<	>								
ロシャップへルガを素子								NUM	

新規刺しゅうファイル名を入力し、
 (Enter) キーを押します。

ノアイルの拡張子は変更できません。

刺しゅうファイルを削除する

デザインデータベースで、刺しゅうファイルを簡単 に削除することができます。

- フォルダビューで、削除したい刺しゅう ファイルのあるフォルダを選択します。
- コンテンツビューで、削除したい刺しゅう ファイルを選択します。
- **3. Delete** キーを押します。

→ ファイルがゴミ箱に移動します。

() メモ:

- ・刺しゅうファイルの削除は、メニューバーのファイル→削除を使って行うこともできます。
- ゴミ箱に移動しないで直ちにファイルを削除する場合は、Shift キーを押しながら
 Delete キーを押します。



刺しゅうファイルを小さいアイコンで表示し たいときは、**サムネイル小**をクリックします。

刺しゅうファイルを開く

レイアウトセンターで 刺しゅうファイルを開く

選択した .pes ファイルを、レイアウトセンターで開きます。

- フォルダビューで、レイアウトセンターで 開きたい刺しゅうファイルのあるフォル ダを選択します。
- コンテンツビューで、開きたい刺しゅう ファイルを選択します。

── メモ:

ツールバーの をクリックしても、小さいサムネイルで表示できます。



刺しゅうファイルの縫い方情報別に表示した いときは、**詳細**をクリックします。

メモ:
 ツールバーの をクリックしても、詳細
 表示で表示できます。

* @									
	E C MLg3PR0 Ver.6	~	7711名	8162	色融	幅	高さ	種類	更新日時
	Color	-	Angel pes	11540	12	83.6	95.7	PES	1999/12/01 13:3
	😑 🗀 Data		Birthday10Lpes	9625	8	95.2	97.6	PES	2002/08/11 1311
	- ClipArt		Birthday10S.pes	1402	6	35.1	43.7	PES	2002/08/11 1311
	- Ca Photo		Birthday11Lpes	16004	7	97.9	97.8	PES	2002/08/11 131
	新しいフォルタ	100	Birthday11S.pes	2957	5	44.5	35.2	PES	2002/08/11 131
	- Eont		Birthday12Lpes	12011	12	95.1	86.3	PES	2002/08/11 130
	Pattern		Birthday125.pes	3394	8	47.2	45.7	PES	2002/03/11 130
	E Common Files		Birthday1Lpes	9278	7	93.7	95.9	PES	2002/03/11 130
	ComPlus Applications		Birthday1Spes	2907	7	43.5	45.9	PES	2002/08/11 130
	Massanas		Birthday2Lpes	7998	12	94.9	95.5	PES	2002/08/11 130
	E C microsoft frontname		Birthday2Spes	2038	7	45.1	47.3	PES	2002/08/11 130
	Mosia Makar		Birthday3Lpes	7904	7	94.9	93.1	PES	2002/03/11 130
	H CO MSN		Birthday3Spes	796	5	24.9	44.9	PES	2002/08/11 130
	+ C MSN Gaming Zone		Birthday4Lpes	8762	7	91.9	94.5	PES	2002/08/11 130
	NetMeeting		Birthday4Spes	2823	6	48.4	47.9	PES	2002/08/11 130
	Online Services		Birthday5Lpes	9797	7	93.9	94.9	PES	2002/08/11 130
	🗉 🫅 Outlook Express		Birthday6Spes	2528	6	45.8	48.1	PES	2002/08/11 131
	🗄 🛅 Windows Journal Viewer		Birthday6Lpes	8042	6	96.1	95.6	PES	2002/08/11 130
	- 🗀 Windows Media Player		Birthday6Spes	3163	5	44.6	41.1	PES	2002/08/11 1305
	🖲 😂 Windows NT		Birthday7Lpes	9338	8	97.1	96.2	PES	2002/08/11 130
	🖲 🧰 WindowsUpdate		Birthday7Spes	2836	7	42.7	47.8	PES	2002/03/11 130
	🖲 🧰 WinZip	~	Birthday8Lpes	9372	8	94.7	91.5	PES	2002/03/11 130

L 注意:

必ず.pesファイルの入っているフォルダを選 択してください。

メニューバーのファイル→レイアウトセンターで開くをクリックします。

ノアイル名をダブルクリックしても、レイア ウトセンターで刺しゅうファイルを開くこと ができます。

- → レイアウトセンターで作業中のデザイン ページが保存済み、または作業中のデータ がない場合は、選択された刺しゅうファイ ルは、直ちにレイアウトセンターで開きま す。
- → レイアウトセンターで作業中のデータが 保存されていない場合は、変更を保存する かどうかを尋ねてきます。

レイアウトセンター									
1 無題 への変更を保存しますか?									
(#C	<u>w</u>	(いいえ(<u>N</u>)	キャンセル						

∐ メモ∶

- デザインページを保存する場合は、はいを クリックします。
- デザインページを破棄する場合は、いいえ をクリックします。
- デザインページに戻って、別の名前を付け て保存する場合は、キャンセルをクリック します。

レイアウトセンターで 刺しゅうファイルを取り込む

選択した刺しゅうファイルを、レイアウトセンター で取り込むことができます。

- フォルダビューで、レイアウトセンターに 取り込みたい刺しゅうファイルのある フォルダを選択します。
- コンテンツビューで、取り込みたい刺しゅ うファイルを選択します。
- メニューバーのファイル→レイアウトセンターで取り込むをクリックします。
 - → 選択された刺しゅうファイルが、レイアウ トセンターで取り込まれます。

() メモ:

 .pes 以外の刺しゅうファイルは、ファイル名 をダブルクリックしても、レイアウトセン ターで刺しゅうファイルを取り込むことがで きます。

刺しゅうファイルを確認する

刺しゅうファイルを プレビューする

刺しゅうファイルをリアルプレビューできます。

ツールバーボタン: 📄

- フォルダビューで、プレビューしたい刺 しゅうファイルのあるフォルダを選択し ます。
- コンテンツビューで、プレビューしたい刺しゅうファイルを選択します。

→ 次のような**プレビュー**ダイアログボック スが表示されます。



メモ: このダイアログボックスを閉じるときは、閉 じるをクリックします。

P.188 の「上書き保存する」、P.188 の「新し い名前を付けて保存する」

刺しゅうファイルの情報を 確認する

ファイル名、サイズ、針数、糸色数、変更日などの 縫い方情報は、ファイルプロパティダイアログボッ クスで確認できます。.pes ファイルは、さらに刺しゅ うファイルに関する追加情報を見ることができま す。

ツールバーボタン: 🔠

コンテンツビューで、縫い方情報を確認したい刺しゅうファイルを選択します。

2. ツールバーの 🔚 をクリックするか、メ

ニューバーの**表示→ファイルプロパティ** をクリックします。

→ **ファイルプロパティ**ダイアログボックス が表示されます。

.pes 以外のファイル .pes ファイル



メモ:

- 糸色は基本色で表示されます。
- ファイルプロパティダイアログボックスを 閉じるときは、閉じるをクリックします。
- →デザインページが大型刺しゅう枠用の データに設定されている場合は、次のよう なファイルプロパティダイアログボック スが表示されます。



() メモ:

- **枠の位置**は、枠の位置番号と、部分デザイ ンシートの総取り付け位置数を表示してい ます。
- プレビュー表示領域にプレビューが表示され、枠の位置番号に対応する刺しゅう枠の取り付け位置の外形が、赤い枠で表示されます。

デザインデータベース

刺しゅうファイルを検索する

検索機能を使うと、1つまたは複数の検索条件を指定することで、フォルダ内の希望の刺しゅうファイル(.pes、.phc、.dst、.exp、.pcs、.hus ファイル)を、すばやく検索することができます。

- フォルダビューから検索したいフォルダ を選択します。
- メニューバーの編集→検索をクリックします。

→ 検索ダイアログボックスが表示されます。

検索	E
####################################	改本会社 9050の月に有効 『 デザイン名 『 分類 『 作事 『 作事 『 中・ワード: 『 云らト
『夏新日: 1980/01/01 y <-> 2004/10/13 y Ø サブフォルダも検索	検索条件のクリア

検索条件を設定します。指定する検索条件 のチェックボックスをチェックします。

ファイル名

特定のファイル名で検索します。ボックスにファ イル名を入力します。

凵 メモ:

1 文字または文字列の代わりに「*」や「?」 のワイルドカード文字を使うこともできま す。

対象フォーマット

特定のファイル形式で検索します。希望のファイ ル形式のチェックボックスをチェックします。

針数

針数を指定して検索します。ボックスに針数の上 限と下限の数値を入力します。

色数

色数を指定して検索します。ボックスに糸色数の 上限と下限の数値を入力します。

幅

刺しゅうの横の長さを指定して検索します。ボッ クスに横の大きさの上限と下限の数値を入力し ます。

高さ

刺しゅうの縦の長さを指定して検索します。ボッ クスに縦の大きさの上限と下限の数値を入力し ます。

変更日

特定の変更日を指定して検索します。ボックスに 変更日の期間(何日から何日まで)を入力します。

.pes ファイルの検索には、さらに次の条件を 設定できます。

デザイン名

特定のデザイン名で検索します。ボックスにデザ イン名を入力します。

分類

特定の分類で検索します。ボックスに刺しゅうの タイプや文字を入力します。

作者

特定の作者名で検索します。ボックスに検索した い文字を入力します。

キーワード

特定のキーワードで検索します。ボックスに検索 したい文字を入力します。

コメント

特定のコメントで検索します。ボックスに検索し たい文字を入力します。

// メモ:

- サブフォルダ(選択したフォルダ内のフォ ルダ)も検索する場合は、サブフォルダも 検索チェックボックスをチェックします。
- ファイル名の横のボックスに入力された文字はすべて、1つの文字セットとして扱われます。ただし、検索条件(.pesファイルのみ)の場合は、スペースで区切られた単語を複数入力し、各単語とすべて一致するファイルを検索することができます。
- •範囲を指定する検索条件の場合は、上限と 下限の両方の値を入力してください。

検索条件をリセットするには、検索条件のクリアをクリックします。

4. 検索をクリックします。

→指定した検索条件に一致するファイルの 一覧が表示されます。

📑 デザインデータペース							\mathbf{X}
ファイル(E) 編集(E) 表示(E) オブション(E)	へいけ	8					
X & & = = = = = & &							
🖲 🍋 Movie Maker	<u>a</u> []	791348	748.9	新数	2.32	12	斎
- C MSN	- 1	TulipLpea	CNProgram Files#Brother.	3789	4	60.9	67
- MSN Gaming Zone		Tulptect DST	C4Program Files#Brother	4821	9	73.9	- 89
🛞 🎃 NetPleeting		Tulptectpes	CNProgram Files#Brother	4821	9	73.9	- 89
B Colline Services							
🖲 🚞 Outlook Express							
- 🗀 Uninstall Information							
🛞 🚞 Windows Media Player							
🛞 🧰 Windows NT							
WindowsUpdate							
🕀 🛄 World Fishing							
🕒 🛄 xeedx							
E C PROGRAMF							
Cerap							
e 🔁 urzipped							
a 🔁 WINLOWS							
- WUIemp							
B - G = D(F) (14/5) (0)							
A THERE A							
R Mr Documents							
a S B/ tabD-A							
a decim/Camble							
Tarro							
A 100003300							
	~						
< >	- <						>
ドバキーでへはブを表示					N	N.	
	_			_			

) メモ:

検索処理中に検索を中止する場合は、検索処 理中に表示されるメッセージボックスの検索 キャンセルをクリックします。

デザインデータベース

刺しゅうファイルを別の形式に変換する

刺しゅうファイルを、別のファイル形式(.pes、.dst、.exp、.pcs、.hus)に変換できます。

- フォルダビューで、変換したい刺しゅう ファイルのあるフォルダを選択します。
- コンテンツビューで、変換したい刺しゅう ファイルを選択します。
- メニューバーのファイル→フォーマット 変換をクリックします。
 - → フォーマット変換ダイアログボックスが 表示されます。



 変換するフォーマットセレクタからファ イルの変換先形式を選択します。

() メモ:

DST 形式では、糸色の変更に必要な糸切りを 指示するためにジャンプコードが使用されて おり、ジャンプ回数はご使用のミシンによっ て異なります。変換時にジャンプ数を指定で きます。糸切り用のジャンプ数に数値を入力 するか、スピンボタンで値を変更します。(こ の設定はDST形式が選ばれている場合のみ有 効です。)

出力するフォルダを選択します。元ファイルと同じフォルダに出力する場合は、同じフォルダに出力する場合は、同じフォルダに出力を選択します。別のフォルダに出力する場合は、次のフォルダに出力を選択し、フォルダを指定します。

[]] メモ:

同じフォルダに出力が選択されているときに、異なる形式のファイルを複数選択して変換した場合は、指定ファイルと同じ形式のファイルは変換されません。ただし元のフォルダとは別のフォルダに出力する場合は、指定ファイルと同じ形式のファイルはすべてコピー出力されます。

- •変換ファイルの出力先フォルダを変更する
- ときは、 🚰 をクリックします。



表示された**フォルダの参照**ダイアログボッ クス内で、フォルダを選択し、**OK** をクリッ クするか、フォルダをダブルクリックして フォルダを開きます。**フォルダの参照**ダイ アログボックスは閉じます。

 新規フォルダを作成する場合は、新しい フォルダの作成をクリックし、新規フォル ダ名を入力します。

・変換をクリックします。

→ ファイルが変換され、新規ファイルが指定 フォルダに出力されます。

() メモ:

- ファイルを.pes ファイルに変換した場合は、 ファイルがレイアウトセンターに取り込ま れるときと同様に糸色が変わります。
- 存在しないフォルダへのパスが入力された 場合は、メッセージが表示され、フォルダ を作成するか尋ねてきます。
- 同じ名前のファイルがすでに存在する場合は、メッセージが表示され、上書き保存してよいか尋ねてきます。
- •ファイル名は拡張子のみが選択されたファ イル形式に変わり、出力されます。

() 注意: .phc 形式へのファイル変換はできません。

一覧(刺しゅう見本)を出力する

印刷する

選択したフォルダの刺しゅうイメージを一覧(刺 しゅう見本)として印刷できます。

- フォルダビューで、一覧を印刷したい刺 しゅうファイルのあるフォルダを選択し ます。
- メニューバーのファイル→印刷の設定を クリックします。

→次のような印刷の設定ダイアログボック スが表示されます。

印刷0設定 ? 🔀
プリンタ プリンタ名(W): [Brother HJ-100
用紙 サイズ② A4 ・ 給紙方法③: 自動選択 ・ (部)の向き ・ 縦② (本) で 縦② で 横④
印刷 印刷ブレビュー ネットワーク OK キャンセル

- 印刷レイアウトで、各ページに印刷したい 刺しゅうの数(1個、4個、12個)を選択 します。
- 4. 印刷をクリックします。

→ 選択した刺しゅうの画像が印刷されます。

・コンテンツビューで刺しゅうファイルを1
 ・ステンツビューで刺しゅうファイルを1
 ・支または複数選択すると、選択された刺しゅうだけが印刷されます。

 一覧印刷は、メニューバーのファイル→印 刷をクリックして直ちに実行することもで きます。前回印刷の設定ダイアログボック スで選択した設定内容で印刷されます。

HTML ファイルを出力する

一覧は、HTML ファイルとして出力することもでき ます。

- フォルダビューで、一覧のHTML出力した い刺しゅうファイルのあるフォルダを選 択します。
- メニューバーのファイル→ HTML 出力を クリックします。
 - →次のような名前を付けて保存ダイアログ ボックスが表示されます。

名前を付けて保存					? 🔀
(保存する場所の):	🔁 マイ ドキ	יזארי	•	(= 🗈 🖻	* 💷 •
My eBooks other マイ ピクチャ マイ ピグチャ マイ ビデオ Comparison					
ファイル名(<u>N</u>):	無題html				保存(<u>S</u>)
ファイルの種類(①):	HTML 7p1	/↓(*.html)		•	キャンセル
ページタイトル:					
ページレイアウト:	° 📃	•	C		

- ドライブとフォルダを選択し、HTMLファ イル名を入力します。
- ファイル上部とタイトルバーにタイトル を表示する場合は、ページタイトルにタイ トルを入力します。
- ページレイアウトで、ページ上の刺しゅう のレイアウトを選択します。
- 6. 保存をクリックします。
 - → 選択したフォルダに、HTML ファイルが出 力されます。HTML ファイルと同じ名前の フォルダが作られ、個々の刺しゅうイメー ジファイルが出力されます。

CSV ファイルを出力する

選択した刺しゅうファイルの縫い方情報(ファイル 名、サイズ、針数、色数、ファイルのパス、ファイ ルプロパティ (.pes ファイルのみ)、糸色名)の CSV ファイルを出力することもできます。

- フォルダビューから、CSV 出力したい刺 しゅうファイルのあるフォルダを選択し ます。
- メニューバーのファイル→ CSV 出力をク リックします。
 - →次のような名前を付けて保存ダイアログ ボックスが表示されます。

名前を付けて保存			? 🗙
保存する場所(1):	읍 マイ ドキュメント	-	
My eBooks			
- Currier - Cur			
□ √1 ビナオ			
	無題.csv	保存	(5)
	CSV ファイル(*.csv)	 キャン 	

- ドライブとフォルダを選択し、CSV ファイ ル名を入力します。
- 保存をクリックします。
 - → 刺しゅうファイルの縫い方情報のCSVファ イルが選択したフォルダに出力されます。

第3章 リファレンス

ツールボックスボタン一覧

ステージ2 (輪郭線画ステージ)

ステージ 2 (輪郭線画ステージ) では、ツールボックスは、原画から作成した輪郭線画を修正したり、直接、 輪郭線画を描いたりするときに使用します。

ツールボックスのボタンを選択すると、カーソルの形状が変わります。各ツールの説明がステータスバーの左 側に表示されます。

ツールポックス	用途	参照ページ
	ペン、消しゴムツール 最初の5つのボタンは、太さの違うペンと消しゴムとして使用します。 作業領域上で移動またはドラッグしたときのカーソルの形状: ペン 消しゴム (マウスの右ボタンを押しているとき) アプリケーション起動時やステージ2 (輪郭線画ステージ)への移行時は、2番 目のペンツールが選択されています。	р. 34 р. 68
÷	ズームインツール カーソルの形状: 会	p. 34
	デザインページズーム デザインページを画面に合わせて最大化します。	p. 35
Q	ズームアウトツール カーソルの形状: Q	p. 35

ステージ3 (輪郭データステージ)

ステージ3(輪郭データステージ)では、ツールボックスは、自動で作成された輪郭データを編集するときに 使用します。

ツールボックスのボタンを選択すると、カーソルの形状が変わります。各ツールの説明がステータスバーの左 側に表示されます

ツールボックス	用途	参照ページ
×	選択ツール アプリケーション起動時やステージ3(輪郭データステージ)への移行時は、選 択ツールが選択されています。 カーソルの形状: ♪	p. 72

ツールボックス	用途	参照ページ
1	ポイント編集ツール カーソルの形状: 📐	p. 75
\leq	直線描画ツール カーソルの形状:十	p. 76
()	ズームインツール カーソルの形状: 	p. 34
	デザインページズーム デザインページを画面に合わせて最大化します。	p. 35
Q	ズームアウトツール カーソルの形状: Q	p. 35
Q	選択データズーム 選択した輪郭データを画面領域いっぱいに拡大します。	

ステージ4 (縫い方設定ステージ)

ステージ4(縫い方設定ステージ)では、ステージ3(輪郭データステージ)で編集された輪郭データに、線の 縫い方と面の縫い方の設定をします。この作業はツールボックスと縫い方バーを使って行います。

ツールボックスのボタンを選択すると、カーソルの形状が変わります。各ツールの説明がステータスバーの左 側に表示されます。

ツールボックス	用途	参照ページ
	面の設定ツール アプリケーション起動時やステージ 4 (縫い方設定ステージ)への移行時は、面 の設定ツールが選択されています。 カーソルの形状: 🏷	p. 78
7	輪郭線の設定ツール(全体) カーソルの形状: 🏹	p. 79
7	輪郭線の設定ツール(部分) カーソルの形状: _{N_ww}	p. 80
	ドーナツ縫いツール カーソルの形状: 🏷	p. 91
Đ	ズームインツール カーソルの形状: 会	p. 34
	デザインページズーム デザインページを画面に合わせて最大化します。	p. 35

コファレンス

ツールボックス	用途	参照ページ
Q	ズームアウトツール カーソルの形状: Q	p. 35
2	スタンプ設定ツール カーソルの形状: 🗞 <u>象</u> または <u>象</u>	p. 92
<u>*</u>	スタンプ編集ツール カーソルの形状: 喩 <u>象</u>	p. 93

メニュー一覧

() メモ:

メニュー上の機能のほとんどは、ツールバーのボタン、ショートカットキーやキーの組み合わせ、または 右マウスボタンをクリックして表示されるメニューリストにより操作することができます。

ファイルメニュー

ファイルメニューで、開く、保存などのファイルの入力/出力を処理します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
新規作成 (輪郭線画)		新規デザインページを作成し、ステージ 2 (輪郭線 画ステージ)に移動します。	Ctrl + N	p. 68
新規作成 (輪郭データ)		新規デザインページを作成し、ステージ 3 (輪郭 データステージ) に移動します。		p. 72
ウィザード		作成するデータの種類に応じてどのようにデータ を作成していくのか、順をおって説明します。	F3	p. 65
開く	10	以前に保存したファイル (*.pem、*.pel) や画像 ファイル (Windows ビットマップ (*.bmp)、Exif (*.tif, *.jpg)、ZSoftPCX (*.pcx)、Windows メタ ファイル (*.wmf)、Potable Network Graphics (*.png)、Encapsulated PostScript (*.eps)、Kodak PhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx)、JPEG2000 (*.j2k)〕を開きます。	Ctrl + O	p. 33
TWAIN 機器の選択		パソコンにインストールされている TWAIN 機器か ら使用するデバイスを選択します。		p. 66
TWAIN 機器から入力	_	TWAIN 規格対応のスキャナ等を操作し、画像を取 り込みます。	_	p. 66

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
クリップポードから 入力	_	ステージ1(原画ステージ)の新規デザインページ を開き、クリップボードにコピーされている画像 データを貼り付けます。	_	p. 66
クリップボードに 出力	_	ステージ1(原画ステージ)の原画を、クリップ ボードにコピーします。		p. 108
輪郭データ取り込み	R	作業中のデザインページに .pem ファイルを追加し ます。 (ステージ 3 (輪郭データステージ) でのみ 使用可能)	F8	
上書き保存		作業中のデザインページをハードディスクなどに 上書き保存し、ファイルを更新します。	Ctrl + S	p. 98
名前を付けて保存		作業中のデザインページを新しいファイル名で ハードディスクなどに保存します。保存できるファ イル形式は、ステージ1 (原画ステージ)では Windows ビットマップ(*.bmp)、ステージ2 (輪 郭線画ステージ)では.pel ファイル、ステージ3 (輪郭データステージ)と4 (縫い方設定ステージ) では.pem ファイルです。		p. 98
終了		アプリケーションを終了します。	Alt + F4	

編集メニュー

編集メニューで、切り取りや貼り付けなど、選択された輪郭データや刺しゅうデータの編集操作を行います。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
元に戻す	5	直前の操作を元の状態に戻します。	Ctrl + Z	
やり直し	2	最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	Ctrl + A	
切り取り	*	選択されたデータを画面から削除し、クリップボー ドにコピーします。	Ctrl + X	p. 207
コピー	D.	選択された輪郭データを画面から削除しないで、ク リップボードにコピーします。	Ctrl + C	p. 207
複製	_	選択された輪郭データを複製します。	Ctrl + D	p. 208
貼り付け		 クリップボードにコピーされている内容をデザイ ンページに貼り付けます。	Ctrl + V	p. 208
削除	_	選択された輪郭データまたはポイントをデザイン ページから削除します。	Delete	p. 207

*=	- -	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
反転	上下	R 2	選択された輪郭データを上下に反転させます。	Ctrl + H	p. 74
	左右	RЯ	選択された輪郭データを左右に反転させます。	Ctrl + J	p. 74
回転		U	選択された輪郭データを任意の角度で回転させま す。	Ctrl + Y	p. 74
w/ ++== -+-	サイズ	_	選択された輪郭データを任意のサイズにさせます。	_	p. 73
数値設定	回転	_	選択された輪郭データを任意の角度で回転させま す。	_	p. 74
すべて選択	5	_	すべてのデータを選択します。	Ctrl + E	p. 124

縫い方メニュー

縫い方メニューで、線や面の縫い方や縫い順を設定します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
縫い方の設定		輪郭線と面の縫い方を設定します。	Ctrl + W	p. 83
縫い順		作成した刺しゅうデータの各糸色の縫い順の確認、 変更をしたり、さらに各糸色を構成する各部分の縫 い順の確認、変更をします。	F10	p. 94

表示メニュー

表示メニューで、画面の表示内容を変更します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
グリッド	_	グリッドの内容を設定し、グリッドの表示/非表示 を切り替えます。		p. 99
プレビュー		画面表示の通常表示/縫製イメージを切り替えま す。	F9	p. 96
画面の再描画	_	画面を更新します。	Ctrl + R	
リアルプレビュー	8 1	刺しゅうデータの縫製後の仕上がりイメージをリ アルに表示します。 注意: モニタの設定が256 色以下の場合、正確な色を表 示できません。16 ビットハイカラー(65536 色) 以上の設定で使用してください。	Shift + F9	p. 96

メニュー	ツールパー	用途	ショートカットキー	参照ページ
リアルプレビューの 設定	_	リアルプレビュー機能の設定を行います。		p. 96
ステッチシミュレー ター		ミシンでどのように縫われていくか、縫製の様子を 画面上で確認できます。	_	p. 95
リファレンス ウィンドウ		リファレンスウィンドウの表示/非表示を切り替 えます。	F11	p. 97
ツールバー	_	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。	_	p. 64
ステータスパー		ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。		p. 64

オプションメニュー

オプションメニューで、他アプリケーションを起動したり、デザインページのサイズや単位等の設定ができま す。

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
レイアウ の 起動	トセンター	_	レイアウトセンター を起動し、前面に表示します。	F5	p. 21
ステッチクリエイ ターの 起動		_	ステッチクリエイター を起動し、前面に表示しま す。	_	p. 56
デザインベ 設定	ページの	_	デザインページのサイズ、色、背景色を変更します。	_	p. 71
単位の	mm	_	長さの単位をミリメートルに変更します。		p. 99
設定	インチ		長さの単位をインチに変更します。	_	p. 99

ステージメニュー

ステージメニューで、あるステージから次または前のステージに移動できます。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
原画ステージ	A	ステージ1 (原画ステージ) へ移動します。 注意: この機能は、ステージ1 (原画ステージ) か ら作業を開始した場合 (画像データを開いた り、画像データをクリップボードから貼り付け た場合など) にのみ有効です。例えば、ステー ジ2 (輪郭線画) から新規ファイルで作業を 開始した場合、この機能は無効になります。	_	p. 65

メニュー	ツールパー	用途	ショートカットキー	参照ページ
輪郭線画ステージ	æ	ステージ2 (輪郭線画ステージ) へ移動します。	_	p. 67
		ステージ3(輪郭データステージ)から新規 輪郭データファイルで作業を開始した場合 は、この機能は無効になります。		
輪郭データステージ	£	ステージ3(輪郭データステージ)へ移動します。	_	p. 70
縫い方設定ステージ	2	ステージ 3 (輪郭データステージ)からステージ 4 (縫い方設定ステージ)へ移動します。	_	p. 77

ヘルプメニュー

ヘルプメニューで、ヘルプシステムが起動します。

メニュー	ツールパー	用途	ショートカットキー	参照ページ
目次	_	このアプリケーションのヘルプを表示します。	F1	
刺しゅう PRO WEB ページ	_	当社のホームページの「刺しゅう PRO」のページを 開きます。		
バージョン情報	_	バージョン、著作権などに関する情報を表示しま す。		

ツールボックスボタン一覧

ツールボックス	用途	参照ページ
×	選択ツール アプリケーションを起動すると、選択ツールが選択されています。 カーソルの形状: ふ	p. 124
K	ポイント編集ツール カーソルの形状: ▶ または ▶ ●	p. 129 p. 132
O	ズームツール カーソルの形状: 会 または 会	p. 180
A	文字・モノグラム入カツール カーソルの形状: 】	p. 147 p. 157
J	円・円弧描画ツール カーソルの形状:+	p. 139
Ŋ	長方形描画ツール カーソルの形状:+	p. 142
res.	線描画ツール カーソルの形状:+ _{>} , + _ン または + 『	p. 143
	マニュアルパンチングツール カーソルの形状:+ _G 、+ _G 、+ _C 、+ _K または + _K	p. 146
	ものさしツール カーソルの形状:+	p. 177
34	ステッチデータ分割ツール カーソルの形状: _{集団}	p. 137
•	スタンプツール カーソルの形状: 除 <u>夏</u> または <u>夏</u>	p. 160

U**775 FEVS -**



) メモ:

メニュー上の機能のほとんどは、ツールバーのボタン、ショートカットキーやキーの組み合わせ、または 右マウスボタンをクリックして表示されるメニューリストにより操作することができます。

ファイルメニュー

ファイルメニューで、開く、保存、印刷などのファイルの入力/出力を処理します。

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
新規作成			新規デザインページを作成します。	Ctrl + N	p. 102
開く		₩.	以前に保存した刺しゅうデータ(. pes ファイル)を 開きます。	Ctrl + O	p. 103
データ	ファイル から	N	刺しゅうカードから読み込んだファイル(*.pec)、 以前に保存したデザインページのファイル(*.pes) や、Tajima(*.dst)、Melco(*.exp)、Pfaff(*.pcs)、 Husqvarna(*.hus)、ブラザー刺しゅうミシン(*.phc) の各形式で作成されたファイルから刺しゅうデー タを取り込み、それを作業中のデザインページに加 えます。	F8	p. 121
AX 19 1207	デザイン センター から		デザインセンターからステッチデータを取り込み ます	F7	p. 122
	カード から		刺しゅうカードからステッチデータを取り込みま す。		p. 123
上書き保存			作業中のデザインページをハードディスクなどに 上書き保存し、ファイルを更新します。	Ctrl + S	p. 188
名前を付け	て保存		作業中のデザインページをハードディスクなどに 新しいファイル名で保存します。	_	p. 188
データ書き	·出し	_	デザインページに表示されているデータを、異なる ファイル形式(.dst、.hus、.exp、.pcs)に変換して 出力します。	_	p. 188
カード	デザイン ページの データ		作業中のデザインページをオリジナルカードに書 き込みます。	F4	p. 189
書き込み	複数 PES/PEN ファイル	_	複数の .pes ファイルを一度にオリジナルカードに 書き込みます。	Shift + F4	p. 190
ファイルプロパティ		_	編集中の .pes ファイルにコメントを入力します。		p. 192
印刷の設定		_	印刷設定を変更します。	_	p. 192
印刷プレビ	`=-	_	印刷前に、印刷のイメージを確認できます。	_	p. 193

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
印刷	-	作業中のデザインページと情報を印刷します。	Ctrl + P	р. 194
終了	_	アプリケーションを終了します。	Alt + F4	p. 26

編集メニュー

編集メニューで、切り取りや貼り付けなど、選択された刺しゅうデータに編集操作を行います。

*=	<u>а-</u>	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
元に戻す		S	直前の操作を元の状態に戻します。	Ctrl + Z	
やり直し		2	最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	Ctrl + A	
グループ化	;	_	選択された複数の刺しゅうデータをグループ化し て1つの刺しゅうデータにします。	Ctrl + G	p. 128
グループ化	解除		刺しゅうデータのグループ化を解除します。	Shift+ G	p. 128
切り取り		*	選択された刺しゅうデータを画面から削除し、ク リップボードにコピーします。	Ctrl + X	
コピー			選択された刺しゅうデータを画面から削除しない で、クリップボードにコピーします。	Ctrl + C	
複製			選択された刺しゅうデータを複製します。	Ctrl + D	
貼り付け		ů	クリップボードにコピーされている内容をデザイ ンページに貼り付けます。	Ctrl + V	
削除		_	選択された刺しゅうデータまたはポイントをデザ インページから削除します。	Delete	p. 108 p. 131
直線化		_	ポイントの両サイドにある曲線を直線にします。	_	p. 131
曲線化		_	ポイントの両サイドにある直線を曲線にします。		p. 131
E+C	上下	R 2	選択された刺しゅうデータを上下に反転させます。	Ctrl + H	p. 127
以虹	左右	RR	選択された刺しゅうデータを左右に反転させます。	Ctrl + J	p. 127
回転		U	選択された刺しゅうデータを任意の角度で回転さ せます。	Ctrl + Y	p. 127

*=	. _ _	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
彩体现中	サイズ	_	選択された刺しゅうデータを任意のサイズにしま す。	_	p. 126
致 値設定	回転	_	選択された刺しゅうデータを任意の角度で回転さ せます。	_	p. 128
中央へ移動		_	選択された刺しゅうデータをデザインページの中 央へ移動します。	Ctrl + M	p. 125
	左揃え		選択された複数の刺しゅうデータを左寄せで揃え ます。		p. 125
	左右中央 揃え		選択された複数の刺しゅうデータを左右中央位置 で揃えます。		p. 125
酸石山	右揃え	_	選択された複数の刺しゅうデータを右寄せで揃え ます。	_	p. 125
金列	·列 上揃え	_	選択された複数の刺しゅうデータを上端で揃えま す。	_	p. 125
上揃	上下中央 揃え		選択された複数の刺しゅうデータを上下中央位置 で揃えます。		p. 125
	下揃え	_	選択された複数の刺しゅうデータを下端で揃えま す。	_	p. 125
すべて選択		_	すべての刺しゅうデータを選択します。	Ctrl + E	p. 124

画像メニュー

画像メニューで、画像データの入出力や、画像データから刺しゅうデータの作成を行います。

*=1- *		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
λл	ファイルから		画像ファイル (Windows ビットマップ (*.bmp)、Exif (*.tif, *.jpg)、ZsoftPCX (*.pcx)、Windows メタファ イル (*.wmf)、Portable Network Graphics (*.png)、 Encapsulated PostScript (*.eps)、Kodak PhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx)、JPEG2000 (*.j2k)〕を取 り込み、それを作業中のデザインページに加えます。 注意: 使用できる画像データは、拡張子が Windows ビットマップ (*.bmp)、Exif (*.tif, *.jpg)、 ZSoftPCX (*.pcx)、Windows Meta File (*.wmf)、Portable Network Graphics (*.png)、 Encapsulated PostScript (*.eps)、Kodak PhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx)、JPEG2000 (*.j2k) のいずれかです。 複数のページがある.pcd ファイル と.fpx ファイルは、最初のページのみを開くことが できます。LZW で圧縮された tiff ファイルは 開くことができません。		p. 104

メニ	- -	ツールパー	用途	ショートカットキー	参照ページ
	TWAIN 機 器から		TWAIN 規格対応のスキャナ等を操作し、画像を取 り込みます。		p. 105
入力	モンター ジュから		髪型、目、鼻、口などのパーツを組み合わせて独自 の似顔絵を作成し、その画像を取り込みます。		p. 106
	クリップ ボード から		クリップボードにコピーされている画像データを 取り込みます。		p. 107
出力	ファイル へ	_	デザインページの画像データを、Windows ビット マップ (*.bmp) または JPEG (*.jpg) ファイルで保 存します。	_	p. 108
	クリップ ボードへ	_	デザインページの画像データを、クリップボードに コピーします。	_	p. 108
TWAIN 機器	器の選択	_	パソコンにインストールされている TWAIN 機器か ら使用するデバイスを選択します。	_	p. 105
サイズと位置の変更			取り込んだ画像データのサイズや位置を調整しま す。		p. 107
ステッチウィザード の起動		*	ステッチウィザードに沿って、原画(画像データ) から刺しゅうデータを作成します。	_	p. 109
表示設定 表示設定 表示 しない		下絵となる画像データを表示します。	F6	p. 107	
	薄く表示	_	下絵となる画像データを薄く表示します。	F6	p. 107
	表示 しない	_	下絵となる画像データを非表示にします。	F6	p. 107

文字メニュー

文字メニューで、曲線に文字を配列するなど、文字データについての操作を行います。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
文字の編集		入力済みの文字データを編集します。	Ctrl + L	p. 150
書式設定	ABC	文字の書式を設定します。	Ctrl + K	p. 152
文字の配列	9.BC	図形データ(曲線、直線データなど)に沿って文字 データを配列します。	Ctrl + T	p. 153
文字配列の解除	ABC +(図形データから文字データを切り離します。	Ctrl + Q	p. 154
文字の変形	ABC N	文字データを変形します。	F2	р. 155

17777777

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
変形の解除	ABC	変形した文字データを元の形に戻します。	F3	p. 155
TrueType フォントの 設定		刺しゅうデータに変換される TrueType フォントの 属性(スタイル等)を設定します。	_	p. 156
図形データに変換	_	True Type フォントから変換された文字データを図 形データに変換します。	_	p. 156

縫い方メニュー

縫い方メニューで、線や面の縫い方や縫い順を設定します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
縫い方 の設定		刺しゅうデータの線と面の縫い方を設定します。	Ctrl + W	p. 166
縫い順/糸色		刺しゅうデータの縫い順と糸色を確認、変更しま す。	F10	p. 178
ドーナツ縫いの設定	_	1 つの刺しゅうデータが他の刺しゅうデータを完全 に包含しているとき、同じ場所を二重に縫わないよ うに、一対の刺しゅうデータにドーナツ縫いの設定 を行います。	_	p. 175
ドーナツ縫いの解除	—	ドーナツ縫いの設定を解除します。	_	p. 175
STB 機能(Stitch to Block 機能)	_	ステッチデータをブロック(マニュアルパンチング データ)に変換して、縫い方の設定や、拡大・縮小 したときの縫製品質の維持ができるようになりま す。		p. 136
ステッチデータに 変換	_	図形データ、文字データ、パンチングデータをス テッチデータに変換します。		p. 134
アップリケ ウィザード	_	アップリケの縫い順に沿って各設定をしながら、 アップリケデータを作成します。	_	p. 176
縫製範囲の設定	_	縫製範囲を設定します。	_	p. 177
枠の最適化	_	デザインページに大型枠(100 × 172 mm、130 × 300 mm)が選択されている場合、そのデータの縫い 順を最適化するかどうか設定します。	_	p. 197
		刺しゅうデータの縫い始終点の位置を最適化しま す。		p. 133

表示メニュー

表示メニューで、画面の表示内容を変更します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
グリッド	_	グリッドの内容を設定し、グリッドの表示/非表示 を切り替えます。	_	p. 195
プレビュー		 画面表示の通常表示/縫製イメージを切り替えま す。	F9	p. 181
リアルプレビュー		刺しゅうデータの縫製後の仕上がりイメージをリ アルに表示します。	Shift + F9	p. 181
リアルプレビューの 設定	_	リアルプレビュー機能の設定を行います。	_	p. 181
画面の再描画	_	画面を更新します。	Ctrl + R	
ステッチシミュレー ター		ミシンでどのように縫われていくか、縫製の様子を 画面上で確認できます。	_	p. 182
リファレンス ウィンドウ		リファレンスウィンドウの表示/非表示を切り替 えます。	F11	p. 187
ツールバー	_	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。	_	p. 101
ステータスパー		ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。	_	p. 101

オプションメニュー

オプションメニューで、他アプリケーションを起動したり、デザインページのサイズや単位等の設定ができま す。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
デザインセンターの 起動	_	デザインセンター を起動し、前面に表示します。	F5	p. 32
ステッチクリエイ ターの 起動	_	ステッチクリエイター を起動し、前面に表示しま す。		p. 56
デザインの プロパティ	_	作成している刺しゅうデータの情報を表示します。		p. 183
デザインページの 設定	_	デザインページのサイズ、色、背景色を変更します。	_	p. 102
ユーザー糸リストの 編集		ユーザー糸リストの作成、編集を行います。		p. 184

UDFUXX **1751239**

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
単位の 設定	mm	_	長さの単位をミリメートルに変更します。	_	p. 195
	インチ	—	長さの単位をインチに変更します。	_	p. 195

ヘルプメニュー

ヘルプメニューで、ヘルプシステムが起動します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
目次	_	このアプリケーションのヘルプを表示します。	F1	
		当社のホームページの「刺しゅう PRO」のページ を開きます。		
刺しゅう PRO WEB ページ		 注意: インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続する環境が整っていないと、この機能は使用できません。 	_	
		当社ホームページの「オンライン登録」のページを 開きます。		
オンライン登録	_	 注意: インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続する環境が整っていないと、この機能は使用できません。 	_	p. 14
バージョン情報	_	バージョン、著作権などに関する情報を表示しま す。		

ステッチクリエイター

ツールボックスボタン一覧

ツールボックス	用途	参照ページ
×	選択ツール カーソルの形状: 入	p. 206
下	ポイント編集ツール カーソルの形状: D	p. 209
5	直線描画ツール アプリケーションを起動すると、直線描画ツールが選択されています。 カーソルの形状:十 _	p. 205
	面設定(クリア)ツール カーソルの形状: 🏠	p. 211
	面設定(凹)ツール カーソルの形状: ト	p. 211
	面設定(凸)ツール カーソルの形状: 峰	p. 211

メニュー一覧

✓ メモ:

メニュー上の機能のほとんどは、ツールバーのボタン、ショートカットキーやキーの組み合わせ、または 右マウスボタンをクリックして表示されるメニューリストにより操作することができます。

ファイルメニュー

ファイル メニューで、開く、保存などのファイルの入力/出力を処理します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
新規作成		新規のパターンファイルを作成します。	Ctrl + N	p. 202
開く	M	以前に保存したパターンファイルを開きます。	Ctrl + O	p. 202

リファレンス **ステッチクリエイ**3
ステッチクリエイター

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
下絵を開く		データ作成用の下絵として使用可能な背景画像 (Windows ビットマップ (*.bmp)、Exif (*.tif、*.jpg)、 ZSoftPCX (*.pcx)、Windows メタファイル (*.wmf)、 Portable Network Graphics (*.png) 、Encapsulated PostScript (*.eps) 、 Kodak PhotoCD (*.pcd) 、 FlashPix (*.fpx)、JPEG2000 (*.j2k)〕を、作業領域 上に開きます。 注意: 使用できる背景画像は、拡張子が Windows ビットマップ (*.bmp) 、Exif (*.tif、*.jpg) 、 ZsoftPCX (*.pcx) 、 Windows Meta File (*.wmf)、Portable Network Graphics (*.png)、 Encapsulated PostScript (*.eps) 、 Kodak PhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx)、JPEG2000 (*.j2k) のいずれかです。		p. 203
上書き保存		作業中のパターンファイルをハードディスクなど に上書き保存し、ファイルを更新します。	Ctrl + S	p. 214
名前を付けて保存	_	作業中のパターンファイルをハードディスクなど に新しいファイル名で保存します。	_	p. 214
終了	_	アプリケーションを終了します。	Alt + F4	p. 60

モードメニュー

ステッチクリエイターで、プログラムタタミ、モチーフ、スタンプ用のパターンを作成できます。方法と作業領域 はそれぞれ異なります。モードメニューで、どのパターンを作成するか設定します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
プログラムタタミノ スタンプ	_	プログラムタタミ、スタンプ用のパターン作成モー ドにします。		p. 204
モチーフ	_	モチーフ用のパターン作成モードにします。	_	p. 204

編集メニュー

編集メニューで、切り取りや貼り付けなど、選択されたパターンに編集操作を行います。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
元に戻す	5	直前の操作を元の状態に戻します。	Ctrl + Z	
やり直し	2	最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	Ctrl + A	

ステッチクリエイター

メニュー		ツールパー	用途	ショートカットキー	参照ページ
切り取り		Ж	選択されたパターンを画面から削除し、クリップ ボードにコピーします。	Ctrl + X	p. 207
コピー			選択されたパターンを画面から削除しないで、ク リップボードにコピーします。	Ctrl + C	p. 207
複製		_	選択されたパターンを複製します。	Ctrl + D	p. 208
貼り付け 📫			クリップボードにコピーされているパターンを作 業領域に貼り付けます。	Ctrl + V	p. 208
削除		_	選択されたパターンまたはポイントを作業領域か ら削除します。	Delete	p. 207 p. 210
E #	上下	R 2	選択されたパターンを上下に反転させます。	Ctrl + H	p. 208
左右		(R R	選択されたパターンを左右に反転させます。	Ctrl + J	p. 208
回転		U	選択されたパターンを任意の角度で回転させます。	Ctrl + Y	p. 208
すべて選択		_	すべてのパターンを選択します。	Ctrl + E	p. 206

表示メニュー

表示メニューで、画面の表示内容を変更します。

*==- *		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
グリッド		_	グリッドの内容を設定し、グリッドの表示/非表示 を切り替えます。		p. 215
	表示	_	下絵となる画像データを表示します。	F6	p. 215
下絵	薄く表示	_	下絵となる画像データを薄く表示します。	F6	p. 215
	表示 しない	_	下絵となる画像データを非表示にします。	F6	p. 215
プレビュー パターンの縫製イメージの表示/ えます。		パターンの縫製イメージの表示/非表示を切り替 えます。		p. 205	
ツールパー ―		_	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。	_	p. 201
ステータス	バー	_	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。	_	p. 201

リファレンス **ステッチクリエイター**



ヘルプメニューで、ヘルプシステムが起動します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
目次	_	このアプリケーションのヘルプを表示します。	F1	
刺しゅう PRO WEB ページ	_	当社のホームページの「刺しゅう PRO」のページ を開きます。	_	
バージョン情報	_	バージョン、著作権などに関する情報を表示しま す。		

デザインデータベース



() メモ:

メニュー上の機能のほとんどは、ツールバーのボタン、ショートカットキーやキーの組み合わせ、または 右マウスボタンをクリックして表示されるメニューリストにより操作することができます。

ファイルメニュー

ファイルメニューで、開く、取り込む、変換するなどのファイル処理と一覧作成を行います。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
レイアウトセンター で開く	_	レイアウトセンターで刺しゅうファイルを開きま す。 注意: 開くことができるファイル形式は .pes ファ イルのみです。	_	p. 219
レイアウトセンター で取り込む	_	レイアウトセンターで刺しゅうファイルを取り込 みます。 注意: 取り込むことができるファイル形式は、拡張 子が .pes、Tajima (*.dst) 、Melco (*.exp) 、 Pfaff (*.pcs)、Husqvarna (*.hus)、プラザー 刺しゅうミシン (*.phc) のいずれかです。	_	p. 220
フォルダ作成	_	選択されたフォルダに新規フォルダを作成します。	_	p. 217
フォーマット変換	_	刺しゅうファイルを、異なるファイル形式に変換し て出力します。		p. 223
削除	_	選択された刺しゅうファイルを削除します。	Delete	p. 218
印刷の設定	_	刺しゅうファイルの一覧の印刷設定を変更します。	_	p. 224
印刷プレビュー	_	刺しゅうファイルの一覧の印刷前に、印刷イメージ を確認できます。	_	
印刷	_	刺しゅうファイルの一覧を印刷します。	Ctrl + P	p. 224
HTML 出力		刺しゅうファイルの一覧を HTML ファイルとして 出力します。		p. 224
CSV 出力	_	刺しゅうファイルの縫い方情報の一覧を CSV ファ イルとして出力します。		p. 225
終了		アプリケーションを終了します。	Alt + F4	

リファレンス **デザインデータベー**:

編集メニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
切り取り	*	選択された刺しゅうファイルをフォルダから削除 し、クリップボードにコピーします。	Ctrl + X	p. 218
コピー	D	選択された刺しゅうファイルをフォルダから削除 しないで、クリップボードにコピーします。	Ctrl + C	p. 218
貼り付け		クリップボードにコピーされている刺しゅうファ イルを、選択されたフォルダに貼り付けます。	Ctrl + V	p. 218
検索		刺しゅうファイルを検索します。	Ctrl + F	p. 222

表示メニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
サムネイル大		コンテンツビューの刺しゅうファイルを、大きいサ ムネイルで一覧表示します。	_	p. 219
サムネイル小		コンテンツビューの刺しゅうファイルを、小さいサ ムネイルで一覧表示します。	_	p. 219
詳細		コンテンツビューの刺しゅうファイルを、縫い方情 報別に一覧表示します。	_	p. 219
プレビュー		選択された刺しゅうファイルの縫製イメージを表 示します。	_	p. 220
ファイル プロパティ		選択された刺しゅうファイルの縫い方情報を表示 します。	_	p. 221
最新の情報に更新	_	コンテンツビューの刺しゅうファイルの表示を更 新します。	Ctrl + R	
ツールバー	_	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。	_	p. 216
ステータスパー		ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。		p. 216

オプションメニュー

オプションメニューで単位を変更します。

*=	. - -	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
光体の乳白	mm	_	長さの単位をミリメートルに変更します。	_	p. 195
単位の設定	インチ	_	長さの単位をインチに変更します。	_	p. 195

ヘルプメニュー

ヘルプメニューで、ヘルプシステムが起動します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
目次	_	このアプリケーションのヘルプを表示しま す。	F1	
パージョン情報		バージョン、著作権などに関する情報を表 示します。		



11

CPU 速度 CSV ファイル出力	8
E	
EN ステッチ 縫い方の設定 E ステッチ	
H	
HTML ファイル出力	224
L	
LED	6
C)
OS	8
P	
pen ファイル	
S	•
STB 機能	136

С

т

TrueType 文字属性	156
TrueType フォントの設定	156
TWAIN 機器から入力	66
TWAIN 機器の選択	, 105

V

↓ステッチ	168
-------	-----

あ

アップリケ	
アップリケウィザード	
アップリケの位置	
アップリケピース	
アプリケーション	4
アレンジ1	
アレンジ2	
アンインストール	14

糸色														
	アッ	プリ	リケ											165
	7.	デí	ĺΨ	の付	雷									165
	7	~ プ i	י יאו	いい ピー	- 7						•••••	•••••		165
	ノノ	(±	, , = =	し 美 \							•••••	•••••		165
	포미	てい		我)	, ,	•••••		•••••			•••••	•••••		100
	ヘナ	ツフ	-)	- %	••			•••••			•••••	•••••		130
	変史		·····								•••••	•••••		179
		ד -	- 糸	リス			•••••				•••••	•••••		184
糸色	ホタン	· ·		•••••									83,	164
移動														
	画像											23,	29,	107
	刺し	ゆう	ラデ	ータ	′								43,	124
	始終	点												132
	刺し	ゆう	っフ	71	ル	·								217
	中心	Ľ.											91.	133
	 	**	1.7-	文字	2								,	47
	パタ	_`	/	~ .										207
	,、/ 针茨·	ьź	 								•••••	•••••		135
		シ点 结ね									•••••	•••••	07	107
	北小	限場	ዲባ ተ										91, 00	200
	小门		``		••••					52	., /:	э, т	29,	209
	11日 第二	Γ-	- 2			•••••					•••••	•••••		/3
糸セ	ット	•••••	•••••	•••••	••••						•••••	•••••		117
杀密	度													
	サテ	ン縦	逢しい								8	5, 1	67,	168
	タタ	三般	逢い										86,	169
	同心	円縦	逢しい	、於	朝	縫い	·、	哥巻	き縫	٤١.			89.	173
	パイ	ピン	ノグ	縫い	١.					-				173
	フォ	トラ	ィテ	ッチ	- 1							. 1	12	115
	20.	ト =	5	、	, =	縫()							87	170
冬日	7 6	/ /		//		11)E V .					 Qʻ	х. 1	10	164
~~ /			·····	T	_							J, I	10,	110
	シロ.	ヘノ	くナ	ッテ	• • •			•••••			•••••	•••••		104
	1°F 成、	、徘	雨果		••••	•••••					•••••			184
	ノオ	トノ	(ア	ツナ				•••••			•••••	1	12,	117
	·	サー	- 糸	リノ								•••••		184
イフ	スト											1	12,	115
色の	変更								1	113,	11	5, 1	17,	119
印刷												1	92,	194
	印刷	プレ	ノビ	<u> –</u> –										193
	大型	枠ラ	゠゙゙゙゙゙	ネン	·									200
	入工	ы ²	ぅ デ	- 5	,									194
	制1.	ц ц	S E	*_	 									224
티머리		'₩ ₽	/ /	~ + `	見						•••••			224
드나 입니		E. ./_	•••••								•••••	1	92,	100
「川川	フレロ	<u>ב</u> _	_	•••••							•••••	•••••		193
イン	ベト-	ール			_									
	カー	ドラ	ィイ	ター	-用	ドラ	11	۲						10
	ソフ	トウ	7エ	ア.										8
	手順													7

う

ウィザード	
上揃え	
渦巻き縫い	
上書き保存	

え

円	 139
円弧の種類	 43, 141

お

大型枠	
刺しゅうデータ情報	
デザインページサイズ	
扇形	140
オートパンチ機能	21, 109
オプションメニュー	
デザインセンター	233
デザインデータベース	249
レイアウトセンター	241
オフセット	
オフセット方向	
オフセット量	
折り返し	86, 88, 169, 171
オンライン登録	14

か

カー	ド書き込み		
	デザインページのデータ	89, 19	9
	複数 PES/PEN ファイル1	90, 19	9
<u>+</u> -	ドスロット		6
	「 ハロ ノ 〒	Б	6
/」 4刀 0人		J,	0
肿际	18 1		
	ドーナツ縫い	17	5
	文字の変形	15	5
	文字配列	15	4
解像	度	7	0
回転			
	刺しゅうデータ	12	7
	*************************************	15	2
		ריייייי. סכ	0
		02 ح	0
1# /	輪邦ナータ		4
描く	_		_
	円	43, 4	7
	円弧	13	9
	円弧と弦	14	1
	扇形	14	0
	直線	50.7	6
	パターン	5	8
	輪郭綽	6	R
	福邦県		20
₩+			0
加八	 一 一 一 一 一 一 一 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	00 10	-
	回家	29, 10	1
	刺しゆうテータ	.43, 12	6
	パターン	207, 21	3
	表示領域枠	.98, 18	7
	輪郭データ	7	3
拡大	表示	3	4
	レイアウトヤンター	18	0
备産			0
円反	プロガニノカカミ嫁い	17	
	ノロクノムダダミ縺い		1
	ノロクフムタタミ維い維い	8	8
	モナーフ縫い	.89, 17	2
確認	する		
	糸色	17	8
	ステッチ	.95. 18	2
	縫い順	17	8
	一面の縫い方		2
	回り(2010) を 100000000000000000000000000000000000	<i>،</i>	0
	#冊子り初k いノ 視走い り パー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8	U

画像	
移動	107
拡大・縮小2	3, 29, 107
出力	108
ステッチウィザードの起動	109
編集	107
保存	108
画像メニュー	
角の丸み	142
画面	
ステッチクリエイター	201
デザインセンター	64
デザインデータベース	216
レイアウトセンター	101
簡易モード	84, 166
間隔	

き

幾何学的属性	162
基準線からのオフセット	152
起動	
ステッチクリエイター	56
デザインセンター	32
デザインデータベース	217
レイアウトセンター	21, 27
行間	152
曲線	143
曲線化	
距離を測る	177
切り取る	
刺しゅうファイル	218
ステッチデータ	
パターン	
• •	

<

空白(未定義)	
グラデーション	85, 86, 87, 90, 168, 169, 170
作成	
グリッド	
グループ化	
グループ化解除	
クロスステッチ	
サイズ	
縫い方	
縫い方の設定	

け

消しゴムツール	
原画	111
原画ステージ	
原画の種類	112, 115
原画の調整	68, 111
検索	222

索引

J

コピー	
画像	
刺しゅうファイル	217
パターン	
コントラスト	111
コンピュータ	8

さ

サイズ	
クロスステッチ	
サイズと位置の変更	
サイズ変更	
画像	
刺しゅうデータ	
パターン	
表示領域枠	
細線化処理	
最大糸色数	
最大化ボタン	
最適化	
枠	
削除	-
糸リスト	
刺しゅうデータ	
パターン	
針落ち点	
ポイント	
輪郭データ	74
サテン縫い	
縫い方の設定	
サテン幅	
サムネイル	
左右中央揃え	
左右反転	

し

刺しゅう属性	162
刺しゅうデータ	
移動	
印刷	194
ト書き保友	25 55 98
11日に休日	107
	107
四粒	15 49 44 106
144人・袖小	10, 40, 44, 120
クルーノ1と	
おより おうちょう おうちょう おうちょう かくしょう かくしょう かくしょう かくしょう かくしょう かくしょう しんしょう しんしょ しんしょ	
削除	
情報	
ステッチデータに変換	134
選択	124
中央へ移動	125
データ書き出し	
取り込む	
整列	
反転	127
盟<	42 103 219
プレビュー	06 181
プロパティ	102
ノロハノュ	10/ 100 100
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
沐仔	

刺し	ゅうデータ	情報			.183
	大型枠				198
怡紁	人 上 11 111				
70 11 -	10 54				100
	移 <u>勤</u>				.132
	最適化			132,	133
	ステッチテ	⁻ ータ			.135
刺し	ゅうファイ	ル			
	コピー				217
	フォルダに	* 移動			217
	タイルノに 検索	-12/3/]		•••••	217
	(快糸			•••••	.222
					.220
	フロバティ				.192
下打	ち		85, 86, 87, 168,	169,	170
下絵					
	表示設定				215
下給	式小阪之 · た問ノ				202
一五五	を用く				203
卜刖	え	•••••			.125
自動	選択の設定			112,	117
写真				112,	115
終了			2	6 55	5 60
小~ 」 一				.0, 00	, 00
和日小	王 /4				
	凹 像			3, 29,	107
	刺しゅうテ	" ータ		43,	126
	パターン.			207,	213
	表示領域構	<u>L</u>		98.	187
	輪郭データ	7			73
綋小	表示				35
山十	政小				
山刀					
	CSVファイ	イル			.225
	HTMLファ	・イル			.224
	クリップホ	「一ドへ			.108
	ファイルへ	<			108
上下	中央揃え				125
++	「 八 励 / C			200	211
	区虹			200,	214
計細					.219
詳細	モード			84,	166
使用	色			115.	119
使用	_ すろ色			113	117
金二	, U L ::			110,	150
音 式 	政 促				. 152
書体					.149
書体	セレクタ				45
新規	作成			102.	202
	デザインベ	ページ		,	102
	パターン				202
	ハノ ノ・ フェルダ			•••••	017
	ノオルグ.				.217
	輪乳線曲.			65	o, 68
	輪郭データ	,		72	2, 65

す

数値設定	
回転	
サイズ	
ズーム	
表示領域枠	
ズームアウト	
ズームイン	
図形データに変換	
スタンプ	
ステージ1	
ステージ2	
ツールボックスボタン	
ステージ3	
ツールボックスボタン	
ステージ4	4, 36, 63
ツールボックスボタン	

ステージメニュー	233
ステッナリイサートの起動	23, 29, 109
ステッチクリエイター	5. 56. 201
而而	201
四田	201
起動	
終了	60
ツールボックスボタン	243
表示メニュー	245
ファイルメニュー	
ヘルプメニュー	
編集メニュー	244
	044
ステッチシミュレーター	
ステッチデータ	
切り取る	137
始終占	135
ステッチデータに変換	134
	101
ストローク回致	
ストロークの向き	168
ストローク幅	168
スロット	6

せ

整列	
ドーナツ縫い	125
文字データ	125
選択	
刺しゅうデータ	124
パターン172	, 206
ポイント	129
縫製範囲	177
文字	151
輪郭データ	72
線の色ボタン	, 163
線の設定82	, 163
線の設定ボタン	, 163
線の縫い方	. 167
線の縫い方の設定8	0, 85

そ

挿入			
	針落	碁ち点	
	ポイ	(ント	 75, 130, 210
揃え	方 .		 152

た

楕円	139
タタミ縫い	17
縫い方の設定	
縱位置	
縦書き	
単位の設定	

ち

縮み補正	
中央へ移動	動125
中心点	
長方形	
直線	
直線化	131

つ

ツールボックスボタン	
ステージ2(輪郭線画ステージ)	
ステージ3(輪郭データステージ).	
ステージ 4(縫い方設定ステージ).	229
ステッチクリエイター	243
デザインセンター	
レイアウトヤンター	

て

ディスプレイ	8
データ書き出し	188
データ取り込み	
カードから	123
デザインセンターから	
ファイルから	121
デザインセンター	4, 32, 63
オプションメニュー	233
画面	64
起動	32
ステージメニュー	233
ツールボックスボタン	
縫い方メニュー	232
表示メニュー	
ファイルメニュー	
ヘルノメニュー	
ー 編集メーユー	
ナリインテーダベース	5, 216
オノンヨノメーユー	
四回 打乱	
些判 主	/۱۷ے
衣示グニュー	240 247
ヘルプメニュー	
(パングニュー) 二番集メニュー	248
デザインのプロパティ	183 198
デザインページの	196
デザインページの色	112
ディージージの設定	71 77 102
大型枠	196
/	

لح

動作環境	8
同心円縫い	17, 89, 91, 173
中心点	
登録	14
ドーナツ縫い	
解除	
整列	
設定	
特別色	
閉じた線	
取り込む	
.pem ファイル	65
TWAIN 画像	
画像	22, 28, 65, 104
クリップボードから	
刺しゅうカードから	
刺しゅうデータ	
デザインセンターから	

な

内部走り経路	 87,	170,	169
名前を付けて保存	 98,	188,	214

に	
似顏絵	
入力	
TWAIN 機器から	
クリップボードから	107
ファイルから	
文字	45, 147
モンタージュから	

ぬ

縫い角度	
サテン縫い	85, 168
タタミ縫い	
プログラムタタミ縫い	
縫い方	
クロスステッチ	89
フォトステッチ	112 115 117 119
縫い方設定ステージ	4 36 63
ツールボックスボタン	229
	16 83 165
経い方の程度 終い方の設定	40 83 166
E/V スノツノ	
クロスステッテ サニン悠い	
リテン縺い	
标	
ググミ輝い	
ハイヒノク 輝い	
定り縺い	85, 167
ノロクフムダダミ縫い	
<u> </u>	
セナーノ縦い	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
縫い方ハー	81
縫い方メニュー	
デザインセンター	
レイアウトセンター	240
縫い間隔	117, 119
縫い始終点の最適化	
縫い順	
編集	
縫い順 / 糸色	
縫いピッチ	
(2) ニンン	15
· 经 · / · / · · · · · · · · · · · · · ·	117 110
№ 1 山 /又	

は

ハードディスクの空き容量	8
ハーフステッチ	85, 86, 87, 167, 169, 170
パイピング縫い	
縫い方の設定	
整列	
刺しゅうデータ	
走り回数	
走り縫い	
縫い方の設定	

走りピッチ168
E/V ステッチ168
同心円縫い、放射縫い、渦巻き縫い
パイピング縫い173
走り縫い
フォトステッチの設定112.115
モチーフ縫い
パソコン
パターン
移動
回転
描く
拡大・縮小
切り取る
コピー
削除
作成
プログラムタタミ/スタンプモード205
モチーフモード212
新規作成202
選択
プログラムタタミ縫い
モチーフ縫い
名前を付けて保存60
貼り付け208
反転
開く202
複製208
プレビュー205
編集206, 213, 209
保存214
針落ち点
移動135
削除135
挿入135
編集134
貼り付け
反対側154
反転
刺しゅうデータ127
パターン
輪郭データ

ひ

左揃え	
表示 LED	6
表示設定	
下絵	215
表示メニュー	
ステッチクリエイター	245
デザインセンター	
デザインデータベース	248
レイアウトセンター	241
表示領域枠	
移動	
開いた線	143
開く	42, 57, 103, 202
.pem ファイル	65
· 画像	
刺しゅうデータ	42, 103, 219
下絵	
パターン	

ふ

ファ	イル	
	形式変換	
	情報	
	プロパティ	
ファ	イルプロパティ	
ファ	イルメニュー	
	ステッチクリエイター	
	デザインセンター	
	デザインデータベース	
	レイアウトセンター	
フォ	-マット変換	
フォ	トステッチ機能	
	1(カラー)機能	
	1 (モノクロ)機能	
	2(カラー)機能	
	2(モノクロ)機能	
フォ	ルダの新規作成	
複製		
プレ	ビュー	24, 39, 53, 96, 181, 205, 220
	印刷	
	パターン	
プロ	グラムタタミ縫い	
	高さ	
	縫い方の設定	
	パターン選択	
	幅	
プロ	グラムタタミ/スタンプ	ピード

\sim

ペー	-ジの色も縫う	112
ベー	-スの縫い方	
別売	品	6
ヘル	プメニュー	
	ステッチクリエイター	246
	デザインセンター	234
	デザインデータベース	249
	レイアウトセンター	242
変換	Į	
変形	。 の解除	
空形	の度合い	155
<i>交</i> // 亦 面	й Г	
x x	「「」」はシファイルター	010
	利しゆ ノノナイル 石	106 ±
/a 关		
1 佃 左	<u> </u>	, 88, 170, 171, 173
編集		
	糸リスト	
	糸リスト 画像	
	糸リスト 画像 刺しゅうデータ	
	糸リスト 画像 刺しゅうデータ 縫い順	
	糸リスト 画像 刺しゅうデータ 縫い順 パターン	
	糸リスト 画像 刺しゅうデータ 縫い順 パターン 針落ち点	
	糸リスト 画像 刺しゅうデータ 縫い順 パターン 針落ち点 文字	
	糸リスト 画像 刺しゅうデータ 縫い順 パターン 針落ち点 文字 モノグラム	
	 糸リスト 画像 刺しゅうデータ 縫い順 パターン 針落ち点 文字 モノグラム 輪郭線画 	
	 糸リスト 画像 刺しゅうデータ 縫い順 パターン 針落ち点 文字 ブラム 輪郭データ 	
編集	 糸リスト 画像 刺しゅうデータ 縫い順 パターン 針落ち点 文字 モノグラム 輪郭データ チニュー 	
編集	 糸リスト 画像 刺しゅうデータ 縫い順 パターン 針落ち点 文字 モノグラム 輪郭線画 輪郭データ メニュー ステッチクリエイター 	
編集	 糸リスト 画像 刺しゅうデータ 縫い順 パターン 針落ち点 文字 モノグラム 輪郭データ メニュー ステッチクリエイター デザインヤンター 	
編集	 糸リスト 画像 刺しゅうデータ 縫い順 パターン 針落ち点 文字 モノグラム 輪郭データ メニュー ステッチクリエイター デザインセンター デザインデータベース 	
編集	 糸リスト 画像 刺しゅうデータ 縫い順 パターン 針落ち点 文字 モノグラム 輪郭データ メニュー ステッチクリエイター デザインセンター デザインデータベース レイアウトセンター 	
編集ペン	 糸リスト 画像 刺しゅうデータ 縫い順 パターン 針落ち点 文字 エノグラム 輪郭データ メニュー ステッチクリエイター デザインデータベース レイアウトセンター パツール 	

ほ

ポイント	
移動	
削除	
選択	
挿入	
放射縫い	
中心点	
縫製範囲の設定	
ぼかし縫い	
保存	
オリジナルカード	26, 54, 189, 190, 199
画像	
刺しゅうデータ	
パターン	

ま

マニュアルパンチング145, 173

	み
右揃え	

	む
向き	

め

メニュー	
ステッチクリエイター	
デザインデータベース	247
レイアウトセンター	
メモリ	8
面の色ボタン	. 38, 46, 48, 50, 82, 164
面の設定	
面の設定ボタン	44, 48, 50, 82, 164
面の縫い方	46, 78, 85, 164, 168
面の縫い方セレクタ	

も

モードメニュー	204
文字	
サイズ	150
入力	45, 147
配列	
配列解除	
配列設定	
変形	
②… 変形解除	
変形の度合い	
編集	150
	152
✓ 「」	149 152 162
へ」	
ステノ ノ	105
又子ノーユー エエ コぬい	
モナーノ縫い	
角度	172
高さ	
縫い方の設定	
パターン選択	
幅	

モチーフモード	204
モニタ	8
モノグラム	157
サイズ	158
書体	158
属性	158
編集	
モンタージュ	106

ゆ

ユーザーインフォメーション	14
ユーザー糸リスト	
優先項目	

よ

横位置	
横書き	153

IJ

リアルプレドュー	25 40 54 96 181
リアルプレビューの設定	96 181
リファレンスウィンドウ	97 187
ランテレンハフィントン	144 50 144
輪乳強調	111
輪郭線	
縫い方の設定	
輪郭線画ステージ	. 4, 33, 63, 67, 33, 67
新規作成	
ツールボックスボタン	
輪郭データ	-
移動	
回転	74
描く	
拡大・縮小	73
削除	74
新規作成	72
選択	
反転	74
編集	
輪郭データステージ	4 35 63 70 35 70
***** シバノ ノ	,, 00, 00, 70, 00, 70 008
ノ バルノノスルラノ	

れ

レイアウトセンター	4
オプションメニュー	241
画像メニュー	
画面	
起動	21, 27
終了	
ツールボックスボタン	
縫い方メニュー	240
表示メニュー	241
ファイルメニュー	
ヘルプメニュー	242
編集メニュー	
文字メニュー	
レイアウトセンターで取り込む	
レイアウトセンターで開く	

わ

枠の最適化	197
渡り糸	135

アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。(詳しくは保証書をご覧ください。)
 それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- ●当社はこの製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有しています。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の〈お客様相談室〉へお問い合わせください。

ミシン119番 フリーダイヤル0120-340-233

- ◎ ブラザーミシンの使い方やアフターサービスについて、ご不明の場合はお買い上げの販売店、またはミシン119番まで お問い合わせください。
- ◎ ミシン119番ではミシンの使い方のご説明や、トラブルに対するご相談、修理の受付対応をさせていただいております。

お客様相談室

ブラザー販売株式会社			
本社お客様相談室	〒467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号	TEL: (052)824-3125
北海道お客様相談室	〒060-0063	札幌市中央区南三条西3丁目2-2	TEL: (011)261-6631
東 北お客様相談室	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL: (022)227-8877
東 京お客様相談室	〒104-0031	東京都中央区京橋3丁目3-8	TEL: (03)3281-4204
中 部お客様相談室	₹467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号	TEL: (052)824-3193
関 西お客様相談室	〒550-0012	大阪市西区立売堀4丁目4番2号	TEL: (06)6531-4670
中四国お客様相談室	〒730-0021	広島市中区胡町4番28号	TEL: (082)240-3762
九の州お客様相談室	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2丁目3-12	TEL: (092)431-6566

- ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記、最寄りの [お客様相談室] へご連絡ください。
- 最寄りのお客様相談室におかけになったすべての電話は、本社お客様相談室へ転送されますが、転送電話料金は、弊社が 負担致します。
- FAXの場合は、すべて本社お客様相談室 (052) 824-3031 でお受け致します。
- 上記の電話番号および住所は、都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

